

北海道立帯広美術館年報
平成11年－12年度

北海道立帯広美術館年報

平成11年－12年度



目 次

目 次	3
展覧会事業	
平成11-12年度コレクション・ギャラリー一覧	4
世界のグラフィック・デザイン	5
岡沼淳一展	6
版画－技法と表現	8
物語と幻想のイメージネーション	10
伽井丹彌展	11
道東の美術家たち	13
平成11-12年度特別展一覧	14
魅惑のガラス芸術	16
ヨーロッパの華麗な女性美展	22
リパティ・スタイル展	26
20世紀静物画の展開	36
帯広美術館コレクション選集	40
永遠のポスター芸術	43
フランス美術名品選	49
グラフィック・デザインのモダニズム	54
レンブラント版画展	61
美術はなにを記録してきたか	67
東欧絵本の世界展	72
帯広美術館コレクション選集	79
教育普及事業	
美術講演会	82
特別展セミナー	83
ミュージアム・カレッジ	83
土曜映写室	85
トークショー	86
アート・パフォーマンス	86
キッズ・ミュージアム	87
ミュージアム・ミステリー	88
団体オリエンテーション	90
博物館実習	91
移動美術館	92
芸術週間	95
美術作品の収集	
平成11年度作品収集状況	96
購 入	96
受 贈	97
平成12年度作品収集状況	98
購 入	98
受 贈	98
美術作品の貸出	100
特 別 観 覧	102
貸 館 事 業	103
名 簿	104
館 内 案 内 図	105
建 築 概 要	106
設 備 概 要	106
沿 革	107
観 覧 者 数 一 覧	108

展覧会事業

平成11年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	世界のグラフィック・デザイン	4月9日(金)～7月28日(水)	81
2	十勝の新時代Ⅱ 岡沼淳一展	8月6日(金)～11月10日(水)	78
3	版画－技法と表現	11月19日(金)～3月29日(水)	96

平成12年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	物語と幻想のイマジネーション	4月11日(火)～8月9日(水)	97
2	十勝の新時代Ⅲ 伽井丹彌展	8月18日(金)～11月29日(水)	82
3	道東の美術家たち	12月8日(金)～3月28日(水)	79

世界のグラフィック・デザイン

会期＝平成11年4月9日(金)－7月28日(水) 81日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある
方などは無料

()内は10名以上の団体料金

ポスターをはじめとするグラフィック・デザインは時代の
移り変わりを映し出しながら多彩な展開をとげてきた。とり
わけ第二次世界大戦後は、造形意識の革新、大量消費社会の
進展、そして写真やコンピューターなどに代表される技術的
な発展とあいまって、情報伝達メディアの一つとして欧米各
国では新たなポスター表現が模索されてきた。

この展覧会では、第二次世界大戦以後の欧米の代表的なポ
スター 100点を復刻・再現した『欧米のポスター 100』(1995
年 凸版印刷)より35作品を展示し、1950年代から1980年代
にいたるヨーロッパ、そしてアメリカのグラフィック・デザ
インの系譜をたどった。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	E. コウファー	アメリカン航空「ファッション・イン・フライト」	1947	オフセット、紙	103.0×72.7
2	H. マター	彼らのうちの一人はポリオにかかっている	1950	オフセット、紙	103.0×64.8
3	T. トレプコフスキ	国際平和会議「二度と繰り返さない」	1952	オフセット、紙	103.0×72.0
4	H. バイアー	オリベッティ「計算機ディズマ」	1953	オフセット、紙	103.0×72.8
5	S. パス	映画「黄金の腕」	1955	オフセット、紙 (オリジナルはシルクスクリーン印刷)	103.0×72.4
6	J. パウカ	映画「コメディアン」	1955	オフセット、紙	103.0×68.5
7	B. ギル	演劇「ベルナルダ・アルバの家」	1957	オフセット、紙	103.0×68.8
8	B. シャーン	水爆実験反対	1960頃	オフセット、紙	103.0×70.3
9	H. エルニ	水を守ろう	1961	オフセット、紙	103.0×72.6
10	A. ホフマン	演劇「ウィリアム・テル」	1963	オフセット、紙	103.0×72.8
11	R. シェスレヴィッチ	演劇「審判」	1964	オフセット、紙	103.0×71.4
12	J. レニッツァ	オペラ「ヴォツェック」	1964	オフセット、紙	103.0×71.3
13	J. キー	コーヒー会社「シャ・ノワール(黒猫)」	1966	オフセット、紙	103.0×76.1
14	H. トマシェフスキ	演劇「イルクーツク物語」	1967	オフセット、紙	103.0×71.4
15	P. ブラント	赤ちゃんまで? そう、赤ちゃんまで!	1969	オフセット、紙	69.7×103.0
16	スターフィッシュ プロダクション	私は忠誠を誓う	1970	オフセット、紙	103.0×72.8
17	J. ベイストーラ	黄色い花、葬列	1970	オフセット、紙	103.0×68.4
18	H. ヒルマン	映画「マルタの鷹」	1972	オフセット、紙 (オリジナルはシルクスクリーン印刷)	103.0×73.2
19	M. ヴァンダーバイル	モダン・モード社「スペース・パーティ」	1978	オフセット、紙 (オリジナルはシルクスクリーン印刷)	103.0×72.8
20	R. ギュスティ	スクール・オブ・ビジュアル・アーツ	1979	オフセット、紙	103.0×88.0
21	P. シェア	CBSレコード「ザ・ベスト・オブ・ジャズ」	1979	オフセット、紙	103.0×72.9
22	P. ブリュヴィラー	チューリッヒ美術展 1981	1981	オフセット、紙	103.0×72.5
23	H. エーデルマン	WDR フォーク・フェスティバル 1981	1981	オフセット、紙	103.0×72.8
24	G. ダンバー	展覧会「デ・ステイル」	1982	オフセット、紙	72.8×103.0
25	P. ランド	IBM	1982	オフセット、紙	103.0×68.7
26	W. シュヴィエジ	カウント・ベーシー	1985	オフセット、紙	103.0×71.9
27	U. レーシュ	演劇「汝、人の言うことを信ずべし」	1986	オフセット、紙 (オリジナルはシルクスクリーン印刷)	72.9×103.0
28	J. マリスカル	演劇「アマニタ・サーカス」	1986	オフセット、紙	103.0×68.8
29	N. スコロス	デルファックス社「デルファックス・フォント」	1987	オフセット、紙	103.0×72.8
30	M. グロフスキ	クラクフ 彫刻・グラフィック展	1988	オフセット、紙	70.7×103.0
31	I. ルビ	展覧会「モダ・イタリア」	1988	オフセット、紙	103.0×71.3
32	B. モングツィ	展覧会「オスカー・シュレンマー／イゴリ・ストラヴィンスキー」	1988	オフセット、紙	103.0×72.8
33	P. ポーチ	第2回ケチュケメート・アニメーション漫画映画祭	1988	オフセット、紙	103.0×72.2
34	L. マイエフスキ	第16回ザモシチ国際ジャズボーカリスト大会	1989	オフセット、紙	70.1×103.0
35	K. ビッポ	ラハチ・ポスター美術館1975-1990	1990	オフセット、紙	103.0×72.3

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

* 作品はすべて1995年に復刻されたものである。

十勝の新時代Ⅱ 岡沼淳一展

会期＝平成11年8月6日(金)－11月10日(水) 78日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

トークショー

「現代彫刻の地平から」

講師＝岡沼淳一氏(彫刻家)

日時＝9月11日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

図録

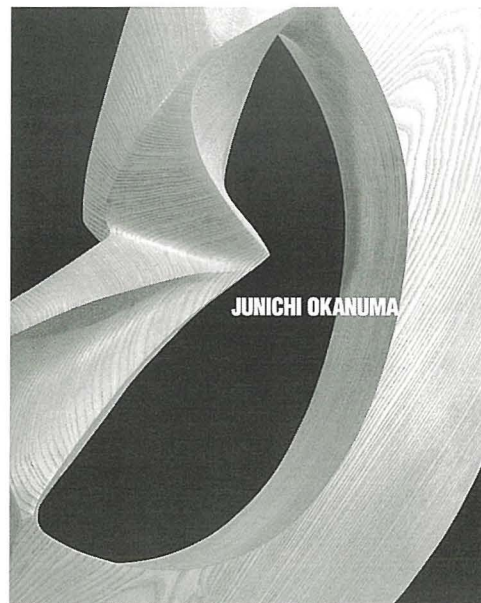
規格＝27.0×21.5cm／総頁数20ページ

構成＝ごあいさつ／鎌田享「張り詰めた弓の話」／作品図版／岡沼淳一略年譜／出品リスト

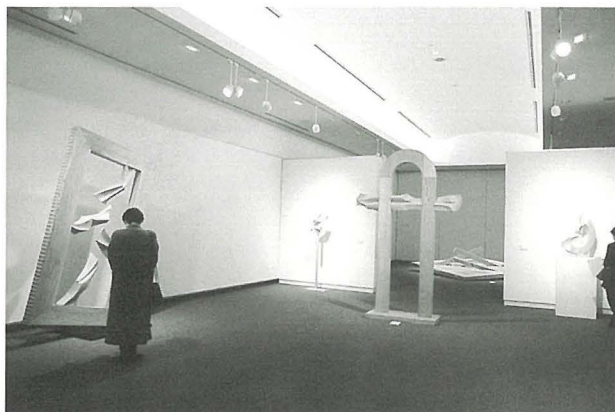
関連記事

小藤田勲「岡沼淳一展のことなど」北海道新聞／9月9日

吉田豪介「岡沼淳一展 埋もれ木と構成美」21Act 65号／平成11年10月



図録



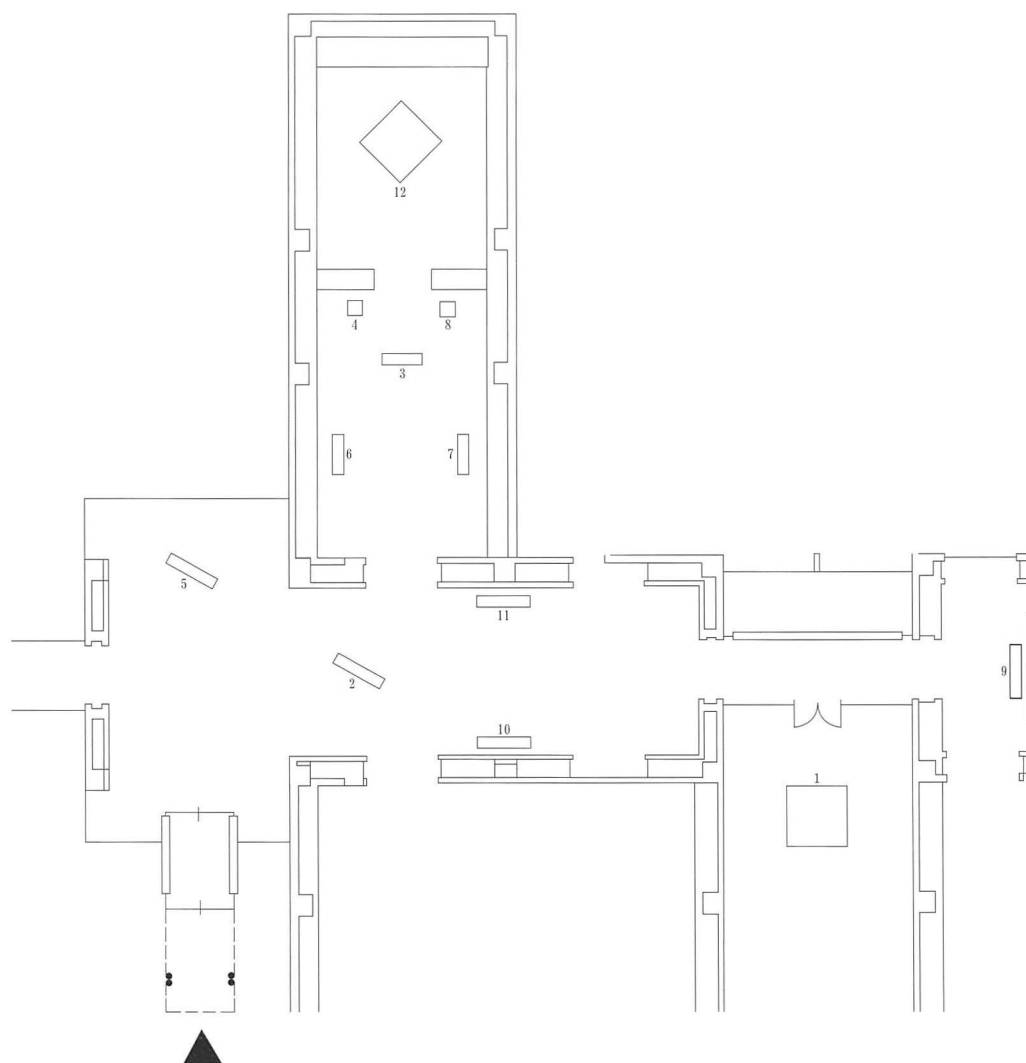
会場風景

「十勝の新時代」は、平成10年度より当館が新たに企画・開催しているシリーズ展である。現在、および今後の活躍が期待される十勝ゆかりの美術家に着目し、その制作活動の現況をコレクション・ギャラリーにおいて個展形式で紹介しようというものである。

シリーズ展の第2回目となる今回は、音更町在住の美術家・岡沼淳一の木彫作品を紹介した。1944年函館生まれの岡沼淳一は、北海道学芸大学函館分校(現・北海道教育大学函館校)で彫塑を学んだのち、十勝に移住、1970年代より本格的な制作活動を展開した。自由美術協会、全道美術協会の会員として活躍する一方、札幌、旭川など道内各地で開催されたグループ展で作品を発表している。ニレの埋もれ木を用いて制作されるその抽象彫刻は、硬質な材質感、均整のとれた構成美、空間を切り裂くような豊かな

存在感を特徴とし、緊張感と軽やかな動感に満ちた空間を作り出している。本展覧会では、高さ2m50cmを超える大型作品を中心に、1980年代後半の作品から最新作にいたる木彫作品12点を紹介し、近年の制作の軌跡をたどった。

作品の展示はコレクション・ギャラリー内のみにとどまらず、ホール、ロビーなど美術館の空間全体を活用して作品配置を行った。会期中のコレクション・ギャラリー入場者は6,587名にのぼり、地元を代表する彫刻家の本格的な個展ということもあり市民から高い関心を集めた。また、会期中関連事業として「トークショー」を開催し、作者自らの彫刻体験について語ってもらう一方、参加者を交えての活発な質疑がなされた。



展示図面

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	溯行	1986 (昭和61) / 铸造: 1991 (平成3)	ブロンズ	150.0×300.0×135.0	北海道立帯広美術館
2	MONSOON	1988 (昭和63)	埋もれ木 (ニレ)	44.3×185.0×190.0	北海道立帯広美術館
3	風の韻律	1988 (昭和63)	埋もれ木 (ニレ)	51.0×169.0×267.5	早来町
4	far away	1992 (平成4)	埋もれ木 (ニレ)	18.5×48.5×44.0	北海道立帯広美術館
5	森を見た日	1995 (平成7)	埋もれ木 (ニレ)	13.5×223.0×222.0	作者
6	冷たい空	1996 (平成8)	埋もれ木 (ニレ)	15.0×156.0×248.0	作者
7	WINTER	1996 (平成8)	埋もれ木 (ニレ)	11.5×173.5×245.0	作者
8	風花	1996 (平成8)	埋もれ木 (ニレ)	15.0×55.0×76.5	伏見知行氏
9	空模様	1997 (平成9)	埋もれ木 (ニレ)	14.0×145.5×266.0	作者
10	Metamorphose	1998 (平成10)	埋もれ木 (ニレ)	26.5×248.0×267.5	作者
11	SKY-HIGH	1999 (平成11)	埋もれ木 (ニレ)	11.0×256.0×299.0	作者
12	札内川早春	1999 (平成11)	埋もれ木 (ニレ)	298.5×298.5×90.0	作者

* 寸法は奥行×幅×高さ。

版画－技法と表現

会期＝平成11年11月19日(金)－3月29日(水) 96日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

一般に版画とは、版を使って紙に図柄を描く絵画のことをいう。その図柄が生み出されるしくみは、絵具の付くところと付かないところをどのように作り出すかによってさまざまである。彫ったり、描いたり、あるいは薬品や型紙などを使ったさまざまな技法が、長い歴史の中で生み出されてきた。中でも、木版画や銅版画、石版画のほか、シルクスクリーンなどの孔版画は基本的な技法としてよく知られている。美術家はそれぞれの技法の特性を生かし、さらに技術と工夫を重ね自らの表現に力を注いできた。

この展覧会では当館所蔵作品により、これら4つの分野の技法と表現との関わりを見つめながら、版画芸術の表現の広がりを紹介した。作品の展示は4つの技法ごとにまとめ、イラスト入りの解説パネルを掲示し印刷原理が理解できるよう配慮した。

なお、一部の作品については主展示室での展覧会出品のため、会期途中で入れ替えを行った。

前期：平成11年11月19日(金)～平成12年1月19日(水)

後期：平成12年1月28日(金)～3月29日(水)



会場風景

出品目録

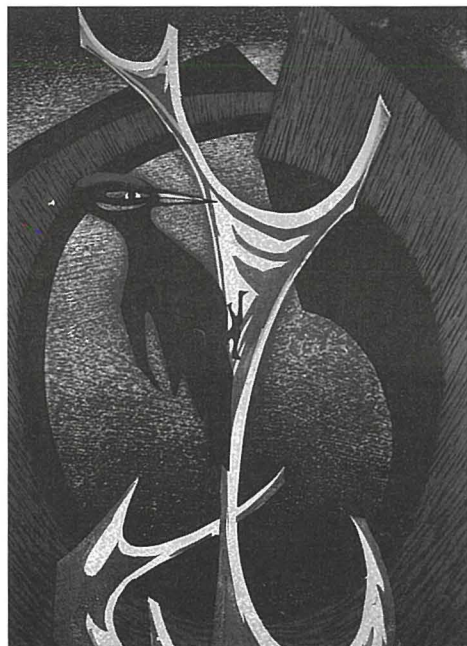
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	阿部貞夫	くまげらと摩周	1958 (昭和33)	紙、木版	37.9×27.0
2	北岡文雄	有楽町ガード下	1948 (昭和23)	紙、木版	35.5×45.0
3	北岡文雄	銀座の露店	1948 (昭和23)	紙、木版	35.6×45.2
4	手島圭三郎	人魚と破船	1971 (昭和46)	紙、木版	53.0×75.0
5	手島圭三郎	ふくろうと少女	1972 (昭和47)	紙、木版	75.0×53.0
6	手島圭三郎	病める老馬	1972 (昭和47)	紙、木版	75.0×53.0
7	手島圭三郎	しまふくろうとやどり木	1988 (昭和63)	紙、木版	53.0×75.0
8	中谷有逸	鳥の碑 (土)	1963 (昭和38)	紙、木版	79.0×54.7
9	中谷有逸	鳥の碑 (線)	1964 (昭和39)	紙、木版	79.1×54.8
10	中谷有逸	鳥の碑 (二)	1964 (昭和39)	紙、木版	79.0×54.7
11	渋谷栄一	楽園の子供達	1971 (昭和46)	紙、エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント (ルーレット、ハーフトーンコウム)	36.5×50.0
12	渋谷栄一	P A R I S D	1972 (昭和47)	紙、シュガーアクアチント	23.0×28.0
13	渋谷栄一	吟遊詩人 A	1975 (昭和50)	紙、エッチング、シュガーアクアチント	36.5×20.3
14	渋谷栄一	サーカスと白い馬	1977 (昭和52)	紙、エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント (ルーレット、ナイフ)	44.7×33.0
15	渋谷栄一	月明りのピエロ	1980 (昭和55)	紙、エッチング、シュガーアクアチント	36.4×20.2
16	渋谷栄一	サン・ポール B	1989 (平成元)	紙、エッチング	20.0×36.5
17	渋谷栄一	アンティーブ A	1989 (平成元)	紙、エッチング、シュガーアクアチント	22.0×36.5
18	多賀新	傍観者 (自画像)	1974 (昭和49)	紙、エッチング、アクアチント	24.0×21.3
19	多賀新	女と止揚	1974 (昭和49)	紙、エッチング、アクアチント、メゾチント	42.0×36.5
20	多賀新	飛来	1977 (昭和52)	紙、エッチング、アクアチント	48.0×36.5
21	多賀新	虚飾	1981 (昭和56)	紙、エッチング、アクアチント	36.5×24.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
22	多賀新	伝承	1988 (昭和63)	紙、エッチング、アクアチント	36.5×23.7
23	多賀新	静遼	1990 (平成2)	紙、エッチング	36.5×24.7
24	ヨハン・バルトルト・ヨンキント	オンフルール港の入り口	1863	紙、エッチング	22.1×30.5
25	ヨハン・バルトルト・ヨンキント	オランダの風車	1867	紙、エッチング	13.7×18.8
26	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現れた天使	1634	紙、エッチング	25.2×21.5
27	レンブラント・ファン・レイン	戸口の女	1641	紙、エッチング	9.2×6.0
28	レンブラント・ファン・レイン	エマオのキリスト	1654	紙、エッチング	20.9×15.7
29	増田誠	旧約聖書一紅海	1976 (昭和51)	紙、リトグラフ	33.0×24.3
30	増田誠	旧約聖書一十戒	1976 (昭和51)	紙、リトグラフ	33.0×24.3
31	増田誠	ギリシャ神話一トロイの馬	1976 (昭和51)	紙、リトグラフ	34.9×26.6
32	増田誠	ギリシャ神話一ヘラクレスとクレタの牡牛	1976 (昭和51)	紙、リトグラフ	34.9×26.6
33	ピエール・ボナール	「創作版画展」ヴォラール画廊	1896	紙、リトグラフ	64.5×47.0
34	ピエール・ボナール	美術雑誌「版画とポスター」	1897	紙、リトグラフ	83.0×61.0
35	レオネット・カビエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	紙、リトグラフ	152.4×112.8
36	ジュール・シェレ	スコットランドの王位	1871	紙、リトグラフ	70.5×49.0
37	ジュール・シェレ	ルーヴル百貨店一1897年新春大売出し	1896	紙、リトグラフ	119.5×82.0
38	V. ギイエ	ギョーム人形劇場一1900年パリ万国博覧会	1900	紙、リトグラフ	103.0×148.0
39	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	紙、リトグラフ	80.4×60.0
40	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	紙、リトグラフ	59.5×79.0
41	栗谷川健一	古代オリンピック塔	1959 (昭和34)	紙、シルクスクリーン	104.0×73.2
42	小谷博貞	風景	1951 (昭和26)	謄写版、紙	18.0×19.4
43	小谷博貞	窓	1951 (昭和26)	謄写版、紙	22.1×19.1
44	菅井汲	シグナルD	1976 (昭和51)	紙、シルクスクリーン	33.4×22.3
45	中谷有逸	レダ (71-2)	1971 (昭和46)	紙、シルクスクリーン	45.0×62.7
46	中谷有逸	三羽の鳥 (夜に飛ぶ)	1974 (昭和49)	紙、シルクスクリーン	50.2×34.7
47	難波田龍起	無題	1951 (昭和26)頃	謄写版、紙	32.5×21.9
48	矢柳剛	不安な夜	1972 (昭和47)	紙、シルクスクリーン	53.0×64.5
49	矢柳剛	最後の晚餐	1988 (昭和63)	紙、シルクスクリーン	51.1×72.8

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

* 出品作品のうち、No. 33、34、36、39、40は平成11年11月19日から平成12年1月19日まで、No. 16、17、35、37、38は平成12年1月28日から3月29日まで展示。



阿部貞夫「くまげらと摩周」



ボナール「美術雑誌『版画とポスター』」

物語と幻想のイマジネーション

会期＝平成12年 4月11日(火)－ 8月9日(水) 97日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

神話や伝説、あるいは神秘的な自然の姿は、美術家たちの発想の源泉となってきた。それは例えば、現実の世界を超越する聖なるもののイメージ、子どもや詩人たちが抱くファンタジー、あるいは人間の意識の奥深くに潜む夢といった精神世界のさまざまな位相と結びつき、多彩な作品へと結実していった。

本展は、これら目には見えない精神世界を視覚化した作品を、当館所蔵品の中から選び出し紹介したものである。会場には、聖書の物語に取材した増田誠や伝奇的な画風によって人間の生の奥深くを描出する多賀新ら北海道を代表する版画家たちの作品をはじめ、動物たちをモチーフに夢幻的な世界を描く市成太煌の日本画、幼少時の記憶に残る風景をもとに故郷への追憶を描いた福井正治の油彩画などを展示。人間のもつ豊かなイマジネーション(想像力)が生みだした造形世界の数々を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	市成太煌	鴉の詩 1	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
2	市成太煌	鴉の詩 2	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
3	市成太煌	鴉の詩 3	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
4	渋谷栄一	吟遊詩人 A	1975 (昭和50)	エッチング、シュガーアクリル、紙	36.5×20.3
5	渋谷栄一	人形の館 B	1980 (昭和55)	エッチング、シュガーアクリル、ドライポイント(ルーレット)、紙	49.7×36.5
6	渋谷栄一	月明りのピエロ	1980 (昭和55)	エッチング、シュガーアクリル、紙	36.4×20.2
7	渋谷栄一	楽園の調べ C	1981 (昭和56)	エッチング、シュガーアクリル、紙	49.8×36.5
8	多賀 新	飛来	1977 (昭和52)	エッチング、アクリル、紙	48.0×36.5
9	多賀 新	三界	1977 (昭和52)	エッチング、紙	36.5×21.5
10	多賀 新	伝承	1988 (昭和63)	エッチング、アクリル、紙	36.5×23.7
11	多賀 新	静遼	1990 (平成2)	エッチング、紙	36.5×24.7
12	手島圭三郎	人魚と破船	1971 (昭和46)	木版、紙	53.0×75.0
13	手島圭三郎	病める老馬	1972 (昭和47)	木版、紙	75.0×53.0
14	手島圭三郎	ふくろうと少女	1972 (昭和47)	木版、紙	75.0×53.0
15	福井正治	北方村落A	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	162.5×162.5
16	増田 誠	旧約聖書－バベルの塔	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.0×24.3
17	増田 誠	旧約聖書－紅海	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.5
18	増田 誠	旧約聖書－金の子牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.5
19	増田 誠	旧約聖書－十戒	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.0×24.3
20	増田 誠	旧約聖書－ダビデ王	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.8×24.6
21	増田 誠	ギリシャ神話－トロイの馬	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.5×24.9
22	増田 誠	ギリシャ神話－ヘラクレスとクレタの牡牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.0
23	森 健二	光年の導「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
24	矢柳 剛	飛んだえんぴつ－窓の氷	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
25	矢柳 剛	飛んだえんぴつ－星	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
26	矢柳 剛	飛んだえんぴつ－バレンタインデー	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
27	矢柳 剛	飛んだえんぴつ－飛んだえんぴつ	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
28	六郎田天鈴	春曉崇座献「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」	1988 (昭和63)	紙本彩色	180.0×510.0

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

十勝の新時代Ⅲ 伽井丹彌展

会期＝平成12年 8 月18日(金)－11月29日(水) 82日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

アート・パフォーマンス

「人形遊戯」

出演＝伽井丹彌氏(造形作家・舞踊家)

日時＝10月21日(土) 午後3時～4時

会場＝当館コレクション・ギャラリー

図録

規格＝27.0×21.5cm／総頁数20ページ

構成＝あいさつ／鎌田享「ひとがた虚ろな人形・鏡としての人形」／作品
図版／伽井丹彌略年譜／出品リスト

関連記事

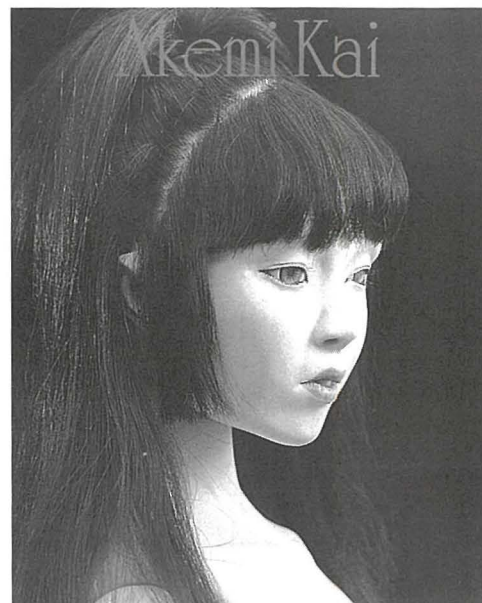
岡沼淳一「伽井丹彌のピグマリオンの情念について」十勝毎日新聞／9月15日

岩淵啓介「自分さがしの道しるべ」北海道新聞／9月18日

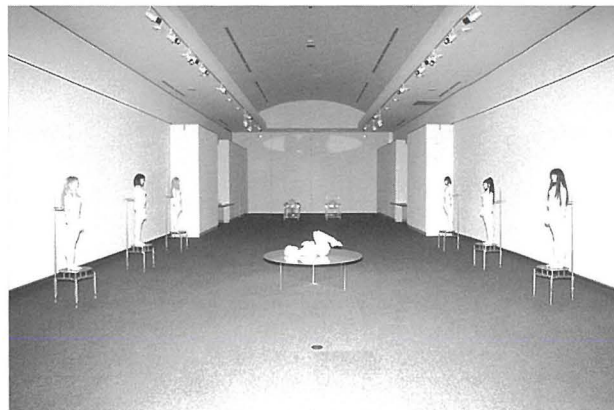
吉崎元章「伽井丹彌 生々しい女の気配」展評5号／平成12年10月

鎌田享「『たましい』と『もの』の交差」DOLL FORUM JAPAN27号／平成12年12月

伽井丹彌「『人』と『もの』の間に存在するもの一近況から」美術ペン102号／平成12年12月



図録



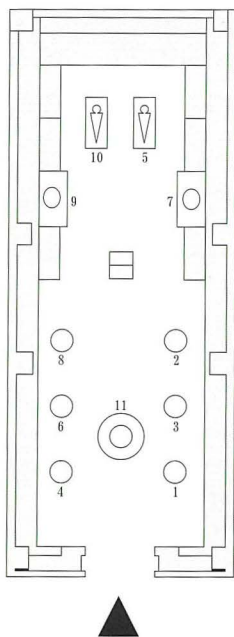
会場風景

本展覧会は、現在、および今後の活躍が期待される十勝ゆかりの美術家を個展形式で取り上げるシリーズ企画「十勝の新時代」の第3回展である。今回は、帯広市在住の造形作家・伽井丹彌の創作人形を紹介した。

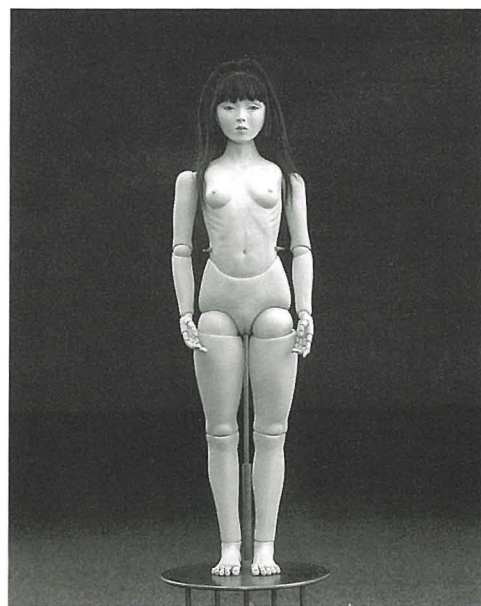
帯広生まれの伽井丹彌は、日本を代表する人形作家・四谷シモンに短期間師事したのち積極的な作品制作を展開、また舞踊家としても活動を続けている。その作品は球状の関節構造によって人体の動きを再現した高さ1mを超える大型の創作人形である。確固とした存在感や精巧な構造を示す一方で、人形特有とも言える豊かな象徴性や生命感、そしてエロティシズムをはらみ、従来の彫刻や工芸の枠ではとらえきれない独自の造形性を現出している。今回の展覧会では1990年に制作された『人形譚－紅－』から最新作まで11作品を紹介した。作品展示にあたっては、正面性の強い

作品配置やスポットライトを多用した照明によって象徴性の高い展示空間を現出し、作品が内包する特異な存在感を一層引き立たせるよう演出した。

地元作家の個展であること、また「人形」というあまり美術館では取り上げない造形作品の展覧会であったことなどから幅広い層からの関心を集め、会期中の入場者は7,737名という多数を数える一方、新聞・雑誌など多方面で紹介された。また作者自身が人形制作と並行して舞踊家としても活動を続けていることに鑑み、会期中の10月21日(土)、会場内で関連事業として「アート・パフォーマンス」と題した舞踊公演を実施。舞踊、映像、そして展示中の人形作品が一体となったその公演は、189名にのぼる入場者を集め好評を得た。



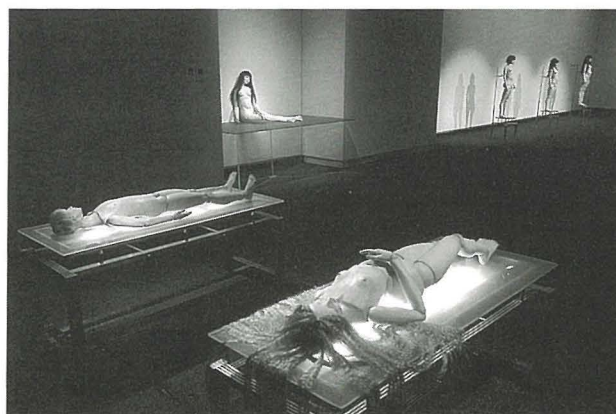
展示図面



「人形譚 ー鎖骨ー」

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	人形譚ー紅ー	1990 (平成2)	桐塑、アクリリック、ガラス	丈120.0	作者
2	人形譚ー銀目ー	1992 (平成4)	桐塑、アクリリック、ガラス	丈116.1	作者
3	人形譚ー鎖骨ー	1993 (平成5)	桐塑、アクリリック、ガラス、人毛	丈112.0	作者
4	人形譚ー血管ー	1996 (平成8)	桐塑、アクリリック、ガラス	丈110.5	北海道立帯広美術館
5	鏡ー親指ー	1998 (平成10)	桐塑、アクリリック、ガラス	丈117.1	作者
6	鏡ー羊水ー	1999 (平成11)	桐塑、油彩、ガラス、人毛	丈116.5	作者
7	鏡ー乳房ー	1999 (平成11)	ホットメルト、アクリリック、ガラス	丈116.3/展示サイズd60.7×w87.5×h64.4	作者
8	鏡ー陰毛ー	2000 (平成12)	桐塑、ホットメルト、アクリリック、ガラス	丈116.8	作者
9	鏡ー爪ー	2000 (平成12)	桐塑、ホットメルト、アクリリック、ガラス、人毛	展示サイズd64.5×w44.4×h58.0	作者
10	鏡ー髪ー	2000 (平成12)	桐塑、ホットメルト、アクリリック、ガラス、人毛	丈113.3	作者
11	まるいもの	2000 (平成12)	桐塑、アクリリック、ガラス	丈112.4/展示サイズd34.1×w80.5×h35.8	作者



会場風景

道東の美術家たち

会期＝平成12年12月8日(金)－平成13年3月28日(水)
79日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

道東地域に本格的な美術の歩みが見られるようになるのは昭和期に入ってからのことである。以後多くの美術家たちがこの地から生まれ、道内外で多彩な制作活動を繰り広げてきた。彼らは、この地域特有の厳しくも豊かな自然やそでの人間の営みをテーマにした作品、あるいは国内外の美術動向を反映した作品など、さまざまな美術表現を試みている。

本展では、こうした道東ゆかりの作家たちの作品を紹介した。出品作は、緑豊かな十勝の景色を清新なタッチで描いた能勢眞美、農民としての生活を背景に独自のリアリズム世界を築いた神田日勝、重厚な色彩と画肌を特徴とする特異な抽象絵画を制作した寺島春雄ら、美術家12名の20点で構成。個性豊かな美術家たちが生み出した油彩画・版画・彫刻作品によって、多彩な様相を見せる道東地域の美術の一端を振り返り、改めて見つめ直す展覧会となった。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	伊藤隆二	池のほとり	1931 (昭和6)	油彩、キャンバス	72.8×91.0
2	伊藤隆二	初秋	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	80.7×116.8
3	岡沼淳一	潮行	1986 (昭和61)	ブロンズ	150.0×300.0×135.0 (中庭展示)
4	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
5	神田日勝	画室D	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	163.3×183.0
6	神田日勝	画室E	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	163.0×183.0
7	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
8	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990 (平成2)	木版、紙	53.0×75.0
9	寺島春雄	深淵の声	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.7×162.5
10	寺島春雄	赤の狂宴	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	130.6×162.5
11	富谷道信	マントル対流	1976 (昭和51)	鉄	40.0×40.0×230.0 (ホール展示)
12	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
13	中江紀洋	HAHA (折り)	1994 (平成6)	スプルース、金属	91.5×107.0×156.0
14	長尾栄三	樹苑の秋	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	130.3×162.2
15	長尾栄三	晩秋の高原	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
16	楢原武正	日の出	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	165.0×132.5
17	楢原武正	子供	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	135.0×110.0
18	能勢眞美	初秋池畔	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	96.5×106.0
19	能勢眞美	木々	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	162.1×130.3
20	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5

* 寸法は平面作品は縦×横、立体作品は奥行×幅×高さ。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

平成11年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	魅惑のガラス芸術 アール・ヌーヴォーから現代まで	4月9日(金)～ 5月12日(水)	29	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立近代美術館
2	ヨーロッパの華麗な女性美展 16世紀-19世紀 近世絵画の流れ	5月21日(金)～ 6月23日(水)	29	主催／北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、華麗な女性美展実行委員会 後援／十勝町村会、十勝教育局、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中学校長会、帯広市町内会連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA
3	英国のアール・ヌーヴォー リバティ・スタイル展	8月6日(金)～ 9月15日(水)	35	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、リバティ・スタイル展実行委員会、(社)国際芸術文化振興会 後援／外務省、文化庁、英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル 協賛／LIBERTY PLC、株式会社リバティジャパン 協力／全日本空輸株式会社、興亜火災海上保険株式会社
4	ピカソ、ブラック、ボナール、ルオー、ベン・シャーン… 20世紀静物画の展開	9月22日(水)～ 11月10日(水)	43	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、読売新聞社、美術館連絡協議会、フィリップス・コレクション 後援／外務省、文化庁、アメリカ大使館 協賛／花王株式会社、東京海上火災保険株式会社 協力／全日本空輸株式会社
5	帯広美術館コレクション選集 バルビゾン派／道東の美術	11月19日(金)～ 1月19日(水)	44	主催／北海道立帯広美術館
6	ロートレック、ミュシャ、カッサンドルとその時代 永遠のポスター芸術	1月28日(金)～ 3月29日(水)	52	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社

平成12年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	試される大地北海道 美術館紀行 フランス美術名品選	4月11日(火)～ 6月14日(水)	56	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社、NHK 帯広放送局
2	マシーン・エイジ 機械時代 1920s-1930s グラフィック・デザインのモダニズ ム	6月23日(金)～ 8月9日(水)	41	主催／北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社 後援／アメリカ大使館 協力／日本航空
3	日蘭交流400周年 17世紀オランダの巨匠 光と影——レンブラント版画展	8月18日(金)～ 9月27日(水)	35	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社、レンブ ラント版画展実行委員会 後援／オランダ大使館 協賛／東京海上 協力／KLMオランダ航空
4	北海道美術の20世紀Ⅱ 美術はなにを記録してきたか	10月6日(金)～ 11月29日(水)	47	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、(財) 北方文化教育振興財団、NHK帯広放送局
5	国境を越えるアート 東欧絵本の世界展	12月8日(金)～ 1月24日(水)	33	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委 員会、十勝毎日新聞社、東欧絵本の世界展実 行委員会 後援／国際交流基金、日本国際児童図書評議会、十 勝町村会、十勝教育局、十勝管内各町村教育 委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議 会、NPO十勝文化会議、北海道高等学校長 協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市町内 会連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、と かちカルチャーネット、NHK帯広放送局、 HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UH B帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティー ケーブル、FM-JAGA 特別協力／ボーエム・プレス(チューリッヒ) 協力／講談社、エールフランス航空、カトーレック 株式会社、チェスキー・ケー、北海道書店商 業組合十勝支部 企画協力／株式会社エム・エ・エム
6	帯広美術館コレクション選集 今日のプリントアート	2月2日(金)～ 3月28日(水)	46	主催／北海道立帯広美術館

魅惑のガラス芸術 アール・ヌーヴォーから現代まで

会期＝平成11年4月9日(金)－5月12日(水) 29日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立近代美術館

観覧料＝一般830(670)円、高大生510(410)円、小中生300(250)円

心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「ガラスの不思議とその魅力」

講師＝米原眞司氏(ガラス造形作家)

日時＝4月17日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「ガラス芸術の世界」

講師＝平 利弘(当館学芸員)

日時＝4月24日(土)、5月8日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

図録

規格＝20.9×15.3cm／総頁数80ページ

構成＝ごあいさつ／水田順子「アール・ヌーヴォーの時代」

／水田順子「アール・デコの時代」／苦名真「現代」

／作品図版／出品リスト／作品解説／技法解説

関連記事

長谷川吉廣、鎌田享、平利弘、寺嶋弘道「魅惑のきらめき・ガラスコレクションの粋を集めて①～⑤」十勝毎日新聞／4月15日～21日

鎌田享、平利弘「魅惑のガラス芸術・光と色の幻想世界①～④」北海道新聞／4月27日～5月1日



ポスター



図録

紀元前の昔からガラスのもつ美しさは、人々を魅了してきた。その長い歴史の中で育まれた多種多様なガラス造形には、多くの偉大な芸術家の感性とガラスへの深い愛情が込められている。この展覧会は、800点を越える豊富なガラス・コレクションで知られる北海道立近代美術館の所蔵品から160点を精選し、ガラス芸術の華麗な世界を紹介したものである。帯広美術館としても初のガラス工芸品展であった。

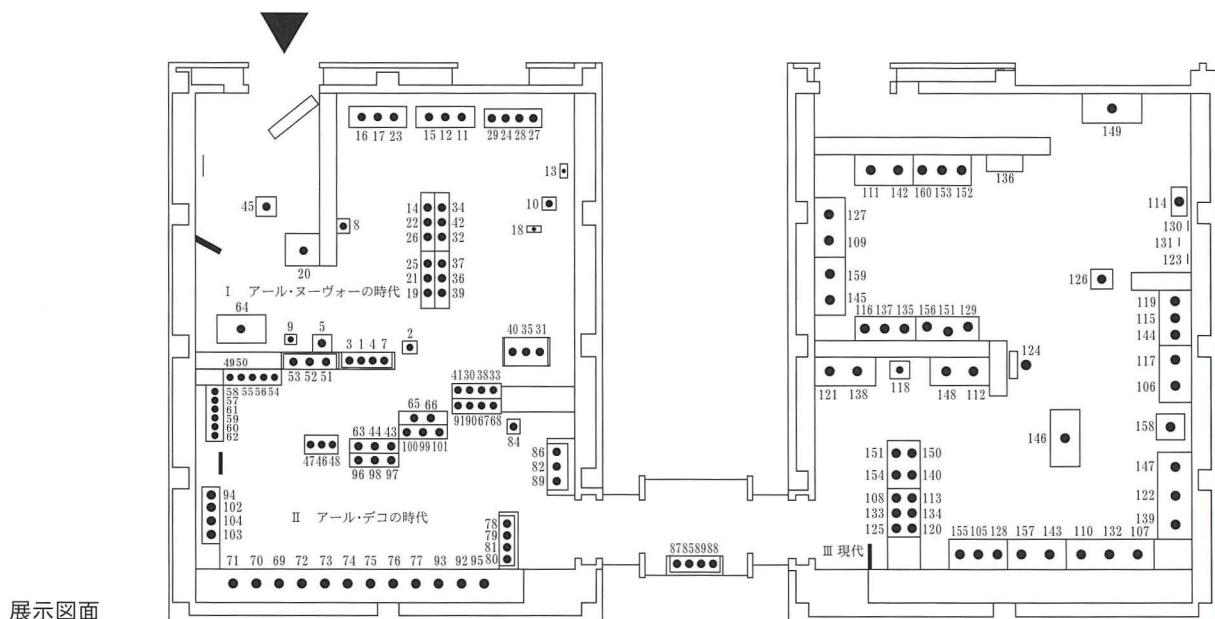
展示内容は「Ⅰアール・ヌーヴォーの時代」「Ⅱアール・デコの時代」「Ⅲ現代」の3部構成で、時代と地域を代表する優品が一堂に並ぶ展観となった。

主展示室1には、エミール・ガレをはじめドーム、ティファニーらが注目を集め優雅な装飾性で華やかな展開を見せたアール・ヌーヴォーの時代から、それに続きラリックなどが活躍し、直線的で簡潔なスタイルを示したアール・デコの時代までの104点を展示。ほの暗い中スポットライトに作品が浮かび上がる幻想的な展示空間が演出された。とりわけティファニーの大作《ラン

プ・きばなふじ》は近代美術館の開館20周年記念収集作品で、今回初めて館外での移動展示が実現、ガレの代表作「ガラス工場風景文花器」とともに展示室の入口を飾る大作は大きな話題を集めた。

主展示室2には、1980年代以降の現代ガラス作品56点が開放的な明るい空間の中に配置された。工芸の枠にとらわれない自由な造形によってガラスのまったく新しいイメージを提示するそれらの作品は、光と色が織りなすガラスの美しさと素材のもつ多様な可能性を示すものであった。

さまざまな加工や加飾の技術を用いて制作された作品からは、芸術家たちがいかにしてガラスという素材と向き合い、いかにしてそれを豊かな造形作品として昇華してきたのかがうかがえ、100年の歴史を物語る意義多い展覧会となった。年度当初のゴールデンウィークをはさむ日程に6,404人の観覧者が来場、好評のうちに閉幕した。



展示図面



会場風景

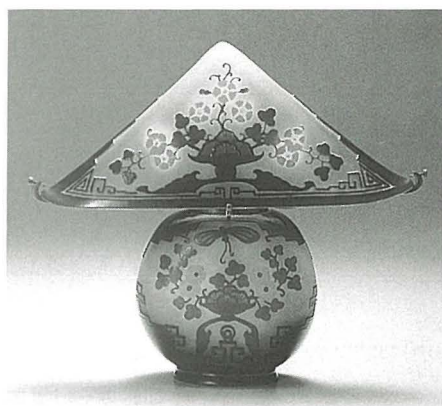


会場風景

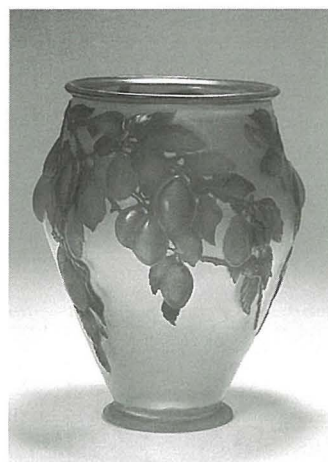
出品目録

I アール・ヌーヴォーの時代

No.	作家・工房名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	竹筒形花器	1880頃	型吹き、金属酸化物による斑文、金箔封入	5.0×18.8
2	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	菊文鉢	1880代	金属酸化物による斑文、エッチング、金箔封入	20.2×31.0×13.6
3	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	松に美人図花器	1885頃	型吹き、エナメル彩	10.0×18.0×26.7
4	エルネスト・パティスト・レヴェイエ	斑文双耳花器	1885頃	型吹き、金属酸化物による斑文、金箔、銀箔封入、アイス・グラス、型押し	8.2×16.1×20.5
5	エスカリエ・ド・クリスタル	ゲンゴロウ文花器	1870代	型吹き、エングレーヴィング、エナメル彩	14.5×50.0
6	オーギュスト・ジャン	帯文花器	1880頃	宙吹き、金彩、エナメル彩	18.0×18.9
7	ブルグン・シュヴェーラー工房	鳥に葉文手付瓶	19世紀後半	型吹き、金彩、エナメル彩	11.0×24.0
8	ブルグン・シュヴェーラー工房	人物文双耳花器	19世紀後半	型吹き、金属酸化物による斑文、エナメル彩、金彩、エッチング	9.0×22.0
9	エミール・ガレ	虫文花器	1889	被せガラス、型吹き、エングレーヴィング	8.5×11.0
10	エミール・ガレ	貝殻湖水文花器	1889頃	型吹き、エナメル彩	14.6×18.4
11	エミール・ガレ	あざみ文リキュールセット	1880代	宙吹き、型吹き、金彩、エナメル彩	瓶 7.8×10.1×22.6 グラス 各 4.5×9.3 皿 31.2×4.6
12	エミール・ガレ	昆虫文双耳花器	1880代	金彩、エナメル彩、金箔貼付	12.8×22.7
13	エミール・ガレ	カマキリ文皿	1880代	宙吹き、金彩、エナメル彩	11.7×6.8×3.7
14	エミール・ガレ	アザミ文花器	1890頃	エナメル彩、カボション	6.0×17.0
15	エミール・ガレ	浜木綿文花器	1900頃	型吹き、エッチング、金彩、エナメル彩	9.5×31.0
16	エミール・ガレ	蓮文花器	1897-98頃	被せガラス、型吹き、金属酸化物による斑文、エッチング、エングレーヴィング	12.7×32.0
17	エミール・ガレ	雪中竹に鷹文花器	1897-1900頃	被せガラス、型吹き、エッチング、エナメル彩	12.0×15.3×31.5
18	エミール・ガレ	シクラメン文碗	1898-1900頃	被せガラス、型吹き、マルケトリー、エングレーヴィング	9.9×10.9
19	エミール・ガレ	百合文香水瓶	1890代	被せガラス、宙吹き、エッチング、エングレーヴィング	10.5×13.3
20	エミール・ガレ	ガラス工場風景文花器	1900	被せガラス、型吹き、金属箔封入、エッチング、エングレーヴィング	44.5×63.0
21	エミール・ガレ	カトレア文花器	1900頃	被せガラス、型吹き、金属箔封入、エッチング、エングレーヴィング	12.0×12.0
22	エミール・ガレ	蜂文花器	1900頃	型吹き、金彩、エッチング、エナメル彩	10.8×24.7
23	エミール・ガレ	紫陽花文花器	1900頃	被せガラス、型吹き、エッチング	11.4×29.0
24	エミール・ガレ	花に蝶文ランプ	1900頃	被せガラス、型吹き、エッチング	8.8×30.5×25.7
25	エミール・ガレ	花文香水瓶	1900頃	被せガラス、エッチング、グラヴェール	6.5×11.0
26	エミール・ガレ	南瓜文蓋物	1900頃	型吹き、エッチング、金彩、エナメル彩	8.9×14.9×13.4
27	ガレ工房	湖水風景文花器	1904-14頃	被せガラス、型吹き、エッチング	21.0×51.0
28	ガレ工房	風景文舟形花器	1918-31頃	被せガラス、エッチング	7.0×18.0×13.5
29	ガレ工房	プラム文花器	1925-30頃	被せガラス、型吹き、エッチング	27.2×32.5
30	ドーム	鈴蘭文リキュール入れ	1890	エッチング、金彩、銀彩	6.3×12.5×12.2
31	ドーム	あざみ文花器	1890頃	エッチング、金彩、真鍮	11.0×21.0
32	ドーム	ロレーヌ十字文グラス	1893頃	型吹き、エッチング、金彩、エナメル彩	9.5×10.5
33	ドーム	鷺に睡蓮文三耳花器	1894頃	型吹き、エッチング、金彩、エナメル彩	12.5×16.0
34	ドーム	銀台付ヤドリギ文コンポート	1894頃	型吹き、エッチング、金彩、銀の透彫の台	14.0×14.5×8.5
35	ドーム	落葉文ランプ	1890代	被せガラス、斑文装飾、エッチング、エナメル彩	23.5×48.0
36	ドーム	草の実文花器	1900頃	被せガラス、斑文装飾、型吹き、エッチング、エナメル彩	9.5×35.0
37	ドーム	雪に樹木文花器	1900-07頃	型吹き、斑文装飾、エッチング、エナメル彩	8.0×11.5×23.5
38	ドーム	銀手さげ付花文クッキー入れ	19世紀末	エッチング、金彩、エナメル彩	12.7×18.0
39	ドーム	クロッカス文花器	1904-14頃	被せガラス、型吹き、エングレーヴィング、斑文装飾、アブリケ、エッチング	12.3×30.2
40	ドーム	マロニエ文花器	1907-10頃	被せガラス、型吹き、エナメル彩、斑文装飾、エッチング	15.0×36.5
41	ドーム	スミレ文ボンボン入れ	1910	エッチング、エナメル彩	10.3×5.7
42	ドーム	孔雀文花器	1914頃	被せガラス、アブリケ、エッチング、エナメル彩	12.5×18.5
43	ルグラ工房	花文三耳花器	1900	斑文装飾、金彩、エナメル彩	10.0×17.5



ガレ「花に蝶文ランプ」

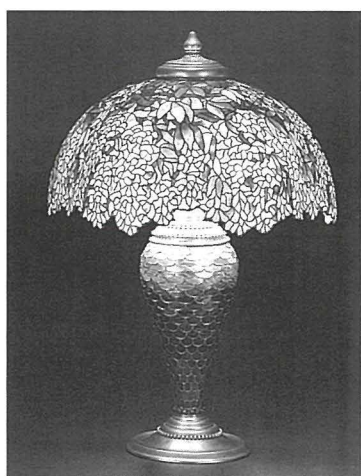


ガレ工房「プラム文花器」

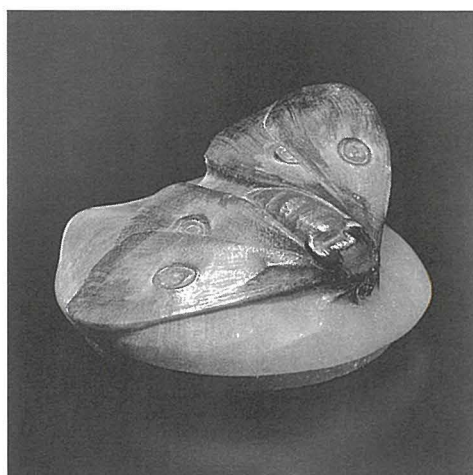
No.	作家・工房名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
44	ルグラ工房	ヤドリギ文花器	20世紀初期	金彩	12.5×11.5
45	不詳	シクラメン形花器	1890代	宙吹き	27.0×40.3×48.5
46	ヴェネツィアの工房	コンボート	1890-1900頃	被せガラス、型吹き	20.0×16.0
47	ヴェネツィアの工房	ワイングラス	19世紀末	エナメル彩	8.1×17.8
48	ヴェネツィアの工房	ティーカップ	19世紀末	レース・グラス	カップ 6.5×7.8×6.0 皿 12.0×2.0
49	ボヘミアの工房	シャンペングラス	19世紀末	エナメル彩	11.0×14.0
50	ボヘミアの工房	杯	19世紀後半	金彩、エナメル彩	5.9×5.3
51	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	おだまき形花器	1900頃	虹彩ガラス、宙吹き	21.5×39.5
52	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	波状文花器	1900頃	虹彩ガラス、型吹き	12.0×25.5
53	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	花文花器	1900-10頃	虹彩ガラス、型吹き、エナメル彩、金属の台	9.5×16.0
54	ルートヴィヒ・モーゼル工房	デカンタ	1900頃	被せガラス、型吹き、カット、エングレーヴィング	8.5×17.5×20.5
55	ルートヴィヒ・モーゼル工房	カップ	19世紀末	被せガラス、型吹き、金彩	5.7×9.3
56	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ティーカップ	19世紀後半	被せガラス、型吹き、エナメル彩、金彩	カップ 9.0×11.0×7.1 皿 14.5×2.5
57	オーストリアの工房	ティーカップ	19世紀末	金彩、銀彩	カップ 9.4×11.5×5.9 皿 13.7×2.0
58	オーストリアの工房	ティーカップ	19世紀末	型吹き、エナメル彩、金彩、銀彩	カップ 7.1×9.1×5.3 皿 13.0×1.9
59	オーストリアの工房	ワイングラス	19世紀末	金彩、エナメル彩	6.5×17.6
60	オーストリアの工房	ワイングラス	19世紀末	金彩、エナメル彩	10.5×23.5
61	オーストリアの工房	デザート・ボウル	19世紀末	型吹き、カット、エングレーヴィング、金彩、エナメル彩	ボウル 11.9×6.3 皿 17.7×1.7
62	J. & L. ロブマイヤー	ワイングラス	19世紀末	金彩、エナメル彩	8.5×17.0
63	ヴェルテンベルク金属製品工場	つぼみ形花器	1926頃	虹彩ガラス、型吹き	16.0×15.5
64	ルイ・コムフォート・ティファニ	ランプ・きばなふじ	1900-10頃	ブロンズ	径 56.0
65	ルイ・コムフォート・ティファニ	ランプ	1910-20頃	虹彩ガラス、型吹き	20.4×39.5
66	ルイ・コムフォート・ティファニ	つる草文花器	1918頃	虹彩ガラス、型吹き、象嵌、エングレーヴィング	17.8×34.7

II アール・デコの時代

No.	作家・工房名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
67	ドーム	蝶文蓋	1910頃	パート・ド・ヴェール	10.5×5.5
68	ドーム	昆虫文蓋物	1910頃	パート・ド・ヴェール	13.2×8.1
69	ドームとルイ・マジョレル	鉄粹吹込花器	1922頃	斑文装飾、金属箔封入、鉄粹吹込み	27.5×26.0
70	ドーム	樹木文花器	1935	型吹き、エッチング	27.0×27.0
71	ドーム	花器	1930代	エッチング	34.2×34.3
72	ミュレル兄弟	ランプ	1920頃	斑文装飾、宙吹き、鉄	13.0×42.0×53.0
73	ミュレル兄弟	鉄粹付コンボート	1920代	斑文装飾、型吹き、鉄	30.0×42.0×22.0
74	ミュレル兄弟	花文花器	1920代末	被せガラス、銀箔封入、型吹き、エッチング	21.0×41.0
75	シュネデル工房	花文花器	1924-25頃	斑文装飾、型吹き、アブリケ、エングレーヴィング	13.5×36.0
76	シュネデル工房	波に風車文花器	1928	斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング	26.0×59.0
77	シュネデル工房	花文水差	1920代	被せガラス、エッチング	20.0×32.1
78	アンドレ・ドラット	鉄粹吹込花器	1925頃	斑文装飾、鉄粹吹込み	13.0×34.5
79	アンドレ・ドラット	人物文花器	1920代	被せガラス、型吹き、エッチング、エナメル彩	19.5×31.0
80	ドラット工房	花文デカンタ	1920代	エッチング	10.9×31.2
81	ドラット工房	葉文花器	1921	被せガラス、エッチング	10.5×17.5
82	ルネ・ラリック	花器・バット	型：1913	型吹き、ステイニング	26.5×28.0
83	ルネ・ラリック	花器・蛇	型：1924	型吹き	25.8×25.0



ティファニ「ランプ・きばなふじ」

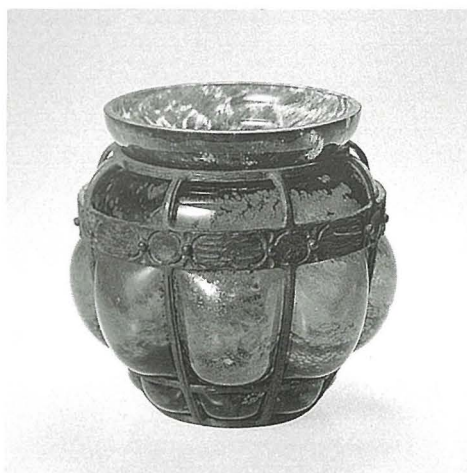


ドーム「蝶文蓋」

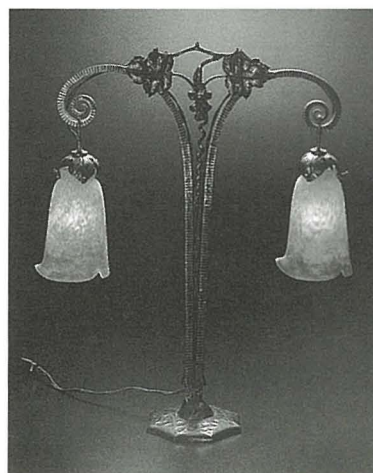
No.	作家・工房名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
84	ルネ・ラリック	タイス	型：1925	型押し	5.5×19.0×21.5
85	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・5頭の馬	型：1925	型押し	6.7×15.2×13.1
86	ルネ・ラリック	花器・パッカスの巫女	型：1927	型押し	21.0×24.9
87	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・孔雀の頭	型：1928	型押し	9.8×14.0×20.2
88	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・とんぼ	型：1928	型押し	6.6×20.0×20.8
89	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・勝利	型：1928	型押し	11.7×25.0×19.3
90	アマリック・ヴァルテール	置時計	1915頃	パート・ド・ヴェール	10.7×13.5
91	アマリック・ヴァルテール	置物・青い鳥	1920代	パート・ド・ヴェール	7.2×4.7×11.8
92	マリウス=エルネスト・サビノ	アネモネ文花器	1920-25頃	型吹き	23.0×18.8
93	マリウス=エルネスト・サビノ	うにに昆布文皿	1920代	型押し、ステイニング	30.0×7.2
94	フランソワ=エミール・デコルシュモン	双耳鉢	1927	パート・ド・ヴェール	12.5×16.0×9.5
95	モーリス・マリノ	人物文扁壺	1920代	型吹き、エナメル彩	9.0×19.8×23.1
96	ガブリエル・アルジィ=ルソー	あざみ文皿	1910代	パート・ド・ヴェール	18.0×2.0
97	ガブリエル・アルジィ=ルソー	あざみ文鉢	1922	パート・ド・ヴェール	12.0×9.6
98	ガブリエル・アルジィ=ルソー	ばら文花器	1922	パート・ド・ヴェール	16.0×22.0
99	ガブリエル・アルジィ=ルソー	木の葉文蓋物	1925-30頃	パート・ド・ヴェール	9.5×8.0
100	ガブリエル・アルジィ=ルソー	花文ランプ	1920代	パート・ド・ヴェール、鉄	12.0×35.0
101	ガブリエル・アルジィ=ルソー	花文鉢	1930	パート・ド・ヴェール	12.0×9.9
102	アリスティド=ミシェル・コロット	花器	1940頃	型吹き、カット、エッチング	22.5×21.0
103	アンドレ・デュレ	花器	1935-40頃	被せガラス、型吹き	13.7×18.2
104	アンドレ・デュレ	香水瓶	1950-55頃	被せガラス、宙吹き	10.0×16.2

Ⅲ 現 代

No.	作家・工房名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
105	アン・ヴォルフ	スープの王様がいない	1980	被せガラス、エッチング、サンドブラスト	45.0×40.0
106	ハーヴィー K. リトルトン	向かい合う放物線の形	1981	被せガラス、カット	45.0×11.0×28.5
107	カール R. ベルク	無題	1982	カット	9.5×42.5×24.5
108	ウィリアム・カールソン	プレグナンツ(含蓄)・シリーズ	1982	鋳造、合せガラス	43.0×23.0
109	ジェイ・マスラー	街景	1982	カット、サンドブラスト、彩色	14.0×24.0×36.0
110	ヴィリ・ピストル	オブジェⅡ1982年	1982	溶融カット技法、エッチング	45.0×20.0
111	菅澤利雄	「本のシリーズ」より「禁書」	1982	鋳造、カット、クラック	23.0×23.0×9.0
112	ヤン・ゾリチャック	宇宙からの使者V	1984	鋳造、カット、クラック	27.5×21.0×8.5
113	マイケル・グランシー	穴のあいた星雲の境界	1985	薄板ガラス、金属酸化物によるコーティング、溶接、カット、研磨	12.8×25.2×23.3
114	ウルズラ・フート	素描-日記より	1985	研削、研磨、電気鋳造法による銅メッキ	25.5×25.5×22.7
115	リチャード・マイトナー	無題	1985	被せガラス、ステイニング、エングレイヴィング、着色、鉛枠	57.0×70.0
116	ウィリアム・モリス	石の器	1985	形成型、フリーハンド成形、エナメル焼付	9.5×33.2×40.0
117	ジョエル・フィリップ・マイヤーズ	水	1985	被せガラス、宙吹き、粉末ふりかけ、糸状のドロ잉	15.0×37.0×46.0
118	イジー・シュハーイェク	座る n.2	1985	宙吹き、ガラス片貼付、サンドブラスト、エッチング	8.2×65.3×17.0
119	カーラ・トリンクリー	青いボウル	1985	宙吹き、フリーハンド成形	57.0×20.0×107.0
120	ベッティル・ヴァッリーン	静かなる旅	1985	パート・ド・ヴェール	29.2×18.7
121	ダナ・ザメチニコヴァ	空中浮揚	1985	サンドキャスト	11.0×48.0×14.0
122	ハンク・ムルタ・アダマス	鋭利なるもの	1987	多層板ガラス、サンドブラスト、エナメル彩、エングレイヴィング	11.0×40.0×40.3
123	オーサ・ブランド	カイト	1987	キャスト、銅	37.5×40.0×46.5
124	ゲルハルト・エマーリクス	合成されたアイコン I	1987	スランピング、着色	180.0×22.0
				フロート法および円筒法板ガラス、エッチング、着色、ステイニング、サンドブラスト、研磨、合せガラス	2.0×48.0×71.0



ドーム、マジョレル「鉄粹吹込花器」

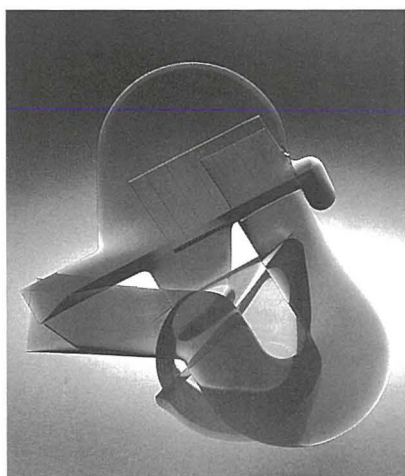


ミュレル兄弟「ランプ」

No.	作家・工房名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
125	ベルト・フレインス	張る	1987	板ガラス変形、ワイヤー	30.0×29.0×9.0
126	クレグ・キャレンバーガー	タイタニック・シリーズ#33787	1987	キャスト、カット、研磨	13.0×47.5×18.5
127	マーヴィン・リボフスキー	小樽シリーズ#7	1987	被せガラス、型吹き、カット、サンドブラスト、酸みがき	27.3×29.6×21.8
128	パオロ・マルティヌッツィ	無題	1987	型吹き、エングレーヴィング	45.5×17.5
129	ロバート・バルスキー	生は暑い夏の日のように彼のもとを過ぎ去った	1987	キャスト、接着、着色、サンドブラスト	13.0×27.0×63.0
130	オーサ・ブラント	カイト	1988	スランピング、着色、サンドブラスト	150.0×55.0
131	オーサ・ブラント	カイト	1988	スランピング、着色、サンドブラスト、布	47.0×45.0
132	ルーカス・デロウ	無題	1988	板ガラス、真鍮、木	24.0×50.0×50.0
133	ベルト・フレインス	丸める	1988	板ガラス変形	16.0×43.5×12.5
134	ダイアナ・ホブソン	ニュー・テクスチュア・シリーズNo.8	1988	パート・ド・ヴェール——粉ガラスと見つけた素材を型に入れ焼成	18.0×18.5×20.5
135	デイヴィッド・ホッパー	ブラック・ポイント	1988	サンドブラストと着色によってつくられた頭部を再加熱し、体の部分を接合、被せガラス	18.0×26.0×39.0
136	池本一三	ポートレート'88 I	1988	板ガラス、着色、サンドブラスト、銅	70.0×70.0
137	リチャード・ジョリー	琥珀色の座る女	1988	溶けたガラスを巻き取りながら成形、細いガラス棒を溶かしながらドロ잉、エッチング	11.5×26.5×31.5
138	ブジェティスラフ・ノヴァーク	変容	1988	カット	37.0×54.0×53.0
139	コリン・リード	無題 鋳型 R287	1988	シール・ベルデュ、研磨	4.5×52.0×34.0
140	ジニー・ラフナー	統一された球技場理論	1988	ランプワーク、サンドブラスト、着色、ドローイング	26.0×30.5×47.0
141	ポール・スタンカード	精霊のいる蘭	1988	ランプワーク、研磨、合せガラス	7.5×8.0×16.0
142	高橋嶺彦	無題	1988	宙吹き、フュージング、サンドブラスト、接着	51.0×51.5×23.5
143	チェスラフ・ズベール	無題	1988	研磨、サンドブラスト、ハンマーによるカット、着色	24.0×51.0×59.5
144	メアリー・アン・トーツ・ジンスキー	ティエラ・デル・フエゴの連作	1988	フイレ・ド・ヴェール(糸状の色ガラス、フュージング、スランピング)	29.0×15.5
145	デイル・チフォーリ	海の形	1989	宙吹き	80.0×70.0×30.0
146	ハワード・ベン・トレ	栓	1990	キャスト、鉛の粉末	33.3×110.5×31.5
147	ジェルジ・ブツコ	半円と垂直の形	1990	スランピング、ローブ	62.5×87.0×33.5
148	スタニスラフ・リベンスキー	球体の中の立方体	1979-90	キャスト、研磨	径 40.0
149	イヴァン・マレシュ	悪夢 I	1990	キャスト、カット、研磨	58.5×65.0×62.0
150	エミリー・ブロック	セントラル・ダイナー	1991	カット、フュージング、スランピング、エナメル焼付、ランプワーク、石、金属	31.7×44.3×31.7
151	ミハル・マハト	チェコ人の山	1991	宙吹き、着色	27.8×56.3
152	扇田克也	ワタシノアヲゾラ	1991	キャスト、サンドブラスト	26.0×25.5×26.3
153	扇田克也	アメノヒモアル	1991	キャスト、サンドブラスト	28.0×32.0×25.5
154	マリ=エメ・グリマルディ	思考とは何か?	1993	パート・ド・ヴェール	13.5×22.5×30.0
155	クリスティアン・シュミット	ノー・モア・フィッシュ	1993	金赤ガラス、被せガラス、エングレーヴィング	26.3×13.0
156	ケケ・クリプス	ミラ	1994	木、絹、ビーズ、金箔	17.8×18.0×60.3
157	ベルナール・ドゥジョン	円環	1994	研磨、失透	57.8×24.7
158	ブライアン・ハースト	物体とイメージの連作 ——奉納 1/94	1994	宙吹き、キャスト、エングレーヴィング、金箔、エナメル彩	ボウル 35.3×40.3×30.5 パネル 96.8×65.8
159	ジョーイ・カークパトリック フローラC. メイス	フルーツの静物	1994	宙吹き、ガラス粉溶着による着色	49.8×25.1
160	米原眞司	ライン・ドローイング	1994	被せガラス、宙吹き、ガラス繊維溶着、サンドブラスト、サンドペーパーによる研磨	31.8×30.1

* 寸法は、注記以外は平面作品が縦×横、立体作品が奥行×幅×高さ、あるいは直径（最大径）×高さ。

* 作品はすべて北海道立近代美術館蔵。



ノヴァーク「変容」



ズベール「無題」

ヨーロッパの華麗な女性美展 16世紀－19世紀 近世絵画の流れ

会期＝平成11年5月21日(金)－6月23日(水) 29日間
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、華麗な女性美展実行委員会

後援＝十勝町村会、十勝教育局、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市町内会連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

観覧料＝一般1,000(800)円、高大生600(500)円、小中生400(300)円、親子券1,000円〔一般1名＋小中生1名〕
心身に障害のある方などは無料
()内は前売りおよび10名以上の団体料金
親子券は前売りのみ

関連事業

美術講演会

「パトロンと画家たち」

講師＝瀬木慎一氏(美術評論家)

日時＝5月22日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「神話から肖像へ－近世ヨーロッパ絵画の中の女性たち」

講師＝鎌田 享(当館学芸員)

日時＝6月5日(土)、6月19日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

ミュージアム・ミステリー

「たんけん! 女神の宮殿・妖精の森」

日時＝6月12日(土) 午前10時～午後4時30分

会場＝当館講堂・ホール・主展示室等

図録

規格＝24.0×25.0cm／総頁数116ページ

構成＝ごあいさつ／作品図版／瀬木慎一「フランス美術の150年の歩み－王侯・貴族からブルジョワたちの文化へ」／桂木紫穂「装飾画家としてのプーグロー」／作家略歴／作品リスト・作品解説／年表

関連記事

瀬木慎一「『ヨーロッパの華麗な女性美展』に寄せて」十勝毎日新聞／5月2日

佐々木努「美の饗宴 ヨーロッパの華麗な女性美展①～⑤」十勝毎日新聞／5月12日～18日

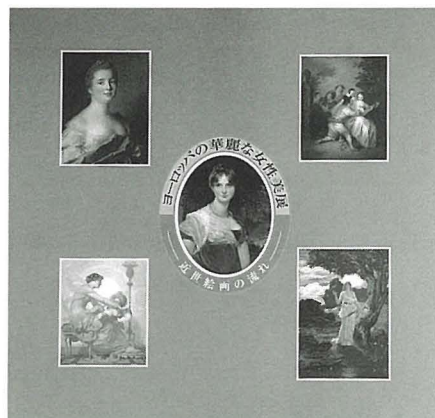
鎌田享「女性美展の見どころ①～③」十勝毎日新聞／5月30日～6月1日

池田緑「編集余録 女性美展」十勝毎日新聞／6月6日

「美女たちを誘う全能の神ゼウス」十勝毎日新聞／6月15日



ポスター



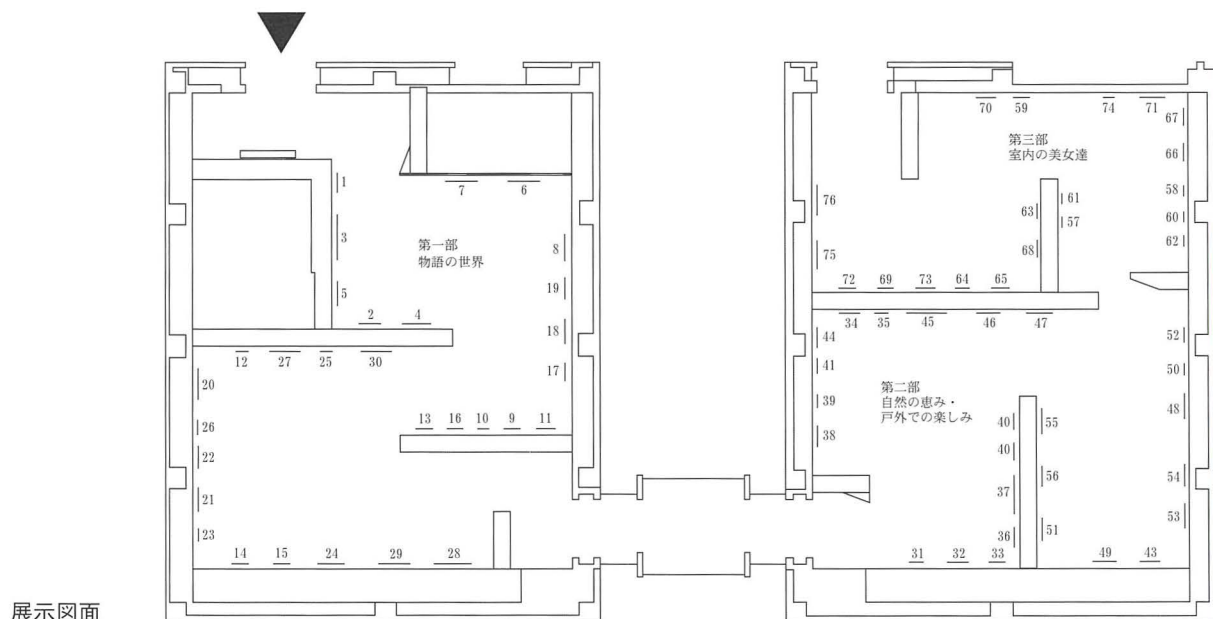
図録

人物像は西洋絵画の伝統的なテーマの一つであり、とりわけ女性像は美や慈愛の象徴として幾多の画家たちによって繰り返し描かれてきた。この展覧会ではプッサン、フラゴナール、アングルといった巨匠から日本では比較的なじみのうすい画家たちまで68作家の76作品によって16世紀オランダから19世紀末フランスにいたる近世ヨーロッパ絵画の流れを概観。同時にその歴史の中でさまざまに描かれてきた女性像の変遷を三つのコーナーにわたって紹介した。

第1部「物語の世界」では、神話や宗教、物語に現れる女神や女性たちをモチーフにした作品、第2部「自然の恵み・戸外での楽しみ」では戸外に集い自然の中でくつろぐ女性たちを描いた作品、第3部「室内の美女たち」では室内で遊戯や音楽に興ずる

女性の姿をとらえた作品を紹介。作品展示にあたってはこれら三つのコーナーを順をおってたどる形を取り、神話や宗教の登場人物に託して普遍的で理想的な女性像を描き出すことから、現実世界に生きる個性豊かな女性たちの容姿や性格を映し出すことへと、画家たちの造形意識が変化していく様子がわかるよう試みた。

女性美というテーマを通じて近世絵画の歴史的展開を追った本展は多くの美術ファンの関心をあつめ、会期中の来館者は11,629名におよんだ。多数の市民が会場に足を向けた一因として、新聞紙上での積極的な情報提供の効果が挙げられる。会期前のカラー紙面での作品紹介にはじまり、前後2期にわたる連載企画、ゼウス神話に焦点をしばった小特集と、多数の視点から重層的に展覧会を紹介することにより、市民の関心を喚起したものと思われる。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

第一部 物語の世界

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	ピーテル・ブリューゲルⅡ世	東方三博士の礼拝	不詳	油彩、板	40.5×57.0
2	伝ニコラ・プッサン	ゼウスとアンティオペ	不詳	油彩、板	51.5×66.7
3	ジャック・ブランシャール	ダナエ	不詳	油彩、キャンバス	93.0×164.5
4	ウスタッシュ・ル・シュウール	ガラテアの凱旋	1643-44頃	油彩、キャンバス	83.0×94.0
5	シャルル・ル・ブラン	パンドラ	1658頃	油彩、キャンバス	64.8×80.0
6	カルル・ヴァン・ロー	ローヌ河	不詳	油彩、キャンバス	145.0×110.0
7	カルル・ヴァン・ロー	ソーヌ河	不詳	油彩、キャンバス	145.0×110.0
8	ジョゼフ＝マリー・ヴィアン	スザンナと長老たち	1744頃	油彩、キャンバス	65.5×82.5
9	ジャン＝オノレ・フラゴナール	アネットとリュパンのいる風景	1770年代初頭	油彩、キャンバス	36.0×44.5
10	ユベール・ロベール	ティヴォリのアドリアーナ離宮	不詳	水彩、インク、紙	25.5×21.0
11	ピエール・アンリ・ド・ヴァランシエンヌ	アモールを探すプシュケ	1796頃	油彩、キャンバス	40.0×56.5
12	ジャン＝オーギュスト＝ドミニク・アングル	パオロとフランチェスカ	1845頃	油彩、キャンバス	26.0×21.5
13	ナルシス＝ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	ヴィーナスとキュービッド	不詳	油彩、キャンバス	30.0×47.8
14	ヘンリー・コートニー・スルーズ	純潔	1883	油彩、キャンバス	91.5×40.3
15	ヘンリー・コートニー・スルーズ	虚栄	1885	油彩、キャンバス	91.5×40.3
16	トマ・クチュール	「世界を率いる愛、あるいは棘蒺の道」の習作	1873頃	油彩、キャンバス	29.2×41.0
17	モデスト・カルリエ	狩の女神ディアナ	不詳	油彩、キャンバス	77.5×52.0
18	ジャック＝ヴィクトール＝ウージェーヌ・フロマン＝ドゥロルメル	罰を受けるキュービッド	不詳	油彩、キャンバス	99.4×82.0
19	アレクサンドル・カバネル	サムソンとデリラ	1878	油彩、キャンバス	92.0×65.4
20	ウィリアム＝アドルフ・ブーグロー	アルカディアの牧人たちの時代の秋(秋の情景)	1855	油彩、キャンバス	50.0×101.0
21	ヴィルヘルム・クレイ	海辺のプシュケ	不詳	油彩、キャンバス	112.4×76.2
22	ジャン＝ジャック・エンネル	森の中のニンフ	不詳	油彩、キャンバス	39.4×64.8
23	ジャン＝ジャック・エンネル	岩につながれたアンドロメダ	1880頃	油彩、キャンバス	41.3×24.8
24	ルイ・メーテルリンク	平和のアレゴリー	不詳	油彩、キャンバス	149.9×89.0
25	ガブリエル＝ジョゼフ＝マリー＝オーギュスタン・フェリエ	ガニメデスの略奪	1874頃	油彩、キャンバス	44.4×27.9
26	ルイ＝ジョゼフ＝ラファエル・コラン	アルカディアの若い恋人たち	不詳	油彩、キャンバス	47.8×32.0
27	イダ・グートマン	レダと白鳥	1895	油彩、キャンバス	127.0×98.0
28	ジュール＝フレデリック・バラヴォワーズ	アポロとダフネ	不詳	油彩、キャンバス	97.2×130.0
29	ハンス・ツァツカ	フロラの夢	不詳	油彩、キャンバス	66.0×104.0
30	マリー＝オーギュスト・エミール・ルネ・メナール	エウロペの略奪	1915	パステル、キャンバス	68.5×104.0

第二部 自然の恵み・戸外での楽しみ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
31	ヤン・ブリューゲルⅠ世	荷車を引く農夫のいる風景	不詳	インク、淡彩、紙	21.2×31.7
32	ディオニス・フェルブルフ	ラインの流れ	不詳	油彩、キャンバス	83.0×68.0
33	ジャン・アントワーン・ヴァトー	戦場からの帰還	1709	油彩、板	33.0×45.0
34	ジャン＝バティスト＝ジョゼフ・パテル	舞踏会の楽しみ(ジャン・アントワーン・ヴァトーの模写)	1716-17以降	油彩、キャンバス	55.3×69.2
35	ジャン＝バティスト＝ジョゼフ・パテル	庭園の役者たち(ジャン・アントワーン・ヴァトーの模写)	1727以前	油彩、キャンバス	42.0×35.0
36	伝フランソワ・ブーシェ	泉の羊飼い	1756以前	油彩、キャンバス	72.5×59.5
37	クロード＝ジョゼフ・ヴェルネ	ティヴォリの小さい滝の風景	不詳	油彩、キャンバス	95.5×132.5



ブーグロー
「アルカディアの牧人たちの時代の秋 (秋の情景)」



アングル「パオロとフランチェスカ」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
38	ジャック=シャルル・ウードリー	ベキニーズ犬、リンダ	1766	油彩、キャンバス	51.0×66.5
39	ジャン=ジャック・バシュリエ	ミミ、ボンバドゥール夫人の愛犬	1762	油彩、キャンバス	25.0×33.0
40	ジャン=パティスト・ユエ	小川のそばに農民と家畜のいる田舎の風景	1786	油彩、キャンバス	58.0×47.0
41	ジャン=フレデリック・シャール	プロヴァンス風の衣装をつけた若い女性の肖像	不詳	油彩、板	33.0×23.0
42	ニコラ・アントワーン・トーネー	市場風景	不詳	油彩、板	34.0×42.0
43	トーマス・ローレンス	ヒックス卿夫人の肖像	1805頃	油彩、キャンバス	73.0×57.5
44	アウグスト・ハインリッヒ・リーデル	タンバリンを持つ少女	不詳	油彩、キャンバス	74.9×62.8
45	ジュール=アレクサンドル・デュヴァル=ルカミュ	舟遊び	不詳	油彩、キャンバス	114.0×148.6
46	テオデュール・オーギュスタン・リボ	雅びな宴	不詳	油彩、キャンバス	65.3×81.3
47	ルイ=マリー・ルメール	風景の中の花	不詳	油彩、キャンバス	116.0×89.0
48	ポール=デジレ・トゥルイユベール	裸婦	不詳	油彩、キャンバス	100.0×81.0
49	シャルル・ヴィクトール・ティリオン	花のそばの少女	1877	油彩、キャンバス	114.2×76.2
50	アンリ=ジャン=テオドル・ファンタン=ラトゥール	水浴する人	不詳	油彩、キャンバス	31.7×38.1
51	ジャン=ポール・ローランス	春	不詳	油彩、キャンバス	94.6×66.0
52	アルバート・ジョゼフ・ムーア	桜	不詳	油彩、キャンバス	131.0×41.0
53	アントン・エーベルト	森の泉	1875	油彩、キャンバス	100.0×74.0
54	アドルフ=エティエンヌ・ピオ	読み方のお稽古	不詳	油彩、板上のキャンバス	86.4×66.0
55	ハンス・ツァツカ	春の日の小川	不詳	油彩、キャンバス	63.5×85.0
56	アルフレッド・オーガスタス・グレンデニング	鳩と少女	1895	油彩、キャンバス	90.0×59.0

第三部 室内の美女たち

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
57	ディルク・ハルス	トランプをする人たち	不詳	油彩、板	20.5×22.2
58	ジャン・アントワーン・ヴァトー	フラスコを持って正面を向いている道化師姿の役者	1703-07頃	サンギース、紙	27.6×18.6
59	ジャン=マルク・ナティエ	フォンテット男爵夫人の肖像	1755	油彩、キャンバス	55.8×47.0
60	ジャン=オノレ・フラゴナール	上を見上げる少女	不詳	油彩、キャンバス上の紙	27.0×20.5
61	フィリベール=ルイ・ドゥピュクール	軍人の楽しみ	不詳	油彩、板	24.0×19.0
62	ルイ=ガブリエル=ウージェーヌ・イザベイ	人物のいる教会内	不詳	油彩、キャンバス	28.0×19.7
63	フランソワ=ルイ・フランセ	若い女性	1894	油彩、キャンバス	46.0×38.0
64	ピエール=オリヴィエ=ジョゼフ・コーマン	婦人像	1878	油彩、キャンバス	54.6×43.2
65	フリッツ・ツベル=ビューレル	いんこを手にした女性	不詳	油彩、キャンバス	68.7×56.2
66	シャルル・シャブラン	ロトで遊ぶ子供たち	不詳	油彩、キャンバス	66.0×55.0
67	シャルル・シャブラン	仮面舞踏会のあと	不詳	油彩、キャンバス	80.0×47.7
68	ジョン・フレデリック・ピーテル・ポルティエルジェ	白いバラ	不詳	油彩、板	61.0×49.5
69	レオン・ジャン・バジル・ペロー	鏡を見る婦人	1868	油彩、キャンバス	56.5×47.0
70	トニー・ロペール=フルーリ	腰かけている婦人の肖像	不詳	油彩、キャンバス	93.0×67.0
71	コンラート・フライベルク	花箒を持つ少女	1884	油彩、キャンバス	104.8×80.0
72	ガエタノ・デ・マルティニ	オリエントの美女	不詳	油彩、キャンバス	90.0×56.0
73	オーギュスト・ボウ=ボヴィ	魅惑的な本	不詳	油彩、キャンバス	78.0×57.2
74	ルイス・フランコ・イ・サリナス	ピアノの前で	不詳	油彩、板	27.5×22.0
75	ヴィルジリオ・トジェッティ	お気に入り	1886	油彩、キャンバス	152.0×94.0
76	カール・カーラー	女性像	不詳	油彩、キャンバス	174.0×103.0

* 寸法は縦×横。



リーデル「タンバリンを持つ少女」



フライベルク「花箒を持つ少女」

英国のアール・ヌーヴォー リバティ・スタイル展

会期＝平成11年8月6日(金)－9月15日(水) 35日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市・帯広市教育委員会、北海道新聞社、リバティ・スタイル展実行委員会、(社)国際芸術文化振興会

後援＝外務省、文化庁、英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル

協賛＝LIBERTY PLC、株式会社リバティジャパン

協力＝全日本空輸株式会社、興亜火災海上保険株式会社

観覧料＝一般1,000(800)円、高大生600(500)円、小中生400(300)円、親子券1,000円〔一般1名＋小中生1名〕

心身に障害のある方などは無料

()内は前売りおよび10名以上の団体料金

親子券は前売りのみ

関連事業

美術講演会

「英国のアール・ヌーヴォーとモダン・デザイン」

講師＝岡部昌幸氏(帝京大学助教授)

日時＝8月21日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「アール・ヌーヴォーの時代とロンドン・リバティ社の役割」

講師＝平 利弘(当館学芸員)

日時＝8月14日(土)、28日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「美の殿堂・オルセー美術館 広がるアール・ヌーヴォー」

「続・美術のみかた 絵画からデザインへ」

日時＝8月7日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

図録

規格＝29.0×27.0cm／総頁数204ページ

構成＝ごあいさつ／ヴィクター・アークス「リバティ・スタイルの勝利」／図版／アンソニー・ジョーンズ「リバティ、ケルト・リヴァイヴァルそしてアーチボルド・ノックス」／関昭郎「リバティのジュエリー・デザイン」／図版／岡部昌幸『『ジャポニスム』と『唯美主義』、時代の演出家アーサー・リバティ』／出品リスト／作家・工房解説／関連年表／参考文献

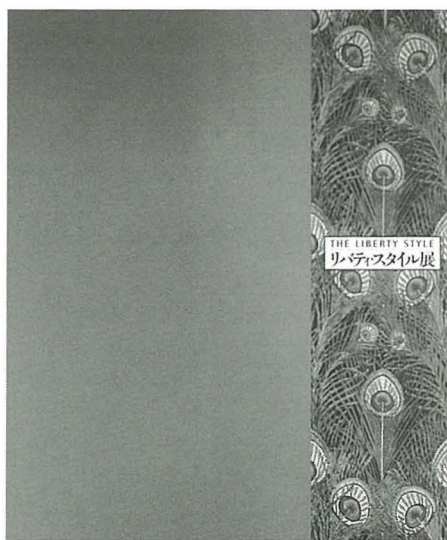
関連記事

「輝く洗練された美 英国のアール・ヌーヴォー リバティ・スタイル展」北海道新聞／8月5日

「英国のアール・ヌーヴォー リバティ・スタイルの魅力①～⑤」北海道新聞／8月17日～21日



ポスター



図録

19世紀末から20世紀初頭にかけて、イギリスでは人々の生活空間を飾り喜びを与えてきた装飾美術に改めて目が向けられ、質の高いデザインによる工芸品が次々に生み出された。中でも「リバティ・プリント」と呼ばれるファブリック・デザインによって広く知られているロンドンのリバティ百貨店の製品は、洗練された独特のスタイルが新しい時代にふさわしい装飾として注目を集めた。

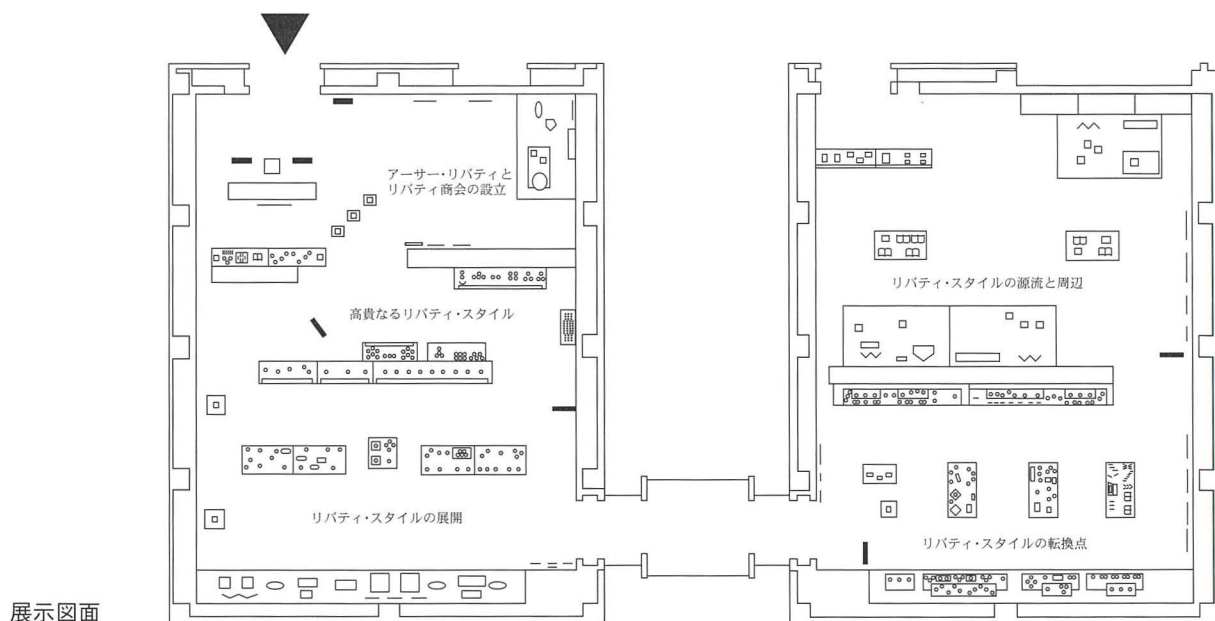
当時ロンドンで最も優雅な通りとして親しまれていたリージェント・ストリートに、東洋からの輸入品や自社ブランドの製品を扱う「リバティ商会」が開店したのは1875年。創設者のアーサー・リバティは、ウィリアム・モリスやクリストファー・ドレッサー、アーチボルド・ノックスら多くの優れたデザイナーに支えられながら、リバティ社ならではのスタイルをさまざまな生活用品のうゑに展開し、イギリスにおける装飾美術の推進役となった。生活全般の芸術化を目指した「リバティ・スタイル」は、その斬新なデザインが大きな反響を呼び、ヨーロッパ全土に広がったアール・ヌーヴォーの形成に大きな影響を及ぼした。その影響の大きさは、アール・ヌーヴォーのことを、イタリアでは「スティーレ・リバティ（リバティ・スタイル）」と呼ぶことからもうかがい知ること

とができる。

この展覧会では、イギリスとアメリカの美術館や個人のコレクションを中心に、リバティ社が起用したデザイナーによる家具や陶磁器、ガラス工芸品、銀器、宝飾品、ドレス、染織など、参考出品を含め360点を展示し、リバティ・スタイルの全貌を紹介した。

全体で5部構成の展示計画は、設計にあたって建築家の木村博昭氏の助言を得、多種にわたる多数の出品作品がコーナーごとにコンパクトに、見やすく展示された。各コーナーの展示台やケースの配置は回遊式の動線計画としたため、展示作品のまとまりを強調するとともに、混雑時においてもスムーズな観覧が可能となった。

本展は全国7会場（東京、帯広、函館、神戸、大阪、高知、熊本）での巡回開催であったが、北海道内では帯広展の後9月19日（日）から10月23日（土）まで道立函館美術館で開催。共通ポスター・チラシを作成するなど、2館が連携して全道的な広報に取り組んだ。俳優ブラッド・ピットのコレクションの出展がマスコミで紹介されるなど話題も多く、会期中6,210人の観覧者が訪れゆっくりと一点一点に見入っていた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

1. リバティ・スタイルの源流と周辺

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
1	—	鷲形花器	1895頃	ブロンズ	149×36.5	リバティ社
2	トーマス・ジェキル (推定)	唯美主義様式暖炉飾り	1870頃	鋳鉄	縦91.5	バーケンヘッド・コレクション
3	トーマス・ジェキル	唯美主義様式椅子	1884頃	鉄	高81.2	バーケンヘッド・コレクション
4	クリストファー・ドレッサー	唯美主義様式石炭入れ	1880-90頃	黒檀色の着色木材に金箔	高40.7	バーケンヘッド・コレクション
5	クリストファー・ドレッサー	傘立て	1875頃	鋳鉄	81×48	アンソニー・ジョーンズ
6	ジョージ・ワシントン・ジャック	ディスプレイ・キャビネット	1890頃	マホガニー	208×215.7	ポール・リーヴス
7	—	唯美主義様式ディスプレイ・キャビネット	1870頃	黒檀色の着色木材、マホガニー、鏡	203×166	ファイン・アート・ソサエティ
8	—	唯美主義様式コーナー・ディスプレイ・キャビネット	1880頃	黒檀色の着色木材	206×122	オン・タムツ
9	—	唯美主義様式壁掛飾り棚	1880頃	黒檀色の着色木材	—	アーワス夫妻
10	フィリップ・ウェッブ	アーム・チェア『サセックス』	1875頃	黒檀色の着色木材、イグサ	66×55×45	ミレネリー・ワークス
11	フォード・マドックス・ブラウン	サイド・チェア	1875頃	黒檀色の着色木材、イグサ	83×44×41	ミレネリー・ワークス
12	ジョン・ヘンリー・ディアール	モリス商会のための壁掛け『木とチューリップ』	1919-23頃	絹	125×75.6	飛騨高山美術館
13	ジョン・ヘンリー・ディアール	モリス商会のための壁掛け『木とチューリップ』	1919-23頃	絹	118×67.2	飛騨高山美術館
14	ウィリアム・ド・モーガン	タイル (孔雀と植物)	1870-80頃	陶製タイル	縦82.5	バーケンヘッド・コレクション
15	ウィリアム・ド・モーガン	タイル (猛禽と蛇)	1888-97	陶製タイル	一辺15.3	アーワス夫妻
16	ウィリアム・ド・モーガン	タイル (ベッドフォード・パーク・デイズ)	1888-97	陶製タイル	一辺15.3	アーワス夫妻
17	ウィリアム・ド・モーガン	ラスター彩タイル (ドーダー鳥)	1882-88	陶製タイル	一辺15.3	アーワス夫妻
18	ウィリアム・ド・モーガン	ラスター彩タイル (ホウカンチョウ)	1872-81	陶製タイル	一辺15.3	アーワス夫妻
19	モイヤー・スミス	タイル『秋の到来を告げるユピテル』	1874	陶製タイル	一辺20.5	アーワス夫妻
20	ウィリアム・ド・モーガン	タイル	1888-97	陶製タイル	一辺20.5	アーワス夫妻
21	モイヤー・スミス	タイル (笛吹き)	1876	陶製タイル	一辺20.5	アーワス夫妻
22	ウォルター・クレイン (推定)	手彩長方形タイル (ヴィーナス)	1885頃	陶製タイル	縦30.5	アーワス夫妻
23	ウォルター・クレイン (推定)	手彩長方形タイル (キューピッド)	1885頃	陶製タイル	縦30.5	アーワス夫妻
24	エドモンド・ジョンソン	アーダーの聖杯のレプリカ	1891頃復元 (オリジナルは8世紀)	銀、ガラス、エナメル、エンボス加工、彫刻	高15.9	シカゴ大学デヴィッド &アルフレッド・スマート博物館
25	エドモンド・ジョンソン	聖パトリックの鐘型聖遺物箱のレプリカ	1891頃復元 (オリジナルは11世紀)	金属、銀、ガラス、エンボス加工、彫刻	高25	シカゴ大学デヴィッド &アルフレッド・スマート博物館
26	C. F. A. ヴォイジィ	置き時計	1920頃	鋳造されたアルミニウム、エナメル	高43.2	バーケンヘッド・コレクション
27	—	唯美主義様式コーヒー・セット	1888頃	磁器、金彩	—	オン・タムツ
28	アルフレッド・イースト	《聖なる山の夜明け》	1889	油彩、キャンバス	高56×92	個人
29	ドロシー・ウェブスター・ホークスレイ	《日本の海の乙女》	1910頃	グワッシュ、水彩	—	アーワス夫妻
30	—	唯美主義様式花瓶	1875頃	銅、エナメル	高14.5	アーワス夫妻
31	ジョン・ハッサル	日本趣味の部屋の唯美主義の女性	1885頃	パステル	—	アーワス夫妻
32	ウォルター・クレイン	スペンサー著『神仙女王』装丁・挿し絵 (6巻組)	1897	挿し絵本	—	アーワス夫妻
33	—	オーウェン・ジョーンズ著『装飾の文法』	1868	本	23×34	アート・インスティテュート・オブ・シカゴ、 ライヤン・バーナム図書館
34	—	P. M. C. カルモディ著『マン島の十字架』	1907	本	23×28	アート・インスティテュート・オブ・シカゴ、 ライヤン・バーナム図書館



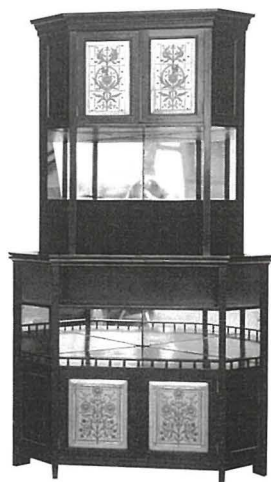
ワイバード「テーベ・スツールNo. 1」

2. アーサー・リバティとリバティ商会の設立

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
35	アーサー・ハッカー	《アーサー・ラセンビー・リバティ》	1913	油彩、カンヴァス	124.5×99	リバティ社
36	アーサー・ハッカー	《リバティ夫人》	1913	油彩、カンヴァス	124.5×99	リバティ社
37	ジョージ・ジェイムス・フランプトン卿	《アーサー・ラセンビー・リバティ胸像》	1914	アラバスター、木製台座	194×71×60	リバティ社
38	—	日本製ティー・セット	1886輸入	銀	—	フェイ・ルーカス・ギャラリー
39	—	日本製ティー・スプーン・セット(6本組)	1904頃	銀	—	アーワス夫妻
40	—	日本製ティー・スプーン・セット(6本組)	1904頃	銀	—	個人
41	—	リバティ商会社員より、アーサー・リバティへの 感謝状『我々、ここに著名するものは』	1886	水彩、インク、ペン、紙	78.5×67.5	リバティ社
42	—	『パンチ』誌挿図「巧みな引用」	1894	印刷	73×82.5	リバティ社
43	リバティ夫妻	写真集『日本』	1910	コロタイプ印刷	26×36	リバティ社
44	—	大阪府知事感謝状および木杯	1894	—	5×37×28	リバティ社

3. リバティ・スタイルの展開

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
45	レオナード・ワイバード	デーベ・スツールNo. 1	1884	マホガニー、革	35×43×43	リバティ社
46	レオナード・ワイバード	デーベ・スツールNo. 2	1884	マホガニー	36×35×35.5	リバティ社
47	—	唯美主義様式2段サイド・テーブル	1900頃	竹、陶製タイル	73×38×37	リバティ社
48	—	唯美主義様式3段サイド・テーブル	—	黒檀色の着色竹、陶磁器のタイル	高80	アーワス夫妻
49	レオナード・ワイバード(推定)	テーブル『シジバード』	1899	カシ	71×60	リバティ社
50	レオナード・ワイバード	ムーア風アーム・チェア	1905	カシ	112×57×46	リバティ社
51	—	ムーア風サイド・テーブル	1900	—	高61	バーケンヘッド・コレクション
52	—	サロン・チェア	1870頃	黒檀色の着色木材	77×41×68	リバティ社
53	—	サイドボード	—	マホガニー、レンズ形ガラス	—	フェイ・ルーカス・ギャラリー
54	ウィリアム・バーチ	楕円形テーブル	1900	マホガニー	71×90×60	リバティ社
55	—	ディスプレイ・キャビネット	1900頃	マホガニー	153×124×44	リバティ社
56	リヒャルト・リーメルシュミット	椅子	1900	クルミ	78×48×58	リバティ社
57	—	椅子	1900	カシ	78×48×58	リバティ社
58	—	リバティ・アート・ファブリックのサンプル『ピーコック』	1890頃	絹	23×19	リバティ社
59	—	テキスタイル見本帳	1905頃	絹	39×31×6.5	リバティ社
60	クリストファー・ドレッサー	花瓶	1870-80頃	陶器	高19	バーケンヘッド・コレクション
61	クリストファー・ドレッサー	花瓶	1870-80頃	陶器、木製台座	高44.5	バーケンヘッド・コレクション
62	クリストファー・ドレッサー	花瓶	1870-80頃	陶器	高28	バーケンヘッド・コレクション
63	クリストファー・ドレッサー	花瓶『ツイステッド』	1870-80頃	陶器	高22.8	バーケンヘッド・コレクション
64	クリストファー・ドレッサー(推定)	鉢	1870-80頃	陶器	高12	バーケンヘッド・コレクション
65	クリストファー・ドレッサー	扁壺	1870-80頃	陶器	高12.8	バーケンヘッド・コレクション
66	クリストファー・ドレッサー	水差し	1870-80頃	陶器	高19.7	バーケンヘッド・コレクション
67	クリストファー・ドレッサー	ポット『ペルー風』	1870-80頃	陶器	高17.2	バーケンヘッド・コレクション
68	クリストファー・ドレッサー(推定)	二重リング形花瓶	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高20.3	バーケンヘッド・コレクション
69	クリストファー・ドレッサー(推定)	花瓶	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高16	バーケンヘッド・コレクション



「唯美主義様式コーナー・
ディスプレイ・キャビネット」



「シルク・コート」

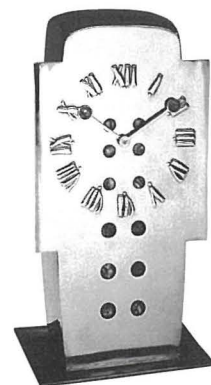
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
70	クリストファー・ドレッサー(推定)	龍像付花瓶『シノワズリ』	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高43.2	バーケンヘッド・コレクション
71	クリストファー・ドレッサー(推定)	筒形花瓶『シノワズリ』	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高16.5	バーケンヘッド・コレクション
72	クリストファー・ドレッサー(推定)	扁壺『シノワズリ』	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高31.8	バーケンヘッド・コレクション
73	クリストファー・ドレッサー(推定)	スカラベのレリーフ付瓢箪形花瓶	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高24.2	バーケンヘッド・コレクション
74	クリストファー・ドレッサー(推定)	花瓶	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高17.8	バーケンヘッド・コレクション
75	クリストファー・ドレッサー(推定)	取手付花瓶	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高17.8	バーケンヘッド・コレクション
76	クリストファー・ドレッサー(推定)	テーブル用センターピース	1870-80頃	磁器、クロワゾネ七宝	高40.7	バーケンヘッド・コレクション
77	クリストファー・ドレッサー	クラザ長首花瓶	1870-80頃	めのうガラス	高33.7	バーケンヘッド・コレクション
78	クリストファー・ドレッサー	クラザ花瓶	1870-80頃	ガラス	高38.7	バーケンヘッド・コレクション
79	クリストファー・ドレッサー	クラザ花瓶	1870-80頃	ガラス	高19.7	バーケンヘッド・コレクション
80	クリストファー・ドレッサー	クラザ花瓶	1870-80頃	ガラス	高25.4	バーケンヘッド・コレクション
81	クリストファー・ドレッサー	クラザ取手付水差し	1870-80頃	ガラス	高25.4	バーケンヘッド・コレクション
82	クリストファー・ドレッサー	クラザ花瓶	1870-80頃	ガラス	高20.3	バーケンヘッド・コレクション
83	クリストファー・ドレッサー(推定)	クラザ花瓶	1870-80頃	ガラス	高25.3	アールス夫妻
84	—	クラザ取手付水差し	1907頃	ガラス	10.5×11×8	リバティ社
85	—	小型香水瓶	—	青色虹彩ガラス	—	アールス夫妻
86	—	小型香水瓶	—	緑色虹彩ガラス	—	アールス夫妻
87	—	小型香水瓶	—	緑色虹彩ガラス	—	アールス夫妻
88	—	小型香水瓶	—	青色虹彩ガラス	—	アールス夫妻
89	—	小型香水瓶	—	青色虹彩ガラス	—	アールス夫妻
90	チャールズ・ヒューバート・ブランナム	鉢	1903頃	陶器、掻き落し	17×26×26	ミレネリー・ワークス
91	チャールズ・ヒューバート・ブランナム	取手付花瓶	1905頃	陶器、掻き落し	40×20×20	ミレネリー・ワークス
92	チャールズ・ヒューバート・ブランナム	龍形取手付花瓶	1904頃	陶器、掻き落し	40×20×20	ミレネリー・ワークス
93	フレデリック・リード	鉢	1900頃	陶器	—	アールス夫妻
94	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	20.5×12	オン・タムズ
95	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	30.5×15	オン・タムズ
96	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	14.5×8.5	オン・タムズ
97	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	39×17	オン・タムズ
98	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	20×12	オン・タムズ
99	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	35×27	オン・タムズ
100	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	24×12	オン・タムズ
101	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	16×11	オン・タムズ
102	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	26×13	オン・タムズ
103	フレデリック・リード	花瓶	1900頃	陶器	21.5×20	オン・タムズ
104	シャンドール・アバティ=アプト	鉢	1905頃	磁器	20.3×26	アールス夫妻
105	ウィリアム・ムーアクロフト	ランプ『クレアモント』	1912	陶器	高33	マイク・ブルース
106	ウィリアム・ムーアクロフト	花瓶『アイリス』	1902	陶器	高31.8	マイク・ブルース
107	ウィリアム・ムーアクロフト	花瓶『ザクロ』	1911	陶器	高31.8	マイク・ブルース
108	ウィリアム・ムーアクロフト	花瓶『藤』	—	陶器	高20	マイク・ブルース
109	ウィリアム・ムーアクロフト	花瓶『チューダー・ローズ』	—	陶器	高15.2	マイク・ブルース
110	ウィリアム・ムーアクロフト	花瓶『はしばみの谷』	1904	陶器	高22.3	マイク・ブルース
111	ウィリアム・ムーアクロフト	ティー・セット『グリーン・フラミニア』	1905	陶器	高15.2	マイク・ブルース
112	ウィリアム・ムーアクロフト	花瓶『ボビー』	1904頃	陶器	高28	マイク・ブルース
113	ウィリアム・ムーアクロフト	蓋付壺『ザクロ』	—	陶器	高30.5	マイク・ブルース
114	ウィリアム・ムーアクロフト	花瓶『チューリップ』	—	陶器	高25.3	マイク・ブルース
115	ウィリアム・ムーアクロフト	しょうが入れ『レッド・フラミニア』	1905	陶器	—	マイク・ブルース
116	ウィリアム・ムーアクロフト	マフィン皿『レッド・フラミニア』	1905頃	陶器	幅20.2	マイク・ブルース
117	ウィリアム・ムーアクロフト	エドワード七世即位記念マグ、 第一次世界大戦休戦記念マグ(2点)	—	陶器	各9.5×10×8.5	リバティ社
118	ウィリアム・ムーアクロフト	皿	1900頃	陶器	径24	リバティ社
119	—	カーバ文花瓶	1900頃	陶器	25×17.5×10	リバティ社
120	—	パルメット文花瓶	1900頃	陶器	15×13	リバティ社
121	—	水差し	—	陶器	高14	アールス夫妻
122	デージー・マクグラシャン	ドレス	1900頃	絹、ベルベット、リネン	—	グラスゴー美術学校
123	—	ディナー・ドレス	1904	絹サテン、スパンコール、ペークライト、ジェット	—	個人
124	—	ガウン	1920代初期	絹ビロード	丈105	リバティ社
125	—	金糸刺繍のガウン	1920代後期	絹クレープ・デシン、ガラス飾りボタン	丈102	リバティ社
126	—	シルク・コート	1930代初期	絹	丈117	リバティ社
127	—	ビーズ・バック	1910頃	ビーズ	—	個人
128	—	ビーズ・バック	1910頃	ビーズ	—	個人

4. リバティ・スタイルの転換点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
129	アーチボルド・ノックス	ローズ・ボウル	1902	銀、エナメル、トルコ石	幅41	ブラッド・ビット
130	アーチボルド・ノックス	脚付ボウル	1903	銀、カボション・カットのカネマラ産大理石	11.6×19.5	リバティ社
131	オリヴァー・ペイカー	フラワー・ポット	1902	銀、エナメル	14.5×23×19	リバティ社
132	エリオール・フォーテスキュー・ブリックデル	飾りボウル	1899	銀、真鍮、エナメル	20.5×29.5	リバティ社
133	アーチボルド・ノックス	ブランター	1900頃	ピューター	高10	アーワス夫妻
134	アーチボルド・ノックス	蓋付カリス	1900	銀、エナメル	高27	ブラッド・ビット
135	アーチボルド・ノックス	カリス	1903	銀、エナメル	高20	ブラッド・ビット
136	アーチボルド・ノックス	カリス	1903	銀、カボション・カットのカラード・ストーン	高22	個人
137	アーチボルド・ノックス	ドーム形蓋付四脚カリス	1905頃	銀、エナメル	高30	ブラッド・ビット
138	アーチボルド・ノックス	円錐形花瓶	1901頃	銀	高20	ブラッド・ビット
139	アーチボルド・ノックス	筒形花瓶 (2点)	1900	銀、エナメル	高18/16	ブラッド・ビット
140	アーチボルド・ノックス	花瓶 (1対)	1900	銀	高23	個人
141	アーチボルド・ノックス	筒形花瓶	1904	銀、エナメル、トルコ石、半貴石	高20	ブラッド・ビット
142	アーチボルド・ノックス	つぼみ形花瓶 (1対)	1903	銀、エナメル、ガラス	高12	個人
143	アーチボルド・ノックス	鍍形脚付円錐形花瓶	1905	銀、エナメル、トルコ石	高25	個人
144	—	弾丸形花瓶	1900頃	ピューター	高19	ウェッツマン夫妻
145	アーチボルド・ノックス	花瓶	1900頃	ピューター	35×18×15.5	リバティ社
146	アーチボルド・ノックス	トランペット形花瓶	1900頃	ピューター	高26	リバティ社
147	—	花瓶	1900頃	ピューター	23×8	リバティ社
148	—	チューリップ形花瓶	1900頃	ピューター	24.5×15×10.5	リバティ社
149	—	花瓶 (1対)	—	ハンマー仕上げのピューター	18.5×10×7.5	リバティ社
150	—	唯美主義様式球根形花瓶	1885頃	陶器、トルコ青釉	高24	オン・タムズ
151	—	球根形花瓶	1895	ピューター	高20.3	オン・タムズ
152	オリヴァー・ペイカー	小箱	1899	銀	高15	個人
153	アーチボルド・ノックス	文箱	1904	銀、木	幅30	ブラッド・ビット
154	ヴァーレイ	装飾板付小箱	1900頃	ハンマー仕上げのピューター、エナメル	7.5×18.5×11.5	リバティ社
155	アーチボルド・ノックス	ニロイン壺	1903頃	銀、ガラス、半貴石	22	ブラッド・ビット
156	アーチボルド・ノックス	インク壺	1900	銀、エナメル	高10	ブラッド・ビット
157	アーチボルド・ノックス	インク壺	1900	銀、エナメル	6.5×21.5×11.5	リバティ社
158	アーチボルド・ノックス	インク壺	1903頃	銀	10×20	ブラッド・ビット
159	アーチボルド・ノックス	置き時計『マグナス』	1902	銀、エナメル	高12	ブラッド・ビット
160	アーチボルド・ノックス	置き時計	1905	銀、エナメル	14×14	ブラッド・ビット
161	アーチボルド・ノックス	置き時計	1903頃	銀、エナメル	高8	個人
162	アーチボルド・ノックス	置き時計	1905頃	銀、エナメル	高25	個人
163	アーチボルド・ノックス	置き時計	1905	銀、エナメル	高25	個人
164	アーチボルド・ノックス	立方形四脚置き時計	1900頃	銀、カボション・カットのラピスラズリ、トルコ石	高17	個人
165	—	暖炉用置き時計	1900頃	銀、エナメル	11.5×8×4.5	リバティ社
166	アーチボルド・ノックス	置き時計	1904頃	ピューター、銅	高30	アート・インスティテュート・オブ・シカゴ
167	アーチボルド・ノックス	ケルト十字形置き時計	1903頃	ピューター、アワビ	高38	ステイーヴン・マーティン
168	アーチボルド・ノックス	斧形置き時計	1904頃	ピューター、アワビ	高38	ステイーヴン・マーティン
169	アーチボルド・ノックス	置き時計	1902-05頃	ピューター、エナメル	高20	個人
170	アーチボルド・ノックス	置き時計	1902頃	ピューター、エナメル	高11	個人
171	—	卓上時計	1900頃	ピューター、銅、エナメル	高11.5	リバティ社
172	—	置き時計	1900頃	ピューター	高33	リバティ社
173	アーチボルド・ノックス	小型ピクチャー・フレーム (1対)	1900頃	銀、エナメル	20×10	ブラッド・ビット
174	アーチボルド・ノックス	ピクチャー・フレーム	1914	銀	高19.5	アーワス夫妻
175	アーチボルド・ノックス	ピクチャー・フレーム	1906	銀	高19.3	アーワス夫妻
176	—	携帯用祭壇／ピクチャー・フレーム	1900	銀、エナメル	高16	アーワス夫妻
177	アーチボルド・ノックス	ピクチャー・フレーム	1904	銀、エナメル、真珠母、月長石	高26.3	アーワス夫妻
178	アーチボルド・ノックス	ピクチャー・フレーム	1910	銀	高21	アーワス夫妻



ノックス「蓋付カリス」



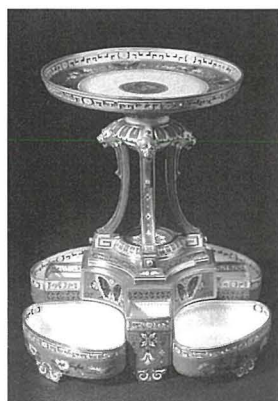
ノックス「ケルト十字形置き時計」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
179	アーチボルド・ノックス	ピクチャー・フレーム	1902	銀、エナメル	高19.5	アーワス夫妻
180	—	ピクチャー・フレーム	1899	銀、エナメル	高26.3	アーワス夫妻
181	—	ピクチャー・フレーム	1901	銀、エナメル	高25.3	アーワス夫妻
182	—	大型ピクチャー・フレーム	1908	銀、エナメル	高27	アーワス夫妻
183	—	ピクチャー・フレーム	1904	銀、エナメル	高24	アーワス夫妻
184	—	ピクチャー・フレーム	1901	銀、エナメル	高21	アーワス夫妻
185	—	ピクチャー・フレーム	1904	銀、エナメル	高23	アーワス夫妻
186	—	ピクチャー・フレーム	1904	銀、エナメル	高25.8	アーワス夫妻
187	—	ピクチャー・フレーム	1902	銀、エナメル	高30.5	アーワス夫妻
188	—	扉付ピクチャー・フレーム	1900	銀、銅、エナメル	高16.5	アーワス夫妻
189	アーチボルド・ノックス	ピクチャー・フレーム	1899頃	銅、木、写真	65×45	スティヴン・マーティン
190	—	長方形ミラー	—	銅、タイル	—	アーワス夫妻
191	—	ペン・トレイ	1917	銀、カボション・カットのトルコ石	26×8	リバティ社
192	ジェシー・キング	ヴァニティ・セット	1906頃	銀、エナメル	—	個人
193	アーチボルド・ノックス	オイル・ランプ	1904	銀、緑玉髄	高40	個人
194	—	ピン・クッション	1900頃	ピューター	35×18×15.5	リバティ社
195	アーチボルド・ノックス	壁掛けミラー	1900頃	ピューター	8.5	アーワス夫妻
196	アーチボルド・ノックス	赤ワイン用ジャグ	1902	銀、緑色ガラス、カボション・カットのラビスラズリ	高33	個人
197	アーチボルド・ノックス	水差し	1901	銀、半貴石	高19	ブラッド・ビット
198	—	洗礼用セット	1903	銀、エナメル	マグ：高10	アーワス夫妻
199	アーチボルド・ノックス	蓋付ジョッキ	1901	銀、カボション・カットのトルコ石マトリックス	21×16.5	リバティ社
200	—	砂糖入れ、クリーマー、トレイ	1908	銀、エナメル	トレイ：幅29.2	エディション・グラフィック・ギャラリー
201	アーチボルド・ノックス	コーヒー・セット	1901	銀、カボション・カットのアメジスト	ポット：高20	個人
202	アーチボルド・ノックス	コーヒー&ティー・セット	1901頃	銀、カボション・カットのカラード・ストーン、木	ポット：高18	個人
203	アーチボルド・ノックス	コーヒー・セット	1903	銀、カボション・カットのトルコ石、象牙	ポット：高20	個人
204	アーチボルド・ノックス	コーヒー&ティー・セット	1900	銀、象牙、硬玉	ポット：高24.8	個人
205	アーチボルド・ノックス (推定)	ティー・セット	1903	銀、籐	—	フェイ・ルーカス・ギャラリー
206	アーチボルド・ノックス	コーヒー&ティー・セット	1903頃	ピューター、籐	ポット：高18	個人
207	アーチボルド・ノックス	ティー・セット	1900頃	磨き仕上げのピューター、エナメル、籐	ポット：高10.5	リバティ社
208	ジェシー・キング	ティー・セット	1900頃	磨き仕上げのピューター、籐	ポット：高13.5	リバティ社
209	—	水差し	1900頃	ピューター、真鍮	高18	エディション・グラフィック・ギャラリー
210	—	ピッチャー	1900頃	ピューター、ガラス	高15.2	エディション・グラフィック・ギャラリー
211	—	ヴォイジ様式の保温ポット	1900頃	ピューター	35×18×15.5	リバティ社
212	—	蓋付水差し	1900頃	ピューター	23×16	リバティ社
213	アーチボルド・ノックス	蓋付容器	1900頃	銀、カボション・カットのトルコ石マトリックス	9.5×7.5×7.5	リバティ社
214	アーチボルド・ノックス	トーストあるいは手紙立て	1908頃	銀	10×7×14	個人
215	—	紅茶入れ	1905頃	ピューター、エナメル	28	アーワス夫妻
216	—	タバコ入れ	1900頃	ピューター、エナメル	11×10.5	リバティ社
217	アーチボルド・ノックス (推定)	方形ビスケット入れ	1900頃	ピューター、銅、エナメル	35×16×15.5	リバティ社
218	—	ナプキン・リング	1900頃	ピューター、エナメル	5.5×4×3.5	リバティ社
219	—	ナプキン・リング	1900頃	ピューター	3×5	リバティ社
220	アーチボルド・ノックス	ナプキン・リング (1対)	1903頃	銀、エナメル	2.5×5	リバティ社
221	—	ナプキン・リング	1901	銀、エナメル	4.5×5×3	リバティ社
222	—	皿	1900頃	ピューター、エナメル	4.5×19×11	リバティ社
223	—	飾り皿	1900頃	ピューター	32.5	リバティ社
224	—	ナイフ・レスト (1対)	1900頃	ピューター	3×8.5×2.5	リバティ社
225	アーチボルド・ノックス	取手付バター皿	1900頃	ピューター、エナメル、緑色ガラス	—	オン・タムズ
226	アーチボルド・ノックス	バター・ナイフ	1900頃	銀	—	オン・タムズ
227	—	蓋付デカンタ	1905	ガラス、銀、エナメル	18×8	リバティ社
228	アーチボルド・ノックス	燭台『コニスター』(1対)	1903	銀	高25	ブラッド・ビット
229	アーチボルド・ノックス	燭台 (1対)	1905頃	ピューター	高18.5	アーワス夫妻
230	アーチボルド・ノックス	燭台 (1対)	1900頃	ピューター	14.5×12	リバティ社
231	—	燭台 (1対)	1905	ピューター	9.5×8.5	リバティ社
232	—	燭台 (1対)	1900頃	ピューター	12×12.5	リバティ社
233	—	燭台 (2点)	1900頃	ピューター	7.5×8	リバティ社
234	アーチボルド・ノックス	ティー・スプーン・セット (6本組)	1904	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
235	—	デザート・スプーン	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
236	—	ティー・スプーン	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
237	—	アイスクリーム・スプーン	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
238	アーチボルド・ノックス	ティー・スプーン・セット (6本組)	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
239	—	グレープフルーツ・スプーン・セット (6本組)	1935	銀、エナメル	17.5×16	リバティ社
240	アーチボルド・ノックス	ブリザーヴ・スプーン	1904	銀、エナメル	10.5×3	リバティ社
241	オリジナル・デザインはアーチボルド・ノックス	フィッシュ・サーバー (ナイフとフォーク)	再制作	銀、エナメル	28×6	ジョン・ジェシ
242	アーチボルド・ノックス	フィッシュ・サーバーのためのデザイン	1900頃	鉛筆、紙	40×46.5	ジョン・ジェシ
243	アーチボルド・ノックス	カトラリーのためのデザイン	1900頃	鉛筆、紙	40×46.5	ジョン・ジェシ
244	アーチボルド・ノックス	エドワード七世即位記念フルーツ・スプーン	1901	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
245	アーチボルド・ノックス	フルーツ・スプーン	1901	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
246	アーチボルド・ノックス	エドワード七世即位記念ブリザーヴ・スプーン	1901	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
247	アーチボルド・ノックス	ブリザーヴ・スプーン	1901	銀、エナメル	—	アーワス夫妻

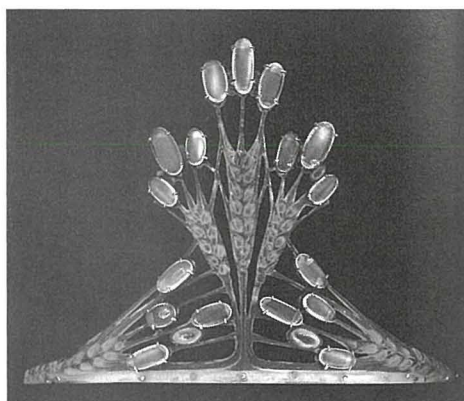
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
248	アーチボルド・ノックス	ハンドバッグ	1904頃	革に型押し	幅25	リチャード・ミラー
249	アーチボルド・ノックス	カーベットののためのデザイン (チューリップ、葉あざみ、つた)	1897頃	鉛筆、パステル、コピー・ペーパー	102×72.3	英国デザイン・建築博物館
250	アーチボルド・ノックス	織物のためのデザイン (花と葉)	1900頃	パステル、コピー・ペーパー	96.7×72.7	英国デザイン・建築博物館
251	アーチボルド・ノックス	織物あるいはカーベットののためのデザイン (チューリップ)	1900頃	パステル、コピー・ペーパー	76×60	英国デザイン・建築博物館
252	アーチボルド・ノックス	デザイン (ポピーと葉)	1897頃	鉛筆、パステル、コピー・ペーパー	87×71	英国デザイン・建築博物館
253	アーチボルド・ノックス	デザイン (葉)	1897頃	鉛筆、パステル、コピー・ペーパー	84×102.5	英国デザイン・建築博物館
254	リバティ・カタログ	—	1900頃	印刷	20×30	スティーヴン・マーティン
255	アーチボルド・ノックス	ソフィア・モリソン著『マン島の伝説』挿し絵	1929版	本	13×19	スティーヴン・マーティン

5. 高貴なるリバティ・スタイル

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
256	フレデリック・ジェイムス・パートリッジ	ホーン・ティアラ	1900頃	ブリーチド・ホーン、月長石	高14	タデマ・ギャラリー
257	アーサー&ジョルジーナ・ガスキン	ゴールド・ネックレス	1902頃	金、月長石、バロック真珠	—	アーワス夫妻
258	—	シルヴァー・ネックレス	1900頃	銀、カボション・カットのエメラルド	—	タデマ・ギャラリー
259	ジェシー・キング (推定)	ゴールド・ネックレス	1905頃	金、エナメル、金緑石、ベリドット、 ガーネット、真珠、オパール	—	タデマ・ギャラリー
260	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ネックレス	1900頃	金、カボション・カットのトルコ石	—	タデマ・ギャラリー
261	ジェシー・キング (推定)	シルヴァー・ネックレス	1905頃	銀、エナメル、ドロップ形の真珠	—	ディディエ・アンティークス
262	アーチボルド・ノックス	ゴールド三連ペンダント付ネックレス	1900頃	金、エナメル、ベリドット、真珠母	—	アーワス夫妻
263	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ネックレス	1900頃	金、ベリドット、プリスター・パール	—	アーワス夫妻
264	ジェシー・キング	ブラチナ・ネックレス	1905頃	ブラチナ、カボション・カットの月長石	—	アーワス夫妻
265	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ネックレス	1905頃	金、月長石	—	アーワス夫妻
266	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ネックレス	1905頃	金、カボション・カットのオパールとベリドット	—	アーワス夫妻
267	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ネックレス	1900頃	金、エメラルド、真珠母	—	アーワス夫妻
268	アーチボルド・ノックス	ゴールド・二連チェーン・ネックレス	1900頃	金、エメラルド、真珠	—	アーワス夫妻
269	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ネックレス	1900頃	金、トルコ石、アワビ、真珠母	—	アーワス夫妻
270	—	ゴールド・ペンダント	1905頃	金、プリスター・パール、小型のカボション・ カットのトルコ石、楕形のトルコ石、シード・パール	—	個人
271	—	ゴールド・ネックレス	1910頃	金、バロック真珠、真珠	—	個人
272	—	ゴールド・ワイヤーワーク・ネックレス	1905頃	金、ベリドット、プリスター・パール	—	個人
273	—	パール・ペンダント付ゴールド・ネックレス	1910頃	金、トルコ石、ドロップ形淡水真珠、 バロック真珠	—	個人
274	—	ゴールド・ブレスレット	1910頃	金、プリスター・パールのカボション・ カットとトルコ石	—	個人
276	—	シルヴァー・ペンダント	1910頃	銀、エナメル	—	個人
277	ジェシー・キング	シルヴァー・ネックレス	1905頃	銀、プリスター・パール、エナメル	—	個人
278	ジェシー・キング	シルヴァー・ネックレス	1900頃	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
279	—	シルヴァー・ネックレス	1910頃	銀、プリスター・パール、カボション・ カットの玉髄	—	個人
280	ジェシー・キング (推定)	二連ペンダント付シルヴァー・ネックレス	1910頃	銀、エナメル、プリスター・パール、淡水真珠	—	個人
281	—	シルヴァー・ペンダント	1910頃	銀、カボション・カットの月長石、エメラルド	—	個人
282	ジェシー・キング	シルヴァー・ペンダント	1910頃	銀、カボション・カットのスター・サファイヤ、 カボション・カットのアメジスト	—	個人
283	—	シルヴァー・ワイヤーワーク・ネックレス	1905頃	銀、カボション・カットの月長石	—	個人
284	ジェシー・キング	シルヴァー・ワイヤーワーク・ネックレス	1905頃	銀、カボション・カットの月長石、エナメル	—	個人

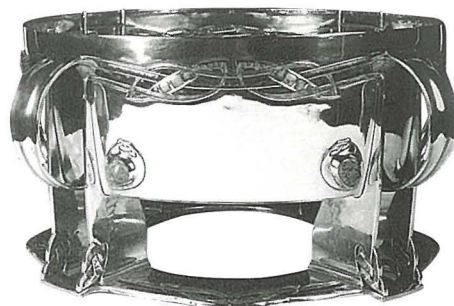


ドレッサー (推定)「テーブル用センターピース」



パートリッジ「ホーン・ティアラ」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
285	—	シルヴァー・ペンダント	1910頃	銀、カボション・カットの楕円形月長石、 バロック真珠	—	個人
286	—	シルヴァー・リング	1910頃	銀、エナメル、カボション・カットの月長石	—	個人
287	—	シルヴァー・ペンダント	1910頃	銀、カボション・カットの楕円形月長石、 エナメル	—	個人
288	ジェシー・キング (推定)	ゴールド・ペンダント	1905頃	金、カボション・カットのトルコ石マトリックス、 プリスター・パール、エナメル	—	ディディエ・アンティークス
289	—	ゴールド・ネックレス	1900頃	金、カボション・カットの月長石、 グリーン・ガーネット	—	ディディエ・アンティークス
290	—	円形ゴールド・ブローチ	1910頃	金、カボション・カットのトルマリリン	—	個人
291	—	シルヴァー・ネックレス	1910頃	銀、カボション・カットの楕円形トルコ石 マトリックス、プリスター・パール	—	個人
292	アーチボルド・ノックス	シルヴァー・ペンダント	1900頃	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
293	パーナード・クツナー	帆船形シルヴァー・ペンダント	1905頃	銀、カボション・カットのトルコ石マトリックス	—	個人
294	アーチボルド・ノックス	円形ゴールド・ペンダント・ロケット	1900頃	金、エナメル、真珠	—	タデマ・ギャラリー
295	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、エナメル	—	アーワス夫妻
296	アーチボルド・ノックス	十字架形ゴールド・ペンダント	1900頃	金、カボション・カットの楕円形オパール	—	アーワス夫妻
297	アーチボルド・ノックス	ゴールド二連ペンダント	1900頃	金、エナメル	—	アーワス夫妻
298	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、トルコ石マトリックス、真珠	—	アーワス夫妻
299	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、エナメル	—	バーバラ・マックロウ
300	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、プリスター・パール、カボション・ カットのガーネット、バロック真珠	—	アーワス夫妻
301	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、エナメル	—	アーワス夫妻
302	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、トルコ石マトリックス	—	アーワス夫妻
303	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、エナメル	—	アーワス夫妻
304	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ペンダント	1900頃	金、トルコ石、エナメル	—	アーワス夫妻
305	—	翼竜形シルヴァー・ブローチ	1910頃	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
306	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ブローチ	1900頃	金、エナメル	—	アーワス夫妻
307	アーチボルド・ノックス	シルヴァー・ブローチ	1900頃	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
308	アーチボルド・ノックス	シルヴァー・ブローチ	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
309	アーチボルド・ノックス	シルヴァー・ブローチ	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
310	アーチボルド・ノックス	シルヴァー・ブローチ	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
311	アーチボルド・ノックス	シルヴァー・ブローチ	1903	銀、エナメル、カボション・カットの緑色石	—	アーワス夫妻
312	ジェシー・キング	シルヴァー・ブローチ	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
313	ジェシー・キング	円形シルヴァー・ブローチ	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
314	アーチボルド・ノックス	ゴールド・ブローチ	1905頃	金、真珠母、真珠、ガーネット	—	アーワス夫妻
315	アーチボルド・ノックス	ゴールド&シルヴァー・ブローチ	1905頃	金、銀、エナメル、シード・パール	—	アーワス夫妻
316	ジェシー・キング	シルヴァー・ペンダント	1905頃	銀、エナメル、バロック真珠	—	タデマ・ギャラリー
317	ジェシー・キング	ウエスト・クラスプ	1906	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
318	ジェシー・キング	ウエスト・クラスプ	1906	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
319	ジェシー・キング	円形シルヴァー・ブローチ	1906	銀、エナメル	—	タデマ・ギャラリー
320	ジェシー・キング	ウエスト・クラスプ	1911	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
321	ジェシー・キング	ウエスト・クラスプ	1910	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
322	ジェシー・キング	クローク・クラスプ	1906	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
323	オリヴァー・ベーカー	ウエスト・クラスプ	1902	銀、カボション・カットのメキシカン・ ファイヤー・オパール・マトリックス	—	アーワス夫妻
324	オリヴァー・ベーカー	ウエスト・クラスプ	1910	銀、カボション・カットのトルコ石マトリックス	—	アーワス夫妻
325	アーチボルド・ノックス	エドワード七世即位記念ウエスト・クラスプ	1902	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
326	アーチボルド・ノックス	ベルト・バックル	1901	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
327	アーチボルド・ノックス	ウエスト・クラスプ	1903	透かし細工の銀、エナメル	—	アーワス夫妻
328	アーチボルド・ノックス	ウエスト・クラスプ	1901	透かし細工の銀、エナメル	—	アーワス夫妻
329	アーチボルド・ノックス	ウエスト・クラスプ	1902	透かし細工の銀、エナメル	—	アーワス夫妻



ノックス「ローズ・ボウル」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
330	アーチボルド・ノックス	円形ベルト・バックル	1902	透かし細工の銀、鮫皮	—	アーワス夫妻
331	アーチボルド・ノックス	ウエスト・クラスプ	1907	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
332	アーチボルド・ノックス	ウエスト・クラスプ	1908	銀	—	アーワス夫妻
333	アーチボルド・ノックス	ウエスト・クラスプ『プランタ』	1903	銀	—	アーワス夫妻
334	—	ウエスト・クラスプ	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
335	—	ウエスト・クラスプ	1900	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
336	—	ウエスト・クラスプ	1913	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
337	—	ウエスト・クラスプ	1900	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
338	—	バックル	1907	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
339	—	ベルト・バックル	1909	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
340	ジェシー・キング (推定)	楕円形バックル	1907	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
341	アーチボルド・ノックス (推定)	バックル『アボカ』	1899頃	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
342	アーチボルド・ノックス (推定)	ベルト・バックル	1901	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
343	アーチボルド・ノックス	ボタン (5 個組)	1904	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
344	アーチボルド・ノックス	ボタン (6 個組)	1902頃	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
345	アーチボルド・ノックス	ボタン (5 個)	1903	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
346	アーチボルド・ノックス	ボタン (3 個)	1904	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
347	—	ボタン (6 個)	1904	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
348	バーナード・クツナー	ボタン (6 個)	1907	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
349	アーチボルド・ノックス	ボタン (6 個)	1904	銀、エナメル	—	アーワス夫妻
350	—	ボタン (5 個)	1906	銀、エナメル、ブリスター・パール	—	アーワス夫妻

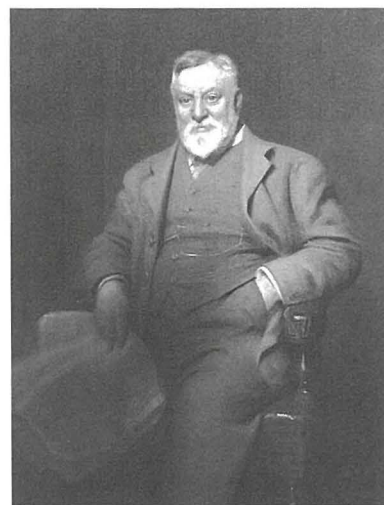
参考出品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
a	ウィリアム・モリス	テキスタイル『いちご泥棒』	再制作 (オリジナルは1883)	—	—	リバティジャパン
b	—	テキスタイル『ウィルトシャー・ベリー』	再制作	—	—	リバティジャパン
c	—	テキスタイル『ブライアーウッド』	再制作	—	—	リバティジャパン
d	ウィリアム・モリス	タペストリー『アカンサスと鳥』	再制作	—	120×93	リバティ社
e	ウィリアム・モリス	タペストリー『きつつき』	再制作 (オリジナルは1885)	—	120×93	リバティ社
f	エドワード・バーン=ジョーンズ	タペストリー『ボモナ』	再制作 (オリジナルは1885)	—	120×93	リバティ社
g	エドワード・バーン=ジョーンズ	タペストリー『フローラ』	再制作	—	198×131	リバティ社
h	アーサー・シルヴァー	テキスタイル『ヘラ』	再制作 (オリジナルは1887頃)	—	—	リバティジャパン
i	—	ラグ『アイアンシ』	再制作	—	272×190	リバティ社
j	C. F. A. ヴォイジィ	ラグ『リヴァー・ラグ』	再制作	—	248×191	リバティ社

* 寸法は、注記以外は平面作品が縦×横 (×奥行)、立体作品が高さ×幅 (×奥行)。



モリス「テキスタイル『いちご泥棒』」



ハッカー「アーサー・ラセンビー・リバティ」

ピカソ、ブラック、ボナール、ルオー、ベン・シャーン… 20世紀静物画の展開

会期＝平成11年9月22日(水)－11月10日(水) 43日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、読売新聞社、美術館連絡協議会、フィリップス・コレクション

後援＝外務省、文化庁、アメリカ大使館
協賛＝花王株式会社、東京海上火災保険株式会社
協力＝全日本空輸株式会社
観覧料＝一般930(780)円、高大生570(460)円、小中生360(300)円
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「西洋美術における静物画の意味」
講師＝若桑みどり氏(美術史家・千葉大学教授)
日時＝10月16日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂

特別展セミナー

「20世紀絵画の巨匠たち」
講師＝鎌田 享(当館学芸員)
日時＝10月9日(土)、10月23日(土) 午後2時～3時
会場＝当館講堂

土曜映写室

「美術のみかた 視覚の変貌」
「世界の美を訪ねて～西洋編 ものとの対話」
日時＝9月25日(土)、10月2日(土)、10月30日(土)
午後2時～3時
会場＝当館講堂

図録

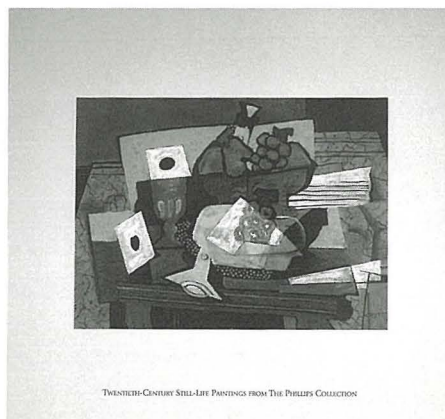
規格＝20.0×21.5cm／総頁数158ページ
構成＝ごあいさつ／メッセージ／ステファン・ベネット・フィリップス『『芸術は個人的、芸術は情熱的』ダンカン&マージョリー・フィリップスの静物画コレクション』／岡田潔「20世紀アメリカ静物画の概要－本展の焦点の一つ」／作品図版／古谷可由「個人コレクションとしてのフィリップス・コレクション－ダンカン・フィリップスとそのコレクション」／金原宏行「静物画－日本における静物画の受容を中心に」／作家・作品解説／出品作家生没年表／出品作品リスト

関連記事

鎌田享「20世紀静物画の展開①～⑤」読売新聞／9月28日～10月5日



ポスター



図録

強烈な色彩感と奔放な筆触を特徴とするフォーヴィスム、対象を複数の視点からとらえて描くことで立体物を絵画平面上に再構築しようとしたキュビズム。今世紀初頭のヨーロッパではさまざまな美術運動が起こり、従来の概念を塗り替える新たな絵画の在り方が模索された。一方、同時代のアメリカでは、ヨーロッパにおけるこうした革新的な動向を吸収しながら独自の絵画様式を生み出すべく模索が続けられた。

この展覧会は、ワシントンのフィリップス・コレクションが所蔵する作品によって構成されたものである。同館はアメリカ有数のコレクターとして知られるダンカン・フィリップスとその妻マージョリーによって1921年に創設された美術館である。近代西洋絵画のコレクションによって知られているが、今回はその豊富な所蔵品の中から、ピカソ、ブラック、ルオーら欧米の画家45名の静物画作品73点が出品された。果物や楽器など日常の品々を描く静物画は、モチーフが単純であるだけに画家たちの表現の特色や造形理念を理解する格好の素材といえる。そうした静物画に焦点をあてることで、今世紀前半のヨーロッパおよびアメリカのモダニズム絵画の変遷を明らかにしようとしたのである。

この展覧会は、1997年にフィリップス・コレクションで開催された展覧会を再構成し、日本国内5会場（東京ステーションギャラリー、ひろしま美術館、茨城県近代美術館、岐阜県美術館、北

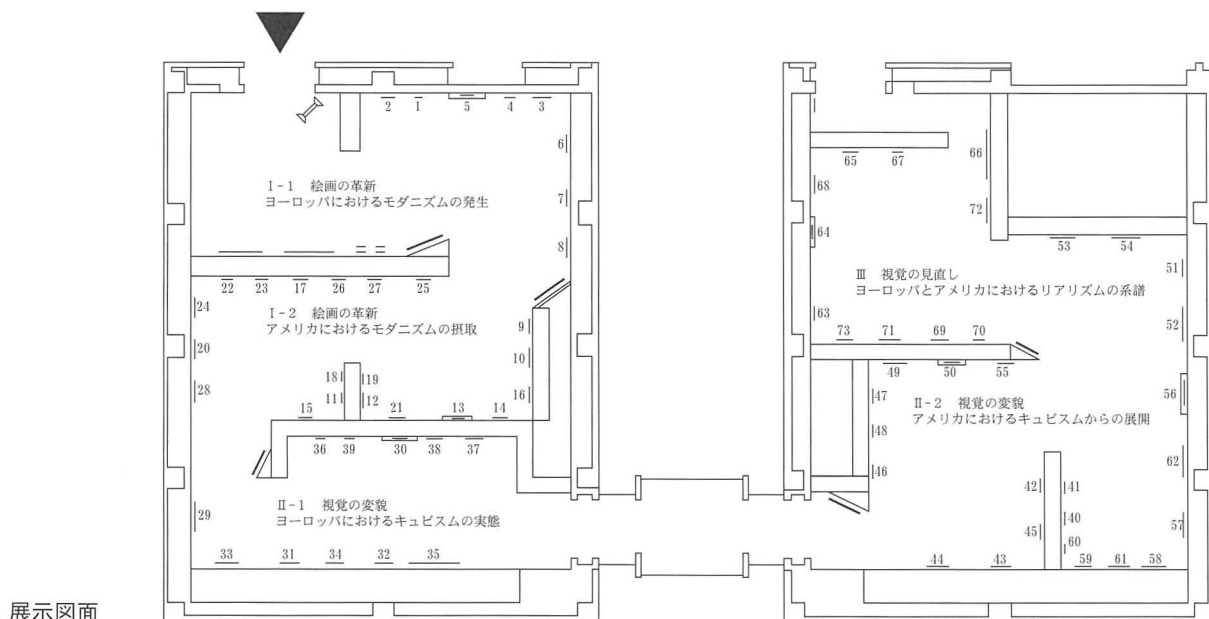
海道立帯広美術館）で開催したものである。日本巡回にあたっては、出品作品を、画家たちの活動年代や表現傾向、および活動地域によって次の5つのセクションに分けた。

- I-1 絵画の革新 ヨーロッパにおけるモダニズムの発生
- I-2 絵画の革新 アメリカにおけるモダニズムの摂取
- II-1 視覚の変貌 ヨーロッパにおけるキュビズムの実験
- II-2 視覚の変貌 アメリカにおけるキュビズムからの展開
- III 視覚の見直し ヨーロッパとアメリカにおけるリアリズムの系譜

「I 絵画の革新」ではアンティミズム、フォーヴィスム、表現主義など今世紀初頭の諸傾向を、「II 視覚の変貌」ではキュビズムから抽象絵画へといたる道程を取り上げた。これら2つはさらに、ヨーロッパ、アメリカの2地域に細分することで、両者の同時代性と相違点を比較できるようにした。

また「III 視覚の見直し」ではとりわけアメリカにおいて顕著なリアリズムの傾向をクローズアップした。

20世紀絵画の流れを概観するとともに、あまりなじみのないアメリカ絵画の世界を紹介した本展には、幅広い層の市民6,226名が訪れ好評を得た。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

I-1 絵画の革新 ヨーロッパにおけるモダニズムの発生

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	アンリ・ルソー	ピンクのろうそく	1905-08	油彩、キャンバス	16.2×22.2
2	ウォールター・シッカート	オムレツの材料	1919	油彩、キャンバス	40.6×33.0
3	ビエール・ボナール	さくらんぼを盛った高杯	1920	油彩、キャンバス	30.2×41.9
4	ビエール・ボナール	苺	1920	油彩、キャンバス	27.0×25.1
5	ジョルジュ・ルオー	花束No. 2	1938頃	油彩、カードボードに貼付した新聞紙	35.6×24.8
6	アルベール・アンドレ	ぶどう、メロン、いちじく	1912	油彩、キャンバス	43.5×55.2
7	アルベール・アンドレ	レモンとタンジェリン	1913	油彩、キャンバス	23.5×36.2
8	ハイム・スーチン	きじ	1926-27	油彩、キャンバス	31.1×75.6

I-2 絵画の革新 アメリカにおけるモダニズムの摂取

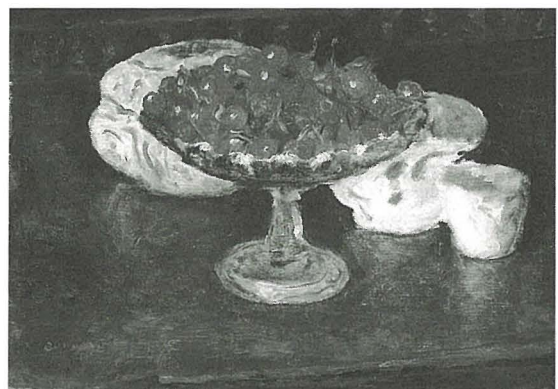
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
9	マーズデン・ハートリー	庭師の手袋と植木ばさみ	1937頃	油彩、キャンバスボード	40.3×50.8
10	マーズデン・ハートリー	野ばら	1942	油彩、キャンバスボード	55.9×71.1
11	ポール・ドーアティ	青いボウルとカーネーション	1920頃	油彩、キャンバス	27.9×37.5
12	ウォールト・クーン	花束 (チューリップのつぼみ)	1920-23	油彩、チップボードに貼付したキャンバス	23.5×31.1
13	ウォールト・クーン	パンとナイフ	1934	油彩、キャンバス	30.8×38.4
14	モーリス・スターン	静物	1925	油彩、キャンバス	51.1×62.9
15	ヘンリエット・アミード・オーバーテューファー	クリスタル・ガラスの水差し	不詳	油彩、キャンバス	40.6×50.8
16	マックス・ウェーバー	植民地時代風の高杯	1938	油彩、キャンバス	47.6×56.2
17	アーサー・ビーチャー・カールズ	果物と花を盛ったかご	1925頃	油彩、キャンバス	40.6×51.8
18	ディヴィッド・ブルリユーク	青い水差しの花	1934	油彩、キャンバス	45.7×33.0
19	サミュエル・ハルパート	窓を通して	1918	油彩、キャンバス	51.4×40.6
20	ヘンリ・ヴァーナム・プア	死んだ鳥	1943頃	油彩、ハードボード	40.3×50.8
21	ウィアリム・マイアローヴィッツ	果物と花	不詳	油彩、キャンバス	50.8×61.0
22	ハロルド・ウェストン	ねこやなぎ	1928頃	油彩、キャンバス	55.2×33.0
23	ハロルド・ウェストン	メロン	1930	油彩、キャンバス	46.0×38.1
24	マージョリー・アッカー・フィリップス	私のかんじき	1934	油彩、キャンバス	96.5×66.4
25	マージョリー・アッカー・フィリップス	小さな花束	1934	油彩、キャンバス	39.4×35.9
26	マージョリー・アッカー・フィリップス	きんれんか	1951	油彩、キャンバス	35.9×29.8
27	マージョリー・アッカー・フィリップス	大きな洋梨	1955	油彩、キャンバス	30.8×35.6
28	モーリス・カントル	黒いレースのパラソル	1931	油彩、キャンバス	100.0×74.9

II-1 視覚の変貌 ヨーロッパにおけるキュビスムの実験

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
29	パブロ・ピカソ	肖像のある静物	1906	油彩、キャンバス	81.9×100.3
30	パブロ・ピカソ	グラスと果物のある静物	1939	油彩、キャンバス	32.7×45.9
31	ジョルジュ・ブラック	プラム、洋梨、くるみ、ナイフ	1926	油彩、キャンバス	22.9×73.0
32	ジョルジュ・ブラック	レモン、桃、高杯	1927	油彩、キャンバス	22.2×73.0
33	ジョルジュ・ブラック	ぶどうとクラリネットのある静物	1927	油彩、キャンバス	54.0×73.0
34	ジョルジュ・ブラック	しろめ製の水差しと果物のある静物	1944	油彩、キャンバス	34.9×64.8
35	ロジェ・ド・ラ・フレネー	象徴	1913頃	油彩、キャンバス	88.9×200.0
36	ホアン・グリス	抽象	1915	油彩、砂、カードボード	28.9×19.7
37	ベン・ニコルソン	静物、1950年3月17日	1950	油彩、キャンバス	55.9×61.0
38	ベン・ニコルソン	静物 (冬)、1950年11月3日	1950	油彩、鉛筆、ハードボード	43.2×67.3
39	ジャン・シャルロ	グラス、コップ、さいころ	1925	油彩、キャンバス	35.6×27.9



ルソー「ピンクのろうそく」



ボナール「さくらんぼを盛った高杯」

II-2 視覚の変貌 アメリカにおけるキュビズムからの展開

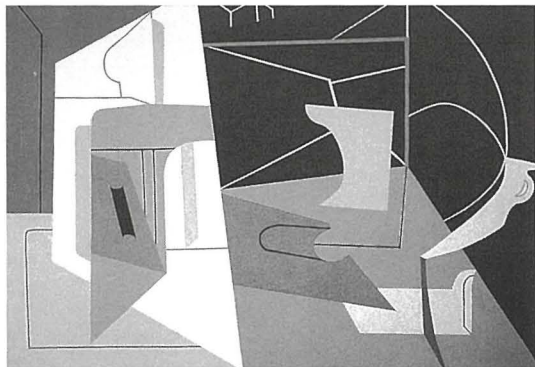
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
40	アルフレッド・H. マウラー	朝鮮あざみとパンのある静物 I	1929-30頃	油彩、ハードボード	46.0×55.2
41	アルフレッド・H. マウラー	レースの敷物のある静物	1930頃	油彩、カードボード	45.4×54.6
42	ミルトン・エイヴリー	ピンクの静物	1938	油彩、カードボード	38.1×54.6
43	ミルトン・エイヴリー	グラジオラス	1940	油彩、キャンバス	66.0×86.4
44	ミルトン・エイヴリー	松かさ	1940	油彩、キャンバス	71.1×91.4
45	ミルトン・エイヴリー	牛乳差し	1949	油彩、キャンバスボード	40.6×50.8
46	ジョン・D. グレーアム	ピンクの花瓶の花	1928	油彩、キャンバス	53.3×43.5
47	ジョン・D. グレーアム	二つの卵	1928	油彩、キャンバスボード	32.4×40.6
48	ジョン・D. グレーアム	鳥かご	1931	油彩、キャンバス	55.9×66.0
49	ジョン・D. グレーアム	青い静物	1931	油彩、キャンバス	65.1×91.8
50	マン・レイ	黒いトレイ	1914	油彩、キャンバス	45.7×61.6
51	カール・ナスス	夜の窓辺のゼラニウム	1922	油彩、キャンバス	61.0×50.8
52	カール・ナスス	収穫	1932-33頃	油彩、キャンバス	101.6×121.9
53	カール・ナスス	飲みもののシン・ジン	1945	油彩、キャンバス	61.0×76.2
54	カール・ナスス	緑のかぼちゃ	1948	油彩、キャンバス	61.3×69.2
55	ナイルズ・スペンサー	屋根裏部屋の窓	1927	油彩、キャンバス	76.5×61.3
56	スチュアート・デーヴィス	卵あわ立て器No. 4	1927	油彩、キャンバス	68.6×97.2
57	エイブラハム・ナトラー	モントーク岬の窓	1943	油彩、キャンバス	65.1×81.3
58	ブラッドレイ・ウォーカー・トムリン	静物	1940	油彩、キャンバス	55.9×73.7
59	ジャン・ネグレスコ	ルーマニアの静物	1926	油彩、カードボード	40.0×63.2
60	ジャン・ネグレスコ	静物	1926	油彩、カードボード	26.7×34.9
61	ジャン・ネグレスコ	ギターと白い花瓶	1929	油彩、キャンバス	153.0×76.2
62	ベン・サマーフォード	青い瓶	1952	油彩、キャンバス	137.2×106.7

III 視覚の見直し ヨーロッパとアメリカにおけるリアリズムの系譜

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
63	ジョルジオ・モランディ	静物	1950	油彩、キャンバス	35.9×47.3
64	ジョルジオ・モランディ	静物	1953	油彩、キャンバス	20.3×39.7
65	ルフィノ・タマヨ	マンドリンとパイナップル	1930	油彩、キャンバス	50.2×69.9
66	ベン・シャーン	音のない音楽	1948	テンペラ、合板パネルに貼付した布の上に紙	121.9×212.1
67	エドワード・ローゼンフェルド	台所の流し	1935	油彩、板	54.3×44.5
68	ハーマン・マリル	けし	1978	油彩、キャンバス	101.6×76.2
69	ジョーゼフ・ソルマン	本と版画	1947	油彩、カードボード	30.5×50.8
70	ジョーゼフ・ソルマン	ほうき	1947	油彩、カードボード	50.8×40.6
71	ジョーゼフ・ソルマン	アトリエのインテリア	1950頃	油彩、キャンバス	61.0×91.4
72	モーリス・グレーヴズ	8月の静物	1952	油彩、ハードボードの上にキャンバス	121.9×103.5
73	ウォールター・スチュエンフィグ	連隊帽	1953	油彩、キャンバス	46.0×61.0

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべてフィリップス・コレクション蔵。



デーヴィス「卵あわ立て器No. 4」



ルオー「花束No. 2」

帯広美術館コレクション選集 バルビゾン派／道東の美術

会期＝平成11年11月19日(金)－平成12年1月9日(水) 43日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般250(200)、大学生150(100)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは
無料

()内は10名以上の団体料金

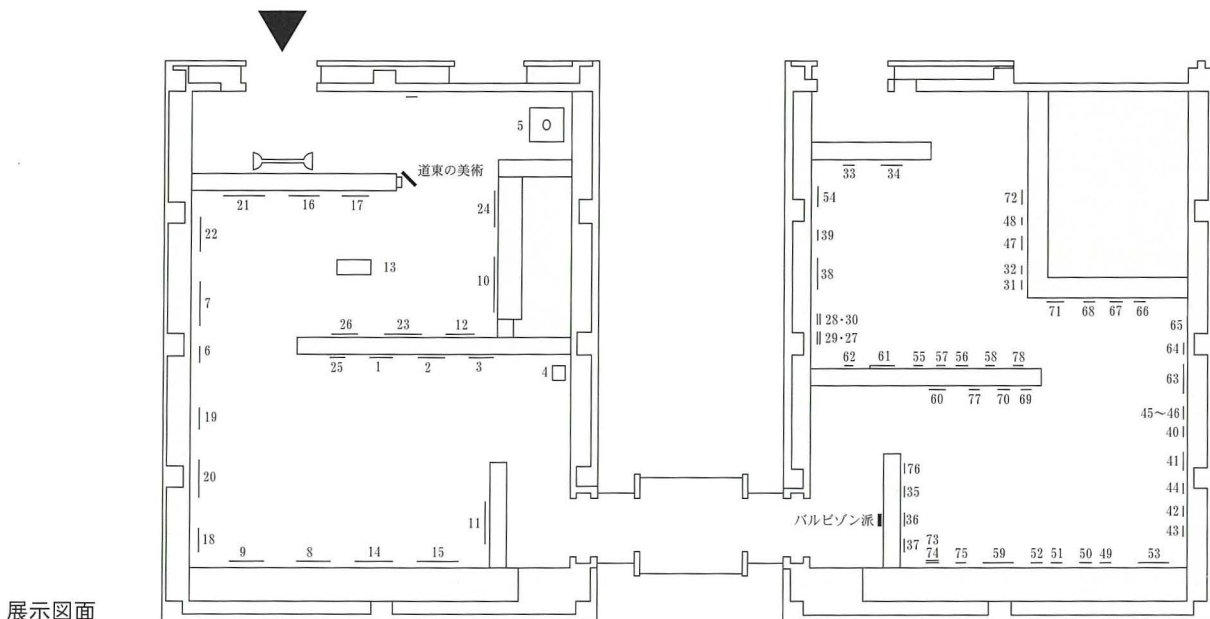
美術館の役割は、優れた美術作品を収集し、研究し、公開し、そしてそれらの作品を後世の人々に伝えていくことにある。その意味で一定の方針に基づき体系的に収集されたコレクションは、美術館活動の方向性全体に関わる極めて重要な要素である。

当館では平成3年9月の開館以来、「道東の美術」「プリントアート」という二つの方針を立て、作品の収集に努めてきた。第一の柱である「道東の美術」とは、当館が立地する十勝をはじめ、釧路・根室・網走を含めた北海道東部地域ゆかりの作品を取り上げようというものである。一方、第二の柱「プリントアート」は、版画や写真などプリント(印刷・転写・複製)の技法を用いて制作された作品に焦点を当てたものである。具体的には、19世紀後半から20世紀初頭にかけて制作されたフランスのポスター、版や写真の技法を利用して作られた現代美術作品などを収集してきた。さらに平成11年度以降はこれらの二つに、第三の柱「西洋の美術」を追加。これまで「プリントアート」の一環として収集を進めてきたバルビゾン派の版画や絵画を軸に、農業を基幹産業とする十勝地域との関連性に鑑み、農村や田園を描いた西洋の風景画・風俗画の収集を進めている。

三つの収集方針に基づきコレクションされた当館所蔵作品群の一端を紹介するべく開催された本展覧会では、主展示室1において油彩画や日本画、彫刻など「道東の美術」26点を、主展示室2において「バルビゾン派」の絵画、版画作品52点を展示した。



会場風景



展示図面

出品目録

道東の美術

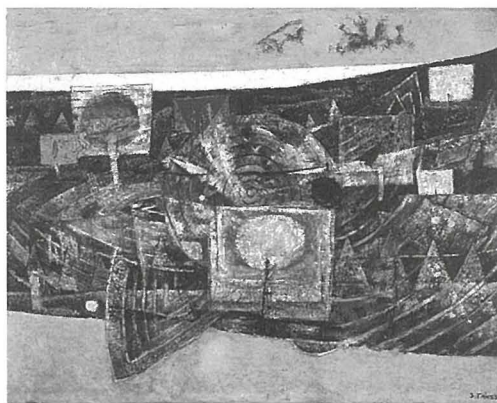
No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
1	伊藤隆二	池のほとり	1931 (昭和6)	油彩、キャンバス	72.8×91.0
2	伊藤隆二	初秋	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	80.7×116.8
3	伊藤隆二	雪景	1936 (昭和11)	油彩、キャンバス	72.8×91.0
4	岡沼淳一	far away	1992 (平成4)	木	高さ44.0
5	伽井丹彌	人形譚	1996 (平成8)	桐塑、アクリリック	高さ110.5
6	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
7	神田日勝	人と牛 B	1968 (昭和43)	油彩、板	183.5×182.5
8	小林満枝	水辺	1977 (昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4
9	小林満枝	叢原	1985 (昭和60)	紙本彩色	112.0×145.4
10	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
11	竹山義雄	山湖 (レイクルイズ)	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
12	寺島春雄	吃り歎草陳情	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	162.0×130.8
13	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	奥行115.0×幅30.0×高さ50.0
14	長尾栄三	樹苑の秋	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	130.3×162.2
15	長尾栄三	晩秋の高原	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
16	楳原武正	日の出	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	165.0×132.5
17	楳原武正	子供	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	135.0×110.0
18	能勢眞美	樹庭	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	148.0×91.0
19	能勢眞美	樹列	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	145.5×89.5
20	能勢眞美	樹草	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	97.0×145.5
21	村元俊郎	セニョリータ	1991 (平成3)	油彩、キャンバス	130.5×162.0
22	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
23	森 健二	光年の導「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
24	森 弘志	それ、普通	1994-95 (平成6-7)	油彩、キャンバス	162.4×162.2
25	八鍬一郎	糠平の風景	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	50.0×60.6
26	矢柳 剛	宇宙と人間D	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	161.7×112.1

バルビゾン派

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
27	A. アピアン	リックスの周辺	1864	エッチング、紙	7.0×15.1
28	A. アピアン	ロメ谷	1868	エッチング、紙	10.1×19.1
29	A. アピアン	リヨン周辺	1879	エッチング、紙	14.1×23.3
30	A. アピアン	マントン近郊	1879	エッチング、紙	12.2×20.1
31	H. J. アルビニー	川辺の道	不詳	水彩、紙	23.9×33.7
32	H. J. アルビニー	川辺	不詳	水彩、紙	22.5×33.8
33	A. アロンジェ	池の水門	1879	リトグラフ、木炭、紙	55.7×41.6
34	A. アロンジェ	森の中	不詳	水彩、紙	53.5×75.7
35	J. B. C. コロー	ひざまずくマгдаラのマリヤ	1858	クリシェ=ヴェール、紙	16.5×11.4
36	J. B. C. コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0



伊藤隆二「池のほとり」



武田伸一「凍土」

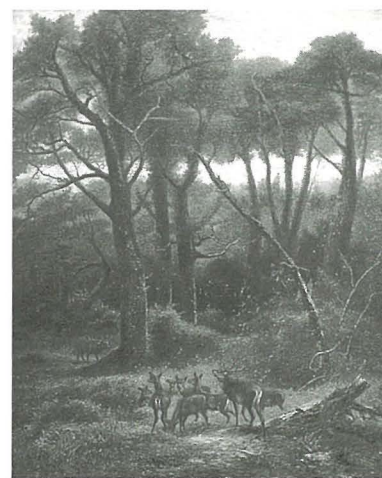
No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
37	J. B. C. コロー	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0
38	J. F. シェニヨー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
39	J. F. シェニヨー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	エッチング、紙	19.8×30.7
40	Ch. E. ジャック	蹄鉄場	1865	エッチング、紙	12.8×19.3
41	Ch. E. ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	不詳	油彩、キャンバス	81.2×65.0
42	Ch. E. ジャック	オランダ牛	不詳	エッチング、紙	11.0×17.9
43	Ch. E. ジャック	雄鳥と雌鳥	不詳	エッチング、紙	12.1×17.0
44	Ch. E. ジャック	夏	不詳	エッチング、紙	12.8×9.7
45	Ch. E. ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
46	Ch. E. ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
47	L. シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
48	L. シャブリ	アレスの道 (ジロンド)	不詳	エッチング、紙	14.3×20.8
49	J. デュブレ	ソローニュの風車	1835	リトグラフ、紙	19.6×14.0
50	J. デュブレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7
51	J. デュブレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9×20.7
52	J. デュブレ	アランソン風景	1839	リトグラフ、紙	13.3×19.0
53	J. デュブレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8
54	A. ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
55	Ch. F. ドービニー	レバノンの西洋杉	1842	エッチング、紙	17.5×11.3
56	Ch. F. ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
57	Ch. F. ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0×23.9
58	Ch. F. ドービニー	ヴィラーヴィル海岸	不詳	エッチング、紙	9.2×19.8
59	C. トロワイヨン	牛のいる風景	不詳	油彩、キャンバス	80.6×99.7
60	J. R. ブラカサ	海辺の羊	不詳	油彩、キャンバス	49.0×65.0
61	F. L. フランセ	風景－丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6
62	F. L. フランセ	沼辺の犬	不詳	リトグラフ、紙	15.6×24.7
63	K. ボドメール	鹿の呼び声	不詳	油彩、キャンバス	101.0×81.0
64	K. ボドメール	鹿	不詳	エッチング、手彩色、紙	8.7×13.5
65	K. ボドメール	鳥の水場	不詳	リトグラフ、紙	48.8×34.4
66	J. F. ミレー	裁縫する女	1855-56	エッチング、紙	10.5×7.4
67	J. F. ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
68	J. F. ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
69	P. ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866	エッチング、紙	19.3×28.0
70	P. ユエ	オーージュ谷のノルマンディー人の家の庭	1866	エッチング、紙	9.5×14.0
71	E. A. ラヴィエイユ	村の眺め	不詳	油彩、板	32.8×56.0
72	L. リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
73	Th. ルソー	ピオーのサクランボの木	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7
74	Th. ルソー	ピオーの平原	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7
75	Th. ルソー	樫の木と岩	1861	エッチング、紙	12.7×17.2
76	不詳	コローの肖像	不詳	エッチング、紙	11.9×10.9
77	不詳	ユエの肖像	不詳	エッチング、紙	15.1×11.2
78	不詳	ドービニーの肖像	不詳	エッチング、紙	21.4×15.3

* 寸法は注記以外は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



ブラカサ「海辺の羊」



ボドメール「鹿の呼び声」

永遠のポスター芸術 ロートレック、ミュシャ、カッサンドルとその時代

会期＝平成12年 1月28日(金)－3月29日(水) 52日間

主催＝北海道立帯広美術館、北海道新聞社

観覧料＝一般730(620)円、高大生410(360)円、小中生300(250)円

心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「ポスター芸術の世界－西洋と日本」

講師＝今井良朗氏(武蔵野美術大学教授)

日時＝2月12日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「街角の芸術－パリのポスター 50年」

講師＝寺嶋弘道(当館学芸課長)

日時＝1月29日(土)、3月18日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

ミュージアム・カレッジ

「ポスターの街角－パリジェンヌの美術めぐり」

日時＝2月5日(土)、12日(土)、19日(土)、26日(土)

午後2時～3時30分

会場＝当館講堂・主展示室

図録

規格＝28.8×22.6cm／総頁数144ページ

構成＝あいさつ／寺嶋弘道「ロートレック、ミュシャ、カッサンドルとその時代 帯広美術館のポスター・コレクションから」／平利弘「写実的描写のポスターにおける魅惑－イリュージョンニズムの伝統」／カタログ／作品解説／作家解説／主要作家生没年表／出品リスト

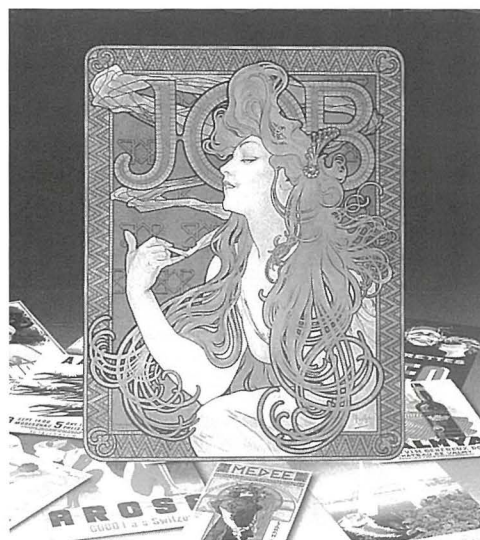
関連記事

寺嶋弘道「ご覧あそばせ ロートレック『ディヴァン・ジャポネ』」毎日新聞／1月30日



北海道立帯広美術館

ポスター



図録

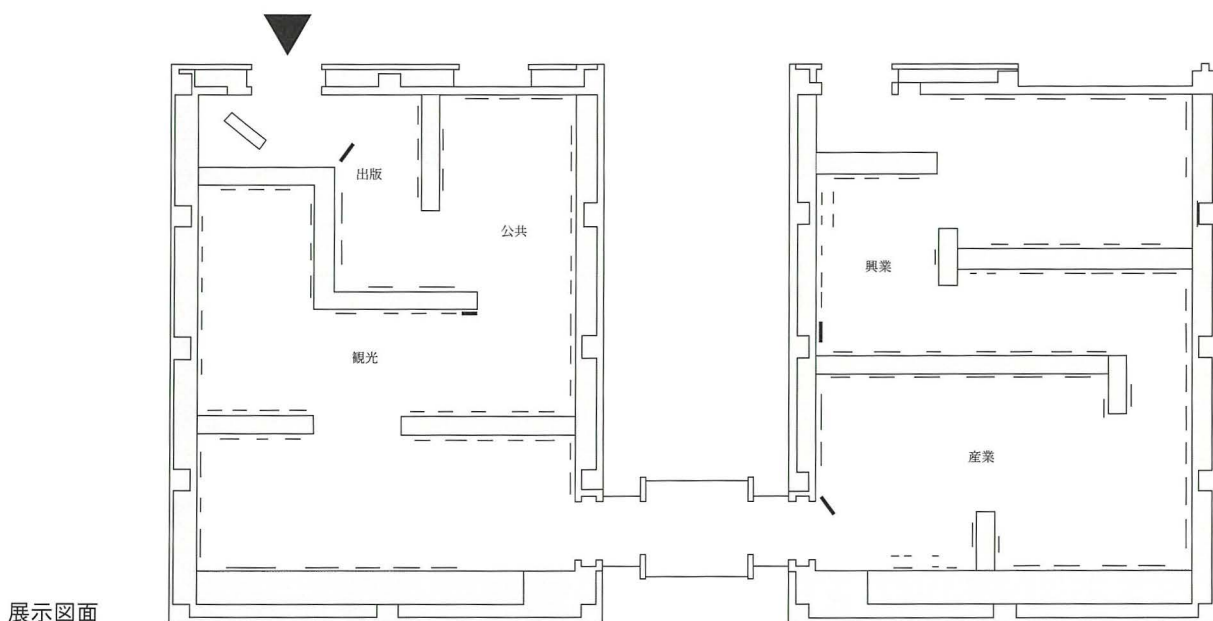
19世紀から20世紀にかけてヨーロッパでは、産業革命を経て市民を主役とする大衆文化が花開き、劇場やカフェの催しをはじめ、見本市の開催、商品や観光の宣伝などを目的とするポスターが盛んに制作されるようになった。それらは情報の伝達や歴史を記録する時代の証言者としての価値を有するとともに、制作当時からその優れた造形的価値が注目され、多くの収集家の情熱をも駆り立てた。

また、19世紀初めに発明されたカラー・リトグラフの技術は、美術家が描いた図柄をそのまま再現できるばかりでなく、多色刷りの色彩豊かな表現を可能にし、19世紀末にポスター芸術が黄金時代を迎える大きな基盤となった。そうした社会的要素と技術的進展を得て、ポスターは、ロートレックやミュシャ、カッサンドルら多くの優れた美術家の参入を招き、高い芸術性と永遠の輝きを与えられ、街頭を華やかに彩ったのである。

当館では、プリントアートをコレクションのテーマに、これまで219点のヨーロッパのポスター作品を収集してきた。1997年には

開館5周年記念事業としてその一部を「黄金時代のポスター芸術」展で公開、次いで道外8会場で広く紹介する機会を得た。このたびの展覧会は、それに引き続く所蔵ポスター展の第2弾として企画されたものである。展示作品140点のうち119点は前回未公開の作品で、両展を合わせ所蔵のヨーロッパ・ポスターの全作品が紹介されたことになる。パリのカルナヴァレ美術館学芸員ジョスリン・ヴァン・ドゥピュット氏の調査協力を得て制作された両展のカタログによって、作家と作品の全容が詳細に記録された。

展覧会の組み立ては、前回展と同様、産業、観光、出版、公共、興業の5コーナーに出品作品を分類し、それぞれのコーナーごとに区分して展示構成した。作品の多くは商品や催事のポスターであり、また利便性の高いサービスの提供を目的としたものが主である。親しみある絵入りポスターを主体としたこれらの作品の数々は、生産と消費を謳歌した19世紀から20世紀の社会状況の縮図となっており、時代を映す鏡としてのポスターの役割を再認識する展観となった。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

■産業

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
*ワインと酒					
1	不詳	キナ入りワイン「スマルト」を一杯どうぞ	1885頃	リトグラフ、紙	129.5×94.0
2	ジュール・シェレ	マリアーニ・ワイン	1894	リトグラフ、紙	53.9×37.3
3	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アブリコティエヌ」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
4	バル (ジャン・ド・パレオローク)	仲買人は知らない	1895頃	リトグラフ、紙	214.0×146.5
5	ラコット	ペリエのりんご酒	1900頃	リトグラフ、紙	119.5×79.5
6	レオネット・カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
7	フレデリコ・リバス・モンテネグロ	マルケス・デル・メリト、ワインとコニャック	1920	リトグラフ、紙	152.0×109.0
8	不詳	コニャック「モンタンゴン」	1920	リトグラフ、紙	38.7×28.0
9	不詳	発泡性ワイン「ヴーヴ・アミオ」	1925	リトグラフ、紙	150.0×112.5
10	J. スタル (アンドレ・ラブシェフスキー)	ソヴィオン・ブランデー	1925頃	リトグラフ、紙	59.0×40.0
11	J. スプリング (アンドレ・ラブシェフスキー)	コニャック「ソラン」	1930	リトグラフ、紙	151.4×113.7
12	ラウール・マルトン	ワイン「ジェスヴェレール」	1930頃	リトグラフ、紙	150.3×112.5
13	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ジャンシアヌ=キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5
14	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン) (原画)	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ、紙	39.6×31.1
15	ロビィ	食前酒「トニ=コーラ」	1935	リトグラフ、紙	200.0×130.0
16	アンリ・ル・モニエ	ワイン「ヴァルミヤ」	1937	リトグラフ、紙	157.0×119.0
17	ベルナール・ヴィルモ	食前酒「チンザノ」	1958	リトグラフ、紙	154.8×112.0
*タバコ					
18	フラム／ヴァルマン	タバコ巻紙「スエズ」	1890-1900頃	リトグラフ、紙	130.0×99.0
19	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
20	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0
21	不詳	タバコ「レオ」	1920	リトグラフ、紙	113.0×74.0
*食料品					
22	不詳	ココア「ブローケール」	1900頃	リトグラフ、紙	153.5×66.0
23	バルドリッシュ	果物は健康食品	1928	リトグラフ、紙	107.5×66.5
*衣料品・雑貨					
24	ジュール・シェレ	ブチ・サン=トマーおもちゃ、本	1889	リトグラフ、紙	117.5×82.2
25	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
26	オットー・パウムベルガー	高品質のPKZ	1921	リトグラフ、紙	124.5×84.2
27	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
28	ドナルド・ブラン	バータ	1940頃	リトグラフ、紙	127.4×91.0
*衛生・美容用品					
29	ジュール・シェレ	白粉「ディアファース」	1890	リトグラフ、紙	39.0×82.6
30	ジュール・シェレ	風邪薬「バスティユ・ジェローデル」	1891	リトグラフ、紙	49.4×25.0
31	不詳	最高級インド香水	1895頃	リトグラフ、紙	120.0×80.0
32	不詳	脱毛防止剤「ベルテュイジヌ」	1899	リトグラフ、紙	86.5×66.0



シェレ「マリアーニ・ワイン」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
*家庭設備・備品					
33	G. ベルニ	最高級浄水器	1893	リトグラフ、紙	128.5×99.0
34	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1894	リトグラフ、紙	51.2×33.2
35	J. C.	野外コンロ	1895頃	リトグラフ、紙	129.0×99.5
36	A. フォス	純ニッケル	1900頃	リトグラフ、紙	129.0×94.0
37	不詳	液体ワックス	1900	リトグラフ、紙	125.0×90.0
38	ウジェーヌ・オジェ	自動印刷機「シクロスティル」	1900頃	リトグラフ、紙	139.0×100.0
39	O. E.	フィリップス社「アルジェンタ」	1930	リトグラフ、紙	82.6×104.0
*自転車・オートバイ					
40	オガロ (マリユス・ロシヨン)	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
41	T. D. T. (ヴィクトル・デュメ)	テロ	1952-53	リトグラフ、紙	116.2×74.5
*自動車					
42	不詳	シトロエンの在庫	1923	リトグラフ、紙	156.0×116.0
43	不詳	自動車「ビュイール」	1924	リトグラフ、紙	140.0×100.0
44	ピエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
45	不詳	自動車「ベルリエ」	1926	リトグラフ、紙	138.0×95.0
46	ルネ・ヴァンサン (ルネ・マエル)	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
47	不詳	最高級車サンビーム90	1945	オフセット、紙	73.0×97.0
48	不詳	自動車「ダッジ」	1950頃	オフセット、紙	95.5×114.5
■観光					
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
49	アルフレッド・シュープラク	トゥルーヴィルのカジノ	1885頃	リトグラフ、紙	130.0×90.5
50	H. ララメ	カジノ、トゥルーヴィール=シュル=メール	1902	リトグラフ、紙	129.5×90.0
51	不詳	ルガノ、グランド・パレス・ホテル	1910	リトグラフ、紙	69.3×98.0
52	アンリ・ゾー	スペイン旅行の割引チケット	1910頃	リトグラフ、紙	107.5×76.0
53	ロナルド・ランビット	コーンウォール	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×123.5
54	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行——フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
55	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号——フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
56	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
57	ホセ・モレル	カンブロドン	1930	リトグラフ、紙	89.2×61.0
58	H. F. F.	ヘルシンキ	1930	オフセット、紙	99.0×60.5
59	アロイス・カリジエ	アローザ	1931	リトグラフ、紙	127.8×91.5
60	里見宗次	コート・ダジュール	1934	リトグラフ、紙	98.7×62.4
61	リンヌ	バーデン=バーデン、1934	1934	リトグラフ、紙	120.0×80.0
62	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
63	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号——トランザトランティック総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
64	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	パリ	1935	リトグラフ、紙	104.0×62.4
65	キルニツヒ専門工房	オーストリア	1935	リトグラフ、紙	93.6×61.5
66	フレデリック・ドロスト	8日間フリー・チケット	1936	リトグラフ、紙	100.0×62.0
67	アーウェ・ラスムッセン	D. S. B.、デンマーク国有鉄道	1937	リトグラフ、紙	100.0×63.0
68	エティエンヌ・ベネール	アーラウ	1937頃	リトグラフ、紙	126.0×90.0
69	N. ジェラルド (ジェラルド・アレクサンドル)	雪の楽しみ、高まる喜び	1938	リトグラフ、紙	97.5×59.0



制作者不詳「自動車『ベルリエ』」



ベロー「コルセット『フェレット』」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
70	不詳	あなたの列車、C. F. F.	1939頃	リトグラフ、紙	125.2×90.0
71	ヴェルナー・ヴァイスケーニヒ	アローザ、海拔6000フィート、スイス	1940頃	リトグラフ、紙	125.5×89.3
72	不詳	パン・アメリカン航空によるアメリカ旅行	1940頃	オフセット、紙	92.5×59.5
73	ホセ・モレル	レバンテの海岸	1940頃	リトグラフ、紙	95.9×61.4
74	ホセ・モレル	スペイン探訪	1941	リトグラフ、紙	98.6×60.8
75	ベルナルド・ヴィルモ	北アフリカ	1946	リトグラフ、紙	98.0×61.5
76	不詳	フランスへ行こう、コート・ダジュール	1952	オフセット、紙	98.5×61.0
77	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニオン海運会社で(エッフェル塔)	1950	オフセット、紙	97.5×61.8
78	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニオン海運会社で(オペラ座)	1950	オフセット、紙	96.5×61.0
79	マリア・サッシ	イタリア航路、南アメリカ	1950	リトグラフ、紙	96.4×59.5
80	エマニュエル・ベリーニ	ニースの温泉、ベルトモン=レ=バン	1950	リトグラフ、紙	114.5×77.5
81	ルネ・グリュオー(レナート・デ・ザヴァリ=リッカルデッリ)	くつろぎ	1950	リトグラフ、紙	80.0×60.0
82	W. マーレル	ジュネーヴ、スイス	1950	リトグラフ、紙	98.5×63.5
83	J. P. ラタピィ	モン・ド・マルサン	1950	リトグラフ、紙	98.0×60.6
84	不詳	ボーツマスとサウス・シー	1950頃	リトグラフ、紙	99.7×62.8
85	ベルナルド・ヴィルモ	スペイン	1957	オフセット、紙	96.8×60.3
86	プッポ	モンテ・ファイト、ナポリ	1959	リトグラフ、紙	98.5×64.0

■出版

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
87	ジュール・シェレ	新聞「バリ風聞」 レコード・バリ	1888	リトグラフ、紙	118.4×82.3
88	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7
89	ピエール・ボナール	美術雑誌「版画とポスター」 レスタンブ・エ・ラフィッシュ	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
90	ジャン=ポール・ルイ・ティネール	ミシェル・モルフィ著「アフリカを横断するマルシャン将軍」 ラ・グロブ・トゥクロン	1899	リトグラフ、紙	194.0×136.5
91	ルイ・トーザン	絵入り雑誌「地球を駆ける」	1900頃	リトグラフ、紙	153.5×104.5
92	不詳	キャビテース・ダンリ著「宿命の戦い」	1901	リトグラフ、紙	153.5×104.0
93	レオネット・カビエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9

■公共

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
94	ジュール・シェレ	第4回上映会「白と黒」	1890	リトグラフ、紙	120.7×80.0
95	ピエール・ボナール	「創作版画家展」ヴォラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0
96	レオン=A. フィヨル	「海戦」	1899	リトグラフ、紙	160.0×210.0
97	エドゥアール・ジュレ	パノラマ館「世界旅行」——1900年万国博覧会の呼び物	1900	リトグラフ、紙	196.5×139.5
98	ルイ・ガリス	パロン・シネオラマ	1900	リトグラフ、紙	143.5×99.0
99	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」——1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0
100	フィリップ・シャブリエ	「トランスヴァールと野生のアフリカ」 1900年パリ万国博覧会(シャン・ド・マルス駅)	1900	リトグラフ、紙	160.0×109.0
101	フィリップ・シャブリエ	「トランスヴァールと野生のアフリカ」 1900年パリ万国博覧会(クルセル門とシャンペレ門)	1900	リトグラフ、紙	158.5×109.0
102	V. ギイエ	「パリ水族館」1900年万国博覧会	1900	リトグラフ、紙	149.0×109.0



カッサンドル「フランス北部鉄道」

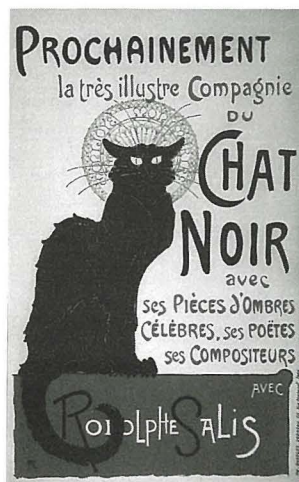


ブルネ
「フランスへ、シャルジュール・レユニオン海運会社で(エッフェル塔)」

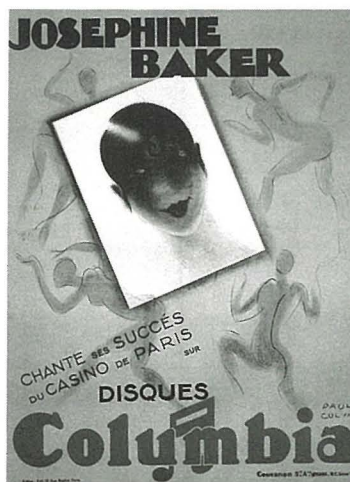
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
103	ジャン=バティスト・アルマン・スゴー	1900年万国博覧会 (寓意的な場面を描いた文字刷り前のポスター)	1900頃	リトグラフ、紙	129.0×84.5
104	ジャン=ガブリエル・ドメルグ	仮面舞踏会 (文字刷り前のポスター)	1923	リトグラフ、紙	156.5×116.5
105	マルト・レ工房	アンリ・エズデル・グランプリ——モンルージュ・スポーツ・クラブ主催	1928	リトグラフ、紙	114.0×71.5
106	ケース・ファン・デル・ラーン	国立航空学校	1930頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
107	S. G.	第25回ザグレブ見本市	1936	リトグラフ、紙	91.0×57.5
108	ペッシェーニ	ルガノ・スイス見本市	1937	リトグラフ、紙	117.0×81.8
109	フランツ・レンハルト (またはレナール)	第3回メラーノ国際テニス・トーナメント大会	1937頃	リトグラフ、紙	97.0×63.5
110	ドナルド・ブラン	青少年のために	1939	リトグラフ、紙	97.8×61.8
111	アンダース・ベックマン	ランギアード国際スポーツ博覧会	1949	リトグラフ、紙	98.4×60.3
112	レシェク・ピアトコフスキー	FISスキー世界選手権	1939	オフセット、紙	96.4×60.1

■興行

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
113	ジュール・シェレ	「スコットランドの王位」 ヴァリエテ座	1871	リトグラフ、紙	70.5×49.0
114	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「19世紀」	1882	リトグラフ、紙	56.3×40.5
115	ジュール・シェレ	「ファランドール」 オペラ座	1884	リトグラフ、紙	70.5×50.5
116	ジュール・シェレ	ジャルダン・ド・パリ——見世物、舞踏会、コンサート	1884	リトグラフ、紙	117.0×82.1
117	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館——ジプシー楽士のコンサート	1885	リトグラフ、紙	120.0×81.1
118	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「新サーカス」 スーパースター・シルク	1889	リトグラフ、紙	117.4×83.2
119	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「ジャルダン・ド・パリ」 エグザンティヌ	1890	リトグラフ、紙	79.3×54.3
120	ジュール・シェレ	新劇場——綱渡りとバントマイム	1891	リトグラフ、紙	119.4×84.6
121	ジュール・シェレ	「鏡」 フォリー=ベルジュール劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2
122	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
123	ジュール・シェレ	フォリー=ベルジュール劇場のエミリエヌ・ダランソン	1893	リトグラフ、紙	80.0×57.9
124	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
125	デオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演 ルネサンス座	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
126	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.5×79.0
127	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」 ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
128	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」 ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
129	不詳	ドーニャ・タンクレーダ	1900頃	リトグラフ、紙	148.5×109.0
130	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館 (文字刷り前のポスター)	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
131	不詳	オペラ座の舞踏会	1900	リトグラフ、紙	216.0×145.5
132	ルイ・ガリス	アンバサドゥール劇場のモンテュス	1900頃	リトグラフ、紙	124.0×89.0
133	V. ギイエ	「ポーランドのユダヤ人」 国立オペラ・コミック座	1900頃	リトグラフ、紙	149.5×82.0
134	シャルル・ジル (シャルル・ジラル)	レオ・マドレーヌ	1925	リトグラフ、紙	151.0×107.0
135	ポール・コラン	ジョセフィン・ベイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
136	R. ショピ	ブランシュ・ノレル	1926	リトグラフ、紙	94.5×63.0
137	ジャン・ドン	ジャヌ・マルニ	1930	リトグラフ、紙	153.5×110.5
138	不詳	リコのクレオール楽団	1930	リトグラフ、紙	155.0×117.0
139	ジャン=ガブリエル・ドメルグ	パゲーラ	1935	リトグラフ、紙	117.6×75.2
140	ジャン・コクトー	オルフェの遺言	1959	リトグラフ、紙	160.0×120.0



スタンラン「高名な『黒猫』一座近日来演」



コラン「ジョセフィン・ベイカー」

試される大地北海道 美術館紀行 フランス美術名品選

会期＝平成11年4月11日(火)－6月14日(水) 56日間
主催＝北海道立帯広美術館、北海道新聞社、NHK帯広放送局

観覧料＝一般930(780)円、高大生570(460)円、小中生360(300)円
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体料金

関連事業

特別展セミナー

「北海道・フランス美術紀行」

講師＝鎌田 享(当館学芸員)

日時＝4月22日(土)、5月20日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「美の殿堂・オルセー美術館 リアリズムの道」

「美の殿堂・オルセー美術館 近代彫刻の展開」

日時＝4月15日(土)、5月6日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

「美の殿堂・オルセー美術館 都市の自画像」

「世界美の旅 ピカソ～若き日の天才画家」

日時＝5月13日(土)、6月3日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

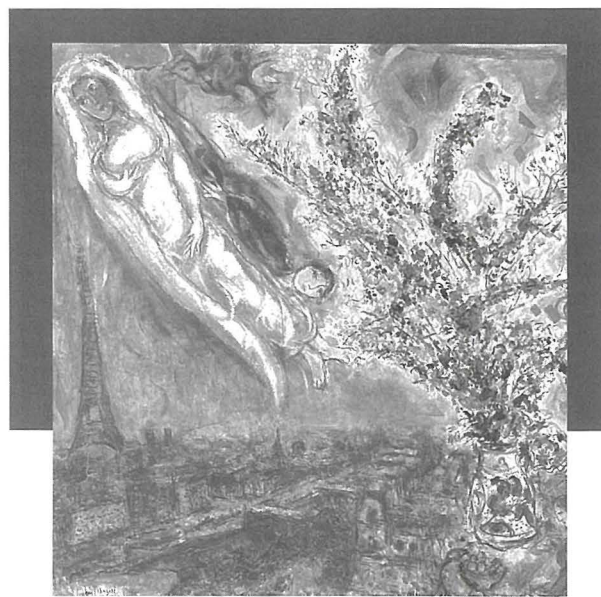
図録

規格＝29.5×21.0cm／総頁数84ページ

構成＝ごあいさつ／メッセージ／寺嶋弘道「北海道・美術館紀行
－コレクションへの誘い」／作品図版／主要作家生没年表
／作家略歴／出品リスト／第2期北海道立美術館等作品収
蔵計画

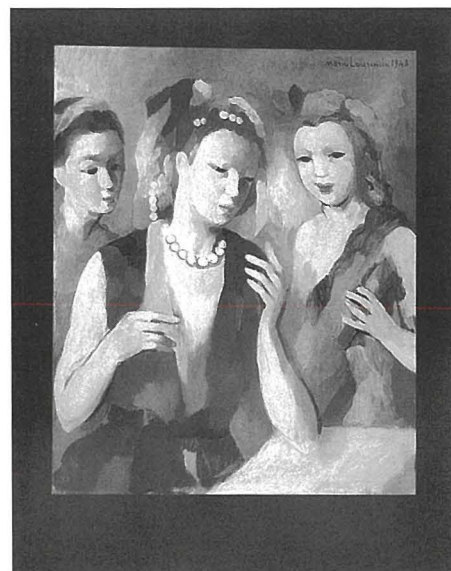
関連記事

寺嶋弘道、鎌田享「フランス美術名品選①～⑥」北海道新聞／5
月17日～22日



試される大地 **北海道**
美術館紀行
フランス美術名品選
2000 **4.11[火]ー6.14[水]**
観覧料／一般930(780)円、高大生570(460)円
小中生360(300)円／心身に障害のある方などは無料
主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社、NHK帯広放送局
北海道立帯広美術館
〒080-0045 帯広市緑町2番地 TEL 0955-23-6963

ポスター



図録

ルーヴルやオルセーをはじめとする数多くの美術館、モンマルトルの丘に集う画家たち。フランスは、今なお多くの美術ファンの心を捕らえて放さない芸術のメッカである。フランスが美術の中心地として大きな注目を集めるようになったのは、19世紀から20世紀前半のことである。世界中から幾多の画家たちがこの国を訪れ作品を制作する一方、数多くの美術作品がさまざまな国々に向けて発信されていった。近代美術の発達に大きな役割を果たしたフランスの絵画や彫刻は、今や世界各国の美術館に收藏されている。

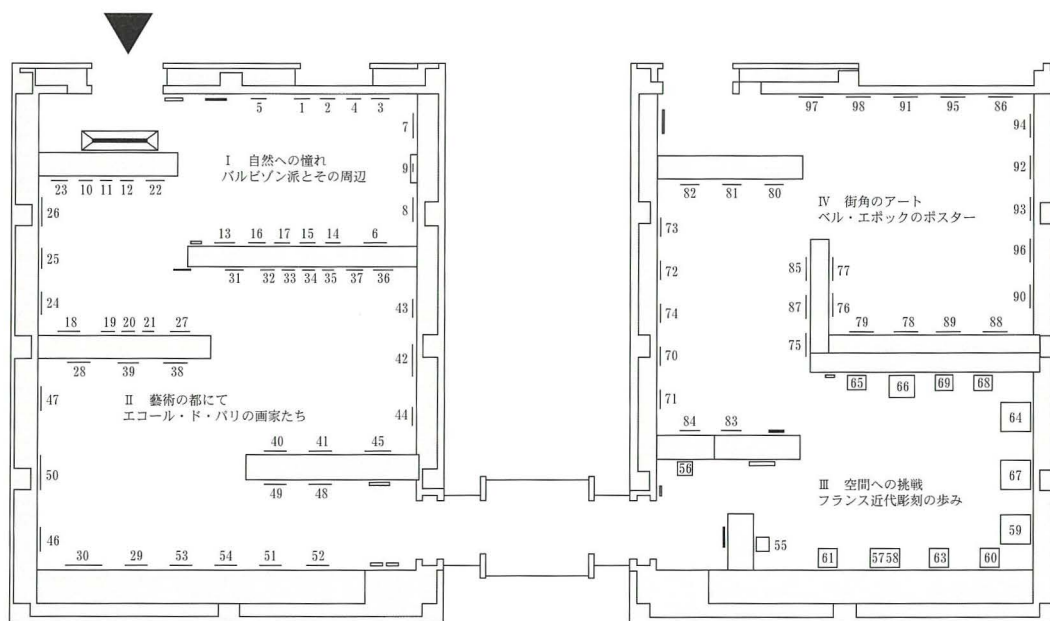
この展覧会は、北海道内の美術館が所蔵する近代フランスの美術作品を集め構成したものである。開催にあたっては次の三つの目的を念頭におき企画した。第一に、日本人にことさら馴染み深いフランス近代美術の流れが概観できる内容にすること。第二に、道内各地の美術館とその所蔵作品を紹介することで、各美術館への親近感を深めてもらうこと。そして第三に、美術館活動の根幹ともいえる作品収集活動、体系的なコレクション作りの重要性について、一般の人々の理解を図ることである。

こうした企画意図に基づき、本展では絵画や彫刻、ポスターなど98作品が出品された。そのコーナー構成と主な作品所蔵先は次のようになる。

- I 自然への憧れ：バルビゾン派とその周辺
(北海道立帯広美術館)
- II 藝術の都にて：エコール・ド・パリの画家たち
(札幌：北海道立近代美術館、岩内：荒井記念美術館)
- III 空間への挑戦：フランス近代彫刻の歩み
(札幌：芸術の森美術館)
- IV 街角のアート：ベル・エポックのポスター
(北海道立帯広美術館)

北海道立近代美術館のエコール・ド・パリの作品群、荒井記念美術館のピカソの版画作品などは、いずれも全国的に知名度の高いコレクションであり各館の目玉ともいえるものである。それらを一堂に介した本展覧会は、道内美術コレクションの現況を知るまたとない機会でもあった。

展示図面



会場風景



会場風景

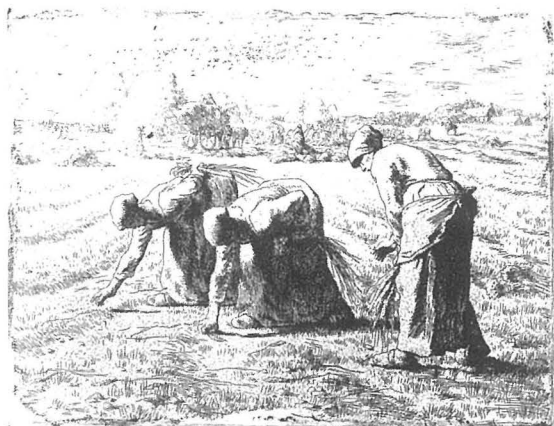
出品目録

I 自然への憧れ：バルビゾン派とその周辺

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	オスティアの回想	1855	クリシェ=ヴェール、紙	27.0×34.3	北海道立近代美術館
2	ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	ホラティウスの楽園	1855	クリシェ=ヴェール、紙	36.2×28.3	北海道立近代美術館
3	ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22	北海道立帯広美術館
4	ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13	北海道立帯広美術館
5	ジャック=レイモン・ブラカサ	海辺の羊	不詳	油彩、キャンバス	49.0×65	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)
6	カール・ボドメール	鹿の呼び声	不詳	油彩、キャンバス	101.0×81	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)
7	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	不詳	油彩、キャンバス	80.6×99.7	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)
8	ジュール・デュブレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8	北海道立帯広美術館
9	ジュール・デュブレ	風景	不詳	油彩、キャンバス	12.8×29.6	北海道立近代美術館
10	テオドール・ルソー	ピオーのサ克蘭ボの木	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7	北海道立帯広美術館
11	テオドール・ルソー	ピオーの平原	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7	北海道立帯広美術館
12	テオドール・ルソー	樅の木と岩	1861	エッチング、紙	12.7×17.2	北海道立帯広美術館
13	シャルル=エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	不詳	油彩、キャンバス	81.2×65.0	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)
14	ジャン=フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0	北海道立帯広美術館
15	ジャン=フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0	北海道立帯広美術館
16	ジャン=フランソワ・ミレー	水を汲む女	1862	クリシェ=ヴェール、紙	29.3×23.0	北海道立近代美術館
17	ジャン=フランソワ・ミレー	母親の用心	1862	クリシェ=ヴェール、紙	29.3×23.0	北海道立近代美術館
18	フランソワ=ルイ・フランセ	風景-丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6	北海道立帯広美術館
19	シャルル=フランソワ・ドービニー	レパノンの西洋杉	1842	エッチング、紙	17.5×11.3	北海道立帯広美術館
20	シャルル=フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3	北海道立帯広美術館
21	シャルル=フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0×23.9	北海道立帯広美術館
22	ウジェヌ=アントワヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	不詳	油彩、板	32.8×56.0	北海道立帯広美術館
23	アレキサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0	北海道立帯広美術館
24	ジャン=フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4	北海道立帯広美術館
25	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5	北海道立帯広美術館
26	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い	1870代初期	油彩、キャンバス	69.1×99.8	北海道立帯広美術館
27	レオン・リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)

II 藝術の都にて：エコール・ド・パリの画家たち

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
28	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	1920代	油彩、キャンバス	73.5×93.0	北海道立近代美術館
29	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩、キャンバス	100.0×81.0	北海道立近代美術館
30	アンドレ・ドラン	猫と裸婦	1936-38	油彩、キャンバス	108.3×150.5	北海道立近代美術館
31	パブロ・ピカソ	貧しい人々	1905	エッチング、紙	23.6×18.0	財団法人荒井記念美術館



ミレー「落穂ひろい」

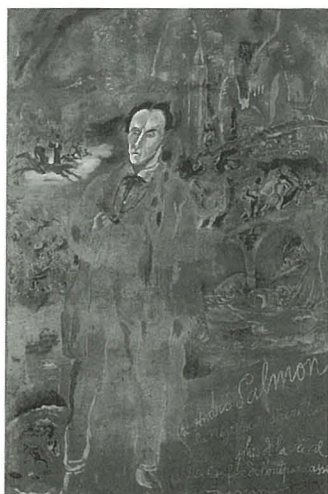


ピカソ「帽子を被った女の顔(大)」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
32	パブロ・ピカソ	水浴する三人の女	1922-23	エッチング、紙	17.8×12.9	財団法人荒井記念美術館
33	パブロ・ピカソ	人物	1927	エッチング、紙	19.4×27.7	財団法人荒井記念美術館
34	パブロ・ピカソ	三人の女	1938	エッチング、紙	30.8×21.0	財団法人荒井記念美術館
35	パブロ・ピカソ	坐る女と眠る人	1947	リトグラフ、紙	49.0×60.0	財団法人荒井記念美術館
36	パブロ・ピカソ	画家とモデル	1954	カラーリトグラフ、紙	50.0×64.0	財団法人荒井記念美術館
37	パブロ・ピカソ	帽子を被った女の顔 (大)	1962	カラーリノカット、紙	64.5×53.0	財団法人荒井記念美術館
38	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り (セーヌ)	1910頃	油彩、キャンバス	57.5×79.3	北海道立近代美術館
39	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914頃	油彩、ボード	46.0×60.0	北海道立近代美術館
40	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩、キャンバス	73.5×61.0	北海道立近代美術館
41	マリー・ローランサン	三人の娘	1943	油彩、キャンバス	61.0×49.8	北海道立近代美術館
42	ジュル・パスキン	アンドレ・サルモンとモンマルトル	1921	油彩、紙	195.0×129.8	北海道立近代美術館
43	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925	油彩、キャンバス	80.0×64.0	北海道立近代美術館
44	ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩、キャンバス	92.0×73.0	北海道立近代美術館
45	ジュル・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩、キャンバス	81.8×100.0	北海道立近代美術館
46	アンドレ・ロート	水浴	1918	油彩、キャンバス	60.0×73.0	北海道立近代美術館
47	藤田嗣治	二人の女	1918	油彩、キャンバス	92.2×73.3	北海道立近代美術館
48	エルミース・ダヴィッド	パリ郊外一匹の白い犬	1921	油彩、紙、ボード	54.5×65	北海道立近代美術館
49	エルミース・ダヴィッド	森の散歩道	1922頃	油彩、キャンバス	58.5×71.5	北海道立近代美術館
50	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩、キャンバス	148.0×140.0	北海道立近代美術館
51	ペール・クロード	ロープをまとったテレーズ	1925	油彩、キャンバス	92.0×60.0	北海道立近代美術館
52	ペール・クロード	肘掛け椅子の女	1925	油彩、キャンバス	81.0×60.0	北海道立近代美術館
53	モイズ・キスリング	魚の静物	1924	油彩、キャンバス	81.0×100.0	北海道立近代美術館
54	モイズ・キスリング	オランダの娘	1928	油彩、キャンバス	100.4×73.4	北海道立近代美術館

Ⅲ 空間への挑戦：フランス近代彫刻の歩み

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
55	エドガー・ドガ	肩ひもを直す踊り子	1882-95頃	ブロンズ	11.0×16.0×34.9	芸術の森美術館
56	オーギュスト・ロダン	ジャン・デールの裸体習作	1868-89頃	ブロンズ	25.0×30.0×103.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
57	オーギュスト・ロダン	眠れる女 (裸婦)	1887	ブロンズ	36.0×27.0×47.5	芸術の森美術館
58	オーギュスト・ロダン	フロックコートを着たバルザック	1891-92	ブロンズ	31.0×24.5×59	芸術の森美術館
59	オーギュスト・ルノワール	ヴェールを持つ踊り子	1908	ブロンズ	25.5×45.0×63.5	芸術の森美術館
60	オーギュスト・ルノワール	火 (小さな鍛冶屋)	1916	ブロンズ	21.5×33.0×32	芸術の森美術館
61	アリスティード・マイヨール	パンセ、ドビュッシー	1930	ブロンズ	24.0×12.5×21	芸術の森美術館
62	エミール=アントワヌ・ブールデル	勝利	1923	ブロンズ	高さ327	北海道立帯広美術館
63	シャルル・デスピオ	リュシアン・リエーヴル	1918	ブロンズ	26.0×21.0×33	芸術の森美術館
64	シャルル・デスピオ	ポール=ルイ・ヴェイヤール夫人 (ギリシアの女)	1937	ブロンズ	28.0×46.0×60	芸術の森美術館



パスキン「アンドレ・サルモンとモンマルトル」



ユトリロ「モンルージュの通り (セーヌ)」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
65	アレキサンダー・アーキベンコ	マドンナ	1936	ブロンズ	14.0×20.5×61.5	芸術の森美術館
66	ジャン・アルブ	のんびりする貝	1965	ブロンズ	21.0×33.0×22	芸術の森美術館
67	オシップ・ザッキン	扇を持つ女	1923	ブロンズ	31.0×35.0×84.0	芸術の森美術館
68	オシップ・ザッキン	野原を歩くファン・ゴッホ	1956	ブロンズ	25.0×32.0×71.0	芸術の森美術館
69	ジャック・リブシッツ	母子	1914	ブロンズ	18.5×36.0×69.0	芸術の森美術館

IV 街角のアート：ベル・エポックのポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
70	ジュール・シェレ	「ファランドール」オペラ座	1884	リトグラフ、紙	70.5×50.5	北海道立帯広美術館
71	ジュール・シェレ	第4回上映会「白と黒」	1890	リトグラフ、紙	120.7×80.0	北海道立帯広美術館
72	ジュール・シェレ	「鏡」フォリー＝ベルジュール劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2	北海道立帯広美術館
73	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0	北海道立帯広美術館
74	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5	北海道立帯広美術館
75	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1	北海道立帯広美術館
76	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4	北海道立帯広美術館
77	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9	北海道立帯広美術館
78	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7	北海道立帯広美術館
79	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0	北海道立帯広美術館
80	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0	北海道立帯広美術館
81	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのパピロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7	北海道立帯広美術館
82	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.5×79.0	北海道立帯広美術館
83	ピエール・ボナール	「創作版画家展」ヴォアラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0	北海道立帯広美術館
84	ピエール・ボナール	美術雑誌「版画とポスター」 レスタンブ・エ・ラフィッシュ	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0	北海道立帯広美術館
85	ジョルジュ・ド・フル	書籍「パリの暦」	1894	リトグラフ、紙	79.5×62.0	北海道立帯広美術館
86	ピエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0	北海道立帯広美術館
87	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8	北海道立帯広美術館
88	レオネット・カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5	北海道立帯広美術館
89	レオネット・カビエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8	北海道立帯広美術館
90	レオネット・カビエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9	北海道立帯広美術館
91	ルネ・ヴァンサン	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2	北海道立帯広美術館
92	カッサンドル	北方急行ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.8×75.0	北海道立帯広美術館
93	カッサンドル	北極星号ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4	北海道立帯広美術館
94	カッサンドル	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3	北海道立帯広美術館
95	カッサンドル	ジャンシアヌ＝キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5	北海道立帯広美術館
96	カッサンドル	ノルマンディー号ーフランス北部鉄道	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4	北海道立帯広美術館
97	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0	北海道立帯広美術館
98	ジョルジュ・ファールヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ、紙	110.5×74.2	北海道立帯広美術館

* 寸法は、注記以外は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。



ルノワール「ヴェールを持つ踊り子」



アーキベンコ「マドンナ」

会期＝平成12年6月23日(金)－8月9日(水) 41日間

主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社

後援＝アメリカ大使館

協力＝日本航空

観覧料＝一般730(620)円、高大生410(360)円、小中生300(250)円

心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「空間・都市・宇宙－1920年代のアヴァンギャルドとデザイン」

講師＝五十殿利治氏(美術史家・筑波大学助教授)

日時＝7月8日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「印刷芸術の革命－1920年代のポスターデザイン」

講師＝鎌田 享(当館学芸員)

日時＝7月1日(土)、7月29日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「メトロポリス」(フリッツ・ラング監督)

日時＝6月24日(土) 午後2時～

会場＝当館講堂

「戦艦ボチョムキン」(セルゲイ・エイゼンシュタイン監督)

日時＝7月22日(土) 午後2時～

会場＝当館講堂

「カリガリ博士」(ロベルト・ウィーネ監督)

日時＝8月5日(土) 午後2時～

会場＝当館講堂

図録

規格＝26.0×17.5cm／総頁数196ページ

構成＝ごあいさつ／メッセージ／モウド・ラビン「序章 歴史を描く」／デボラ・ロスチャイルド「グラフィック・デザインに革命をもたらしたダダのネットワーク」／エレン・ラプトン「モダニズム時代におけるデザインとプロダクション」／ダラ・ゴールドスティン「アイディアを売る－モダニズムと消費文化」／作品図版／作品リスト・作品解説／作家解説

関連記事

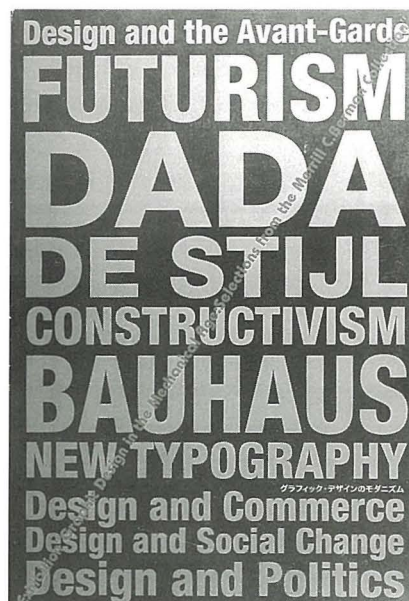
成田融、田中耕三「グラフィック・デザインの原点見つめる『強烈』な時代の空気」十勝毎日新聞／6月21日

鎌田享「源流をたどる『グラフィック・デザインのモダニズム』

展から①～③」十勝毎日新聞／7月5日～7日



ポスター



図録

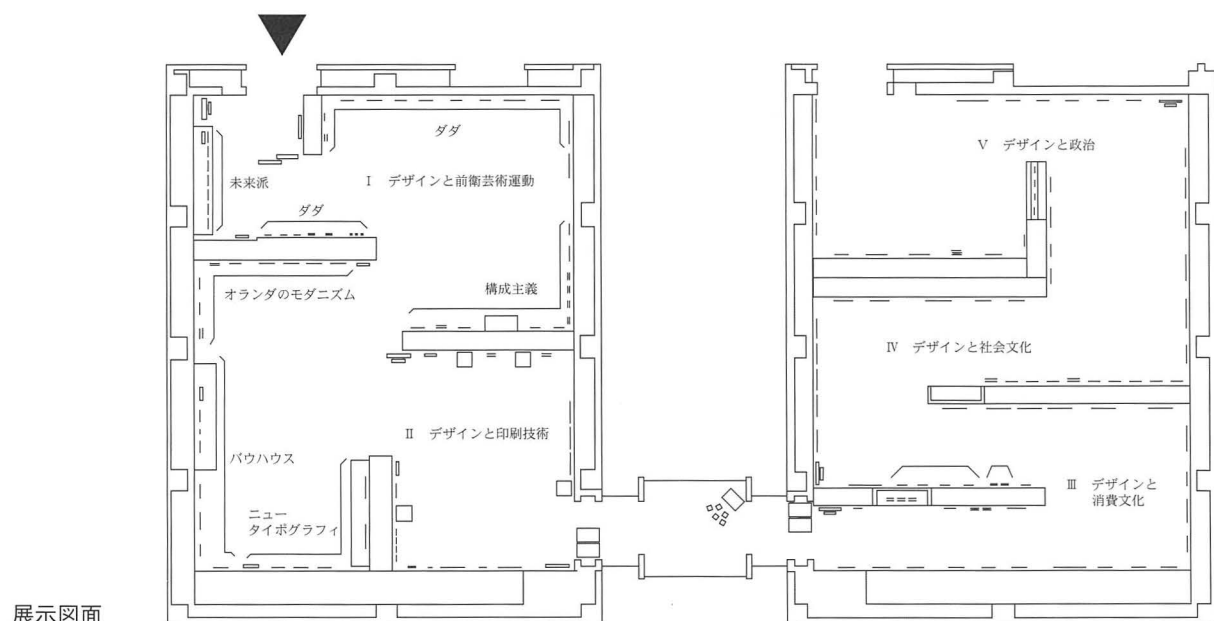
1920年代から30年代は、社会や経済、政治、文化のあらゆる面で変革にさらされた時代である。「機械時代」とも呼ばれるこの時代には、電気や通信の発達、大量生産大量消費経済の定着など、現代に通じる生活基盤が整備され、人々は来るべき新時代に大きな期待を抱いた。しかしその一方では、世界恐慌による経済の混乱やファシズムの台頭による政治的不安を抱えた時代でもある。さらに芸術の分野では未来派やダダ、構成主義など、さまざまな前衛芸術運動が華々しく繰り広げられた。

この展覧会は、1920年代から30年代にかけてのグラフィック・デザインが前衛的な美術動向や激変する社会、経済、政治の状況を反映しながら、いかにして新たな視覚表現を獲得していったのかを検証したものである。20世紀の多彩なグラフィック・アートを積極的に収集し高い評価を得ているアメリカのメルル・C. パーマン・コレクションの中から、今世紀前半の欧米の作品209点を紹介した。アメリカ、スペイン、日本の各国を巡回した国際巡回展であり、日本国内ではサントリー・ミュージアム [天保山]、

川崎市市民ミュージアム、そして北海道立帯広美術館の3会場で共同開催した。

開催にあたっては、出品作品を「Ⅰデザインと前衛芸術運動」「Ⅱデザインと印刷技術」「Ⅲデザインと消費文化」「Ⅳデザインと社会変化」「Ⅴデザインと政治」の5つのコーナーにわけて紹介。この時代のデザインの状況を多面的にとらえた。これらのコーナーのうちⅡは当館独自に設定したものである。会場ではポスター、書籍、パッケージといった印刷物やそのアイデアスケッチ、原画など多彩な作品に加え、同時代の写真や映像などの資料を多数展示し、本展の企画意図をより具体的に提示するようにした。

プリントアート（印刷・複製・転写技術を用いた美術作品）を活動方針の一つに挙げる当館では、「永遠のポスター芸術」展（2000年）をはじめ、19世紀後半のデザイン・工芸を取り上げた展覧会を数多く開催してきた。それらに続く時代に焦点をあてた本展は、近代デザインの動向をあつかった当館初の企画であり、意義深いものであった。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

I デザインと前衛芸術運動

No.	作家・工房名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
未来派					
1	マリネッティ	『自由な状態の言葉』より「山+谷+道×Joffre」	1915	機関誌／活版印刷	34.6×24.8
2	マリネッティ	『未来派の自由な状態の言葉』より「CHAIRrrrrrrRR」	1919	書籍／活版印刷	19.2×13.1
3	マリネッティ	『年鑑、疾駆するイタリア』	—	パンフレット／活版印刷に手書きの文字	22.9×29.5
4	パッラ	イタリア未来派画家展	1921	リーフレット／活版印刷	23.5×17.5
5	ソッフィチ	詩集『B I F S Z F +18同時性：叙情的化学反応』	1919	書籍／活版印刷	19.7×28.9
6	デペーロ	『未来派デペーロ』	1927	書籍／活版印刷	24.4×29.5
7	デペーロ	『20世紀』誌	1929	雑誌表紙／活版印刷	39.7×29.4
ダダ					
8	ヤンコ	コレエ画廊「ダダ展」	1917	ポスター／リノカット	42.5×26.4
9	ウッド	ブラインドマンの舞踏会	1917	ポスター／活版印刷	71.1×25.4
10	ツァラ	「サロン・ダダ」国際展	1921	ポスター／リトグラフ	121.0×80.2
11	ズダネヴィッチ	イヤストゥ 天使とあだ名されるイヤ・ズダネヴィッチの自己賛美	1922	ポスター／リトグラフ	54.9×47.6
12	ロート、ズダネヴィッチ	モンバルナスの夜会、仮装舞踏会	1922	ポスター／リトグラフ	139.3×100.0
13	クロッティ	感傷的な詩	1920	エンボスを伴った絵画／グアッシュ、インク	53.7×44.1
14	クロッティ、デュシャン	シュザヌ・デュシャンとジャン・クロッティの作品展	1921	ポスター／リトグラフ	118.1×78.7
15	ピカビア	大晦日のショー『シネスケッチ』	1924	ポスター／リトグラフに水彩	69.5×53.3
16	ハートフィールド	『新青年』誌、『グロス小作品集』刊行の告知	1917	雑誌／活版印刷	64.1×51.8
17	ハートフィールド	『誰もが自分のサッカーボール』誌	1919	雑誌／活版印刷	42.8×29.7
18	ハートフィールド、ハウスマン、グロス	『デア・ダダ』誌3号	1920	機関誌／活版印刷	23.1×15.7
19	バーダー、ハウスマン	ダダの銀河	1918	ポスター／リトグラフ、手書きインク文字	52.3×30.8
20	バーダー	自己宣伝、ダダの銀河	1919-20	コラージュ／写真、印刷の文字、インクほか	52.3×33.0
21	グロス	現代のダンス	1922	コラージュ／印刷の文字、写真、ラベル、切手ほか	13.9×8.9
22	ヘーヒ	ダダ	1922	コラージュ／印刷の文字、切手、切り紙、糊	47.3×63.2
23	シュヴィッターズ	クルト・シュヴィッターズおとぎ話を朗読する	1925頃	コラージュ／印刷の文字、印刷の包装紙ほか	34.3×23.2
24	シュヴィッターズ、ファン・ドゥースブルフ	ダダの小さなタベ	1923	ポスター／リトグラフ	30.2×29.8
25	ファン・ドゥースブルフ	6年目、NB（新造形主義）デ・スタイル、ダダ、1923	1923	はがき／インク、水彩、スタンプと印刷の文字	8.3×13.7
26	ファン・ドゥースブルフ	『メカノ』誌 青号 1922年	1922	機関誌／活版印刷	16.5×13.0
27	リシツキー	メルツ=マチネ	1923	広告用印刷物／活版印刷	22.9×28.3
構成主義					
28	カメーンスキー	詩集『雄牛たちとのタンゴ』	1914	書籍／壁紙に活版印刷	20.0×40.9
29	ステパノーヴァ	演劇『タレルキン之死』	1922	ポスター／活版印刷	68.7×104.8
30	ボボヴァ	プロレタリア独裁万歳！	—	ブラカードのデザイン／インク、水彩、切り紙ほか	20.2×24.9
31	ボボヴァ	演劇『堂々たるコキユ』俳優7番	1921	衣装のデザイン／鉛筆、グアッシュ、切り紙	34.3×24.6
32	リシツキー、マヤコフスキー	子供向け読本『二つの正方形について』	1922	書籍／活版印刷	28.3×22.5
33	リシツキー、マヤコフスキー	マヤコフスキー詩集『声のために』	1923	書籍／活版印刷	18.9×26.0
34	アリトマン	『赤の学生』誌	1923	機関誌の表紙デザイン／インク、クレヨン	39.0×29.2
35	ロトチェンコ、ステパノーヴァ	『レフ』誌2号	1923	雑誌／活版印刷	11.1×28.4
36	ロトチェンコ	『ソヴィエト連邦アル・デコモスクワパリ1925』	1925	書籍／リトグラフ	26.0×20.0
37	クルツィス	万国の労働者の団結	1922	プロバガンダ・スタンドのデザイン／リノカット	23.5×13.5
38	クルツィス	スクリーン	1922	プロバガンダ・スタンドのデザイン／リノカット	23.0×11.3
39	クルツィス	基本	1926頃	スタンドのデザイン／鉛筆、インク、グアッシュ	17.9×12.2
40	クルツィス	ショーウィンドーを見よ	—	ウィンドー・ディスプレイのデザイン／鉛筆、インク、グアッシュ	25.7×18.9



デペーロ 『20世紀』誌



ロート、ズダネヴィッチ 「モンバルナスの夜会、仮装舞踏会」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
41	テリンガーテル	伸長	1920代	コラージュ／水彩、クレヨン、写真、印刷の文字ほか	34.9×22.9
42	テリンガーテル	『キルサノフは発言する』	1930	書籍／活版印刷	20.3×7.9
43	モルナール	『MA (今日)』誌	—	雑誌の表紙デザイン／グアッシュ、切り紙ほか	30.6×30.8
44	ベルレヴィ	ネオ・ファクトゥール23	1923	理論的習作／グアッシュ、鉛筆	53.3×42.2
45	ベルレヴィ	第1回メカノ・ファクトゥール作品展	1924	ポスターのデザイン／グアッシュ	62.9×49.2
46	スチエミンスキー	詩集『彼方から』	1930	書籍／活版印刷	21.6×19.1

オランダのモダニズム

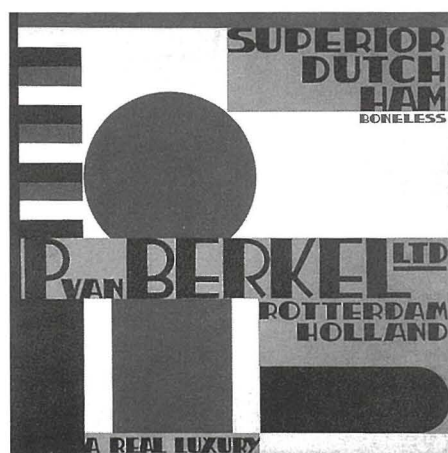
47	ファン・デル・レック	デルフト・サラダオイル	1919	ポスターのデザイン／グアッシュ	86.9×58.7
48	ファン・デル・レック	デルフト・サラダオイル	1919	ポスターのデザイン／木炭、パステル	99.4×72.4
49	ファン・デル・レック	デルフト・サラダオイル	1919	ポスターのデザイン／グアッシュ、鉛筆、木炭	86.9×58.4
50	ファン・デル・レック	デルフト・サラダオイル	1919	ポスターのデザイン／グアッシュ、鉛筆	99.3×73.0
51	フサール	オランダ・ドア製造株式会社	1920頃	レターヘッド付便箋、封筒／活版印刷	30.3×22.1
52	ズワルト	紙：絶縁NKF。(オランダ・ケーブル工業)	1925	宣伝用チラシ／活版印刷	29.7×21.1
53	ズワルト	N.C.W.(オランダ・ケーブル工業) 電気ケーブル	1928頃	カタログ／活版印刷	30.5×45.1
54	スハイテマ	ベルケル社の特選オランダ・ハム	1925頃	ポスター／リトグラフ	50.2×50.5
55	スハイテマ	すべてのベルケル製品は折紙つき3,000,000台が待機中	1926	宣伝広告／活版印刷	20.9×29.2
56	ウェイデフェルト	フランク・ロイド・ライト建築展	1931	ポスター／活版印刷	76.8×48.9
57	ウェルクマン	『ネクスト・コール』誌1号	1926	雑誌／活版印刷	41.3×42.9
58	ウェルクマン	『ネクスト・コール』誌8号	1926	雑誌／活版印刷	21.6×27.6

バウハウス

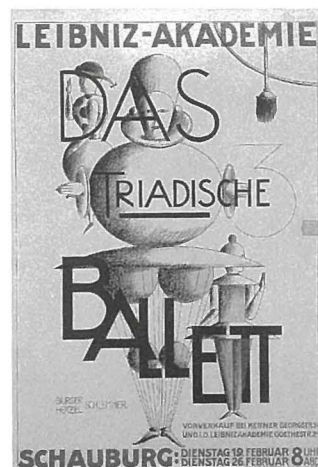
59	バイヤー	国立バウハウス展	1923	ポスターのデザイン／鉛筆、インク、グアッシュ	43.0×30.2
60	バイヤー	展覧会	1923	看板デザイン／鉛筆、インク、グアッシュ	30.5×9.5
61	バイヤー	バウハウス校舎階段の壁画デザイン	1923	デザイン画／グアッシュ、鉛筆、切り紙	58.1×26.4
62	バイヤー	広告デザインと制作	1928	営業用カード／活版印刷	10.6×14.9
63	バイヤー	髭と鼻と心臓のフェスティバル	1928	招待状／活版印刷	14.8×42.2
64	シュライファー	国立バウハウス展	1923	ポスター／リトグラフ	100.0×73.0
65	シュレンマー	『三組のバレエ』	1924	ポスター／リトグラフ	82.6×56.2
66	シュミット	国立バウハウス展	1923	ポスター／リトグラフ	68.6×48.3
67	シュミット	新チェス・セット	1923	ポスターのデザイン／インク、鉛筆	40.0×41.1
68	シュミット	チェス・セット	1924	はがき／リトグラフ	11.9×14.9
69	モホイ=ナジ	『バウハウス叢書 14巻』	1927	内容見本／活版印刷	13.5×20.9
70	モホイ=ナジ	『フォトテック 1』	1930	書籍／活版印刷	24.9×17.3

ニュー・タイポグラフィ

71	モホイ=ナジ	『バウハウス叢書』	1924	内容見本／活版印刷	23.0×35.9
72	ブルヒャルト	ヴェルベ・バウ社	1925-26	営業案内用リーフレット／活版印刷	29.8×20.9
73	シュヴィッターズ	『タイポグラフィの新デザイン』	1930頃	ブックレット／活版印刷	14.9×21.3
74	デクセル	「現代の写真」展	1929	ポスター／リノカット	83.9×59.5
75	チヒョルト	『ニュー・タイポグラフィ』	1928	書籍／活版印刷	22.4×30.2
76	チヒョルト	「職業写真家」展	1938	ポスター／活版印刷	63.8×90.9
77	作者不詳	ドイツ工作連盟国際展「映画と写真」	1929	ポスター／オフセット・リトグラフ	83.8×58.7
78	トルンブ	ビーレフェルト工芸学校展	1927	ポスターのデザイン／写真、切り紙による文字ほか	58.7×45.7
79	トルンブ	「写真」国際展	1930	ポスター／リトグラフ	59.8×81.3
80	ストナール	ブラハ国立グラフィック・アートスクール	1933	パンフレット／活版印刷	20.9×14.9
81	ストナール	『法律の先を行く自動車愛好者』	—	書籍表紙／活版印刷	21.7×16.5



スハイテマ「ベルケル社の特選オランダ・ハム」



シュレンマー『三組のバレエ』

II デザインと印刷技術

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
82	バッラ	ディ・タ・ト 一歩	1918-20	楽譜の表紙／リトグラフ	33.9×24.1
83	ズダネヴィッチ	髭のはえた心臓のタペ	1923	ポスター／活版印刷	26.0×20.6
84	ズダネヴィッチ	『髭のはえた心臓』誌	1922	機関誌／活版印刷	14.3×22.9
85	ズワルト	若き女性へのオマージュ	1925	タイポグラフィーの習作／活版印刷	24.1×17.0
86	ズワルト	トリオ印刷所	1931	ブックレット／活版印刷	29.5×20.8
87	チヒョルト、リシツキー	『写真=眼』誌	1929	内容見本／活版印刷	13.7×10.2
88	ズワルト	植字工	1930頃	宣伝用カタログ／活版印刷	17.5×44.5
89	ロトチェンコ	植物性油、労働者のための油	1923	ポスター／リトグラフ	67.8×49.5
90	ロトチェンコ	植物性油、労働者のための油	1923	ポスターのデザイン／グアッシュ、インクほか	83.8×58.4
91	ラズレーヴィッチ	『ケーブルとトンガ』	—	書籍の表紙デザイン／ゼラチン・シルバー・プリント 手書きのレタリング文字、グアッシュ、インクほか	21.6×33.7
92	ラズレーヴィッチ	『ケーブルとトンガ』	—	書籍の表紙／活版印刷	15.7×24.3
93	センコ	第2回ラジオ見本市	1930	販売促進用カード／リトグラフ	24.1×17.1
94	テリンガーテル	運動とスポーツに関する10点組ポスター集(表紙)	—	ポスターのデザイン／ハーフトーン写真ほか	31.8×26.7
95	テリンガーテル	運動とスポーツに関する10点組ポスター集 (オートバイ、自動車とスポーツの場面)	—	ポスターのデザイン／ハーフトーン写真ほか	31.1×25.1
96	テリンガーテル	運動とスポーツに関する10点組ポスター集(スポーツの場面)	—	ポスターのデザイン／ハーフトーン写真ほか	31.1×25.1
97	テリンガーテル	運動とスポーツに関する10点組ポスター集 (オートバイ、飛行機とスポーツの場面)	—	ポスターのデザイン／ハーフトーン写真ほか	31.8×26.2
98	ファイスト	市営プール	1928	ポスター／オフセット・リトグラフ	59.8×79.5
99	ファイスト	飛び込む人	1928	写真／ゼラチン・シルバー・プリント	8.4×11.7
100	エルキン	赤軍万歳プロレタリア革命の武装派遣隊!	1933頃	ポスターのデザイン案／フォトモンタージュ	29.7×21.1
101	エルキン	赤軍万歳プロレタリア革命の武装派遣隊!	1933頃	ポスター／リトグラフ	130.5×86.0
102	シャヴィンスキー	1934年ファシズム時代の12年目	1934	ポスター／活版印刷	95.7×71.8

III デザインと消費文化

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
103	ヒスペン	ロッテルダムー南アメリカ航路	1927	ポスター／リトグラフ	85.6×64.1
104	ラズレーヴィッチ	『最新のナビゲーション機器』	1934	書籍の表紙デザイン／インク、グアッシュほか	31.6×21.3
105	カッサンドル	アトランティック号	1931	ポスター／リトグラフ	100.9×63.5
106	カッサンドル	ワゴン・パーでお食事を(食堂車の宣伝ポスター)	1932	ポスター／リトグラフ	100.3×62.2
107	マルフルト	フライング・スコツツマン(SL特急列車)	1928	ポスター／リトグラフ	101.6×127.3
108	ロトチェンコ	映画『キノ・グラース(映画の眼)』	1924	ポスター／リトグラフ	92.7×69.8
109	ステンベルク兄弟	映画『カメラを持った男』	1926	ポスター／リトグラフ	110.5×71.1
110	ステンベルク兄弟	映画『伯林ー大都会交響曲』	1928	ポスター／リトグラフ	108.0×70.5
111	ステンベルク兄弟	映画『第11年目』	1928	ポスター／リトグラフ	96.2×67.9
112	ステンベルク兄弟(推定)	映画『最後の飛行』	1929	ポスター／リトグラフ	142.2×107.2
113	ミュラー	エリザベト・ベルクナー主演の映画『ドンナ・フアナ』	1920代	ポスター／活版印刷	120.9×87.9
114	チヒョルト	映画『名もなき女第2部』	1920代	ポスター／リトグラフ	123.8×86.4
115	カルリュ	オデオン・レコード	1929	ポスター／リトグラフ	251.5×132.1
116	ベルナルル	ガス	1928	ポスター／リトグラフ	160.0×120.0
117	デクセル	調理に、パン焼きに、暖房に、照明に、ガスを	1924	電飾看板のデザイン／インク、グアッシュほか	50.2×33.9
118	バイヤー	ステンドグラス画家、クラウス	1923	屋根用電飾看板のデザイン／インク、グアッシュほか	28.6×21.3
119	バイヤー	ステンドグラス画家、クラウス	1923	看板のデザイン／鉛筆、インク、グアッシュ	28.6×21.3
120	バイヤー	ステンドグラス画家、クラウス	1923	看板のデザイン／鉛筆、インク、グアッシュ	28.6×21.6
121	バイヤー	ステンドグラス画家、クラウス	1923	看板のデザイン／鉛筆、インク、グアッシュ	28.6×21.3



作者不詳 ドイツ工作連盟国際展「映画と写真」



ズワルト 「トリオ印刷所」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
122	バイヤー	ヴェンツキー耕作機械	1928	展覧会用ブース／写真、グアッシュほか	49.8×68.1
123	レーヴ	無題	1929	展示スタンドのデザイン／グアッシュ、ハーフトーン印刷、グラビア印刷、鉛筆	54.6×45.7
124	デクセル	葉巻 煙草 ツェゴルト	1927	広告用時計のデザイン／インク、グアッシュ、鉛筆	36.8×26.9
125	ミヒェル	何でも洗えます、ベルジル（洗剤メーカー）	1926	ビルボードのデザイン／色インク、インク、鉛筆	52.0×43.8
126	コーファー	ヴィジル、ピュア・シルク	1919	ポスター／リトグラフ	80.3×58.7
127	バウムベルガー	P K Z（紳士服メーカー）	1923	ポスター／リトグラフ	127.6×90.1
128	リシツキー	ベリカン・ドローイング・インク	1925	広告／リトグラフ	32.4×44.1
129	リシツキー	ベリカン・シーリング・ワックス	1925頃	パッケージ／リトグラフ	8.9×21.3×3.8
130	リシツキー	ベリカン・シーリング・ワックス	1925頃	パッケージ／リトグラフ	10.2×24.4×2.7
131	フサル	ミス・ブランシュ・ヴァージニア煙草	1926	ディスプレイ用オブジェ／リトグラフ	23.5×16.8×7.6
132	フサル	ミス・ブランシュ・ヴァージニア煙草	1926	ポスター／リトグラフ	29.8×19.0
133	フサル	ミス・ブランシュ・ヴァージニア煙草	1920代	ディスプレイ用カートのハーフトーン写真／活版印刷	14.8×22.9
134	ファン・ドゥースブルフ	高級ゴダ・チーズ	1919	商品ラベル／リトグラフ	18.7(直径)
135	ロトチェンコ、マヤコフスキー	赤い十月工場製「私たちの工業」キャラメル	1924	包装紙／活版印刷	8.3×7.6
136	作者不詳	モラト（ハンマー）煙草	—	パッケージ／リトグラフ	21.3×13.0
137	ロトチェンコ	赤い飛行士クッキー	1923-24	包装紙／リトグラフ	25.7×28.1
138	ロトチェンコ	ゼブラクッキー	1924	包装紙／リトグラフ	35.2×14.4
139	ロトチェンコ	ココア、同志よココアから活力を	1923-24頃	ポスターのデザイン／鉛筆、グアッシュ	84.1×59.7
140	コーファー	紅茶は疲れをいやす	1936	ポスター／リトグラフ	73.7×48.3
141	シェバード	リグリーズ・スベアミント・ガム	1935頃	ポスター／リトグラフ	101.0×67.0
142	カッサンドル	トムソン 家庭電化の労働力	1931	ポスター／リトグラフ	119.2×80.0
143	ヒスベン	ヒソ照明器具	1936	ポスター／リトグラフ	99.7×69.5
144	スハイテマ	ベルケル社トード工場1926年の年間生産量は85,000台以上	1926	宣伝広告／活版印刷	29.3×21.0
145	ロトチェンコ	見よ	1924頃	表示板のデザイン／板片の上にグアッシュ	44.5×47.3

IV デザインと社会変化

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
146	レーベジェフ	郊外と都市の労働者と小作人の団結	1920頃	ドローイング／インク、グアッシュ	26.7×21.1
147	エルキン	生産	—	ポスターのデザイン／写真、印刷の文字ほか	55.9×41.9
148	ロトチェンコ	『レフ』誌3号	1924	雑誌の表紙デザイン／ハーフトーン写真ほか	23.2×15.6
149	クラーギナ	我々は建設しつつある	1929	ポスターのデザイン／写真、インク、グアッシュほか	57.5×36.2
150	クラーギナ	我々は建設しつつある	1929	はがき／活版印刷	14.6×10.2
151	ポポフ、ヴィルコヴィル	最も優秀な特別作業隊	1931	工場の壁のデザイン／写真、インク、グアッシュほか	23.5×85.2
152	クルツィス	労働の生産性を向上させよう	1933	ポスターのデザイン／写真、インク、グアッシュほか	23.8×30.5
153	ピヌス＝ブハロヴァ	女性労働者よ わが国の工業と社会生活に積極的に参加せよ！	—	ポスター／リトグラフ	69.5×53.3
154	スハイテマ	中央労働組合 30,000人 運輸労働者	1930	ポスター／リトグラフ	121.3×80.0
155	ブルヒャルツ、カニス	ボーフム工業・鋳鋼工業協会	1929	カタログ／リトグラフ	30.2×21.6
156	ブルヒャルツ	赤い方形	—	カラージュ／グアッシュ、写真、印刷の文字	51.8×35.2
157	クルツィス	全国土の電化	1920	ポスターのデザイン／写真、グアッシュほか	46.0×27.3
158	ラズレーヴィッチ	電力を加えたソヴィエトの国力	—	フォトモンタージュ／写真	16.7×58.4
159	ロトチェンコ、マヤコフスキー	夜に太陽の明るさを（電球の広告）	1923	ポスターのデザイン／写真、グアッシュほか	11.1×28.4
160	ロスキン	ΓΘΤ（国営電力トラスト）	1925-26	ポスターのデザイン／グアッシュ、インク、鉛筆	21.6×28.4
161	ロスキン	HT CHX（ニジニーノヴゴロド州国民経済会議）1925年見本市	1925	ポスターのデザイン／グアッシュ、鉛筆ほか	34.3×25.4
162	ビール	光	1937	ポスター／シルクスクリーン	101.3×76.5
163	ビール	ラジオ	1937	ポスター／シルクスクリーン	101.6×76.5
164	ビール	水道の水	1937	ポスター／シルクスクリーン	101.6×76.5
165	ビール	洗濯日	1937	ポスター／シルクスクリーン	101.3×76.5
166	ビール	地方電化管理局	1937	ポスター／シルクスクリーン、リトグラフ	101.6×76.2
167	ビール	素晴らしきこと	1930代	ポスター／シルクスクリーン、リトグラフ	101.6×75.9



フサル 「ミス・ブランシュ・ヴァージニア煙草」



ビール 「地方電化管理局」

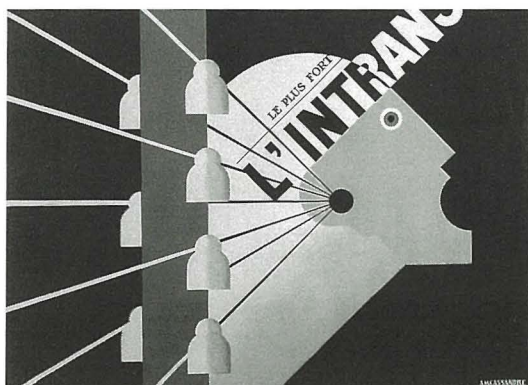
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
168	ビール	スラム撲滅	1930代	ポスター／リトグラフ	101.0×74.8
169	パウマイスター (推定)	ドイツ工作連盟主催「住宅」展	1927	ポスター／リトグラフ	114.5×81.6
170	作者不詳	清潔へ向け行進せよ 清掃月間	—	ポスター／リトグラフ	67.6×20.6
171	ストットナール	「調和のとれた家」展	1930	ポスター／リトグラフ	95.3×60.8
172	ズワルト	良き日のために、祝電	1931	ポスター／リトグラフ、レターヘッドを貼付	70.5×49.8
173	リシツキー	『ブレッサ・ケルン (国際報道展)1928年』	1928	書籍／グラビア印刷	21.3×30.5
174	カッサンドル	『アントランジジャン』紙	1925	ポスター／リトグラフ	89.8×160.0
175	ベルナール	「家政術」展	1933	ポスター／リトグラフ	156.8×116.9
176	リシツキー	U. S. S. R. ーロシア展	1929	ポスター／グラヴィア印刷	126.4×90.5
177	クルツィス	スパルタキアード (総合スポーツ大会) モスクワ	1928	ポスターのデザイン／ハーフトーン写真ほか	60.3×69.9
178	クルツィス	スパルタキアード (総合スポーツ大会) モスクワ	1928	はがき／活版印刷	15.2×11.4
179	ブラント	私たちのアメリカの姉妹たち	—	コラージュ／ハーフトーン写真ほか	49.7×41.3
180	ブラント	スポーツ	1928	コラージュ／ハーフトーン写真ほか	48.3×31.1
181	カルリュ	アメリカの答えは「生産」 情報部危機管理局	1941	ポスター／リトグラフ	75.9×101.9
182	コーファー	パワー、ロンドン地下鉄の中枢部	1930	ポスター／リトグラフ	101.1×62.9
183	レイ	ロンドンは止まらない	1932	ポスター／リトグラフ	100.8×62.2

IV デザインと政治

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
184	コズリンスキー	この3年間の妨害にもかかわらず…	1920	ポスター／リノカット	71.4×49.8
185	マヤコフスキー	誰が勝利するのか? (ロスタの窓)	1921	ポスター／ステンシル印刷にグアッシュ	—
186	ステパノーヴァ、イグナトヴィッチ	可能な限り防衛を強化せよ!	—	ポスターのデザイン／赤い紙に貼られた写真	25.2×17.5
187	ステパノーヴァ	素手で我々を捕らえることはできない	1932頃	書籍見返し／活版印刷	24.3×43.8
188	ラズレーヴィッチ	『勝利の六つの条件』	1932	書籍の表紙デザイン／グラビア印刷写真ほか	37.5×29.5
189	クルツィス	我々の計画の実現	1931	ポスターのデザイン／写真、インクほか	22.9×16.5
190	クルツィス	我々の計画の実現	1931	ポスターのデザイン／インク、鉛筆、写真	25.4×35.6
191	クルツィス	我々の計画の実現	1931	ポスター／リトグラフ	143.2×103.5
192	クルツィス	十月革命を世界に広めよ	1931	ポスターのデザイン／写真、グアッシュほか	46.0×27.3
193	セミョーノヴァ	第4回共産党大会の全中央委員	—	図表のデザイン／インク、グアッシュ、写真ほか	12.1×10.2
194	テリンガーテル、トレチャコフ	『ジョン・ハートフィールド作品集』	1936	書籍／ハードカバー装、紙を貼付	29.8×46.4
195	ハートフィールド	万歳! 戦艦が来たぞ!	1927	雑誌の表紙デザイン／フォトモンタージュに加筆	20.9×15.6
196	ハートフィールド	アプトン・シンクレアの小説『石油』	1927	書籍カバー／活版印刷	18.9×46.7
197	ハートフィールド	手には指が5本ある	1928	ポスター／リトグラフ	100.3×73.9
198	ハートフィールド	資本主義はパンの最後の一切れも奪う	1932	ポスター／リトグラフ	95.8×72.3
199	ハートフィールド	『AIZ (労働者画報)』誌 ヒトラース敬礼の意味莫大な献金を求める小さな男	1932	ポスター／グラビア印刷	46.7×33.0
200	フォスカイル、オールトハイス	独裁体制下のオリンピック	1936	ポスター／グラビア印刷、活版印刷	57.5×41.3
201	ビール	ここであってはならないこと	1930代	ポスターのデザイン／写真、グアッシュほか	69.9×49.5
202	コイナー	N R A (米国復興局)我々は役割を果たす	1934	ポスター／シルクスクリーン	71.8×53.3
203	コイナー	最善を尽くせ	1940代	ポスター／リトグラフ	104.8×145.1
204	作者不詳	パンと自由のため全ての労働者はたちあがる…	1932頃	ポスター／活版印刷	78.7×51.8
205	作者不詳	失業保険救済金を要求仕様! 共産党に一票を	1932	ポスター／活版印刷	55.9×43.2
206	作者不詳	黒人にも同等の権利を! あらゆる場所で!	1932	ポスター／リトグラフ、活版印刷	75.1×48.9
207	コーファー	ユーゴスラヴィアの人々はチトーに導かれた	1940代	ポスター／リトグラフ	62.9×48.9
208	キアレレ	我等が首領 (ムッソリーニ)	1930代	ポスター／リトグラフ	31.3×93.9
209	ドメラ	反ファシスト・スペインの武器	1930代	ポスター／リトグラフ	119.6×80.9

* 寸法は、注記以外は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。

* 作品は全てメリル・C. パーマン・コレクション蔵。



カッサンドル 『アントランジジャン』紙



クルツィス 「我々の計画の実現」

日蘭交流400周年 17世紀オランダの巨匠 光と影ーレンブラント版画展

会期＝平成12年 8月18日(金)ー 9月27日(水) 35日間
主催＝北海道立帯広美術館、北海道新聞社、レンブラント版画展実行委員会

後 援＝オランダ大使館

協 賛＝東京海上

協 力＝K L Mオランダ航空

観覧料＝一般800(700)円、高大生500(400)円、小中生300(200)円、

親子券 800円 [一般1名+小中生1名]

心身に障害のある方などは無料

() 内は前売りおよび10名以上の団体料金

親子券は前売りのみ

関連事業

美術講演会

「エッチングの巨匠ーレンブラント」

講師＝テオ・ラウレンティウス氏(美術史家)

日時＝8月19日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「光と影の画家ーレンブラント」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝8月26日(土)、9月16日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「ルーブル 美の回廊：スペイン絵画の光と影」

「ルーブル 美の回廊：ルーベンスとレンブラント」

日時＝9月9日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

図 録

規格＝31.4×17.6cm／総頁数164 ページ

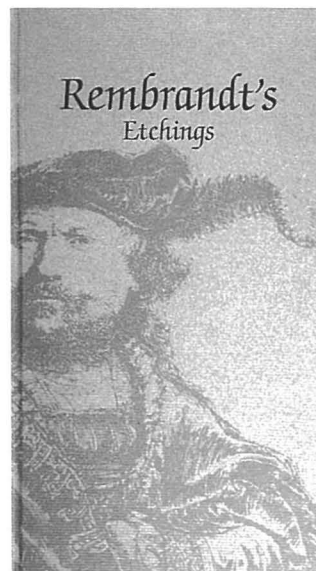
構成＝あいさつ／テオ・ラウレンティウス「エッチングの巨匠レンブラント」／作品図版／関連年表／邦文参考文献／欧文参考文献

関連記事

「レンブラント版画展 きょうから道立帯広美術館で」北海道新聞／8月18日

寺嶋弘道、石尾乃里子「レンブラント エッチングの魅力①～⑤」

北海道新聞／8月22日～26日



バロック絵画最大の巨匠レンブラント・ファン・レインは、油
彩画のみならず、版画の分野にも偉大な足跡を残したことで知ら
れる。

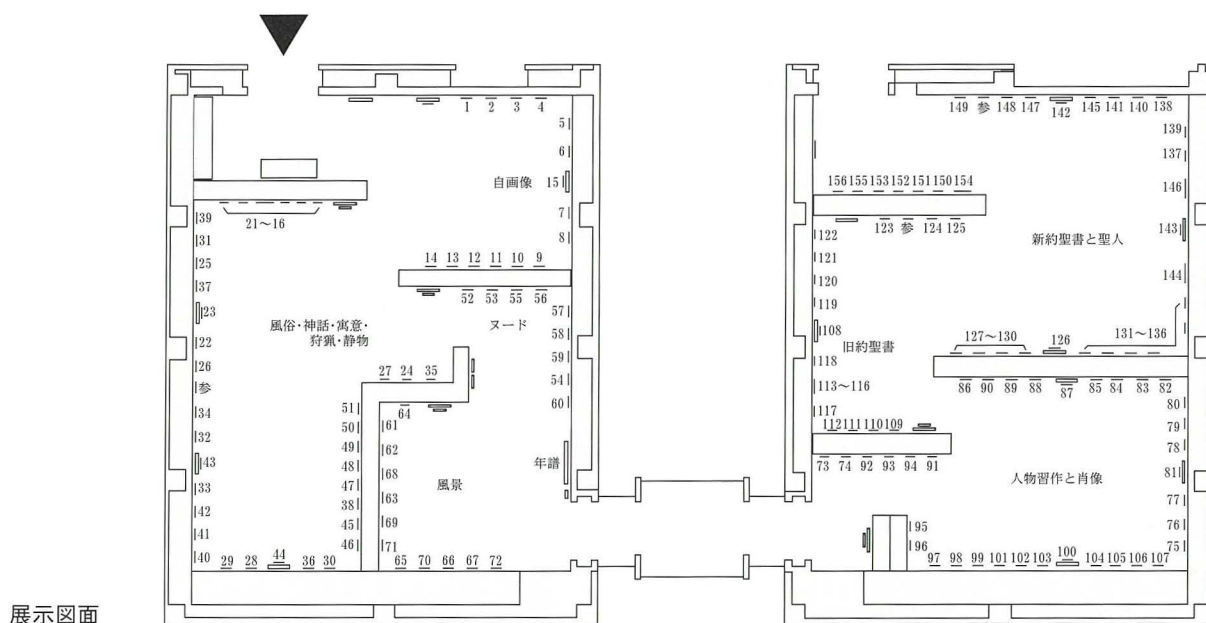
17世紀のオランダは、ヨーロッパばかりでなく、世界的な海上
貿易の中心地として繁栄を遂げる。商業の活発化と並行してさま
ざまな工業が興り、印刷業も盛んになった。そうした版画制作に
恵まれた環境のもと、レンブラントは銅版画の技法を駆使し、300
点にも及ぶ優れた版画作品を生み出す。聖書から風俗まで幅広い
主題を取り上げたそれらの作品は、繊細で柔らかな線と大胆な明
暗効果を用い、生き生きとした独自の表現で満たされている。レ
ンブラントは、それまで単に複製手段と見なされることの多かつ
た銅版画を、独立した芸術表現の域にまで高めたのである。

この展覧会では、日蘭交流400周年を記念して、レンブラントが
生涯に制作した銅版画のおよそ半数にあたる代表作を一堂に紹介
した。オランダのレイデン大学版画・素描室、テイラー美術館お
よびプライベートコレクションによる156点に加え、当館が所蔵す

る3作品も併せて公開した。出品作は自画像、神話・風俗、風景、
聖書等、主題別に分類した7つのコーナーで構成した。

本展の監修者テオ・ラウレンティウス氏は、レンブラントの版
画研究者として世界的に活躍している。この研究分野では、近年、
X線を用いた紙に関する調査が進展し、紙に施された透かしや紙
の繊維、インクの成分等から、作品の刷られた年代を推定する方
法が見出だされた。ラウレンティウス氏を迎えて開催した講演会
では、その研究成果に基く講話に100人近くの参加者が興味深く聞
き入った。

本展の出品作の多くは、こうした研究により、ライフ・タイ
ム・プリント（作家の生前に刷られた版画）であることが判明し
た貴重で質の高い作品であり、巨匠の版画芸術の魅力をあますと
ころなく伝える見応えのある内容となった。会期中8,700人を越え
る来館者が光と影に彩られたレンブラント版画の世界を堪能し
た。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

自画像

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
1	カールした髪と白い襟の自画像	1629-30頃	エッチング	5.8×5.0	テイラー美術館
2	前かがみになった自画像	1628頃	エッチング	4.3×3.9	テイラー美術館
3	柔らかい帽子と刺繍つきの服に身を包んだ自画像	1631	エッチング	14.8×13.2	テイラー美術館
4	顔をしかめる自画像 (胸像)	1630の年記	エッチング	6.4×6.0	オランダ、個人
5	叫んでいるかのように口を開けた自画像	1630の年記	エッチング	7.2×6.2	レイデン大学版画・素描室
6	厚手の毛皮の帽子をかぶった自画像	1631の年記	エッチング	6.3×5.7	レイデン大学版画・素描室
7	帽子とスカーフをつけた、顔が陰になった自画像	1633の年記	エッチング	13.0×10.3	レイデン大学版画・素描室
8	剣を掲げた自画像	1634の年記	エッチング	12.2×9.9	レイデン大学版画・素描室
9	サスキアのいる自画像	1636の年記	エッチング	10.4×9.3	レイデン大学版画・素描室
10	はね飾りのついたピロードの帽子をかぶった自画像	1638の年記	エッチング	13.5×10.4	レイデン大学版画・素描室
11	石の下枠にもたれる自画像	1639の年記	エッチング	19.9×16.1	オランダ、個人
12	窓辺で素描する自画像	1648の年記	エッチング、ドライポイント、ビュラン	15.5×12.7	テイラー美術館
13	毛皮の帽子をかぶった自画像	1630の年記	エッチング	6.1×5.1	テイラー美術館
14	平たい帽子をかぶった自画像	1642頃	エッチング	9.5×6.4	レイデン大学版画・素描室
15	口を開け帽子をかぶった自画像	1630の年記	エッチング	5.0×4.4	レイデン大学版画・素描室

風俗・神話・寓意・狩猟・静物

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
16	幸運の船	1633	エッチング	11.3×16.6	レイデン大学版画・素描室
17	メディア、あるいはイアソンとクレウーサの結婚	1648の年記	エッチング、ドライポイントの筆触	23.8×17.3	テイラー美術館
18	三王の星	1651頃	エッチング、ドライポイントの筆触	9.4×14.2	レイデン大学版画・素描室
19	ライオン狩り (大)	1641の年記	エッチング	22.4×29.9	テイラー美術館
20	2頭のライオンがいるライオン狩り (小)	1632頃	エッチング	15.5×12.3	テイラー美術館
21	3人の東洋人 (ヤコブとラバン?)	1641の年記	エッチング	14.5×11.4	オランダ、個人
22	旅回りの楽士たち	—	エッチング	14.5×11.6	レイデン大学版画・素描室
23	ネズミ取り屋	1632の年記	エッチング	13.8×12.4	テイラー美術館
24	金細工師	—	エッチング	7.7×5.7	レイデン大学版画・素描室
25	ゴルフをする男	1654の年記	エッチング	9.4×14.4	レイデン大学版画・素描室
26	戸口で男と子供たちに話をする婦人 (「学校の教師」)	1641の年記	エッチング	9.3×6.2	レイデン大学版画・素描室
27	石膏像を素描する男	1641頃	エッチング	9.4×6.3	レイデン大学版画・素描室
28	放浪する農民の家族	1652頃	エッチング	11.0×9.1	レイデン大学版画・素描室
29	壁に吊るされたタマネギのかたわらに座る老女	1631の年記	エッチング	12.4×8.4	テイラー美術館
30	両手を背中に回した農夫	1631の年記	エッチング、ビュラン	5.9×5.0	テイラー美術館
31	カード遊びをする男	1641の年記	エッチング	9.0×8.3	レイデン大学版画・素描室
32	盲目のヴァイオリン弾き	1631の年記	エッチング	7.8×5.3	レイデン大学版画・素描室
33	馬に乗るターバンを巻いた兵士	1632頃	エッチング	8.0×5.8	レイデン大学版画・素描室
34	手回し風琴を持って立つポーランド人	1635頃	エッチング	5.0×4.6	テイラー美術館
35	蝋燭の明かりのもとで机に向かう書生	1642頃	エッチング	14.6×13.2	レイデン大学版画・素描室
36	ペルシア人	1632の年記	エッチング	10.9×7.8	レイデン大学版画・素描室
37	スケートをする男	1639頃	エッチング	6.0×5.3	テイラー美術館
38	雄豚	1643の年記	エッチング、ドライポイント	14.4×18.1	テイラー美術館
39	貝殻 (コヌス・マルモレウス)	1650の年記	エッチング、ドライポイント、ビュラン	9.7×13.1	テイラー美術館
40	会話を交わす物乞いの男女	1630の年記	エッチング	7.8×6.6	レイデン大学版画・素描室
41	瓢箪を持つ物乞いの老女	1630頃	エッチング	10.4×4.7	レイデン大学版画・素描室
42	小さな火鉢で暖をとる物乞い	1630頃	エッチング	7.7×4.7	レイデン大学版画・素描室



「口を開け帽子をかぶった自画像」



「戸口で男と子供たちに話をする婦人」(学校の教師)

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
43	土塊に座る物乞い	1630の年記	エッチング	11.4×6.9	テイラー美術館
44	戸口で施しを受ける物乞いたち	1648の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	16.5×12.8	オランダ、個人
45	「身を切るような寒さだ」と叫ぶ農夫	1634の年記	エッチング	11.1×4.2	テイラー美術館
46	「そんなことはない」と答える農夫	1634の年記	エッチング	11.1×3.3	テイラー美術館
47	フランス風の寝台	1646の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	12.5×22.3	テイラー美術館
48	麦畑の修道士	1646頃	エッチング、ドライポイント	11.5×14.3	オランダ、個人
49	フルートを吹く男	1642の年記	エッチング、ドライポイント	4.3×6.6	テイラー美術館
50	眠る牛飼い	1644頃	エッチング、ビュラン	7.5×5.8	レイデン大学版画・素描室
51	小便をする女	1631の年記	エッチング	7.9×6.3	テイラー美術館
52	戸口で男と子供たちに話をする婦人(「学校の教師」)	1641の年記	エッチング	9.2×6.0	北海道立帯広美術館

ヌード

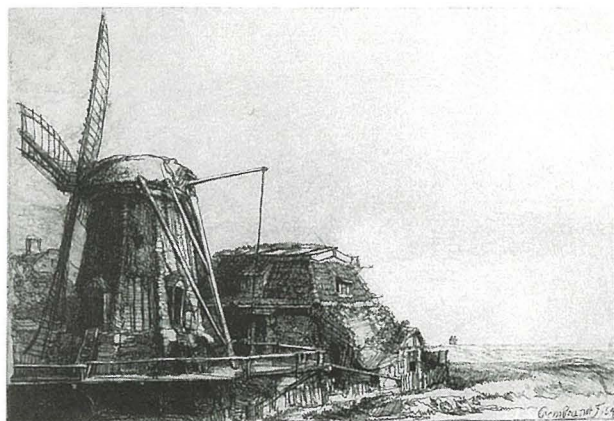
No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
52	モデルを素描する画家	1640-41頃	エッチング、ドライポイント、ビュラン	23.5×18.3	テイラー美術館
53	裸の座る男と立つ男	1646頃	エッチング	19.2×12.7	テイラー美術館
54	片足を伸ばして座る裸の男	1646の年記	エッチング	9.7×16.5	レイデン大学版画・素描室
55	ストーブのそばに座る半裸の女	1658の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	22.5×18.5	レイデン大学版画・素描室
56	盛り土に座る裸婦	1631の年記	エッチング	17.8×16.1	テイラー美術館
57	帽子をわきにおいて入浴する女	1658の年記	エッチング、ドライポイント	15.8×12.8	テイラー美術館
58	水浴するディアナ	1631頃	エッチング	17.6×16.0	レイデン大学版画・素描室
59	矢を持つ女	1661の年記	エッチング、ドライポイント、ビュラン	20.4×12.4	テイラー美術館
60	ユピテルとアンティオペ	1659の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	13.6×20.5	テイラー美術館

風景

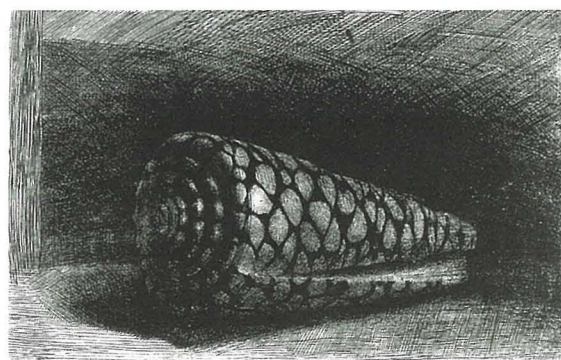
No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
61	シックスの橋	1645の年記	エッチング	12.3×22.3	テイラー美術館
62	オムファルの眺め	1645の年記	エッチング、ドライポイント	18.4×22.6	テイラー美術館
63	アムステルダム眺め	1641頃	エッチング	11.0×15.3	テイラー美術館
64	羊飼いと犬のいる風景(「狩人(小)」)	1650頃	エッチング、ドライポイント	12.7×15.7	テイラー美術館
65	写生する男のいる小屋と農家	1645頃	エッチング	12.9×20.3	テイラー美術館
66	木立の眺め	1652の年記	ドライポイント	12.3×21.0	テイラー美術館
67	木々と農家と塔のある風景	1651頃	エッチング、ドライポイント	11.8×31.8	テイラー美術館
68	田舎家と干し草小屋のある風景	1641の年記	エッチング	12.8×32.0	テイラー美術館
69	田舎家と大きな木のある風景	1641の年記	エッチング	12.8×31.8	レイデン大学版画・素描室
70	ディーメンの眺め	1645頃	エッチング	13.9×20.8	レイデン大学版画・素描室
71	風車	1641の年記	エッチング	14.5×20.8	オランダ、個人
72	金計量人の野	1651の年記	エッチング、ドライポイント	12.1×32.0	テイラー美術館

人物習作と肖像

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
73	額に手をかざす老人	1631の年記	エッチング、ドライポイント	13.6×11.2	レイデン大学版画・素描室



「風車」



「貝殻 (コヌス・マルモレウス)」

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
74	うつむく髭の老人の胸像	1631の年記	エッチング	12.0×10.6	テイラー美術館
75	毛皮の帽子とピロードのマントをはおった髭の老人	1632頃	エッチング	14.0×13.0	レイデン大学版画・素描室
76	東洋風の毛皮の帽子と上衣をまとった髭の老人	1631の年記	エッチング、ビュラン	14.5×13.0	テイラー美術館
77	ヤン・アントニウス・ファン・デル・リンデンの肖像	1665	エッチング、ドライポイント、ビュラン	12.7×10.6	レイデン大学版画・素描室
78	ヤン・コルネリス・シルヴィウスの肖像	1633の年記	エッチング、ビュラン	16.7×14.2	レイデン大学版画・素描室
79	ピロードの帽子をかぶった若い男:ペトルス・シルヴィウス	1637の年記	エッチング	9.6×8.1	テイラー美術館
80	サミュエル・メナッサー・ベン・イスラエルの肖像	1636の年記	エッチング	14.7×10.6	レイデン大学版画・素描室
81	ファウスト	1652頃	エッチング、ドライポイント、ビュラン	20.8×16.0	レイデン大学版画・素描室
82	説教師コルネリス・クラスゾーン・アンスロ	1641の年記	エッチング、ドライポイント	18.8×16.0	テイラー美術館
83	版画商クレメント・デ・ヨンゲ	1651の年記	エッチング、ドライポイント、ビュラン	20.8×16.0	テイラー美術館
84	薬剤師アブラハム・フランケン	1657頃	エッチング、ドライポイント、ビュラン	15.7×20.9	レイデン大学版画・素描室
85	ヤン・アセレインの肖像	16..の年記	エッチング、ドライポイント、ビュラン	21.7×16.9	レイデン大学版画・素描室
86	ユダヤ人医師エフライム・ボヌス	1647の年記	エッチング、ドライポイント、ビュラン	24.1×17.7	テイラー美術館
87	レモンストラント派説教師ヤン・アイテンボハールト	1635の年記	エッチング、ドライポイント	22.2×18.7	レイデン大学版画・素描室
88	ヤン・シックスの肖像	1647の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	24.5×19.3	テイラー美術館
89	東洋人の頭部 (第2作)	1635頃	エッチング	14.9×12.6	レイデン大学版画・素描室
90	東洋人の頭部 (第4作)	1635頃	エッチング	15.3×13.5	テイラー美術館
91	毛皮の丈の高い帽子をかぶり目を閉じた髭の老人	1635頃	エッチング	11.1×10.0	レイデン大学版画・素描室
92	禿頭の男の右横顔 (芸術家の父?)	1630の年記	エッチング	6.8×5.8	テイラー美術館
93	禿頭の男の右横顔	1630の年記	エッチング	5.8×4.4	レイデン大学版画・素描室
94	短い髭の禿頭の老人	1635頃	エッチング	6.5×5.7	テイラー美術館
95	横顔の少年の肖像	1641の年記	エッチング	9.4×6.7	テイラー美術館
96	宝石の留め具のついたピロードの帽子をかぶった髭の男	1637の年記	エッチング	9.4×8.2	レイデン大学版画・素描室
97	丈の高い帽子をかぶった男の胸像	1630の年記	エッチング	10.2×8.5	レイデン大学版画・素描室
98	ユダヤの花嫁 (大)	1635の年記	エッチング、ドライポイント、ビュラン	21.7×16.7	レイデン大学版画・素描室
99	ユダヤの花嫁 (小)	1638の年記	エッチング、ドライポイント	10.9×7.6	テイラー美術館
100	机に座る芸術家の母	1631頃	エッチング	14.9×13.0	レイデン大学版画・素描室
101	髪に真珠をつけたサスキア	1634の年記	エッチング	8.5×6.7	テイラー美術館
102	胸に手を当てる芸術家の母	1631の年記	エッチング	9.4×6.7	レイデン大学版画・素描室
103	座る芸術家の母	1631の年記	エッチング	14.7×12.9	レイデン大学版画・素描室
104	うつむく芸術家の母	1633の年記	エッチング	4.2×4.1	テイラー美術館
105	正面を向いた芸術家の母	1628の年記	エッチング	6.4×6.4	テイラー美術館
106	3つの女性の頭部	1637頃	エッチング	12.7×10.3	レイデン大学版画・素描室
107	病床につく女のある習作	1641-42頃	エッチング	15.0×13.7	テイラー美術館

旧約聖書

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
108	アダムとエヴァ	1638の年記	エッチング	16.4×11.7	レイデン大学版画・素描室
109	アブラハムと3人の天使	1656の年記	エッチング、ドライポイント	15.8×13.1	レイデン大学版画・素描室
110	イサクを愛撫するアブラハム	1637頃	エッチング	11.7×9.1	レイデン大学版画・素描室
111	アブラハムとイサク	1645の年記	エッチング、ドライポイント	15.4×12.8	レイデン大学版画・素描室
112	イサクの犠牲	1655の年記	エッチング、ドライポイント	15.7×13.1	レイデン大学版画・素描室
113	ネブガドネザルの夢に現れた彫像	1655	エッチング、ビュラン、ドライポイント	11.1×6.9	テイラー美術館
114	ヤコブの梯子	1655	エッチング、ビュラン、ドライポイント	10.6×7.2	テイラー美術館
115	ダヴィデとゴリアテ	1655	エッチング、ビュラン、ドライポイント	11.6×7.6	テイラー美術館
116	ダニエルによる4つの獣の幻視	1655	エッチング、ビュラン、ドライポイント	10.4×7.4	テイラー美術館



「ユダヤの花嫁 (大)」



「アダムとエヴァ」

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
117	家族に夢の話をするヨセフとポテパルの妻	1638の年記	エッチング	11.0×8.4	レイデン大学版画・素描室
118	ディーメンの眺め	1645頃	エッチング	13.9×20.8	レイデン大学版画・素描室
119	モルデカイの勝利	1641頃	エッチング、ドライポイント	17.1×21.2	テイラー美術館
120	モルデカイの勝利	1641頃	エッチング	17.7×21.5	テイラー美術館
121	盲目のトビト	1651の年記	エッチング	15.8×12.7	レイデン大学版画・素描室
122	トビアスの家族のもとを去る天使	1641の年記	エッチング	10.3×15.4	レイデン大学版画・素描室

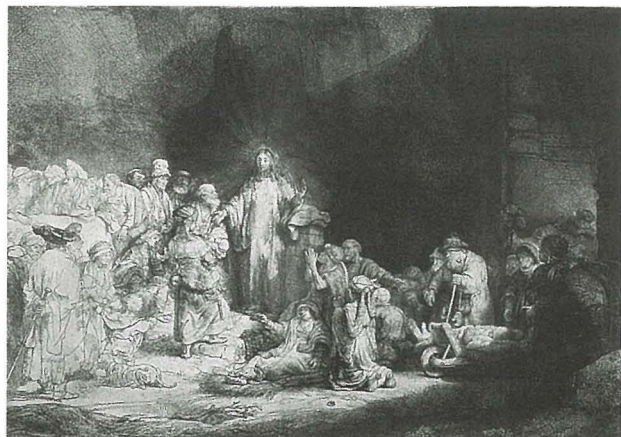
新約聖書と聖人

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵先
123	天使による羊飼いへのお告げ	1634の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	25.9×21.9	オランダ、個人
124	羊飼いの礼拝	1654頃	エッチング	10.4×13.0	レイデン大学版画・素描室
125	羊飼いの礼拝 (夜)	1652頃	エッチング、ドライポイント、ビュラン	15.0×19.6	テイラー美術館
126	割礼	1626頃	エッチング	21.3×15.9	オランダ、個人
127	家畜小屋での割礼	1654の年記	エッチング	9.5×14.4	レイデン大学版画・素描室
128	割礼 (小)	1630頃	エッチング	8.8×6.5	レイデン大学版画・素描室
129	暗いなかでの神殿奉献	1654頃	エッチング、ドライポイント	20.4×16.0	テイラー美術館
130	天使のいる神殿奉献	1630の年記	エッチング	10.0×7.7	レイデン大学版画・素描室
131	エジプトへの逃避	1651の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	12.6×10.8	レイデン大学版画・素描室
132	エジプトへの逃避	1653頃	エッチング、ビュラン、ドライポイント	21.3×27.9	テイラー美術館
133	エジプトへの逃避途上の休息	—	エッチング、ドライポイント	9.2×6.0	レイデン大学版画・素描室
134	エジプトへの逃避途上の休息	1645の年記	エッチング、ドライポイント、軽い腐蝕	13.0×11.5	テイラー美術館
135	両親とともに神殿を去るキリスト	1654の年記	エッチング、ドライポイント	9.5×14.3	テイラー美術館
136	猫と蛇のいる聖母子	1654の年記	エッチング	9.5×14.5	レイデン大学版画・素描室
137	博士たちと議論するキリスト	1652の年記	エッチング、ドライポイント	12.5×21.4	レイデン大学版画・素描室
138	説教をするキリスト (「小さな墓」)	1652頃	エッチング、ビュラン、ドライポイント	15.4×20.5	オランダ、個人
139	貢の銭	1635頃	エッチング	7.2×10.3	レイデン大学版画・素描室
140	神殿から商人を追ひ払うキリスト	1635頃	エッチング	13.8×17.0	レイデン大学版画・素描室
141	キリストとサマリヤの女	1634の年記	エッチング	12.2×11.0	レイデン大学版画・素描室
142	ラザロの蘇生	1632頃	エッチング、ビュラン	37.0×26.0	テイラー美術館
143	説教をするキリスト (「百ギルダー版画」)	1649頃完成	エッチング、ビュラン、ドライポイント	28.0×39.0	レイデン大学版画・素描室
144	3本の十字架	1653の年記	ドライポイント、ビュラン	38.6×45.2	テイラー美術館
145	ふたりの盗賊のあいだで十字架にかけられたキリスト	1641頃	エッチング、ドライポイント	13.6×10.0	オランダ、個人
146	十字架降下 (第2の原版)	1633の年記	エッチング、ビュラン	52.8×41.0	レイデン大学版画・素描室
147	たいまつに照らされた十字架降下	1654の年記	エッチング、ドライポイント	20.9×16.1	レイデン大学版画・素描室
148	キリストの遺骸の運搬	1645頃	エッチング、ドライポイントの筆触	13.2×10.9	レイデン大学版画・素描室
149	エマオの晩餐	1634の年記	エッチング、ドライポイントの筆触	10.1×7.2	レイデン大学版画・素描室
150	よきサマリヤ人	1633の年記	エッチング、ビュラン	25.5×20.3	テイラー美術館
151	放蕩息子の帰宅	1636の年記	エッチング	15.6×13.5	レイデン大学版画・素描室
152	神殿の前のペテロとヨハネ	1659の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	17.8×21.7	レイデン大学版画・素描室
153	ステパノの石打ち	1635の年記	エッチング	9.7×8.6	レイデン大学版画・素描室
154	聖母の死	1639の年記	エッチング、ドライポイント	40.8×31.3	テイラー美術館
155	イタリアの風景のなかで読書する聖ヒエロニムス	1653頃	エッチング、ビュラン、ドライポイント	26.0×21.0	テイラー美術館
156	暗い部屋にいる聖ヒエロニムス	1642の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	15.0×17.4	テイラー美術館
鋳出品	エマオのキリスト	1654	エッチング	20.9×15.7	北海道立帯広美術館
鋳出品	天使による羊飼いへのお告げ	1634の年記	エッチング、ビュラン、ドライポイント	25.2×21.5	北海道立帯広美術館

* 寸法は縦×横。



「天使による羊飼いへのお告げ」



「説教をするキリスト」(百ギルダー版画)

北海道美術の20世紀Ⅱ 美術はなにを記録してきたか

会期＝平成12年10月6日(金)－11月29日(水) 47日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、(財)
北方文化教育振興財団、NHK帯広放送局

観覧料＝一般730(620)円、高大生410(360)円、小中生300(250)円
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「絵画と記録の20世紀－北海道の場合」
講師＝酒井忠康氏(神奈川県立近代美術館館長)
日時＝10月28日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂

特別展セミナー

「美術の伝達カーハイアートとサブカルチャー」
講師＝寺嶋弘道(当館学芸課長)
日時＝10月14日(土)、11月18日(土) 午後2時～3時
会場＝当館講堂

図録

規格＝28.9×21.0cm／総頁数80ページ
構成＝ごあいさつ／寺嶋弘道「美術の伝達カーハイアートと
サブカルチャーの20世紀」／鎌田亨「〈視覚表現〉と
〈記録性〉をめぐる諸相」／図版／出品リスト／作家
解説

シリーズ企画「北海道美術の20世紀」の第2回展。1998年に開催した『北海道はどう描かれてきたか』に続き、今回展では『美術はなにを記録してきたか』をテーマに取り上げ、今世紀の北海道の美術を検証する機会とした。

蝦夷と呼ばれた時代から明治・大正の開拓期、太平洋戦争前後の混乱期を経て現代に至るまで、北海道は日本の近代化と軌を一にしながら歴史を積み重ねてきた。その歩みのなかで繰り広げられた歴史的な事件や人々の営みは、さまざまな美術作品のなかにも描きとどめられている。

古来、絵画や彫刻は歴史の一コマを視覚化し、記録するという機能を有してきた。しかし、より記録性に勝った写真や映像の登場、そして美術の自律性を重んじる近代美学の隆盛の結果、絵画や彫刻が担ってきた記録という役割はほかの視覚メディアへと受け継がれ、記録を目的とした美術のありかたは変容していくことになる。



ポスター



図録

本展はこうした美術と記録性の関わりに焦点を当て、20世紀という時代の中で美術が果たしてきた役割を鳥瞰しようとしたものである。歴史的な事件を描いた記録画や偉人の姿をとらえた肖像彫刻などの記念碑的な作品、時代の様相を反映したポスターや写真、イラスト、さらに現代美術の新たな試みなど多彩な作品108点を次の4セクションにより構成、今世紀の北海道美術の一断面を検証した。

I メディアとしての絵画

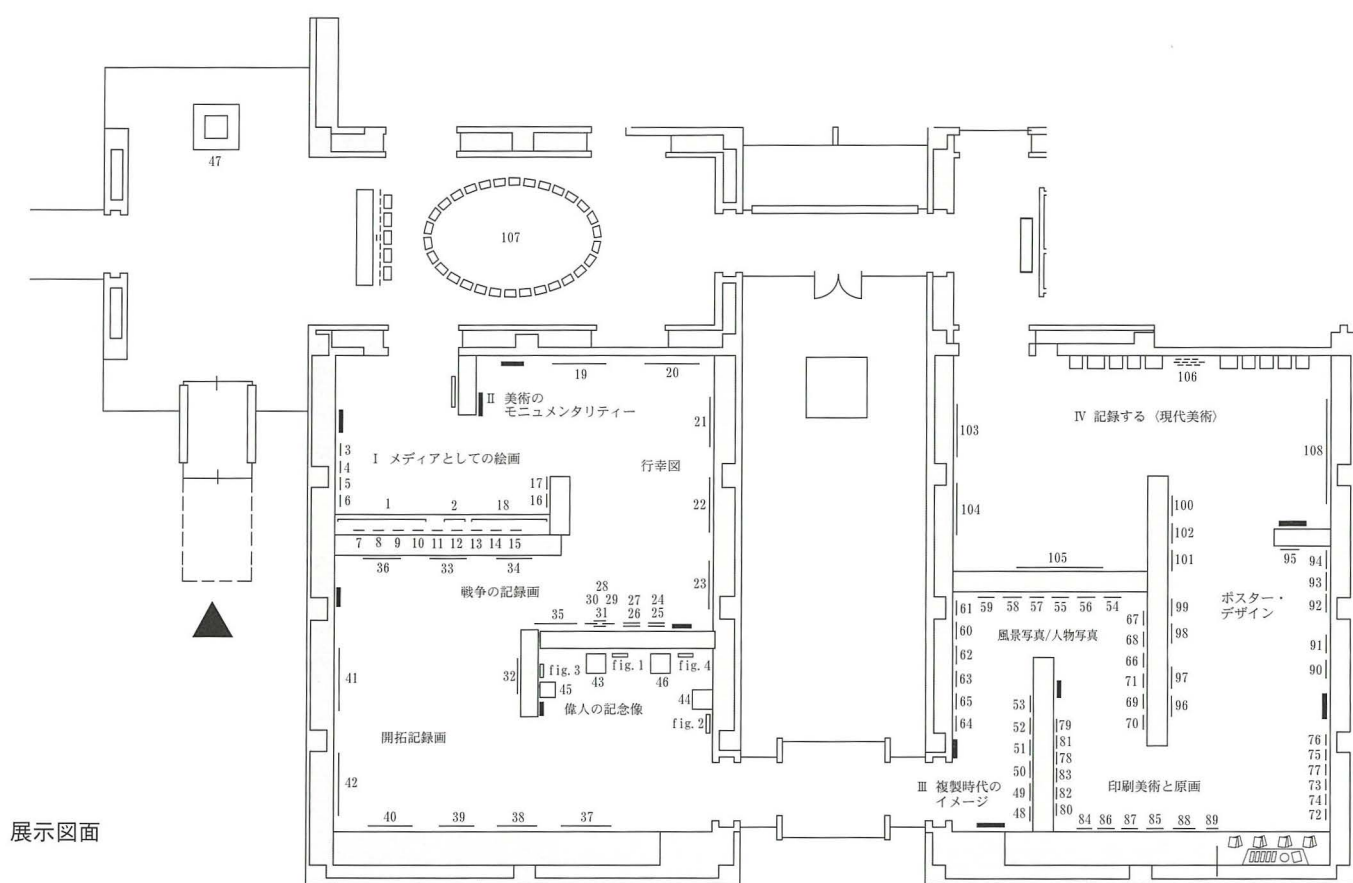
II 美術のモニュメンタリティー

- ・行幸図
- ・戦争の記録画
- ・開拓記録画
- ・偉人の記念像

III 複製時代のメッセージ

- ・風景写真／人物写真
- ・印刷美術と原画
- ・ポスター・デザイン

IV 記録する〈現代美術〉



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

I メディアとしての絵画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	谷 文晁	蝦夷山水器物図巻 第1巻	1800(寛政12)頃	紙本着彩	25.5×830.3	北海道立近代美術館
2	谷 文晁	蝦夷山水器物図巻 第5巻	1800(寛政12)頃	紙本着彩	25.5×2182.0	北海道立近代美術館
3	歌川豊国 (四代)	現如上人北海道巡経錦絵―落部村	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
4	歌川国輝 (二代)	現如上人北海道巡経錦絵―山越内	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
5	歌川豊国 (四代)	現如上人北海道巡経錦絵―訓縫	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
6	歌川国輝 (二代)	現如上人北海道巡経錦絵―訓縫其二	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
7	歌川国輝 (二代)	現如上人北海道巡経錦絵―歌寮	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
8	歌川広重(三代)、小林永濯	現如上人北海道巡経錦絵―雷電越の危難	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
9	歌川広重 (三代)	現如上人北海道巡経錦絵―余市早発	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
10	歌川国輝 (二代)	現如上人北海道巡経錦絵―余市小樽之間求捷徑到海岸難処	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
11	歌川国輝 (二代)	現如上人北海道巡経錦絵―小樽ゼニバコ虹魚の奇異	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
12	歌川豊国 (四代)	現如上人北海道巡経錦絵―札幌本府	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
13	歌川国輝 (二代)	現如上人北海道巡経錦絵―札幌本府其二	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
14	歌川豊国 (四代)	現如上人北海道巡経錦絵―本府御酒被下之図	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
15	歌川広重 (三代)	現如上人北海道巡経錦絵―北海道新道切開	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
16	歌川広重(三代)、小林永濯	現如上人北海道巡経錦絵―新道切開其二	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
17	歌川国輝 (二代)	現如上人北海道巡経錦絵―渡島帰帆	1871 (明治4)	木版、紙	36.5×24.5	北海道立近代美術館
18	翠軒竹葉	北海道鮭大漁概況之図	1889 (明治22)	木版、紙	各36.5×24.0(10枚続)	北海道立近代美術館

II 美術のモニュメンタリティー

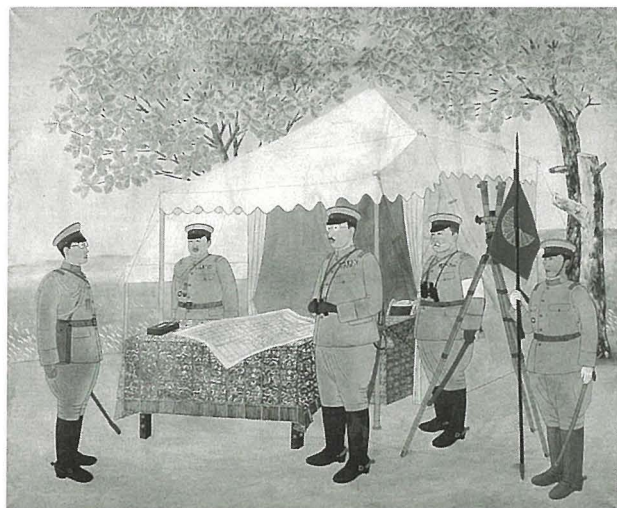
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
■行幸図						
19	林 竹治郎	明治天帝札幌農学校生徒理化学実験天覧之図	1938 (昭和13)	水彩、絹布	147.0×182.3	芸術の森美術館
20	澤枝重雄	明治天皇歯簿函館英国領事館前通御之図	1939 (昭和14)	油彩、キャンバス	151.0×182.0	芸術の森美術館
21	平子聖龍	聖上陛下昭和十一年十月北海道に於ける大演習御統監之図	1939 (昭和14)	紙本着彩	151.5×181.8	芸術の森美術館
22	本間莞彩	皇太子殿下豊平橋御通過之図	1939 (昭和14)	紙本着彩	153.9×185.4	札幌市豊平館
23	能勢眞美	今上陛下拓北農場御巡覧之図	1939(昭和14)頃	油彩、キャンバス	151.8×181.8	芸術の森美術館
■戦争の記録画						
24	田中忠雄	陣地に冬来たる 北千島	1943(昭和18)頃	水彩、インク、紙	18.0×26.0	北海道立帯広美術館
25	田中忠雄	寒風ふきさらす監視所	1943(昭和18)頃	水彩、インク、紙	18.2×26.0	北海道立帯広美術館
26	田辺三重松	千島スケッチ	1943(昭和18)頃	水彩、インク、紙	18.2×25.8	北海道立帯広美術館
27	田辺三重松	千島スケッチ	1943(昭和18)頃	水彩、インク、紙	18.1×25.2	北海道立帯広美術館
28	居串佳一	千島スケッチ	1944(昭和19)頃	水彩、インク、紙	17.9×25.6	北海道立帯広美術館
29	居串佳一	千島スケッチ	1944(昭和19)頃	インク、紙	25.6×18.1	北海道立帯広美術館
30	居串佳一	千島スケッチ	1944(昭和19)頃	水彩、インク、紙	18.1×25.6	北海道立帯広美術館
31	居串佳一	千島スケッチ	1944(昭和19)頃	インク、紙	18.2×25.7	北海道立帯広美術館
32	能勢眞美	暁の襲撃	1943-45(昭和18-20)頃	油彩、キャンバス	71.5×116.1	能勢美智子氏
33	居串佳一	戦闘	1943 (昭和18)	油彩、キャンバス	158.5×127.0	網走市立美術館
34	居串佳一	夜襲	1944 (昭和19)	油彩、キャンバス	157.5×127.0	網走市立美術館
35	小寺健吉	中支戦線	1944 (昭和19)	油彩、キャンバス	91.0×116.5	市立小樽美術館
36	菊地精二	北鎮	1945 (昭和20)	油彩、キャンバス	193.9×130.3	北海道立近代美術館
■開拓記録画						
37	高橋北修	十勝岳大爆発	1949 (昭和24)	油彩、キャンバス、板	118.5×189.0	旭川市教育委員会
38	一木万寿三	札幌間道路の開さく	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	112.1×145.5	北海道
39	橋本三郎	晩成社の開拓	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	193.9×130.3	北海道
40	岩船修三	札幌本府の建設	1971 (昭和46)	油彩、キャンバス	130.3×162.1	北海道
41	久保 守	開拓計画を練る	1971 (昭和46)	油彩、キャンバス	181.8×227.3	北海道
42	田中忠雄	島松での別離	1971 (昭和46)	油彩、キャンバス	181.8×227.3	北海道
■偉人の記念像						
43	梁川剛一	高田屋嘉兵衛像	1928 (昭和3)	樹脂	35.5×32.0×86.5	市立函館博物館
44	本郷 新	啄木像	1952 (昭和27)	石膏	高さ55.8	財団法人札幌彫刻美術館
45	山内壮夫	新渡戸博士顕彰碑	1974 (昭和49)	ブロンズ	16.0×13.0×46.0	中原徳二郎記念旭川市彫刻美術館
46	坂 坦道	丘の上のクラーク	1976 (昭和51)	石膏	46.5×26.0×74.0	芸術の森美術館
47	本田明二	スタルヒンよ永遠に	1979 (昭和54)	石膏	75.0×70.0×255.0	本田道子氏

Ⅲ 複製時代のメッセージ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
■風景写真／人物写真						
48	掛川源一郎	シマフクロウのイヨマンテ-シマフクロウ	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	48.1×34.7	東川町文化ギャラリー
49	掛川源一郎	シマフクロウのイヨマンテ-コタンの子	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	48.0×34.7	東川町文化ギャラリー
50	掛川源一郎	シマフクロウのイヨマンテ-神酒	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×48.0	東川町文化ギャラリー
51	掛川源一郎	シマフクロウのイヨマンテ-古老	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	48.0×34.7	東川町文化ギャラリー
52	掛川源一郎	シマフクロウのイヨマンテ-弓矢	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.7×48.1	東川町文化ギャラリー
53	掛川源一郎	シマフクロウのイヨマンテ-踊り	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×47.9	東川町文化ギャラリー
54	佐藤雅英	北の貌-佐藤大朴 (書家)	1979 (昭和54)	ゼラチン・シルバー・プリント	39.7×57.8	作者
55	佐藤雅英	北の貌-更科源蔵 (詩人)	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	39.7×57.7	作者
56	佐藤雅英	北の貌-田上義也 (建築家)	1983 (昭和58)	ゼラチン・シルバー・プリント	39.9×57.8	作者
57	佐藤雅英	北の貌-荒谷正雄 (音楽家・指揮者・ヴァイオリン)	1986 (昭和61)	ゼラチン・シルバー・プリント	71.5×49.0	作者
58	佐藤雅英	北の貌-砂澤ビッキ (彫刻家)	1988 (昭和63)	ゼラチン・シルバー・プリント	39.8×57.8	作者
59	佐藤雅英	北の貌-三浦綾子 (小説家) 三浦光世 (歌人)	1990 (平成2)	ゼラチン・シルバー・プリント	47.5×47.7	作者
60	清水武男	北飛行-青藍色のスコトン岬の海、礼文	1988 (昭和63)	タイプCプリント	35.0×42.5	東川町文化ギャラリー
61	清水武男	北飛行-十勝平野の広大な農場	1988 (昭和63)	タイプCプリント	34.9×42.4	東川町文化ギャラリー
62	清水武男	北飛行-雨竜沼池塘群	1991 (平成3)	タイプCプリント	42.4×34.9	東川町文化ギャラリー
63	清水武男	北飛行-流水紋様	1991 (平成3)	タイプCプリント	35.1×42.5	東川町文化ギャラリー
64	清水武男	北飛行-残照の神威岩	1993 (平成5)	タイプCプリント	35.0×42.5	東川町文化ギャラリー
65	清水武男	北飛行-黄金に光る知床連山	1993 (平成5)	タイプCプリント	35.0×42.5	東川町文化ギャラリー
66	関口哲也	北辺光彩-朝の十勝野 (十勝・音更町)	1985 (昭和60)	タイプCプリント	42.6×53.5	東川町文化ギャラリー
67	関口哲也	北辺光彩-薄氷 (十勝・糠平湖)	1985 (昭和60)	タイプCプリント	42.5×53.5	東川町文化ギャラリー
68	関口哲也	北辺光彩-春風渡る (根室・野付半島)	1986 (昭和61)	タイプCプリント	42.5×53.5	東川町文化ギャラリー
69	関口哲也	北辺光彩-池塘落葉 (東川町・旭岳)	1986 (昭和61)	タイプCプリント	42.5×53.5	東川町文化ギャラリー
70	関口哲也	北辺光彩-秋風になびく (北見・美幌町)	1987 (昭和62)	タイプCプリント	42.6×53.5	東川町文化ギャラリー
71	関口哲也	北辺光彩-樹林冬景 (十勝・池田町千代田)	1988 (昭和63)	タイプCプリント	42.5×53.6	東川町文化ギャラリー

■印刷美術と原画

72	おおば比呂司	ほっかいどう-バター・チーズ・牛乳	1977 (昭和52)	アクリリック、水彩、コンテ、紙	36.1×25.6	札幌市(おおば比呂司記念室)
73	おおば比呂司	ほっかいどう-あきあじまつり①	1977 (昭和52)	水彩、コンテ、紙	26.2×27.2	札幌市(おおば比呂司記念室)
74	おおば比呂司	ほっかいどう-歩くスキー	1980 (昭和55)	アクリリック、水彩、コンテ、紙	36.2×25.6	札幌市(おおば比呂司記念室)
75	おおば比呂司	ほっかいどう-千歳空港の国際化	1981 (昭和56)	アクリリック、水彩、紙	36.1×25.6	札幌市(おおば比呂司記念室)
76	おおば比呂司	ほっかいどう-海底の男たち(青函トンネル工事)	1981 (昭和56)	アクリリック、紙	36.5×26.1	札幌市(おおば比呂司記念室)
77	おおば比呂司	ほっかいどう-食生活	1982 (昭和57)	アクリリック、水彩、コンテ、紙	36.2×25.6	札幌市(おおば比呂司記念室)
78	坂本直行	えぞとりかぶと	制作年不詳	ペン、水彩、紙	24.5×32.0	坂本直行記念館
79	坂本直行	みずばしょう	制作年不詳	ペン、水彩、紙	28.5×38.5	坂本直行記念館
80	坂本直行	ふきのとう	制作年不詳	ペン、水彩、紙	16.0×22.6	坂本直行記念館
81	坂本直行	かぼちゃ	制作年不詳	パステル、水彩、紙	17.0×32.0	坂本直行記念館
82	坂本直行	みずばしょう、はまなし	制作年不詳	ペン、水彩、紙	24.5×32.0	坂本直行記念館
83	坂本直行	はまなしとえぞりゅうきんか (やちぶき)	制作年不詳	ペン、水彩、紙	24.5×32.0	坂本直行記念館
84	藤倉英幸	THE JR HOKKAIDO-残照	1995 (平成7)	はり絵、着彩、紙	55.5×41.5	作者
85	藤倉英幸	THE JR HOKKAIDO-名残りの秋	1995 (平成7)	はり絵、着彩、紙	41.5×55.5	作者
86	藤倉英幸	THE JR HOKKAIDO-5月そして6月	1996 (平成8)	はり絵、着彩、紙	42.5×50.0	作者
87	藤倉英幸	THE JR HOKKAIDO-防風林	1996 (平成8)	はり絵、着彩、紙	41.5×55.5	作者
88	藤倉英幸	THE JR HOKKAIDO-海鳴りの村	1996 (平成8)	はり絵、着彩、紙	55.5×75.0	作者
89	藤倉英幸	THE JR HOKKAIDO-雪のあと	1999 (平成11)	はり絵、着彩、紙	55.5×41.5	作者



平子聖龍「聖上陛下昭和十一年十月北海道に於ける大演習御統監之図」



能勢眞美「暁の襲撃」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
■ポスター・デザイン						
90	栗谷川健一	札幌オリンピック招致	ジャンプ 1963 (昭和38)	オフセット、紙	102.8×72.7	北海道立帯広美術館
91	栗谷川健一	札幌オリンピック招致	スキ어의源流 1965 (昭和40)	オフセット、紙	103.0×72.6	北海道立帯広美術館
92	河野鷹思	札幌オリンピック	1968 (昭和43)	頃 グラビア、紙	72.5×51.6	札幌市教育委員会
93	亀倉雄策	札幌オリンピック	1969 (昭和44)	頃 グラビア、紙	72.4×51.5	札幌市教育委員会
94	亀倉雄策	札幌オリンピック	1970 (昭和45)	頃 グラビア、紙	103.5×72.6	札幌市教育委員会
95	細谷 巖	札幌オリンピック	1971 (昭和46)	頃 グラビア、紙	103.4×72.7	札幌市教育委員会
96	梅津恒見	WELCOME北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	105.1×74.9	北海道立帯広美術館
97	梅津恒見	WELCOME北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	102.8×72.7	北海道立帯広美術館
98	ヒロ・ヤマガタ	世界食の祭典 北海道の平原	1988 (昭和63)	オフセット、紙	84.0×59.4	北海道立帯広美術館
99	ヒロ・ヤマガタ	世界食の祭典 函館	1988 (昭和63)	オフセット、紙	84.0×59.5	北海道立帯広美術館
100	佐藤正人	北のデザイン	1998 (平成10)	オフセット、紙	103.0×72.7	北海道立帯広美術館
101	小川正晴	北のデザイン	1999 (平成11)	オフセット、紙	102.9×72.7	北海道立帯広美術館
102	後藤精二	北のデザイン	1999 (平成11)	オフセット、紙	102.9×72.6	北海道立帯広美術館

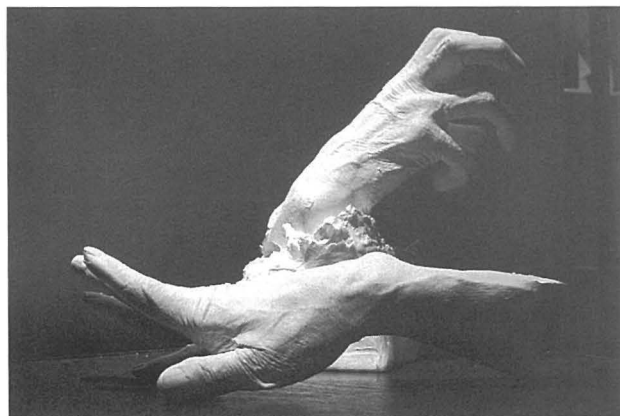
Ⅳ 記録する〈現代美術〉

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
103	佐藤時啓	Breath-graph #164	1992 (平成4)	ゼラチン・シルバー・プリント	180×220	作者
104	佐藤時啓	Breath-graph #165	1992 (平成4)	ゼラチン・シルバー・プリント	180×220	作者
105	太田三郎	Stamp map of Hokkaido "December 29, 1993"	1993 (平成5)	切手、消印	290.0×360.0	北海道立帯広美術館
106	渡辺晃一	Life-Handsシリーズ	1995 (平成7) -	石膏、アルギン酸	高さ23.1ほか (10点組)	作者
	-1 大野 一雄 (舞踏家)	h23.1, w29.3 (2ヶ組)				
	-2 唐 十郎 (役者・劇作家)	h25.3				
	-3 栗原 小巻 (女優)	h27.6				
	-4 三枝 成彰 (作曲家)	h24.8				
	-5 佐藤 忠良 (彫刻家)	w36.8, w38.4 (2ヶ組)				
	-6 萩原美樹子 (バスケット)	w28.8				
	-7 松永里絵子 (新体操)	h26.2				
	-8 山口 昌男 (文化人類学)	h32.1				
	-9 山下 洋輔 (ピアニスト)	w38.0				
	-10 吉増 剛造 (詩人)	w29.5				
107	岡部昌生	N' OUBLIEZ PAS	1996-2000 (平成8-12)	フロタージュ、アエログラム コピー、ファイル	各30.6×24.0 (30点組)	作者
	-1 #1 PARIS (マレ地区「追悼の銘板」)					
	-2 #2 PARIS (マレ地区「追悼の銘板」)					
	-3 #5 広島原爆被災説明板					
	-4 #6 広島原爆被災説明板					
	-5 #8 広島原爆被災説明板					
	-6 #10 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-7 #11 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-8 #12 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-9 #13 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-10 #14 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-11 #20 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-12 #21 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-13 #22 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-14 #23 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-15 #27 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-16 #33 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-17 #35 広島原爆被災説明板					
	-18 #36 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-19 #37 広島原爆被災説明板					
	-20 #38 広島旧宇品駅プラットホーム					
	-21 #47 MELLA JAARMA					
	-22 #48 MELLA JAARMA					
	-23 #49 DANI KARAVAN					
	-24 #50 LEE KYONG-SUNG					
	-25 #51 光州旧望月洞 5・18墓碑					
	-26 #52 光州旧望月洞 5・18墓碑					
	-27 #53 光州旧望月洞 5・18墓碑					
	-28 #54 光州旧望月洞 5・18墓碑					
	-29 #55 光州旧望月洞 5・18墓碑					
	-30 #56 光州旧望月洞 5・18墓碑					
	-31 #59 光州旧望月洞 5・18墓碑					
	-32 #60 光州旧望月洞 5・18墓碑					
108	池田 緑	サホロの7ヶ月 (1999年8月13日~2000年3月19日)	2000 (平成12)	マスク、金具、紙ケース	132×440 (展示サイズ)	作者

* 寸法は、注記以外は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。



おおば比呂司「ほっかいどうーあきあじまつり①」



渡辺晃一「Life-Handsシリーズ 大野一雄 (舞踏家)」

国境を越えるアート 東欧絵本の世界展

会期＝平成12年12月8日(金)－平成13年1月24日(水) 33日間
 主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、
 十勝毎日新聞社、東欧絵本の世界展実行委員会

後援＝国際交流基金、日本国際児童図書評議会、十勝町村会、十勝教育局、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、NPO十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市町内会連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

特別協力＝ボーエム・プレス(チューリッヒ)

協力＝講談社、エールフランス航空、カトーレック株式会社、チェスキー・ケー、北海道書店商業組合十勝支部

企画協力＝株式会社エム・エ・エム

観覧料＝一般800(700)円、高大生500(400)円、小中生300(200)円、親子券800円[一般1名＋小中生1名]

心身に障害のある方などは無料

()内は前売りおよび10名以上の団体料金

親子券は前売りのみ

関連事業

特別展セミナー

「絵本の楽しみ－東欧絵本の世界展から」

講師＝寺嶋弘道(当館学芸課長)

日時＝12月16日(土)、1月20日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「文明からのレポート」(イラーネク作)

「パットとマット」シリーズ5作(ベネシュ/イラーネク作)

「草原の唄」(トルンカ作)

「手」(トルンカ作)

日時＝1月13日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂

図録

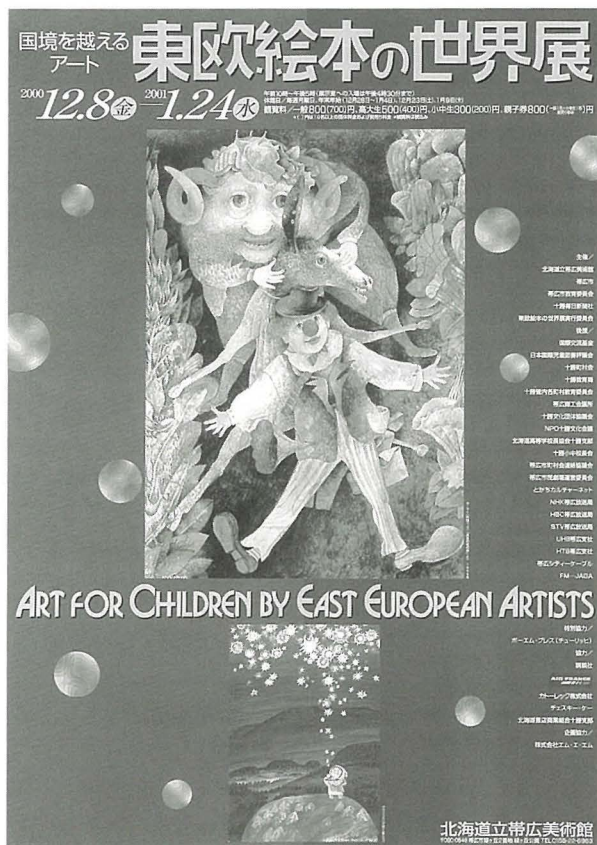
規格＝29.6×22.4cm/総頁数208ページ

構成＝ごあいさつ/オタカル・ボジェヨフスキー・フォン・ラヴェノフ『東欧絵本の世界展』に寄せて/小原雅俊「ポーランドの絵本の世界」/千野栄一「チェコの児童文学と絵本について－日本での現況から」/松岡新一郎「子どもは何かを知っている－ドゥシャン・カーライを見るための予備的な(?)考察/作品図版/作家・作品解説/関連事項解説/Artist Profiles/出展書籍一覧/参考書籍一覧/出品リスト

関連記事

近藤みどり、青柳規子、岩崎武史「絵物語への期待 上・中・下」十勝毎日新聞/11月29日～12月2日

「国境を越えるアート 東欧絵本の世界展」十勝毎日新聞/12月3日



ポスター

ART FOR CHILDREN BY EAST EUROPEAN ARTISTS

国境を越える 子どものためのアート 東欧絵本の世界展



図録

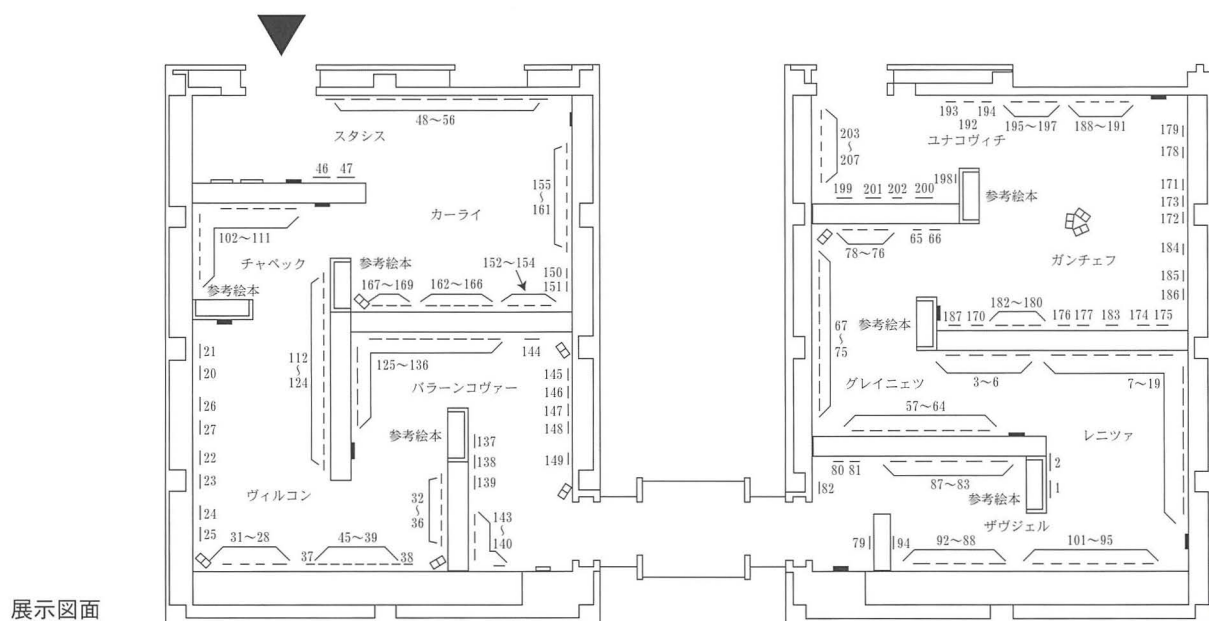
東ヨーロッパは優れた絵本作家を輩出し、スロヴァキアの首都ブラチスラヴァで国際絵本ビエンナーレが開催されるなど、この分野の世界的な中心地のひとつとして知られている。この地域では、かつて社会主義体制下において、芸術家の創作活動が制約された時代にも、自由な創造の許された絵本という領域において、才能豊かな画家たちが大きな足跡を残してきた。そこには、特有の風土や民族性、文化的な多様性を反映した豊かな表現が満ちあふれている。

この展覧会では、東ヨーロッパを代表する10名による絵本の原画207点を一堂に紹介した。出品作家はいずれも世界的に重要な絵本作家であり、絵本を一つの確立した芸術分野として、優れた才能を発揮している。また絵画や彫刻、映像や舞台美術など他の分野でも創作活動を繰り広げている。彼らの高い技量により生み出されたその表現は、絶妙なユーモアと斬新な空想、そしてまた人間の内面を深く省察する精神性にあふれ、絵本原画としての物語

性と、それを越えた絵画作品としての美しさをたたえている。

展示にあたっては、作品がもつこうした魅力を引き出せるよう、物語の流れに沿った順序で展示するとともに、各作品が原画として用いられた絵本を比較して閲覧できるように配置するなどの配慮をした。また、作家ごとに異なる色を使った解説パネルやキャプションを用い、各絵本、各作家のまとまりをうかびあがらせるよう工夫した。

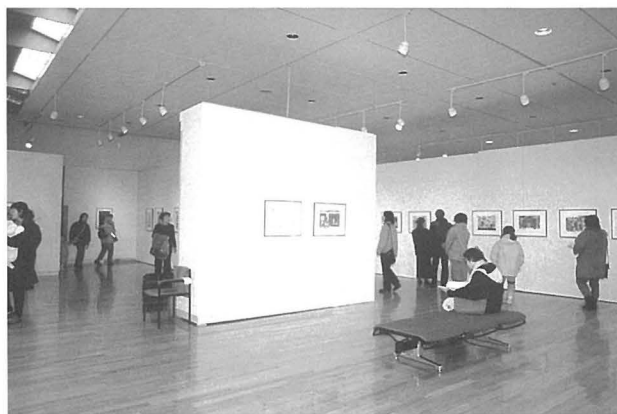
またロビーに設けた絵本閲覧コーナー、出品作家と影響関係のあるチェコの映像作家イジー・トルンカのアニメーション上映コーナーも展示作品とともに来館者の関心をひき、好評を博した。これまではほとんど伝えられてこなかった東欧からの情緒豊かなメッセージは、大人から子どもまで幅広い年齢層に受け入れられ、会場は大いににぎわった。東欧の絵本の世界を紹介する日本で初めての展覧会を、1万人を超える人々が訪れた。



展示図面



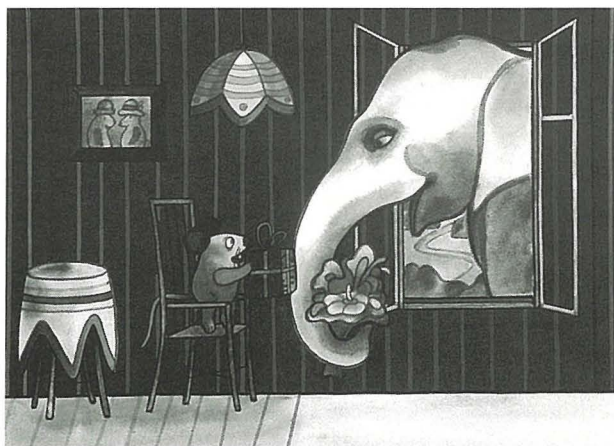
会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	書籍名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	ヤン・レニツァ	雪あそび	雪だるまのテオ	1988	グワッシュ、紙	32×43.5
2	ヤン・レニツァ	列車にのるテオ	雪だるまのテオ	1988	グワッシュ、紙	32×43.5
3	ヤン・レニツァ	ねずみとカエル	ねずみとぞう	1990	グワッシュ、紙	32×43.5
4	ヤン・レニツァ	ねずみとねこ	ねずみとぞう	1990	グワッシュ、紙	32×43.5
5	ヤン・レニツァ	ねずみとくま	ねずみとぞう	1990	グワッシュ、紙	32×43.5
6	ヤン・レニツァ	ねずみとぞう	ねずみとぞう	1990	グワッシュ、紙	32×43.5
7	ヤン・レニツァ	どうぶつやしき (表紙)	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
8	ヤン・レニツァ	緑のワニと赤のワニ	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
9	ヤン・レニツァ	森で	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
10	ヤン・レニツァ	へびと赤いワニ	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
11	ヤン・レニツァ	ヒヒの手品	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
12	ヤン・レニツァ	チェックのしまうま	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
13	ヤン・レニツァ	ぞうのトランペット	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
14	ヤン・レニツァ	いやだいやだのカバ	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
15	ヤン・レニツァ	スケート	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
16	ヤン・レニツァ	さかなのおでまし	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
17	ヤン・レニツァ	みんな集まれ	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
18	ヤン・レニツァ	舞台の前に	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
19	ヤン・レニツァ	晴れ舞台	へんてこはたのしい	1996	グワッシュ、紙	32×43.5
20	ユゼフ・ヴィルコン	トラとの出会い (表紙)	こぐまのやま	1982	パステル、紙	30×21
21	ユゼフ・ヴィルコン	オオカミとの出会い	こぐまのやま	1982	パステル、紙	30.5×22
22	ユゼフ・ヴィルコン	水中を泳ぐカバ	子馬とカバ	1984	パステル、他、紙	35×44
23	ユゼフ・ヴィルコン	別れ	子馬とカバ	1984	パステル、他、紙	33×44
24	ユゼフ・ヴィルコン	茂みの中で	世界でいちばん小さなぞう	1987	パステル、他、紙	31.5×42
25	ユゼフ・ヴィルコン	茂みの中で	世界でいちばん小さなぞう	1987	パステル、他、紙	34×23
26	ユゼフ・ヴィルコン	ご先祖様の肖像	くろねこのかぞく	1989	パステル、紙	34.5×44
27	ユゼフ・ヴィルコン	ロザリンドと子どもたち	くろねこのかぞく	1989	パステル、紙	31×44
28	ユゼフ・ヴィルコン	ちびおおかみの肖像 (表紙)	ちびおおかみ	1993	パステル、他、紙	31.5×24.5
29	ユゼフ・ヴィルコン	おうちへ急ぐ	ちびおおかみ	1993	パステル、他、紙	35×25
30	ユゼフ・ヴィルコン	元に戻ったちびおおかみ	ちびおおかみ	1993	パステル、他、紙	24×17
31	ユゼフ・ヴィルコン	友だちと散歩 (未掲載)	ちびおおかみ	1993	パステル、紙	34×48.5
32	ユゼフ・ヴィルコン	きんいろのサカナ	いっしょにいたらのしいね	1995	パステル、他、紙	35×25
33	ユゼフ・ヴィルコン	友だち	いっしょにいたらのしいね	1995	パステル、他、紙	35×24.5
34	ユゼフ・ヴィルコン	おしゃべり	いっしょにいたらのしいね	1995	パステル、他、紙	24×30.5
35	ユゼフ・ヴィルコン	再会	いっしょにいたらのしいね	1995	パステル、他、紙	30×20
36	ユゼフ・ヴィルコン	いっしょに泳ぐ	いっしょにいたらのしいね	1995	パステル、他、紙	29.5×18
37	ユゼフ・ヴィルコン	馬に乗るオタカル王 (表紙)	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	26×26
38	ユゼフ・ヴィルコン	城 (扉)	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	18×13
39	ユゼフ・ヴィルコン	金の贈り物	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	20×23



レニツァ「ねずみとぞう」

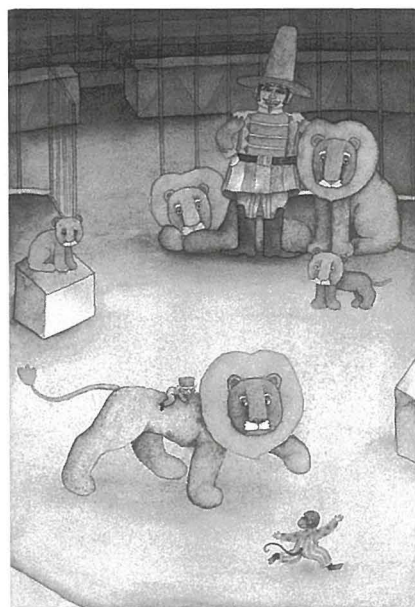


ヴィルコン「姫に贈られた金の指輪」

No.	作家名	作品名	書籍名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
40	ユゼフ・ヴィルコン	散歩するオタカル王、ルシンダ姫、魔法使い	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	21×34
41	ユゼフ・ヴィルコン	魔法使いに金を求めるオタカル王	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	27×25.5
42	ユゼフ・ヴィルコン	城をぬけだす魔法使い（裏表紙）	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	29×23.5
43	ユゼフ・ヴィルコン	軍隊を率いるオタカル王	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	19×40
44	ユゼフ・ヴィルコン	オタカル王とルシンダ姫	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	26×30
45	ユゼフ・ヴィルコン	姫に贈られた金の指輪	金のひかりがくれたもの	1997	水彩、他、紙	24×16
46	スタシス・エイドリゲヴィチウス	魔法のくるみの木（表紙）	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
47	スタシス・エイドリゲヴィチウス	サラとファビアン	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
48	スタシス・エイドリゲヴィチウス	くるみ売りのおばあさん	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
49	スタシス・エイドリゲヴィチウス	くるみ売りのおばあさん	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	50×34
50	スタシス・エイドリゲヴィチウス	大きくなった小鳥	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
51	スタシス・エイドリゲヴィチウス	魔法の鳥とファビアンのおばあさん	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	50×34
52	スタシス・エイドリゲヴィチウス	くるみ売りのおばあさんからくるみをもらう	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
53	スタシス・エイドリゲヴィチウス	魔法のくるみをもらいに行く	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
54	スタシス・エイドリゲヴィチウス	くるみを集めるファビアン	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
55	スタシス・エイドリゲヴィチウス	市場で	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
56	スタシス・エイドリゲヴィチウス	魔法のくるみから出てきた木	魔法のくるみ	1989	パステル、紙	48×64
57	マイケル・グレイニェツ	ビリーとティガー（未掲載）	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	34×25
58	マイケル・グレイニェツ	サーカスの旅（未掲載）	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	33×44.5
59	マイケル・グレイニェツ	出会い	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	33×24
60	マイケル・グレイニェツ	おいかけっこ	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	32.5×44.5
61	マイケル・グレイニェツ	おやすみ	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	33×44
62	マイケル・グレイニェツ	ティガーの芸	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	34×25.5
63	マイケル・グレイニェツ	ビリーの芸	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	33×25
64	マイケル・グレイニェツ	サーカスをぬけだすティガーとビリー	ビリーとティガー	1988	水彩、紙	32.5×44
65	マイケル・グレイニェツ	ライオンに乗るアウグスティン	アウグスティンとトランペット	1989	水彩、紙	37.5×28
66	マイケル・グレイニェツ	トランペットの演奏	アウグスティンとトランペット	1989	水彩、紙	38×28.5
67	マイケル・グレイニェツ	きりんとお月さま（表紙）	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	25.5×37
68	マイケル・グレイニェツ	お月さまが気になる動物たち	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	27×36
69	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとするかめ	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	25.5×18.5
70	マイケル・グレイニェツ	お月さまに触れようとするかめ	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	22×15
71	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとする2ひきの仲間	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	26×19
72	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとする3ひきの仲間	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	26×18.5
73	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとする4ひきの仲間	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	25.5×19
74	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとする5ひきの仲間	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	25.5×18.5
75	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとする6ひきの仲間	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	26×19
76	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとする7ひきの仲間	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	26×18.5
77	マイケル・グレイニェツ	お月さまに届こうとする8ひきの仲間	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	19.5×25
78	マイケル・グレイニェツ	お月さまをかじるねずみ	お月さまってどんなあじ？	1993	水彩、紙	27×36
79	シュチェパーン・ザヴジェル	少女と星たち	—	—	アクリル絵具、紙	50×35
80	シュチェパーン・ザヴジェル	青いくじゃく	—	—	アクリル絵具、紙	50×35
81	シュチェパーン・ザヴジェル	魔法のくじゃく	—	—	アクリル絵具、紙	50×35

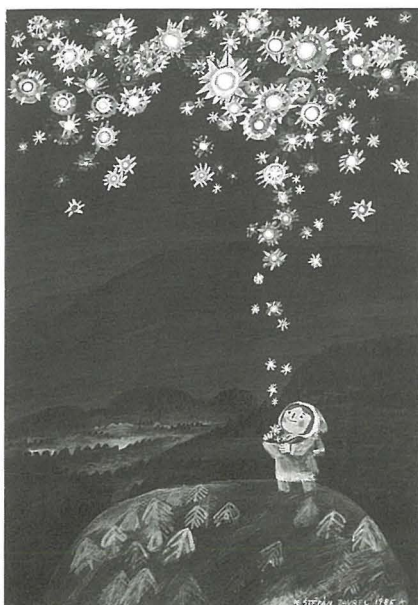


スタシス「魔法のくるみから出てきた木」



グレイニェツ「ライオンに乗るアウグスティン」

No.	作家名	作品名	書籍名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
82	シュチェパーン・ザヴジェル	夢の船	—	—	アクリル絵具、紙	50×35
83	シュチェパーン・ザヴジェル	星のあとについて (表紙)	ひつじかいのふえ	1980	アクリル絵具、紙	50×70
84	シュチェパーン・ザヴジェル	ひつじかい	ひつじかいのふえ	1980	アクリル絵具、紙	50×70
85	シュチェパーン・ザヴジェル	おじいさん	ひつじかいのふえ	1980	アクリル絵具、紙	50×70
86	シュチェパーン・ザヴジェル	おさなごの元へ	ひつじかいのふえ	1980	アクリル絵具、紙	50×70
87	シュチェパーン・ザヴジェル	無題 (未掲載)	ひつじかいのふえ	1980	アクリル絵具、紙	50×35
88	シュチェパーン・ザヴジェル	こびとたち (表紙)	大男の山	1985	水彩、紙	34.5×25
89	シュチェパーン・ザヴジェル	かべをつくる	大男の山	1985	水彩、紙	35×25
90	シュチェパーン・ザヴジェル	山をきずく	大男の山	1985	水彩、紙	34.5×50
91	シュチェパーン・ザヴジェル	かべ	大男の山	1985	水彩、紙	35×25
92	シュチェパーン・ザヴジェル	山をくずしたあと	大男の山	1985	水彩、紙	34.5×50
93	シュチェパーン・ザヴジェル	勇気を忘れないために	大男の山	1985	水彩、紙	35×25
94	シュチェパーン・ザヴジェル	無題 (無掲載)	花の町	1987	アクリル絵具、紙	35×50
95	シュチェパーン・ザヴジェル	3人の王さま (未掲載)	神さまとともに (聖書物語)	1996	アクリル絵具、紙	49.5×35
96	シュチェパーン・ザヴジェル	イエスの誕生	神さまとともに (聖書物語)	1996	アクリル絵具、紙	42×70
97	シュチェパーン・ザヴジェル	病いをいやすイエス	神さまとともに (聖書物語)	1996	アクリル絵具、紙	46×34
98	シュチェパーン・ザヴジェル	イエス・キリスト	神さまとともに (聖書物語)	1996	アクリル絵具、紙	46×34
99	シュチェパーン・ザヴジェル	よきサマリア人	神さまとともに (聖書物語)	1996	アクリル絵具、紙	46×34
100	シュチェパーン・ザヴジェル	この人を見よ	神さまとともに (聖書物語)	1996	アクリル絵具、紙	46×34
101	シュチェパーン・ザヴジェル	エルサレムの町 (未掲載)	神さまとともに (聖書物語)	1996	アクリル絵具、紙	70×50
102	インドラ・チャベック	星の子を抱くきこり (表紙)	星の子	1996	水彩、紙	38.5×31
103	インドラ・チャベック	流れ星を見つける二人のきこり	星の子	1996	水彩、紙	36×24
104	インドラ・チャベック	星の子を抱くきこり	星の子	1996	水彩、紙	59×34
105	インドラ・チャベック	女こじきに石を投げる	星の子	1996	水彩、紙	35.5×25
106	インドラ・チャベック	城	星の子	1996	水彩、紙	35.5×45.5
107	インドラ・チャベック	まほうつかいにつれられて	星の子	1996	水彩、紙	35.5×25
108	インドラ・チャベック	星の子とこじき	星の子	1996	水彩、紙	35.5×25.5
109	インドラ・チャベック	司祭にむかえられて	星の子	1996	水彩、紙	52×34
110	インドラ・チャベック	王さまとおきさきさま	星の子	1996	水彩、紙	53×34
111	インドラ・チャベック	不吉なできごと	星の子	1996	水彩、紙	34.5×45.5
112	インドラ・チャベック	火の鳥とイワン (表紙)	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
113	インドラ・チャベック	3人の王子 (扉)	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
114	インドラ・チャベック	金のりんごの木の下で眠ってしまい…	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
115	インドラ・チャベック	馬に乗る3人の王子	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
116	インドラ・チャベック	オオカミに乗るイワン	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
117	インドラ・チャベック	イワンと3人の見張り番	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
118	インドラ・チャベック	イワンと金のたてがみの馬	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
119	インドラ・チャベック	ワシリッサ姫をさらうオオカミ	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
120	インドラ・チャベック	イワンとワシリッサ姫	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
121	インドラ・チャベック	オオカミにおどろいた王さま	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
122	インドラ・チャベック	オオカミから落ちた王さま	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21
123	インドラ・チャベック	イワンの死	火の鳥	1999	水彩、紙	30×21



ザヴジェル「少女と星たち」



チャベック「星の子を抱くきこり」

No.	作家名	作品名	書籍名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
124	インドラ・チャベック	城にもどるイワンとワシリッサ姫	火の鳥	1999	水彩、紙	34.5×45.5
125	ヴラスタ・バラーンコヴァー	あらし	手紙	1987	パステル、紙	32.5×42
126	ヴラスタ・バラーンコヴァー	軍隊	手紙	1987	パステル、紙	31×42
127	ヴラスタ・バラーンコヴァー	ねらわれて	手紙	1987	パステル、紙	31×42
128	ヴラスタ・バラーンコヴァー	平和をはこぶハト	手紙	1987	パステル、紙	33×42
129	ヴラスタ・バラーンコヴァー	ひとりぼっち	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	30.5×42
130	ヴラスタ・バラーンコヴァー	あずまや	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	30.5×41
131	ヴラスタ・バラーンコヴァー	ホルンを吹くコンスタンティン	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	31×41
132	ヴラスタ・バラーンコヴァー	川のほとりで	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	31×41.5
133	ヴラスタ・バラーンコヴァー	ホルンを吹くコンスタンティン	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	30.5×41
134	ヴラスタ・バラーンコヴァー	ジャングルの動物たち	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	31×41.5
135	ヴラスタ・バラーンコヴァー	草上の演奏会 (未掲載)	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	30.5×41
136	ヴラスタ・バラーンコヴァー	演奏がわかって	ワニのコンスタンティン	1989	パステル、紙	31×41
137	ヴラスタ・バラーンコヴァー	逃げてゆく鳥	長い旅	1990	パステル、他、紙	33×45
138	ヴラスタ・バラーンコヴァー	森で眠る子どもたち	長い旅	1990	パステル、他、紙	32.5×23
139	ヴラスタ・バラーンコヴァー	鳥たちが帰ってきた	長い旅	1990	パステル、他、紙	33.5×47
140	ヴラスタ・バラーンコヴァー	すずめを見上げる子どもたち (表紙)	クリスマスのすずめ	1991	パステル、紙	32.5×44
141	ヴラスタ・バラーンコヴァー	えらい先生に話しかけてみる	クリスマスのすずめ	1991	パステル、紙	44×32.5
142	ヴラスタ・バラーンコヴァー	城へ	クリスマスのすずめ	1991	パステル、紙	32×44
143	ヴラスタ・バラーンコヴァー	村で	クリスマスのすずめ	1991	パステル、紙	32×44
144	ヴラスタ・バラーンコヴァー	船の旅	まいごのこねこ	1992	パステル、紙	31×44
145	ヴラスタ・バラーンコヴァー	けんかするねこ	こねこのなまえは…?	1996	パステル、紙	25×44
146	ヴラスタ・バラーンコヴァー	おしゃれするねこ	こねこのなまえは…?	1996	パステル、紙	25×22
147	ヴラスタ・バラーンコヴァー	街をぶらぶら	こねこのなまえは…?	1996	パステル、紙	25×43.5
148	ヴラスタ・バラーンコヴァー	ねこのための演奏会	こねこのなまえは…?	1996	パステル、紙	25×44
149	ヴラスタ・バラーンコヴァー	くまの音楽隊	ひみつのかくしあじ	1994	パステル、紙	24.5×22
150	ドウシャン・カーライ	小羊とたま	魔法のなべと魔法のたま	1991	グワッシュ、紙	26.5×21
151	ドウシャン・カーライ	外へとびだすたま	魔法のなべと魔法のたま	1991	グワッシュ、紙	26.5×21
152	ドウシャン・カーライ	ヒキガエルとマリア	マリア・カロリナの冒険	1994	グワッシュ、紙	23.12×42
153	ドウシャン・カーライ	葉っぱの匂いがする	マリア・カロリナの冒険	1994	グワッシュ、紙	37×27
154	ドウシャン・カーライ	バーティー	マリア・カロリナの冒険	1994	グワッシュ、紙	37×27
155	ドウシャン・カーライ	ためいきの橋	ヴェニスの商人	1995	グワッシュ、紙	36×28.5
156	ドウシャン・カーライ	パッサニオとアントニオ	ヴェニスの商人	1995	グワッシュ、紙	34.5×26
157	ドウシャン・カーライ	金貨	ヴェニスの商人	1995	グワッシュ、紙	35×25.5
158	ドウシャン・カーライ	法廷で	ヴェニスの商人	1995	グワッシュ、紙	34×24
159	ドウシャン・カーライ	重さをはかる	ヴェニスの商人	1995	グワッシュ、紙	34.5×26
160	ドウシャン・カーライ	ドゥカーレ宮殿	ヴェニスの商人	1995	グワッシュ、紙	36.5×27.5
161	ドウシャン・カーライ	船	ヴェニスの商人	1995	グワッシュ、紙	34.5×48
162	ドウシャン・カーライ	妖精たち	真夏の夜の夢	1996	グワッシュ、紙	35.5×27.5
163	ドウシャン・カーライ	使者	真夏の夜の夢	1996	グワッシュ、紙	34×25
164	ドウシャン・カーライ	眠る妖精たち	真夏の夜の夢	1996	グワッシュ、紙	34.5×26
165	ドウシャン・カーライ	妖精バック	真夏の夜の夢	1996	グワッシュ、紙	34.5×26



バラーンコヴァー「おしゃれするねこ」

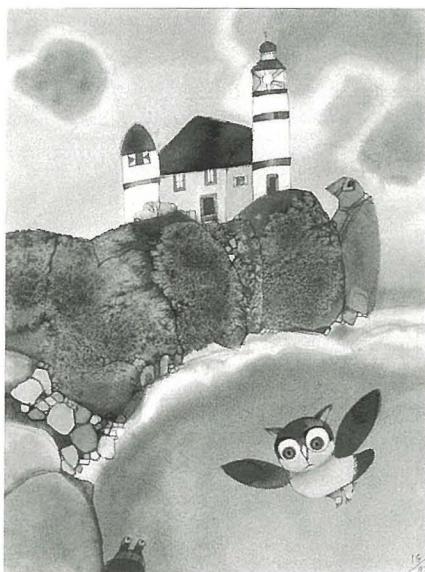


カーライ「かえるの演奏」



No.	作家名	作品名	書籍名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
166	ドゥシャン・カーライ	ロバの首	真夏の夜の夢	1996	グワッシュ、紙	34.5×26
167	ドゥシャン・カーライ	かえるの演奏	どきどきおんがくかい	1997	グワッシュ、紙	23.5×42
168	ドゥシャン・カーライ	二匹の音楽家	どきどきおんがくかい	1997	グワッシュ、紙	23.5×42
169	ドゥシャン・カーライ	ちょうと虫	どきどきおんがくかい	1997	グワッシュ、紙	23.5×42
170	イワン・ガンチェフ	山をこえて	こうのとりのぼろやはじめてのたび	1983	水彩、紙	33×46
171	イワン・ガンチェフ	深い雪の中を歩	三にんの王さま	1990	水彩、紙	33.5×46
172	イワン・ガンチェフ	雪の中の城	三にんの王さま	1990	水彩、紙	37.5×52
173	イワン・ガンチェフ	ふしぎな星	三にんの王さま	1990	水彩、紙	35×28
174	イワン・ガンチェフ	村にのぼる月 (表紙)	おやすみ、アンナ	1990	水彩、紙	29×25
175	イワン・ガンチェフ	月明りときつね	おやすみ、アンナ	1990	水彩、紙	31.5×46
176	イワン・ガンチェフ	冬の町	おきゃくさま	1991	水彩、紙	38×47.5
177	イワン・ガンチェフ	花ざかり (未掲載)	おきゃくさま	1991	水彩、紙	33.5×48
178	イワン・ガンチェフ	朝 (未掲載)	お日さまとお月さまのじまんくらべ	1991	水彩、紙	36×49.5
179	イワン・ガンチェフ	月明りと動物たち	お日さまとお月さまのじまんくらべ	1991	水彩、紙	35×48
180	イワン・ガンチェフ	雪の中の鳥たち (扉)	クリスマスのおくりもの	1992	水彩、紙	33×30
181	イワン・ガンチェフ	雪の中の動物たち	クリスマスのおくりもの	1992	水彩、紙	31×27
182	イワン・ガンチェフ	クリスマスの町	クリスマスのおくりもの	1992	水彩、紙	31.5×27.5
183	イワン・ガンチェフ	フクロウ	しあわせのあるところ	1993	水彩、紙	35×26.5
184	イワン・ガンチェフ	月夜の鳥 (未掲載)	初めてのクリスマス	1996	水彩、紙	31.5×45
185	イワン・ガンチェフ	朝	ミナとニナ (未刊)	—	水彩、紙	28.5×35
186	イワン・ガンチェフ	みずうみ	ミナとニナ (未刊)	—	水彩、紙	38.5×38
187	イワン・ガンチェフ	汽船	—	—	水彩、紙	34×26.5
188	スヴェトラン・ユナコヴィチ	びっくり	ベットショップ (未刊)	1996	アクリル絵具、紙	27.5×21
189	スヴェトラン・ユナコヴィチ	花をかざって	ベットショップ (未刊)	1996	アクリル絵具、紙	28×20
190	スヴェトラン・ユナコヴィチ	やんちゃねずみ	ベットショップ (未刊)	1996	アクリル絵具、紙	18×21
191	スヴェトラン・ユナコヴィチ	ありがたいこと!	ベットショップ (未刊)	1996	アクリル絵具、紙	27×21
192	スヴェトラン・ユナコヴィチ	カラスときつね	イソップものがたり	1997	アクリル絵具、紙	25×21
193	スヴェトラン・ユナコヴィチ	いぬとオオカミ	イソップものがたり	1997	アクリル絵具、紙	20.5×16
194	スヴェトラン・ユナコヴィチ	王女さまとカエル	イソップものがたり	1997	アクリル絵具、紙	20.5×18
195	スヴェトラン・ユナコヴィチ	ねこはきらいなんだ!	ねこのムコ	1998	アクリル絵具、紙	30×36
196	スヴェトラン・ユナコヴィチ	ねこのはかり方	ねこのムコ	1998	アクリル絵具、紙	30×50
197	スヴェトラン・ユナコヴィチ	町で	ねこのムコ	1998	アクリル絵具、紙	30×50
198	スヴェトラン・ユナコヴィチ	郵便配達	郵便配達のエペール	1998	アクリル絵具、紙	18×18
199	スヴェトラン・ユナコヴィチ	逃げるが勝ち	ブレーメンの音楽隊	1997	アクリル絵具、紙	23×40.5
200	スヴェトラン・ユナコヴィチ	おねがい、たべないで!	火打ち箱 (アンデルセン童話より)	1999	アクリル絵具、紙	15×34.5
201	スヴェトラン・ユナコヴィチ	ああ、おどろいた	鉛の兵隊 (アンデルセン童話より)	1999	アクリル絵具、紙	15×34.5
202	スヴェトラン・ユナコヴィチ	冬	マッチ売りの少女 (アンデルセン童話より)	1999	水彩、紙	21×19
203	スヴェトラン・ユナコヴィチ	まほうの鳥	ひかりの寓話	1997	アクリル絵具、紙	25×21
204	スヴェトラン・ユナコヴィチ	魔女からお先に	ひかりの寓話	1997	アクリル絵具、紙	21×18
205	スヴェトラン・ユナコヴィチ	魔法のたま	ひかりの寓話	1997	アクリル絵具、紙	25×21
206	スヴェトラン・ユナコヴィチ	青い町	ひかりの寓話	1997	アクリル絵具、紙	21×18
207	スヴェトラン・ユナコヴィチ	夜	ひかりの寓話	1997	アクリル絵具、紙	21×18

* 寸法は縦×横。



ガンチェフ「フクロウ」



ユナコヴィチ「ねこはきらいなんだ!」

帯広美術館コレクション選集 今日のプリントアート

会期＝平成13年2月2日(金)－3月28日(水) 46日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般300(250)円、大学生150(100)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

() 内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「制作の現場から一版表現と私」

講師＝秋岡美帆氏(美術家、大阪教育大学助教授)

日時＝3月10日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

ミュージアム・カレッジ

「2001年アートの旅 現代版画の冒険」

日時＝2月10日(土)、17日(土)、24日(土)、3月3日(土)、
10日(土)、17日(土)

会場＝当館講堂・主展示室

関連記事

小藤田勲「鋭いセンスと情熱凝縮」北海道新聞／3月8日

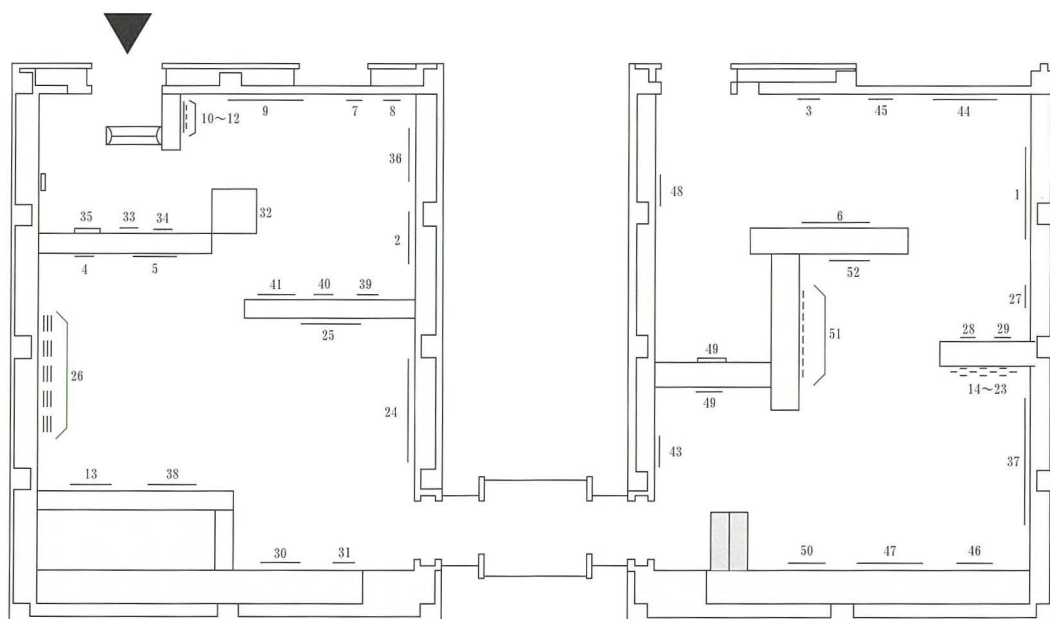
美術館にとって、コレクションは活動の軸となるきわめて重要な要素である。北海道立帯広美術館では、平成3年9月の開館以来、多くの展覧会を企画・開催するとともに、積極的な作品収集を行ってきた。十勝・釧路・根室・網走地域にゆかりの作品を対象とした道東の美術、近現代の版画やポスターを中心としたプリントアート、田園風景・農村風俗を主題としたヨーロッパの美術という3つの柱のもと、収蔵点数は、平成13年3月末までで568点に達している。

なかでも、プリント(印刷・転写・複製)の技法を用いた美術作品を広くとらえたプリントアートのコレクションは、全体の8割を占め、充実したものとなってきた。複数性、複製性、間接性といった性質をもつプリントアートの存在は、近年視覚芸術が直面している表現とメディアの問題を強く意識させると同時に、今日の複製文化社会を考える手がかりを与えてくれるものである。

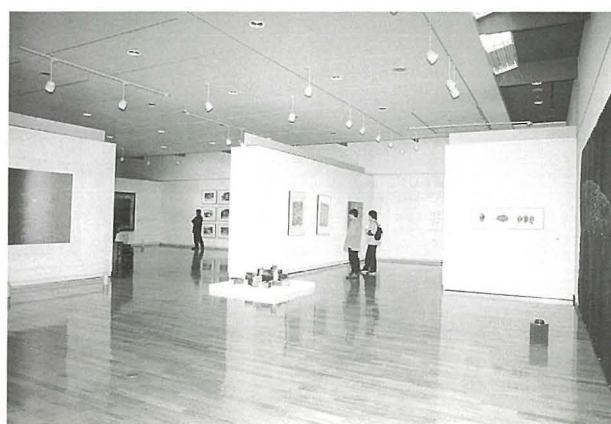
本展では、こうした視点で集められた当館コレクションのうち、現代のプリントアートに焦点を当てた。出品作は日本、アメリカで活躍する作家26名による作品52点で構成。金属や木材など意外な素材の上に画像を印刷した作品、カラーコピーやデジタルプリントといった新たな技法や写真技術を利用した作品などの多彩な作品を展示した。この世界で今日繰り広げられている素材や技法、表現形式などにおける斬新な試みと多様な展開を紹介するとともに、この分野における当館コレクションの現況と方向性を示す展覧会となった。



ポスター



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

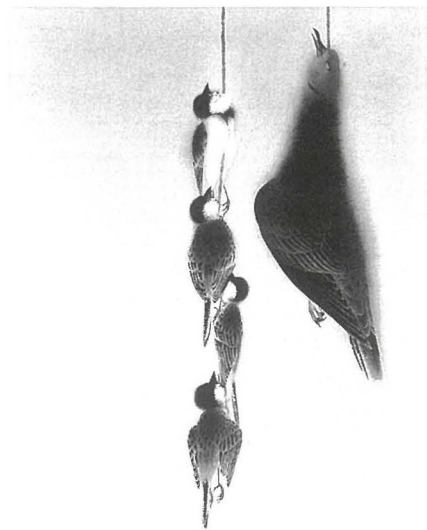
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	巖嘯	オープニング或いは再び田園	1992	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0(2点組)
2	秋岡美帆	ゆれるかげ	1992	スキャナグラフ (NECO)、麻紙	153.5×212.5
3	池田 緑	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	1999	プラスチック樹脂	205.5×59.9
4	池田良二	Reaching the cape (岬への到着)	1988	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	57.0×84.6
5	池田良二	Time of frozen ground (凍土の時)	1990	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0
6	磯辺行久	江戸障壁	1965	ミクストメディア、紙	200.5×299.5
7	一原有徳	S U 90	1990	ステンレス、熱版、蛍光塗料	80.0×60.0
8	一原有徳	S U (SON)	1990	ステンレス、熱版、蛍光塗料、インク	80.0×60.0
9	一原有徳	Z O M 90 (1)	1990	モノタイプ (アルミ板)、紙、自動車部品	121.0×80.0(13点組)
10	一原有徳	木の葉 (柏)	—	木の葉版、紙	18.6×12.0
11	一原有徳	木の葉 (榎)	—	木の葉版、紙	18.5×32.0
12	一原有徳	木の葉 (辛夷)	—	木の葉版、紙	14.5×27.6
13	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13 普賢岳 (川は水を必要としていた)	1994	土、石、灰、木、合成樹脂、印画紙、紙	169.0×225.0
14	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ Lepidium virginicu L. 1992年8月6日香川県小豆島寒霞溪	1992	種子、和紙	20.4×11.7
15	太田三郎	Seed Project ナナカマド Sorbus commixta Hedl 1992年12月30日北海道小樽市幸	1992	種子、和紙	20.4×11.5
16	太田三郎	Seed Project クジャクソウ Tagetes 1993年6月4日東京都中央区築地	1993	種子、和紙	20.7×11.7
17	太田三郎	Seed Project イヌムギ Bromus catharticus Vahl 1993年6月12日東京都練馬区北町	1993	種子、和紙	20.5×11.7

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
18	太田三郎	Seed Project ヤマノイモ Dioscorea japonica Thunb. 1993年11月3日東京都練馬区北町	1993	種子、和紙	20.5×11.8
19	太田三郎	Seed Project センダングサ Bidens biternata Merr. et Sherff 1993年12月11日東京都練馬区高松	1993	種子、和紙	20.5×11.7
20	太田三郎	Seed Project シロバナタンポポ Taraxacum albidum Dahlst. 1994年4月24日岡山県津山市北園町	1994	種子、和紙	20.9×11.7
21	太田三郎	Seed Project チカラシバ Pennisetum alopecuroides Spreng. 1994年10月14日岡山県津山市山北	1994	種子、和紙	20.7×11.6
22	太田三郎	Seed Project ツワブキ Farfugium japonicum Kitam. 1995年1月3日岡山県津山市北園町	1995	種子、和紙	20.8×11.7
23	太田三郎	Seed Project ヘリクリサム Helichrysum bracteatum 1995年7月26日山形県山形市霞城公園	1995	種子、和紙	20.8×11.8
24	岡部昌生	Stroke-on the road at Hiroshimacho in Sporo, September 7-November 15, 1987	1987	フロタージュ、鉛筆、紙	各300.0×152.0(3点組)
25	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991	フロタージュ、鉛筆、紙	各50.9×39.4(10点組)
26	國安孝昌	Wind Field Project	1994	コピー、鉛筆、紙	各35.2×52.2(15点組)
27	小谷博貞	蝶	1963	シルクスクリーン、ポリエチレン	181.2×72.4
28	小谷博貞	海辺	1991	シルクスクリーン、紙	34.0×18.2
29	小谷博貞	樹氷	1996	シルクスクリーン、紙	42.8×32.9
30	渋谷栄一	遊泳B	1991	カラーコピー、紙	28.8×148.1
31	渋谷栄一	H 8-A	1996	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.0×81.0
32	島 州一	指紋と木目	1976	シルクスクリーン、角材	11.0×11.0×26.0他(24点組)
33	島 州一	FINGER PRINT	1981	フロタージュ、粘土、和紙	99.0×69.0
34	島 州一	FINGER PRINT	1981	フロタージュ、粘土、段ボール、和紙	73.0×63.5
35	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS NO. 38	1982-85	フィンガープリント、シルクスクリーン、スチレンボード、アクリルボックス、チョーク	90.0×98.0×11.3
36	長はるこ	B-cushion	1998	スクラップ (NECO)、和紙	153.1×211.2
37	中谷有逸	碑 (海・蠕動)	1995	凹凸併用版、コラージュ、紙	270.0×540.0
38	長谷川哲	HOME 1997-2	1997	写真、印画紙	86.3×148.5
39	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
40	百瀬 寿	Square-Metallic green and violet	1984	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
41	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981	スクラップ (NECO)、キャンバス	180.0×180.2
42	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)	1990	カラー写真プリント	208.0×120.0
43	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)	1990	カラー写真プリント	155.0×120.0
44	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド	1973	シルクスクリーン、紙	各103.2×72.6(8点組)
45	横尾忠則	葬列II	1969 (1985年再制作)	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×11.3
46	デイヴィッド・ホックニー	京都1993年4月24日	1993	カラー・レーザープリント・フォト	61.0×183.5
47	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月アリゾナ	1982	フォト・コラージュ	114.0×252.7
48	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3
49	ロバート・ラウシェンバーク	スリンガー・ショット・リットNo.8	1985	シルクスクリーン、ミクストメディア	214.3×141.8×32.2
50	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5
51	マイク・スターン、ダグ・スターン	若い娘たち	1990-93	シルバープリント、木、釘、紙	57.5×46.0×5.5他(9点組)
52	フランク・ステラ	スワン・エンレイヴィング、ブルー、グリーン、グレー	1985	エッチング、ミクストメディア、紙	169.0×133.0

* 寸法は平面作品は縦×横 (×奥行)、立体作品は奥行×幅×高さ。
* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



秋岡美帆「ゆれるかげ」



森村泰昌「寒雀寒鳩(御舟)」

美術講演会

各分野の専門家を招いて、それぞれの展覧会に関連した内容の講演会を開催した。

時間＝午後2時～4時

場所＝当館講堂（聴講無料）



「西洋美術における静物画の意味」若桑みどり氏

平成11年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
4月17日(土)	ガラスの不思議とその魅力	米原真司氏	ガラス造形作家	魅惑のガラス芸術	52人
5月22日(土)	パトロンと画家たち	瀬木慎一氏	美術評論家	ヨーロッパの華麗な女性美展	64人
8月21日(土)	英国のアール・ヌーヴォーとモダン・デザイン	岡部昌幸氏	美術史家・帝京大学助教授	英国のアール・ヌーヴォー リパティ・スタイル展	84人
10月16日(土)	西洋美術における静物画の意味	若桑みどり氏	美術史家・千葉大学教授	20世紀静物画の展開	62人
2月12日(土)	ポスター芸術の世界－西洋と日本	今井良朗氏	武蔵野美術大学教授	永遠のポスター芸術	63人

平成12年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
7月8日(土)	空間・都市・宇宙・1920年代のアヴァンギャルドとデザイン	五十殿利治氏	美術史家・筑波大学助教授	グラフィック・デザインのモダニズム	36人
8月19日(土)	エッチングの巨匠－レンブラント	テオ・ラウレンティウス氏	美術史家	レンブラント版画展	92人
10月28日(土)	絵画と記録の20世紀－北海道の場合	酒井忠康氏	美術評論家・神奈川県立近代美術館館長	美術はなにを記録してきたか	33人
3月10日(土)	制作の現場から－版表現と私	秋岡美帆氏	美術家・大阪教育大学助教授	帯広美術館コレクション選集	48人

特別展セミナー

展覧会に関連したテーマを設けながら、学芸員が出品作品の解説を行った。

時間＝午後2時～3時

＊平成11年7月10日(土) は午後2時～4時

場所＝当館講堂（聴講無料）

平成11年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
4月24日(土)、5月8日(土)	ガラス芸術の世界	平 利弘	当館学芸員	魅惑のガラス芸術	24人
6月5日(土)、6月19日(土)	神話から肖像へー近世ヨーロッパ絵画の中の女性たち	鎌田 享	当館学芸員	ヨーロッパの華麗な女性美展	59人
7月10日(土)	民具に見る十勝アイヌの生活	内田祐一氏	帯広百年記念館学芸員	アイヌの四季と生活	54人
8月14日(土)、8月28日(土)	アール・ヌーヴォーの時代とロンドン・リパティ社の役割	平 利弘	当館学芸員	英国のアール・ヌーヴォー リパティ・スタイル展	26人
10月9日(土)、10月23日(土)	20世紀絵画の巨匠たち	鎌田 享	当館学芸員	20世紀静物画の展開	20人
1月29日(土)、3月18日(土)	街角の芸術ーパリのポスター 50年	寺嶋 弘道	当館学芸課長	永遠のポスター芸術	12人

平成12年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
4月22日(土)、5月20日(土)	北海道・フランス美術紀行	鎌田 享	当館学芸員	フランス美術名品選	43人
7月1日(土)、7月29日(土)	印刷芸術の革命ー1920年代のポスターデザイン	鎌田 享	当館学芸員	グラフィック・デザインのモダニズム	27人
8月26日(土)、9月16日(土)	光と影の画家ーレンブラント	石尾乃里子	当館学芸員	レンブラント版画展	44人
10月14日(土)、11月18日(土)	美術の伝達カー・ハイアートとサブカルチャー	寺嶋 弘道	当館学芸課長	美術はなにを記録してきたか	10人
12月16日(土)、1月20日(土)	絵本の楽しみー東欧絵本の世界展から	寺嶋 弘道	当館学芸課長	東欧絵本の世界展	42人

ミュージアム・カレッジ

開催中の展覧会に即したテーマ・内容で開催した、一般来館者を対象とした6回連続の美術講座。外来講師や当館学芸員による講演会・講座のほか、映像プログラムや作品鑑賞を盛り込み多彩な内容で実施。美術についての基礎的・専門的知識を学ぶこと、同時に新たな視点から作品を鑑賞をすることを通じて、地域住民の美術に対する興味・関心を高めることを目的に開催した。また各講座の終了後にコーヒー・タイムを設け、参加者同士の交流や美術館職員との意見交換の場とした。

平成11年度

ポスターの街角—パリジェンヌの美術めぐり

時間＝午後2時～3時30分

場所＝当館講堂・主展示室、応募制（無料）

「永遠のポスター芸術」展（平成12年1月28日～3月29日）に関連し、19世紀後半から20世紀前半にかけてのヨーロッパのポスター芸術をテーマに開催。映像プログラムや美術講演会・講座によって同時代のポスター作品の概要やロートレック、ミュシャ、カッサンドルといった主要作家の作品・作風について紹介。最終日には、展示された作品の中から個々の参加者が自分自身の視点・切り口で作品を選びだし仮想の展覧会を組み上げるという鑑賞ワークショップを開催。自由な視点で作品と向き合うこと、その鑑賞結果を他の参加者と共有することを目指した。



「ポスターの街角—パリジェンヌの美術めぐり」
ワークショップ『ポスターでたどる美術散歩』

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	聴講者数
2月5日（土）	映像プログラム『世紀末画家・ロートレック 1,2』			38人
2月12日（土）＊	美術講演会『ポスター芸術の世界—西洋と日本』	今井 良朗氏	武蔵野美術大学教授	33人
2月19日（土）	美術講座『近代ポスターの父—ジュール・シェレ』	平 利弘	当館学芸員	31人
2月26日（土）	美術講座『アル・ヌヴォーの寵児—アルフォンス・ミュシャ』	鎌田 享	当館学芸員	31人
3月4日（土）	美術講座『機会時代のデザインの旗手—カッサンドル』	寺嶋 弘道	当館学芸課長	31人
3月11日（土）	ワークショップ『ポスターでたどる美術散歩』			28人

＊2月12日（土）は美術講演会に参加

平成12年度

2001年アートの旅—現代版画の冒険

時間＝午後2時～3時30分

場所＝当館講堂・主展示室、応募制（無料）

「帯広美術館コレクション選集 今日のプリントアート」（平成13年2月2日～3月28日）に関連し、さまざまな表現や技法が試みられている現代版画の世界を紹介。初日のオリエンテーションでは、当館学芸員との対話形式で展示室内の作品を鑑賞。そこで提示された現代版画の概念を巡るさまざまな視点を踏まえて、続く講座・講演会を開催した。最終日には、出品作品を料理に見立てメイン・付け合せ・デザート の3品からなるコース料理を組み上げるという想定のもと、参加者たちが自分自身の視点・切り口で作品と向き合う鑑賞ワークショップを開催した。



「2001年アートの旅—現代版画の冒険」
ワークショップ『私の見つけたプリントアート』

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	聴講者数
2月10日（土）	オリエンテーション『キーワードでつづるプリントアート』			33名
2月17日（土）	美術講座『コピー：複写技術とオリジナリティー』	寺嶋 弘道	当館学芸課長	37名
2月24日（土）	美術講座『モノタイプ：一点制作の版画術』	石尾乃里子	当館学芸員	31名
3月3日（土）	美術講座『クローン：イメージの複製と量産』	鎌田 享	当館学芸員	32名
3月10日（土）＊	美術講演会『制作の現場から：版表現と私』	秋岡 美帆氏	美術家・大阪教育大学助教授	28名
3月17日（土）	ワークショップ『私の見つけたプリントアート』			27名

＊3月10日（土）は美術講演会に参加

土曜映写室

主として展覧会に関連した内容で映画、ビデオ、LDの上映を行った。

時間＝午後2時～

場所＝当館講堂（入場無料）

平成11年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場者数
8月7日(土)	「美の殿堂・オルセー美術館 広がるアール・ヌーヴォー」 「続・美術のみかた 絵画からデザインへ」	英国のアール・ヌーヴォー リバティ・スタイル展	11人
9月25日(土)、10月2日(土)、10月30日(土)	「美術のみかた 視角の変貌」 「世界的美を訪ねて～西洋編 ものとの対話」	20世紀静物画の展開	19人
11月2日(火)	映写室スペシャル 「ルーブル美の殿堂 古代エジプト幻想」 「ルーブル美の殿堂 メソポタミアの祈り」	20世紀静物画の展開(芸術週間)	10人
11月3日(水)	映写室スペシャル 「ルーブル美の殿堂 ピーナス誕生」 「ルーブル美の殿堂 古代ローマの肖像」	20世紀静物画の展開(芸術週間)	12人
11月4日(木)	映写室スペシャル 「ルーブル美の殿堂 中世の面影」 「ルーブル美の殿堂 ルネサンスとレオナルド」	20世紀静物画の展開(芸術週間)	13人
11月5日(金)	映写室スペシャル 「ルーブル美の殿堂 北方ルネサンスのきらめき」 「ルーブル美の殿堂 花の盛期ルネサンス」	20世紀静物画の展開(芸術週間)	10人
11月20日(土)	「世界美の旅 ルノワール～世紀末の女たち」 「世界美の旅 セザンヌ～12通の手紙」	帯広美術館コレクション選集	7人
11月27日(土)	「世界美の旅 モネ～印象派の巨匠」 「世界美の旅 マネ～落選した名画」	帯広美術館コレクション選集	25人
12月11日(土)	「世界美の旅 ゴッホ～アルルのひまわり」 「世界美の旅 ゴッホ～野生へのあこがれ」	帯広美術館コレクション選集	13人
12月18日(土)	「世界美の旅 ミレー～種まく人は今」 「世界美の旅 スーラ～点描の画家」	帯広美術館コレクション選集	4人
12月25日(土)	「世界美の旅 ブルシャンプルー～世界を巡った謎の青」 「世界美の旅 ビカソ～若き日の天才画家」	帯広美術館コレクション選集	1人

平成12年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場者数
4月15日(土)、5月6日(土)	「美の殿堂・オルセー美術館 リアリズムの道」 「美の殿堂・オルセー美術館 近代彫刻の展開」	フランス美術名品選	17人
5月13日(土)、6月3日(土)	「美の殿堂・オルセー美術館 都市の自画像」 「世界美の旅 ビカソ～若き日の天才画家」	フランス美術名品選	26人
6月24日(土)	「メトロポリス」(フリッツ・ラング監督)	グラフィック・デザインのモダニズム	2人
7月22日(土)	「戦艦ポチョムキン」(セルゲイ・エイゼンシュタイン監督)	グラフィック・デザインのモダニズム	5人
8月5日(土)	「カリガリ博士」(ロベルト・ウィーネ監督)	グラフィック・デザインのモダニズム	6人
9月9日(土)	「ルーブル美の殿堂 スペイン絵画の光と影」 「ルーブル美の殿堂 ルーベンスとレンブラント」	レンブラント版画展	21人
11月1日(水)	映写室スペシャル 「日本美術史 仏教文化と仏像の美」 「日本美術史 密教美術の成立」	美術はなにを記録してきたか(芸術週間)	2人
11月2日(木)	映写室スペシャル 「日本美術史 王朝文化の成熟」 「日本美術史 中世美術の流れ」	美術はなにを記録してきたか(芸術週間)	3人
11月5日(日)	映写室スペシャル 「日本美術史 南蛮美術」 「日本美術史 江戸時代の絵画」	美術はなにを記録してきたか(芸術週間)	9人
11月7日(火)	映写室スペシャル 「日本美術史 浮世絵の系譜と西洋への影響」 「日本美術史 西洋画との出会いと模索」	美術はなにを記録してきたか(芸術週間)	5人
1月13日(土)	「文明からのレポート」(ヴラディミール・イラーネク作) 「パットとマット」(ルボミール・ベネシュ、ヴラディミール・イラーネク作) 「草原の唄」(イジー・トルンカ作) 「手」(イジー・トルンカ作)	東欧絵本の世界展	24人

トークショー

十勝ゆかりの美術家を個展形式で紹介するシリーズ展「十勝の新時代」の開催にあわせ、展覧会出品作家を迎えてのトークショーを開催した。本年度は美術家・岡沼淳一氏を迎え、当館学芸員との対談形式により自らの彫刻体験や現代彫刻の動向についてスライドを交えながら講演を行った。

時間＝午後2時～4時
場所＝当館講堂（聴講無料）

平成11年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
9月11日(土)	現代彫刻の地平から	岡沼 淳一氏	彫刻家	岡沼淳一展	28人

アート・パフォーマンス

十勝ゆかりの美術家を個展形式で紹介するシリーズ展「十勝の新時代」の開催にあわせ、展覧会出品作家であり舞踊家でもある伽井丹彌氏を迎え、個展会場であるコレクション・ギャラリー内において、自作自演による舞踊パフォーマンスを実施した。

時間＝午後3時～4時
場所＝当館コレクション・ギャラリー



平成12年度

開催期日	演題	出演	講師所属(職業等)	関連展覧会	観覧者数
10月21日(土)	人形遊戯	伽井 丹彌氏	造形作家・舞踊家	伽井丹彌展	189人

キッズ・ミュージアム

親子連れの家族を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回ずつ託児の日を設けることで、日頃ゆつくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた父親・母親に鑑賞の場を提供した。託児の間、子どもたちにはさまざまな工作遊びを楽しんでもらった。なお、本事業は当館のボランティア組織である帯広美術館ボランティアしらかばの会との共催事業として実施したものである。工作遊びの内容検討から準備作業、そして当日の受付事務や子どもたちの工作の補助などをボランティアと共同で行った。

時間＝午後2時～4時

場所＝当館講堂（託児無料）



平成11年度「スチロール版画に挑戦！」

平成11年度

開催期日	工作内容	関連展覧会	利用人数(内・子どもの数)
5月1日(土)	キミだけの宝箱を作ろう！	魅惑のガラス芸術	56名(32名)
5月29日(土)	おもしろ段ボール・アート	ヨーロッパの華麗な女性美展	69名(35名)
7月24日(土)	スチロール版画に挑戦！	アイヌの四季と生活	10名(6名)
9月4日(土)	落ち葉を集めてプレス版画	リパティ・スタイル展	33名(17名)
11月6日(土)	おり紙・きり紙・かた紙版画	20世紀静物画の展開(芸術週間)	58名(33名)
12月4日(土)	紙ねんどで遊ぼう！	帯広美術館コレクション選集	22名(13名)
3月25日(土)	切って貼って・ちぎり絵遊び	永遠のポスター芸術	33名(16名)

平成12年度

開催期日	工作内容	関連展覧会	利用人数(内・子どもの数)
5月27日(土)	紙ひこうき 飛んでいけ！	フランス美術名品選	44名(27名)
7月15日(土)	七夕かざりを作ろう	グラフィック・デザインのモダニズム	11名(6名)
9月2日(土)	お面で大変身	レンブラント版画展	35名(20名)
11月4日(土)	とぶ鳥・まう鳥・小鳥の森	美術はなにを記録してきたか(芸術週間)	54名(32名)
12月9日(土)	描いて・つなげて・絵本作り	東欧絵本の世界展	118名(48名)
3月24日(土)	紙ねんどで遊ぼう！	帯広美術館コレクション選集	42名(26名)



平成12年度「とぶ鳥・まう鳥・小鳥の森」受付風景



平成12年度「とぶ鳥・まう鳥・小鳥の森」会場風景

ミュージアム・ミステリー

小学生・中学生を対象とした事業。《展覧会ツアー》《制作ワークショップ》《鑑賞ワークショップ》の三つのメニューからなる。鑑賞や制作のためのさまざまな体験プログラム（ワークショップ）を通じて、自らが感じ考えながら作品と触れ合う創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画・開催した。

平成11年度

たんけん！女神の宮殿・妖精の森

開催 日＝6月12日(土) 午後10時～午後4時30分
会 場＝当館講堂・ホール・主展示室ほか
参加 者＝小学校5～6年生、中学生 計27名（応募制）
関連展覧会＝ヨーロッパの華麗な女性美展

プログラム

展覧会ツアー

《女神たちのコンテスト 大賞はこれだ！》
（午前10時～12時）

展示作品に思い通りの賞をつけながら特別展「ヨーロッパの華麗な女性美展」を鑑賞。ゲーム的な要素を取り入れながら、個々の参加者が自身の自由な感覚で作品と触れ合うことを目的とした。鑑賞結果はホールに掲示した展示室マップに貼り出し、参加者全員で確認できるようにした。

制作ワークショップ

《挑戦！神々の物語を描こう。》
（午後1時～3時）

展示作品のカラー図版やダンボールなどを用いて、舞台装置状の立体作品を制作。参加者たちが独自のストーリーを設定しながらその場面を造形化することを目指した。

鑑賞ワークショップ

《天使とクイズ 私はだれでしょう？》
（午後3時～4時30分）

クイズを解きながら作品を鑑賞。展示作品の多くはギリシア神話や聖書に由来した主題を備えている。作品に描かれたさまざまな登場人物に関わるヒントを提示し、参加者はそれがどの作品のどの人物かを探し出した。展示作品のもつ主題・物語性に気づくことを目的とした。



展覧会ツアー《女神たちのコンテスト 大賞はこれだ！》



制作ワークショップ《挑戦！神々の物語を描こう。》



鑑賞ワークショップ《天使とクイズ 私はだれでしょう？》

平成12年度

美術の王国—フランス・名画の旅

開催日＝6月10日(土) 午後10時～午後4時
会場＝当館講堂・ホール・主展示室ほか
参加者＝小学校3～6年生 計13名(応募制)
関連展覧会＝フランス美術名品選

プログラム

展覧会ツアー

《名画にズームイン！シャガールをさがせ》
(午前10時～11時)

特別展「フランス美術名品選」を鑑賞。はじめに作品の部分拡大図を提示しそれに対応する作品を探し出すことで、会場内にどのような作品が展示されているかを把握。ついで作品にさまざまな賞をつけるゲームを行い、参加者が自分自身の感覚で作品と触れ合う機会を設けた。鑑賞結果はホールに掲示した展示室マップに貼り出し、参加者全員で確認できるようにした。



展覧会ツアー《名画にズームイン！シャガールをさがせ》

制作ワークショップ

《あの手この手で・ロダンに挑戦！》
(午前11時～12時30分、午後3時～4時)

参加者自身の手を直接石膏で型取り立体作品を制作。出品作品の中に描かれたさまざまな手の表情をヒントに、参加者がさまざまに工夫して独自の作品を制作した。

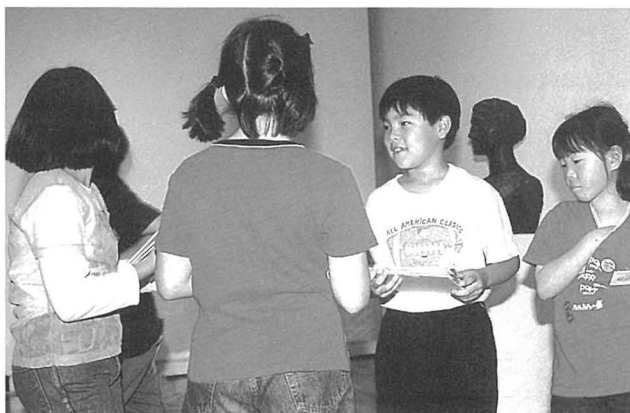


制作ワークショップ《あの手この手で・ロダンに挑戦》

鑑賞ワークショップ

《ピカソもびっくり！名作はこれだ》
(午後1時30分～3時)

展示作品のうち個々の参加者が最も気になった作品に自ら考えた賞を設定。さらにその賞の名前と作品の特徴をヒントに他の参加者がその作品を探し出すクイズ形式の発表の場を設けた。参加者が固有の感覚で作品を鑑賞すること、それを他者に伝えることを目的とした。



鑑賞ワークショップ《ピカソもびっくり！名作はこれだ》

団体オリエンテーション

団体観覧者（10名以上）のうち希望するグループに対して、スライドを使用しながら当館の概要と開催中の展覧会の内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

場所＝当館講堂、事前申込制（無料）

平成11年度

関連展覧会	実施回数	人数
魅惑のガラス芸術	3回	345人
ヨーロッパの華麗な女性美展	18回	692人
アイヌの四季と生活（貸館）	6回	234人
英国のアール・ヌーヴォー リバティ・スタイル展	9回	174人
20世紀静物画の展開	31回	1,503人
帯広美術館コレクション選集	6回	165人
永遠のポスター芸術	6回	188人

平成12年度

関連展覧会	実施回数	人数
フランス美術名品選	5回	345人
グラフィック・デザインのモダニズム	14回	695人
レンブラント版画展	13回	996人
美術はなにを記録してきた	16回	571人
東欧絵本の世界展	11回	575人
帯広美術館コレクション選集	5回	123人

博物館実習

関係各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れ博物館実習を実施した。

受入れ条件として、①帯広・十勝を中心とした地元出身者で、②美術（美学・美術史、美術教育、美術実技）を専攻しており、③卒業後に博物館勤務を現に希望する学生であることを原則とした。

*平成11年度は希望者不在のため実施なし

平成12年度

受入期間＝10月17日(火)～10月27日(金) 月曜日を除く10日間

受入人数＝3人（跡見学園女子大学、札幌大学、東海大学）

実習日程

	午前10：00～12：00	午後1：00～4：30
10月17日(火)	ガイダンス 施設、展覧会見学	講義「生涯学習時代と美術館」 講義「教育行政と美術館」 講義「道立美術館概要」
10月18日(水)	講義「美術作品の収集」 講義「二次資料の収集・整理」	美術館実務実習①（展示室監視）
10月19日(木)	講義「展覧会の企画運営」	学芸実務実習①（写真撮影）
10月20日(金)	講義「教育普及活動の概要」 講義「美術館の広報活動」	美術館実務実習②（広報活動） 教育普及事業実習①（団体オリエンテーション）
10月21日(土)	ビデオ学習「美術作品の保存・取り扱い」	教育普及事業実習②（アート・パフォーマンス）
10月22日(日)	博物館施設自主見学①（鹿追町立神田日勝記念館）	
10月23日(月)	休日	
10月24日(火)	講義「印刷物の編集作成」 講義「学芸業務の実際」	学芸実務実習②（展覧会記録作成）
10月25日(水)	学芸実務実習③（資料整理）	学芸実務実習④（資料整理）
10月26日(木)	学芸実務実習⑤（資料整理）	学芸実務実習⑥（資料整理）
10月27日(金)	博物館施設自主見学③（帯広市児童会館）	博物館施設自主見学③（帯広百年記念館）

移動美術館

当館では、平成10年度より所蔵作品を広く紹介する「移動美術館」を開催している。この事業は、当館が所蔵する作品による展覧会を、十勝、釧路、根室、網走といった北海道東部地域において年1回開催し、地域住民の美術鑑賞の機会を拡充しようと企画されたものである。平成11年度には十勝管内の大樹町、平成12年度には釧路管内の阿寒町でそれぞれ開催。当館コレクションの中から「道東の美術」「ヨーロッパのポスター」「バルビゾン派の絵画」の三つの分野の代表作50点を紹介した。

平成11年度

〈移動美術館1999〉大樹展
北海道立帯広美術館コレクション50選

会期＝平成11年11月9日(火)～11月14日(日) 6日間
午前10時～午後8時

会場＝大樹町生涯学習センター・オークホール

主催＝北海道立帯広美術館、大樹町教育委員会

後援＝大樹町文化協会

観覧料＝無料

入場者数＝419名

関連事業

ビデオ映写会

「世界的美を訪ねて－風景画の世界」

「風景に人間も見る画家たち－コロー、ミレー、クールベ」

日時＝会期中毎日 午前11時、午後3時、午後7時

会場＝大樹町生涯学習センター・ふれあいホール

出品目録

◆バルビゾン派の絵画

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	H. J. アルビニー	川辺の道	不詳	水彩、紙	23.9×33.7
2	A. アロンジェ	森の中	不詳	水彩、紙	53.5×75.7
3	J. B. C. コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0
4	J. F. シュニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
5	Ch. E. ジャック	蹄鉄場	1865	エッチング、紙	12.8×19.3
6	Ch. E. ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	不詳	油彩、キャンバス	81.2×65.0
7	L. シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
8	J. デュブレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8
9	A. ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
10	Ch. F. ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
11	F. L. フランセ	風景－丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6
12	K. ボドメール	鹿の呼び声	不詳	油彩、キャンバス	101.0×81.0
13	K. ボドメール	鳥の水場	不詳	リトグラフ、紙	48.8×34.4
14	J. F. ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
15	J. F. ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
16	P. ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866	エッチング、紙	19.3×28.0
17	P. ユエ	オージュ谷のノルマンディー人の家の庭	1866	エッチング、紙	9.5×14.0
18	L. リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
19	Th. ルソー	ビオーのサクランボの木	1848頃	クリシェ＝ヴェール、紙	22.1×27.7
20	Th. ルソー	ビオーの平原	1848頃	クリシェ＝ヴェール、紙	21.8×27.7



大樹展会場風景

◆ヨーロッパのポスター

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
21	オガロ	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
22	カッサンドル	北方急行—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
23	カッサンドル	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ、紙	39.6×31.1
24	L. カピエロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8
25	V. ギイエ	ギョーム人形劇場—1900年パリ万国博覧会	1900	リトグラフ、紙	103.0×148.0
26	P. コラン	ジョセフィン・ベイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
27	P. コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
28	J. シェレ	ルーヴル百貨店—1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
29	Th. A. スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
30	H. d. トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
31	H. d. トゥールーズ=ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.5×79.0
32	J. ドン	ジャヌ・マルニィ	1930	リトグラフ、紙	153.5×110.5
33	K. ファン・デル・ラーン	国立航空学校	1930頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
34	A. M. ミュシヤ	タバコ巻紙「ジョブ」	1897	リトグラフ、紙	51.5×39.3
35	G. P. ルルー	万国博覧会「光学館」—1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0

◆道東ゆかりの美術

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
36	阿部貞夫	くまげらと摩周	1958(昭和33)	木版、紙	37.9×27.0
37	池田良二	Window under the midnight sun(白夜の窓)	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	50.0×50.0
38	神田日勝	瘦馬	1956(昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
39	渋谷栄一	吟遊詩人A	1975(昭和50)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	36.5×20.3
40	多賀新	飛来	1977(昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5
41	竹山義雄	早春山野	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	130.6×162.0
42	手島圭三郎	しまふくろう・冬	1985(昭和60)	木版、紙	53.0×75.0
43	寺島春雄	凍土	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	117.0×91.1
44	富谷道信	アデラの記憶	1980(昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
45	中江紀洋	HAHA(折り)	1994(平成6)	スプルース、金属	91.5×107.0×156.0
46	長尾栄三	晩秋の高原	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
47	能勢眞美	樹草	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	97.0×145.5
48	増田誠	公園	1967-68(昭和42-43)	油彩、キャンバス	37.9×45.5
49	望月正男	落日	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
50	矢柳剛	最後の晩餐	1988(昭和63)	シルクスクリーン、紙	51.1×72.8

平成12年度

〈移動美術館2000〉阿寒展 北海道立帯広美術館コレクション50選

会期＝平成12年11月14日(火)～11月19日(日) 6日間

午前9時～午後8時

会場＝阿寒町公民館・大ホール

主催＝北海道立帯広美術館、阿寒町教育委員会、阿寒町文化協会

観覧料＝無料

入場者数＝1,115名

関連事業

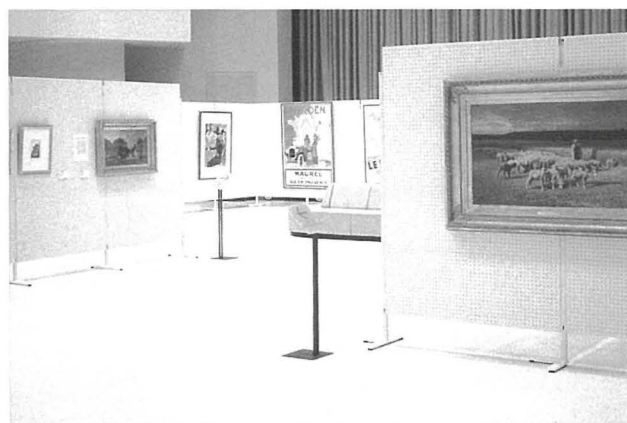
ビデオ映写会

「世界の美を訪ねて—風景画の世界」

「風景に人間も見る画家たち—コロ、ミレー、クールベ」

日時＝会期中随時

会場＝阿寒町公民館ロビー



阿寒展会場風景

出品目録

◆バルビゾン派の絵画

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	J. B. C. コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0
2	J. B. C. コロー	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0
3	J. F. シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
4	Ch. E. ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	制作年不詳	油彩、キャンバス	81.2×65.0
5	Ch. E. ジャック	オランダ牛	制作年不詳	エッチング、紙	11.0×17.9
6	Ch. E. ジャック	雄鶏と雌鶏	制作年不詳	エッチング、紙	12.1×17.0
7	L. シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1870年代初期	油彩、キャンバス	69.1×99.8
8	J. デュブレ	ソローニュの風車	1835	リトグラフ、紙	19.6×14.0
9	J. デュブレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7
10	A. ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
11	Ch. F. ドービニー	レバノンの西洋杉	1842	エッチング、紙	17.5×11.3
12	Ch. F. ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0×23.9
13	C. トロワイヨン	牛のいる風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	80.6×99.7
14	K. ボドメール	鹿の呼び声	制作年不詳	油彩、キャンバス	101.0×81.0
15	J. F. ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
16	J. F. ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
17	E. A. ラヴィエイユ	村の眺め	制作年不詳	油彩、板	32.8×56.0
18	L. リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
19	Th. ルソー	ピオールのサクランボの木	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7
20	Th. ルソー	ピオールの平原	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7

◆ヨーロッパのポスター

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
21	カッサンドル	北極星号—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
22	カッサンドル	ノルマンディー号—トランザンティック総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
23	L. カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
24	P. コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
25	J. シェレ	第4回上映会「白と黒」	1890	リトグラフ、紙	120.7×80.0
26	J. シェレ	ルーヴル百貨店—1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
27	Th. A. スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
28	H. d. トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
29	G. ド・フル	書籍「パリの暦」	1894	リトグラフ、紙	79.5×62.0
30	R. ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
31	P. ボナール	「創作版画家展」ヴォアラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0
32	A. M. ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
33	A. M. ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
34	P. ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
35	G. ルルー	万国博覧会「光学館」—1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0

◆道東ゆかりの美術

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
36	阿部貞夫	くまげらと摩周	1958(昭和33)	木版、紙	37.9×27.0
37	池田良二	Deposition of memories(記憶の沈殿)	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	69.0×58.0
38	神田日勝	瘦馬	1956(昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
39	渋谷栄一	楽園の調べC	1981(昭和56)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	49.8×36.5
40	多賀新	飛来	1977(昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5
41	竹山義雄	早春山野	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	130.6×162.0
42	手島圭三郎	しまふくろうとやどり木	1988(昭和63)	木版、紙	53.0×75.0
43	寺島春雄	凶斑	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	130.8×162.4
44	富谷道信	アデラの記憶	1980(昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
45	中江紀洋	HAHA(祈り)	1994(平成6)	スプルーース、金属	91.5×107.0×156.0
46	長尾栄三	晩秋の高原	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
47	能勢眞美	樹草	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	97.0×145.5
48	増田誠	公園	1967-68(昭和42-43)	油彩、キャンバス	37.9×45.5
49	望月正男	落日	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
50	矢柳剛	海の彼方の影	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙	57.4×89.5

芸術週間

道立文化施設7館（札幌の近代美術館・三岸好太郎美術館・文学館、旭川・函館・帯広の各美術館、釧路の芸術館）では、道民が芸術に親しむ気運を醸成するべく、平成11年度より文化の日をはさむ11月1日から7日までを芸術週間として設定し

た。期間中は幅広い広報活動を行うことで施設や事業の案内・周知に努めるとともに、一週間を通じて開館日とし各種の教育普及事業を集中的に開催することで道民の関心を喚起して利用の促進を図った。

平成11年度

芸術週間日程

月 日	実施内容
11月1日(月)	臨時開館
11月2日(火)	映写室スペシャル開催 「ルーブル美の殿堂古代エジプト幻想」 「ルーブル美の殿堂メソポタミアの祈り」
11月3日(水)	祝日開館 映写室スペシャル開催 「ルーブル美の殿堂ビーナス誕生」 「ルーブル美の殿堂古代ローマの肖像」
11月4日(木)	映写室スペシャル開催 「ルーブル美の殿堂中世の面影」 「ルーブル美の殿堂ルネサンスとレオナルド」
11月5日(金)	映写室スペシャル開催 「ルーブル美の殿堂北方ルネサンスのきらめき」 「ルーブル美の殿堂花の盛期ルネサンス」
11月6日(土)	キッズ・ミュージアム開催 「おり紙・きり紙・かた紙版画」
11月7日(日)	——

*会期中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「十勝の新時代Ⅱ 岡沼淳一展」
主展示室 「20世紀静物画の展開」

平成12年度

芸術週間日程

月 日	実施内容
11月1日(水)	映写室スペシャル 「日本美術史仏教文化と仏像の美」 「日本美術史密教美術の成立」
11月2日(木)	映写室スペシャル開催 「日本美術史王朝文化の成熟」 「日本美術史中世美術の流れ」
11月3日(金)	祝日開館
11月4日(土)	キッズ・ミュージアム開催 「とぶ鳥・まう鳥・小鳥の森」
11月5日(日)	映写室スペシャル開催 「日本美術史南蛮美術」 「日本美術史江戸時代の絵画」
11月6日(月)	臨時開館
11月7日(火)	映写室スペシャル 「日本美術史浮世絵の系譜と西洋への影響」 「日本美術史西洋画との出会いと模索」

*会期中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「十勝の新時代Ⅲ 伽井丹彌展」
主展示室 「北海道美術の20世紀Ⅱ 美術はなにを記録してきたか」
*芸術週間期間中のコレクション・ギャラリー観覧料は無料とした。

美術作品の収集

平成11年度 作品収集状況

区 分	前年度末 作品収蔵数	平成11年度収集数				作 品 総 数	受 託 作 品		
		購 入	受 贈	委託制作	計		前年度末	平成11年度	計
油 彩	52 (10.6%)	1	2	0	3	55 (10.6%)	29	0	29
日 本 画	7 (1.4%)	0	1	0	1	8 (1.5%)	1	0	1
水 彩・素 描	21 (4.3%)	0	0	0	0	21 (4.0%)	10	0	10
版 画	180 (36.7%)	3	12	0	15	195 (37.5%)	1	0	1
彫 塑	6 (1.2%)	0	0	0	0	6 (1.2%)	1	0	1
工 芸	1 (0.2%)	0	0	0	0	1 (0.2%)	0	0	0
デ ザ イ ン	217 (44.2%)	10	0	0	10	227 (43.7%)	0	0	0
写 真	7 (1.4%)	0	0	0	0	7 (1.3%)	0	0	0
合 計	491 (100%)	14	15	0	29	520 (100%)	42	0	42

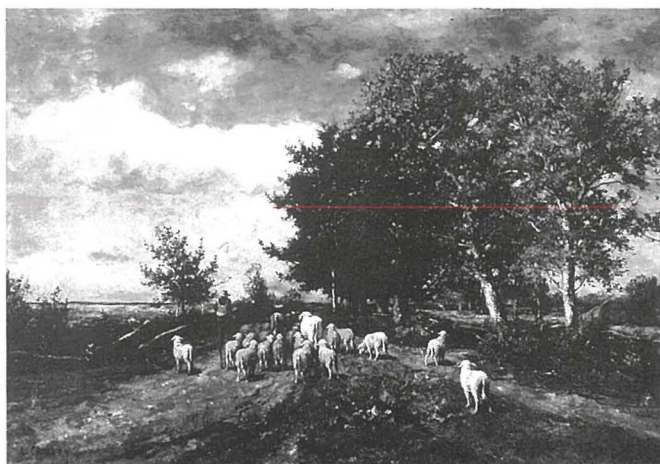
購 入

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法 (cm)
99016	油彩	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼	不詳	油彩、キャンバス	69.1×99.8
99017	版画	池田 緑	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	1999 (平成11)	プラスチック樹脂	205.5×59.9
99018	版画	渋谷栄一	遊泳B	1991 (平成3)	カラーコピー、紙	28.8×148.1
99019	版画	渋谷栄一	H8-A	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.0×81.0
99020	デザイン	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「19世紀」	1882	リトグラフ、紙	56.3×40.5
99021	デザイン	ジュール・シェレ	ジャルダン・ド・パリー=見世物、舞踏会、コンサート	1884	リトグラフ、紙	117.0×82.1
99022	デザイン	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館=ジプシー楽士のコンサート	1885	リトグラフ、紙	120.0×81.1
99023	デザイン	ジュール・シェレ	白粉「ディアファーマ」	1890	リトグラフ、紙	39.0×82.6
99024	デザイン	ジュール・シェレ	第4回上映会「白と黒」	1890	リトグラフ、紙	120.7×80.0
99025	デザイン	ジュール・シェレ	「鏡」 フォリー=ベルジュール劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2
99026	デザイン	ジュール・シェレ	フォリー=ベルジュール劇場のエミリエヌ・ダランソン	1893	リトグラフ、紙	80.0×57.9
99027	デザイン	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1894	リトグラフ、紙	51.2×33.2
99028	デザイン	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
99029	デザイン	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館 (文字刷り前のポスター)	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5

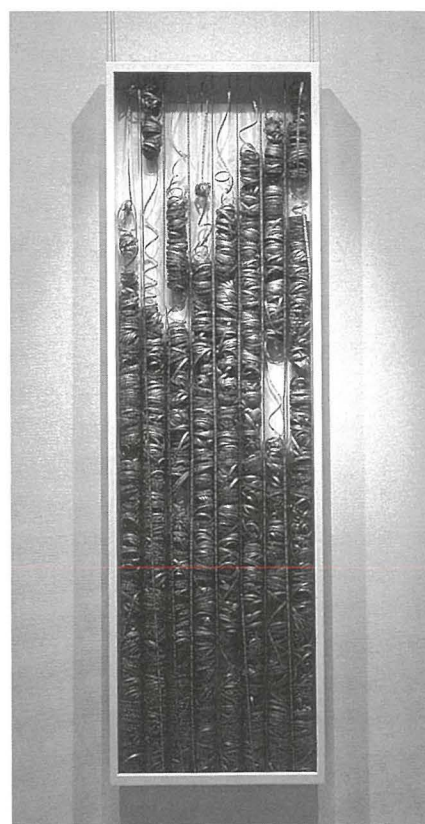
受 贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法 (cm)	寄贈者
99001	油彩	長尾栄三	樹苑の秋	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	130.3×162.2	長尾フミ子氏
99002	油彩	長尾栄三	山脈の見える風景	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4	長尾フミ子氏
99003	日本画	小林満枝	水辺	1977 (昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4	小林満枝氏
99004	版画	小谷博貞	風景	1951 (昭和26)	謄写版、紙	18.0×19.4	小谷博貞氏
99005	版画	小谷博貞	窓	1951 (昭和26)	謄写版、紙	22.1×19.1	小谷博貞氏
99006	版画	小谷博貞	蝶	1963 (昭和38)	シルクスクリーン、ポリエチレン	181.2×72.4	小谷博貞氏
99007	版画	小谷博貞	シルバー・シャワー	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、紙	46.6×33.5	小谷博貞氏
99008	版画	小谷博貞	薔薇園の夢	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、紙	29.4×36.1	小谷博貞氏
99009	版画	小谷博貞	昨日のスタイルブック	1990 (平成2)	シルクスクリーン、紙	25.2×10.5	小谷博貞氏
99010	版画	小谷博貞	海辺	1991 (平成3)	シルクスクリーン、紙	34.0×18.2	小谷博貞氏
99011	版画	小谷博貞	樹氷	1996 (平成8)	シルクスクリーン、紙	42.8×32.9	小谷博貞氏
99012	版画	小谷博貞	海霧	1996 (平成8)	シルクスクリーン、紙	43.4×28.3	小谷博貞氏
99013	版画	難波田龍起	無題	1951 (昭和26) 頃	謄写版、紙	32.5×21.9	小谷博貞氏
99014	版画	中谷有逸	碑 (鬼の気配)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紐、紙	115.8×160.2	中谷有逸氏
99015	版画	中谷有逸	碑 (羅生門)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5	中谷有逸氏

* 寸法は縦×横。



シャブリ「羊の群れを連れ帰る羊飼ひ」



池田緑「My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)」

平成12年度 作品収集状況

区 分	前年度末 作品収蔵数	平成12年度収集数				作 品 総 数	受 託 作 品		
		購 入	受 贈	委託制作	計		前年度末	平成12年度	計
油 彩	55 (10.6%)	0	0	0	0	55 (9.7%)	29	0	29
日 本 画	8 (1.5%)	0	0	0	0	8 (1.4%)	1	0	1
水 彩 ・ 素 描	21 (4.0%)	0	0	0	0	21 (3.7%)	10	0	10
版 画	195 (37.5%)	1	34	0	35	230 (40.5%)	1	0	1
彫 塑	6 (1.2%)	0	0	0	0	6 (1.1%)	1	0	1
工 芸	1 (0.2%)	0	0	0	0	1 (0.2%)	0	0	0
デ ザ イ ン	227 (43.7%)	0	12	0	12	239 (42.1%)	0	0	0
写 真	7 (1.3%)	0	1	0	1	8 (1.4%)	0	0	0
合 計	520 (100%)	1	47	0	48	568 (100%)	42	0	42

購 入

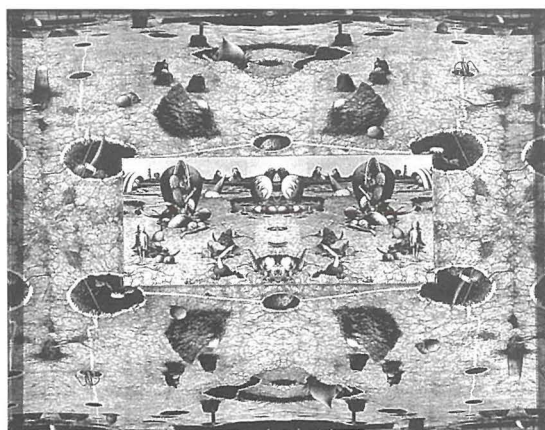
作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法 (cm)
00005	版画	出店久夫	私風景、過去－2000－未来No.Ⅱ	2000 (平成12)	モノクロコピー、ゼラチンシルバープリント、 調色剤、手彩色	182.2×228.8

受 贈

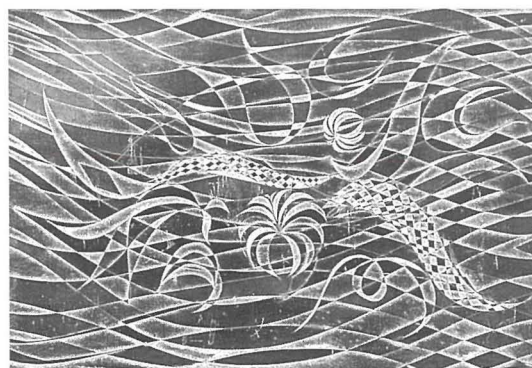
作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法 (cm)	寄贈者
00006	版画	池田 緑	ALICE'S SPECIMEN	1996 (平成8)	シルクスクリーン、 アクリルパイプ、枯葉、木屑、紙	102.4×190.6	池田 緑氏
00007	版画	渋谷栄一	白夜	1975 (昭和50)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	50.0×36.4	渋谷栄一氏
00008	版画	渋谷栄一	モニュマン C	1979 (昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	55.3×40.1	渋谷栄一氏
00009	版画	渋谷栄一	モニュマン D	1979 (昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	55.2×40.1	渋谷栄一氏
00010	版画	渋谷栄一	モニュマン E	1979 (昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	57.0×40.8	渋谷栄一氏
00011	版画	渋谷栄一	モニュマン F	1979 (昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	56.4×41.4	渋谷栄一氏
00012	版画	渋谷栄一	モニュマン H	1979 (昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	61.3×38.4	渋谷栄一氏
00013	版画	渋谷栄一	月夜のマリオネット	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	70.7×44.2	渋谷栄一氏
00014	版画	渋谷栄一	月明りのマリオネット B	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	53.8×48.5	渋谷栄一氏
00015	版画	渋谷栄一	月明りのマリオネット C	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	70.8×36.2	渋谷栄一氏
00016	版画	渋谷栄一	月明りのピエロ D	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	51.7×49.6	渋谷栄一氏
00017	版画	渋谷栄一	月明りのピエロ E	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	48.8×42.3	渋谷栄一氏

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法 (cm)	寄贈者
00001	版画	渋谷栄一	華麗なる変身 G	1984 (昭和59)	凹版(カッティングシート)、紙	36.3×24.5	渋谷栄一氏
00002	版画	渋谷栄一	華麗なる変身 H	1984 (昭和59)	凹版(カッティングシート)、紙	36.3×35.1	渋谷栄一氏
00003	版画	渋谷栄一	華麗なる変身 I	1984 (昭和59)	凹版(カッティングシート)、紙	13.2×42.5	渋谷栄一氏
00018	版画	渋谷栄一	未来都市	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、紙	49.4×36.0	渋谷栄一氏
00019	版画	渋谷栄一	Animal A	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	41.5×77.7	渋谷栄一氏
00020	版画	渋谷栄一	Animal C	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	37.5×80.0	渋谷栄一氏
00021	版画	渋谷栄一	Animal E	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	67.2×34.4	渋谷栄一氏
00022	版画	渋谷栄一	Animal F	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	66.3×40.5	渋谷栄一氏
00023	版画	渋谷栄一	Animal G	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	68.6×36.1	渋谷栄一氏
00024	版画	渋谷栄一	宙No.2	1990 (平成2)	カラーコピー、紙	48.0×74.3	渋谷栄一氏
00025	版画	渋谷栄一	追想 C	1990 (平成2)	カラーコピー、紙	75.8×41.5	渋谷栄一氏
00026	版画	渋谷栄一	追想 D	1990 (平成2)	カラーコピー、紙	75.5×53.4	渋谷栄一氏
00027	版画	渋谷栄一	遊泳 A	1991 (平成3)	カラーコピー、紙	28.5×149.1	渋谷栄一氏
00028	版画	渋谷栄一	5-A	1993 (平成5)	カラーコピー、紙	27.9×142.6	渋谷栄一氏
00029	版画	渋谷栄一	5-B	1993 (平成5)	カラーコピー、紙	27.7×135.8	渋谷栄一氏
00004	版画	渋谷栄一	光	1994 (平成6)	カラーコピー、色鉛筆、紙	20.0×20.1	渋谷栄一氏
00030	版画	渋谷栄一	7-B	1995 (平成7)	モノクロコピー、色鉛筆、紙	60.7×60.7	渋谷栄一氏
00031	版画	渋谷栄一	7-D	1995 (平成7)	モノクロコピー、色鉛筆、紙	60.6×60.6	渋谷栄一氏
00032	版画	渋谷栄一	H8-B	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.7×122.7	渋谷栄一氏
00033	版画	渋谷栄一	H8-C	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×40.4	渋谷栄一氏
00034	版画	渋谷栄一	H8-D	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×40.5	渋谷栄一氏
00035	版画	渋谷栄一	H8-F	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×41.0	渋谷栄一氏
00036	デザイン	ジュール・シェレ	「ファランドール」オペラ座	1884	リトグラフ、紙	70.5×50.5	緒方和子氏
00037	デザイン	ジュール・シェレ	ジョルジュ・デュヴァル著「笑うパリ」	1886	リトグラフ、紙	19.1×28.1	緒方和子氏
00038	デザイン	ジュール・シェレ	道化	1880代	リトグラフ、紙	20.0×14.0	緒方和子氏
00039	デザイン	ジュール・シェレ	兵士・婦人	19世紀後半	リトグラフ、紙	28.2×22.3	緒方和子氏
00040	デザイン	ジュール・シェレ	新聞「パリ風聞」	1888	リトグラフ、紙	118.4×82.3	緒方和子氏
00041	デザイン	ジュール・シェレ	ブチ・サン＝トマーおもちゃ、本	1889	リトグラフ、紙	117.5×82.2	緒方和子氏
00042	デザイン	ジュール・シェレ	カフェ＝コンセル「新サーカス」	1889	リトグラフ、紙	117.4×83.2	緒方和子氏
00043	デザイン	ジュール・シェレ	カフェ＝コンセル「ジャルダン・ド・パリ」	1890	リトグラフ、紙	79.3×54.3	緒方和子氏
00044	デザイン	ジュール・シェレ	新劇場「網渡りとパントマイム」	1891	リトグラフ、紙	119.4×84.6	緒方和子氏
00045	デザイン	ジュール・シェレ	風邪薬「バステュー・ジェローデル」	1891	リトグラフ、紙	49.4×25.0	緒方和子氏
00046	デザイン	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4	緒方和子氏
00047	デザイン	ジュール・シェレ	マリアーニ・ワイン	1894	リトグラフ、紙	53.9×37.3	緒方和子氏
00048	写真	出店久夫	私風景'94-少女図	1994 (平成6)	ゼラチンシルバープリント、 調色剤、写真用染料、色鉛筆、手彩色	253.5×244.0	出店久夫氏

* 寸法は縦×横。



出店久夫「私風景、過去-2000-未来No. II」



渋谷栄一「華麗なる変身 G」

美術作品の貸出

平成11年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
工芸	伽井丹彌	人形譚	伽井 丹彌	平成11年6月4日 ～ 平成11年6月4日	「伽井丹彌人形展－人形譚－」出品 (TEMPORARY SPACE)
*デザイン	青葉益輝	THE END	北海道立釧路芸術館	平成11年10月15日 ～	「現代日本のグラフィック・デザイン展」出品 (北海道立釧路芸術館)
	青葉益輝	灰皿ではありません			
	浅葉克己、坂田栄一郎	ダイアナ靴店		平成11年11月26日	
	浅葉克己、操上和美	西武セゾングループのキャンペーン			
	浅葉克己、操上和美	西武セゾングループのキャンペーン			
	栗津 潔	第2回世界宗教者平和会議			
	栗津 潔	CONTEMPORARY PRINT EXHIBITION:KIYOSHI AWAZU IN LONDON			
	五十嵐威暢	科学万博つくば'85			
	石岡瑛子	P A R C O / ハイヒール・エキスプレスにレールはない			
	石岡瑛子、操上和美	西洋は東洋を着こなせるか			
	石岡瑛子、横須賀功光	国際カンパス・ファニチュア・デザイン・コンペ			
	石岡瑛子、山口はるみ	P A R C O 感覚			
	伊坂芳太良	エドワーズ			
	伊藤憲治	ミリオンテックス			
	井上嗣也	モリサワ			
	大橋 正	明治キャラメル			
	岡本滋夫	岡本滋夫展			
	奥村頼正	S・F・X			
	勝井三雄	第3回デザイン学生奨学コンペ			
	勝井三雄	モリサワ零一			
	勝井三雄	HIROSHIMA APPEALS			
	勝井三雄、奈良原一高	第11回東京国際版画ビエンナーレ展			
	上条喬久	IDENTITY			
	亀倉雄策	原子力エネルギーを平和産業に！			
	亀倉雄策	日本古典芸能団招聘記念			
	亀倉雄策	ゝ89名古屋デザイン博覧会公式ポスター			
	亀倉雄策	ニコンカメラ			
	亀倉雄策	ニコンSP			
	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック			
	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック			
	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック			
	亀倉雄策、横山 明	HIROSHIMA APPEALS			
	河村要助	AMNESTY			
	木村恒久	図解・エスカレーション戦略（其の二）			
	木村恒久	ツィゴイネルワイゼン			
	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌ娘			
	河野鷹思	かばわれた臆病者……日本			
	河野鷹思	月刊・茶道総合誌〈淡交〉			
	小島良平	世界の鳥を救おう			
	佐藤 晃一	ニュー・マジック・メディア			
	佐藤晃一	死のう団			
	佐藤晃一	ユーロパリア89ジャパン			
	U. G. サトー	FREEDOM			
	重成 基	ダイヤ・シャツ			
	杉浦康平	ストラヴィンスキー特別演奏会			
	杉浦康平	第8回東京国際版画ビエンナーレ展			
	杉浦康平、宇野亜喜良	越路吹雪リサイタル			
	杉浦康平、渡辺富士雄	伝統と現代技術			

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
	田中一光	第5回産経観世能			
	田中一光	第8回産経観世能			
	田中一光	日本古典芸能団招聘記念			
	田中一光	JAPAN			
	田中一光	HIROSHIMA APPEALS			
	田中一光、滝野晴夫	櫻の園			
	永井一正	書籍「サイエンス・ライブラリー」生長の話			
	永井一正	リリーカラー			
	永井一正	雑誌『g q』			
	永井一正	永井一正の世界展			
	永井一正	JAPAN			
	永井一正、奥山民枝	HIROSHIMA APPEALS			
	長友啓典、黒田征太郎	話の特集博覧会			
	長友啓典、黒田征太郎	エドワーズ			
	長友啓典、黒田征太郎	時代劇			
	仲條正義	WELCOME TO JAPAN			
	仲條正義	タクティクス・デザイン			
	仲條正義	タクティクス・デザイン			
	仲條正義	タクティクス・デザイン			
	中村 誠、石岡瑛子、横須賀功光	資生堂サマー化粧品			
	中村 誠、横須賀功光	資生堂（海外向け）			
	中村 誠、横須賀功光	資生堂ネイルエナメル			
	中村 誠、横須賀功光	資生堂香水「舞」			
	灘本唯人	MARIE			
	早川良雄	カロン洋裁生徒募集			
	早川良雄	カロン洋裁生徒募集			
	早川良雄	第7回秋の秀彩会			
	早川良雄	第5回東京国際版画ビエンナーレ展			
	早川良雄	HIROSHIMA APPEALS			
	原 弘	日本タイポグラフィ展			
	福田繁雄	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA			
	福田繁雄	VICTORY 1945			
	福田繁雄	日本古典芸能団招聘記念			
	福田繁雄	LOOK 1（12人のアーティスト展）			
	福田繁雄	HAPPY EARTHDAY			
	細谷 巖	SILENCE			
	細谷 巖	インペーター			
	細谷 巖、北井三郎	ヤマハオートバイ			
	松永 真	PEACE' 86			
	松永 真、安達洋次郎	資生堂サンオイル“人・人・人”			
	宮永馨夫、操上和美	BLUE DOT			
	山城隆一	森・林			
	山城隆一	第2回東京国際版画ビエンナーレ展			
	湯村輝彦	TASTES OF FLAMINGO			
	横尾忠則	TADANORI YOKOO			
	横尾忠則	A LA MAISON DE M. CIVEÇAWA			
	横尾忠則	腰巻お仙ー忘却編			
	横尾忠則	第6回東京国際版画ビエンナーレ展			
	横尾忠則	横尾忠則近作展			
	横尾忠則	GREETING			
	和田 誠	ベトナムの子どもを支援する会のために			

*以下については、二次資料の貸出を示す。

平成12年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
油彩	寺島春雄	柵と人 勲章の砦	北海道立釧路芸術館	平成12年4月23日 ～	「大いなる地平から－釧路・根室の美術より」展出品 (北海道立釧路芸術館)
版画	池田良二	Space of foggy ocean (海霧の空間) Time of frozen ground (凍土の時)		平成12年7月13日	
油彩	伊藤隆二 神田日勝 長尾栄三 能勢眞美 八嶽一郎	池のほとり 画家D 樹苑の秋 樹列 糠平の風景	NHK帯広放送局	平成12年11月11日 ～ 平成12年11月17日	「帯広美術館所蔵の絵画・版画展」出品 (NHKギャラリー)
日本画	小林満枝	水辺			
版画	渋谷栄一 多賀 新 中谷有逸 増田 誠 矢柳 剛	サーカスと白い馬 装束の文 碑 (聖衣に) ギリシア神話－ゼウス 男と女			

特別観覧

平成11年度

内 訳	撮 影					複 写	熟 覧	原版使用	そ の 他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映					
件 数	1	0	2	0	0	0	1	8	0	12

平成12年度

内 訳	撮 影					複 写	熟 覧	原版使用	そ の 他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映					
件 数	0	0	2	2	0	0	1	5	0	10

アイヌの四季と生活

十勝アイヌと絵師・平沢屏山

会期＝平成11年7月2日(金)～28日(水) 23日間
主催＝財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、十勝毎日新聞社、帯広市、帯広市教育委員会、北海道立帯広美術館、アイヌの四季と生活展帯広実行委員会

共催＝北海道、北海道教育委員会

後援＝北海道開発庁、文化庁、外務省、ブリティッシュ・カウンシル、ドイツ大使館、社団法人北海道ウタリ協会、十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

観覧料＝一般700(500)円、高大生400(300)円

小中生および心身に障害のある方などは無料

()内は前売りおよび10名以上の団体料金

「アイヌ風俗画」は、主に江戸時代以降、アイヌ民族の風俗や習慣などについて、蝦夷地を訪れた和人が描いたものである。今日それらの作品は、当時のアイヌ民族の生活の様子を知る上で貴重な資料となっている。中でも幕末から明治にかけて活躍した平沢屏山は自ら十勝や日高の地を訪れ、時にアイヌと生活を共にした経験をもとに鋭い観察眼で当時のアイヌの姿を描いている。

本展では、代表作「蝦夷風俗十二ヶ月屏風」をはじめとする国内作品のほか、大英博物館や国立スコットランド博物館などの日本初公開の海外作品を含む屏山の作品、および関係作家の作品も加え、絵画58点を一堂に展覧。さらに関連するアイヌ民具157点も同時に展示し、双方を比較することによってアイヌの人々の生活の様子を具体的に浮かび上がらせようとしたものである。

いわゆるアイヌ新法の制定以来、北海道の先住民族であるアイヌ民族とアイヌの文化は新たな時代へと進みつつある。伝統文化の原形を探った本展は文化伝承の実践に寄与すると共に、アイヌ文化を理解する好機となった。会期中、関連事業として、当館のほか市内各所で事業が実施された（普及啓発講演会：7月3日(土)、とかちプラザ／コンサート：7月10日(土)、帯広市民文化ホール／講演会：7月17日(土)、帯広百年記念館）。

関連事業

特別展セミナー

「民具に見る十勝アイヌの生活」

講師＝内田祐一（帯広百年記念館学芸員）

日時＝7月10日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂・主展示室

体験学習

「ムックルをつくってみよう」

日時＝7月11日(日) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

図 録

規格＝29.7×21.1cm／総頁数116ページ

構成＝ごあいさつ／図版／内田祐一「十勝のアイヌ民族」／内田祐一「十勝アイヌの民具とその所蔵先」／佐々木利和「平沢屏山とアイヌ絵」／五十嵐聡美「最後のアイヌ絵師－平沢屏山」／太田善繁「トカチ場所について」／斎藤省三「開拓と十勝アイヌ」／出展絵画一覧／出展民具一覧

関連記事

「アイヌの四季と生活 7月2日から帯広美術館で開催」十勝毎日新聞／1月1日

「一橋家開拓使奉納の『絵馬』発見 明治初期の広尾を描く」十勝毎日新聞／2月6日

「絵馬は一橋侯への土産 ハイデルベルク博物館所蔵の『十勝海岸図』」十勝毎日新聞／4月5日

「神々の恵み 第一部 大地①～⑤」十勝毎日新聞／4月30日～5月4日

「神々の恵み 第二部 白老から①～⑤」十勝毎日新聞／6月9日～17日

「神々の恵み 第三部 習う①～⑤」十勝毎日新聞／6月26日～30日

「欧州のアイヌ観とは 海外学芸員出展作品などについて語る」十勝毎日新聞／6月30日

「民具の絵と実物比較 内田学芸員が語るアイヌ展見どころはー」十勝毎日新聞／7月1日

「貴重な資料で理解深めて アイヌ文化振興・研究推進機構 佐々木理事長が語る」十勝毎日新聞／7月2日

「平沢屏山の歩みなど説明 佐々木氏講演要旨 繊細な風俗描写高く評価」十勝毎日新聞／7月4日

「『アイヌの四季と生活展』関連事業 3人がディスカッション」十勝毎日新聞／7月5日

「『アイヌの四季と生活展』から①～④」十勝毎日新聞／7月8日～14日

「『同輩』に注ぐ温かな視線 『アイヌの四季と生活』展」読売新聞／7月17日

「アイヌ民族の精神映す『四季と生活展』開催中」十勝毎日新聞／7月21日

内田祐一「アイヌ文化理解への課題」読売新聞／8月19日

佐々木利和「アイヌ絵について」北海道新聞／10月5日

名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成13年 3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	早坂 隆治	帯広商工会議所専務理事
副会長	杉本 久子	無 職
委 員	鈴木 武昭	網走管内教育委員会連絡協議会教育長部会長（女満別町教育委員会教育長）
委 員	高橋 兼夫	釧路管内教育委員会連絡協議会教育長部会長（阿寒町教育委員会教育長）
委 員	大滝 宏	前十勝管内教育委員会連絡協議会教育長部会長（前足寄町長教育委員会教育長）
委 員	加来 義行	前帯広市校長会会長（前帯広市立帯広第五中学校長）
委 員	梶原 雅仁	前帯広市PT連合会会長（柳丸勝代表取締役）
委 員	佐藤美津子	釧路市女性団体協議会副会長
委 員	佐藤 信男	前NHK帯広放送局長
委 員	惣万 恵子	根室市女性のつどい協議会事務局長
委 員	瀧川 秀敏	平原社美術協会会長
委 員	松橋 幸子	帯広市婦人団体連絡協議会副会長

*委員の任期は平成11年6月27日から平成13年6月26日まで。

北海道立帯広美術館職員名簿

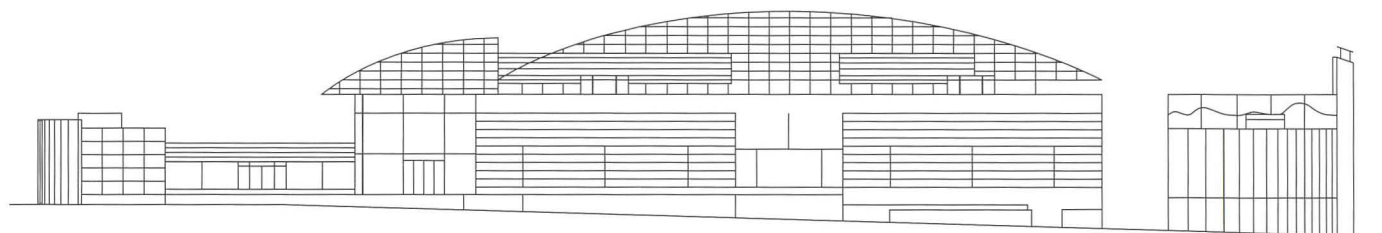
平成11年度（平成12年 3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館 長（非常勤）	上原 脩平	平成11年 7月 1日
副館長	中村 純子	平成 9年 6月 1日
管理課長	渡邊 正敏	平成 8年 4月 1日
主 査	猪口 達也	平成10年 4月 1日
主 事	原田 尚樹	平成 9年 8月 1日
学芸課長	寺嶋 弘道	平成 3年 4月 1日
学芸員	平 利弘	平成 8年 4月 1日
学芸員	鎌田 享	平成 7年 4月 1日
主 事（非常勤）	伊藤 昭子	平成 9年 9月 1日
主 事（非常勤）	甲斐千香子	平成 3年 9月 1日
主 事（非常勤）	菊地 美雪	平成 7年 4月 1日
主 事（非常勤）	高田 佳子	平成 9年11月 1日
主 事（非常勤）	田中 美香	平成11年 4月 1日
主 事（非常勤）	冷水 聖子	平成 8年 4月 1日
主 事（非常勤）	森田 幸子	平成 7年 2月 1日

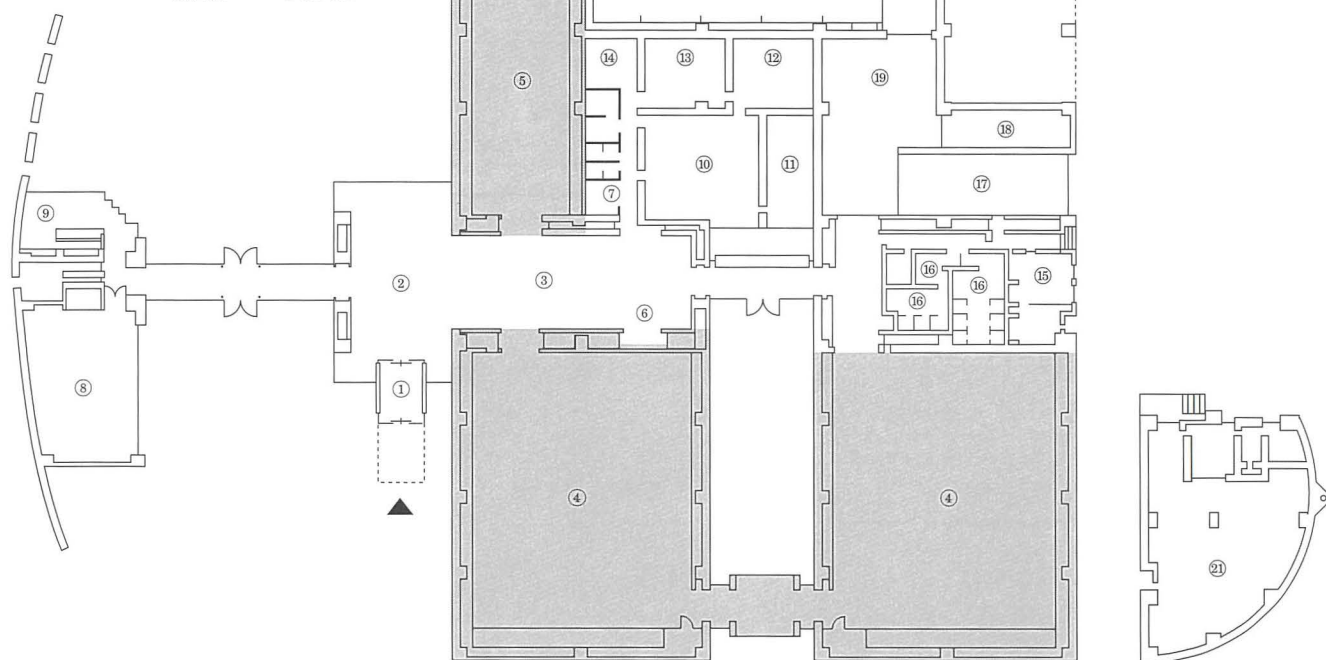
平成12年度（平成13年 3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館 長（非常勤）	上原 脩平	平成11年 7月 1日
副館長	大坪 貞昭	平成12年 4月 1日
管理課長	佐藤 秀雄	平成12年 4月 1日
主 査	鈴木 徳光	平成12年10月 1日
主 事	原田 尚樹	平成 9年 8月 1日
学芸課長	寺嶋 弘道	平成 3年 4月 1日
学芸員	鎌田 享	平成 7年 4月 1日
学芸員	石尾乃里子	平成12年 4月 1日
主 事（非常勤）	伊藤 昭子	平成 9年 9月 1日
主 事（非常勤）	川瀬 直美	平成12年 4月 1日
主 事（非常勤）	菊地 美雪	平成 7年 4月 1日
主 事（非常勤）	高田 佳子	平成 9年11月 1日
主 事（非常勤）	田中 美香	平成11年 4月 1日
主 事（非常勤）	冷水 聖子	平成 8年 4月 1日
主 事（非常勤）	堀 美幸	平成12年 7月 1日

館内案内図



①	風除室	12.1㎡
②	ロビー	123.1㎡
③	ホール	209.9㎡
④	主展示室	841.9㎡
⑤	常設展示室	209.5㎡
⑥	売店	
⑦	ロッカー室	5.3㎡
⑧	講堂	98.4㎡
⑨	喫茶コーナー	36.7㎡
⑩	事務室	72.3㎡
⑪	館長室	32.9㎡
⑫	資料室	36.0㎡
⑬	会議室	35.7㎡
⑭	準備室	14.7㎡
⑮	管理室	30.2㎡
⑯	トイレ	56.5㎡
⑰	搬入口	57.8㎡
⑱	展示器具庫	26.9㎡
⑲	荷解室	100.6㎡
⑳	収蔵庫	218.2㎡
㉑	機械室	165.7㎡
㉒	廊下	115.5㎡
	床面積	2499.9㎡



展示部門 ■■■■
管理・事務部門 □□□□

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク (公開設計競技最優秀)
●基 本 設 計	アトリエアク・大洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	宮坂・萩原・曾根・市川・大道共同企業体 (1、2期)
建 築	相互電業 (株) (1期)
電 気 設 備	森設備工業 (株) (1期)
空 気 調 和 衛 生 設 備	相互・柴野・誠和・テーテス・長島共同企業体 (2期)
電 力 設 備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体 (2期)
通 信 設 備	フジ・梶山・中林共同企業体 (2期)
衛 生 設 備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体 (2期)
空 気 調 和 設 備	
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000㎡
●建 物 面 積	建面積 2,499,99㎡ 延面積 3,521,60㎡
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)
●仕 上	
[外 装]	
外 壁	大理石 (ライムストーン) コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ鋼板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
[内 装]	
ロビー・ホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビー・ホール壁	大理石 (ライムストーン) 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード 一部ラワンベニア下地クロスEP仕上
ロビー・ホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸音板EP仕上

設備概要

●電 気 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動力設備	防災用動力 排煙機 11KW×3 消火ポンプ5.5KW×1
電 灯 設 備	展示室 壁面照明 退色防止蛍光灯 (調光式) ロビー 間接照明 蛍光灯 講堂 ワイヤメッシュ天井内埋込蛍光灯
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ160W
テレビ共聴設備	OCTV (帯広ケーブルTV) による共聴
火災報知設備	P1級受信機
視聴覚設備	上降式ビデオプロジェクター 1式 音声・映像ラック 1式 映写設備 (16mmフィルム、35mmスライド) 1式
●機 械 設 備	
空 気 調 和 設 備	
設定温湿度	
常設展示室、主展示室	
夏	24℃ (21~25℃) 55% (50~60%)
冬	23℃ (21~24℃) 50% (45~55%)
収蔵庫、展示ケース	
年間22℃ (20~24℃) 55% (40~60%)	
* () 内は可変調整範囲、設定精度は温度±1℃ 湿度±3%	
熱源機器	
冷空チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生機	冷却能力 100USRT 暖房能力 253,000Kcal/H
温水器	暖房能力 500,000Kcal/H
空 気 調 和 機	
主展示室	2系統
常設展示室、荷解室	1系統
展示ケース	1系統
収蔵庫	1系統
ロビー、ホール	1系統
管理諸室	1系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電気温水機
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備



沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長、室田浩志発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日） 一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 2 月	入館者10万人達成（平成 4 年 2 月18日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞受賞（建物）（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長、阿部皎発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長、長谷川吉廣発令
平成11年 7 月	第 4 代館長、上原脩平発令
平成13年 1 月	入館者80万人達成（平成13年 1 月 7 日）

観覧者数一覧

平成11年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=D+E (1日当たり)	個 人				団 体 / 前 売				有料観覧者計 D=B+C (/A)	無料免除招待 E (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B (/A)	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C (/A)		
コレクション・ギャラリー		4/9～3/29 (255日)	16,150人 (63人)	5,858人 (96.3%)	224人 (3.7%)	—	6,082人 (37.7%)	955人 (88.5%)	124人 (11.5%)	—	1,079人 (6.7%)	7,161人 (44.3%)	8,989人 (55.7%)
特 別 展	魅惑のガラス芸術	4/9～5/12 (29日)	6,404人 (221人)	4,186人 (90.9%)	145人 (3.1%)	274人 (6.0%)	4,605人 (71.9%)	92人 (11.8%)	2人 (0.2%)	688人 (88.0%)	782人 (12.2%)	5,387人 (84.1%)	1,017人 (15.9%)
	華麗な女性美展	5/21～6/23 (29日)	11,629人 (401人)	3,646人 (93.0%)	119人 (3.0%)	155人 (4.0%)	3,920人 (33.7%)	4,938人 (80.6%)	190人 (3.1%)	999人 (16.3%)	6,127人 (52.7%)	10,047人 (86.4%)	1,582人 (13.6%)
	リパティ・スタイル展	8/6～9/15 (35日)	6,210人 (177人)	3,027人 (88.1%)	236人 (6.9%)	174人 (5.1%)	3,437人 (55.3%)	945人 (73.5%)	50人 (3.9%)	290人 (22.6%)	1,285人 (20.7%)	4,722人 (76.0%)	1,488人 (24.0%)
	20世紀静物画の展開	9/22～11/10 (43日)	6,226人 (145人)	2,092人 (91.9%)	91人 (4.0%)	93人 (4.1%)	2,276人 (36.6%)	455人 (17.1%)	89人 (3.3%)	2,113人 (79.5%)	2,657人 (42.7%)	4,933人 (79.2%)	1,293人 (20.8%)
	帯 広 美 術 館 コレクション選集	11/19～1/19 (44日)	1,475人 (34人)	840人 (97.2%)	(大) 24人 (2.8%)	—	864人 (58.6%)	139人 (100.0%)	(大) 0人 (0.0%)	—	139人 (9.4%)	1,003人 (68.0%)	472人 (32.0%)
	永遠のポスター芸術	1/28～3/29 (52日)	2,424人 (47人)	1,254人 (87.5%)	116人 (8.1%)	63人 (4.4%)	1,433人 (59.1%)	95人 (31.0%)	0人 (0.0%)	211人 (69.0%)	306人 (12.6%)	1,739人 (71.7%)	685人 (28.3%)
	計	6 回 (232日)	34,368人 (148人)	15,045人 (91.0%)	731人 (4.4%)	759人 (4.6%)	16,535人 (48.1%)	6,664人 (59.0%)	331人 (2.9%)	4,301人 (38.1%)	11,296人 (32.9%)	27,831人 (81.0%)	6,537人 (19.0%)
計 [コレクション・ギャラリー+特別展]		7 回 (487日)	50,518人 (104人)	20,903人 (92.4%)	955人 (4.2%)	759人 (3.4%)	22,617人 (44.8%)	7,619人 (61.6%)	455人 (3.7%)	4,301人 (34.7%)	12,375人 (24.5%)	34,992人 (69.3%)	15,526人 (30.7%)
貸 館	アイヌの四季と生活	7/2～7/28 (23日)	4,602人 (200人)	1,435人 (96.2%)	56人 (3.8%)	—	1,491人 (32.4%)	1,690人 (99.9%)	1人 (0.1%)	—	1,691人 (36.7%)	3,182人 (69.1%)	1,420人 (30.9%)
合	計	8 回 (510日)	55,120人 (108人)	22,338人 (92.7%)	1,011人 (4.2%)	759人 (3.1%)	24,108人 (43.7%)	9,309人 (66.2%)	456人 (3.2%)	4,301人 (30.6%)	14,066人 (25.5%)	38,174人 (69.3%)	16,946人 (30.7%)

平成12年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=D+E (1日当たり)	個 人				団 体 ／ 前 売				有料観覧者計 D=B+C (／A)	無料免除招待 E (／A)
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B (／A)	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C (／A)		
コレクション・ギャラリー		4/11～3/28 (258日)	17,213人 (67人)	7,059人 (95.8%)	309人 (4.2%)	—	7,368人 (42.8%)	771人 (83.3%)	155人 (16.7%)	—	926人 (5.4%)	8,294人 (48.2%)	8,919人 (51.8%)
特 別 展	フランス美術名品選	4/11～6/14 (56日)	5,380人 (96.1人)	3,190人 (90.4%)	163人 (4.6%)	174人 (4.9%)	3,527人 (65.6%)	212人 (29.7%)	2人 (0.3%)	499人 (70.0%)	713人 (13.3%)	4,240人 (78.8%)	1,140人 (21.2%)
	グラフィック・デザイン のモダニズム	6/23～8/9 (41日)	2,777人 (67.7人)	1,068人 (86.6%)	73人 (5.9%)	92人 (7.5%)	1,233人 (44.4%)	151人 (16.7%)	69人 (7.6%)	685人 (75.7%)	905人 (32.6%)	2,138人 (77.0%)	639人 (23.0%)
	光と影 レンブラント 版 画 展	8/18～9/27 (35日)	8,715人 (249.0人)	4,276人 (89.3%)	295人 (6.2%)	220人 (4.6%)	4,791人 (55.0%)	1,119人 (48.8%)	6人 (0.3%)	1,166人 (50.9%)	2,291人 (26.3%)	7,082人 (81.3%)	1,633人 (18.7%)
	美 術 は な に を 記 録 し て き た か	10/6～11/29 (47日)	2,690人 (57.2人)	1,030人 (92.0%)	46人 (4.1%)	44人 (3.9%)	1,120人 (41.6%)	329人 (40.9%)	44人 (5.5%)	431人 (53.6%)	804人 (29.9%)	1,924人 (71.5%)	766人 (28.5%)
	東欧絵本の世界展	12/8～1/24 (33日)	10,445人 (317人)	3,485人 (78.8%)	275人 (6.2%)	662人 (15.0%)	4,422人 (42.3%)	1,926人 (54.5%)	137人 (3.9%)	1,470人 (41.6%)	3,533人 (33.8%)	7,955人 (76.2%)	2,490人 (23.8%)
	帯 広 美 術 館 コレクション選集	2/2～3/28 (46日)	1,492人 (32人)	667人 (92.6%)	53人 (7.4%)	—	720人 (48.3%)	101人 (100.0%)	0人 (0.0%)	—	101人 (6.8%)	821人 (55.0%)	671人 (45.0%)
	計	6 回 (258日)	31,499人 (122人)	13,716人 (86.7%)	905人 (5.7%)	1,192人 (7.5%)	15,813人 (50.2%)	3,779人 (45.3%)	273人 (3.3%)	4,295人 (51.5%)	8,347人 (26.5%)	24,160人 (76.7%)	7,339人 (23.3%)
計 〔コレクション・ギャラリー+特別展〕		7 回 (516日)	48,712人 (94人)	20,775人 (89.6%)	1,214人 (5.2%)	1,192人 (5.1%)	23,181人 (47.6%)	4,550人 (49.1%)	428人 (4.6%)	4,295人 (46.3%)	9,273人 (19.0%)	32,454人 (66.6%)	16,258人 (33.4%)
貸 館		(0 日)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		7 回 (516日)	48,712人 (94人)	20,775人 (89.6%)	1,214人 (5.2%)	1,192人 (5.1%)	23,181人 (47.6%)	4,550人 (49.1%)	428人 (4.6%)	4,295人 (46.3%)	9,273人 (19.0%)	32,454人 (66.6%)	16,258人 (33.4%)

平成11年－12年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成13年 3 月30日
発行者 北海道立帯広美術館
〒080-0846
帯広市緑ヶ丘 2 番地
Tel. (0155) 22-6963

印刷所 東洋印刷株式会社

©Hokkaido Obihiro Museum of Art 2001

